教育要覧

平成２７年版

名古屋市教育委員会

教　育　要　覧

平 成 ２７ 年 版

名 古 屋 市 教 育 委 員 会

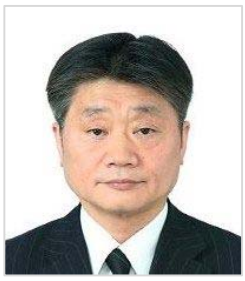
教 育 委 員 会 委 員

梶　田　委　員

服　部　委　員　長

福　谷　委　員

小　栗　委　員



下田委員（教育長）

野　田　委　員

（平成27年７月１日現在）

ま え が き

近年において、少子化・高齢化やグローバル化の進展など、教育を取り巻く環境は変化し続けており、教育行政には、その大きな流れに的確に対応しながら「将来を担う人づくり」という使命を果たしていくことが求められています。

本市教育委員会では、これまでの取り組みの成果を継承しつつ、「なごやっ子の“学び”はいかにあるべきか」、「子どもたちの“学び”をどう担うのか」、「生涯を通じた“学び”へどう接続するか」といった大きなテーマのもと、教育現場が直面している課題の解決を図るため、平成27年３月に、新しい「名古屋市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画を通して、本市教育行政を取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくために、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策に取り組んでいます。

この「教育要覧（平成27年版）」では、最新の統計資料とともに、平成26年度の教育のあゆみを集録し、名古屋市の教育の現状を広く紹介しています。

本書を通じて、本市の教育をご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

平成27年９月

名古屋市教育委員会

目　　次

ま え が き

第１部　教　育　行　財　政

第１章　教　育　行　政 …… 1
1　平成26年度本市教育行政のあらまし …… 1
2　教 育 委 員 会 …… 3
3　条例規則等の制定改廃 …… 4
4　附属機関その他の機関 …… 8
5　教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等 …… 14
6　教育委員会所管施設一覧 …… 26
7　広報広聴調査活動 …… 26
8　企 画 調 整 事 務 …… 29
9　争　訟　事　務 …… 30
第２章　教　育　財　政 …… 31
1　平成27年度教育関係予算の概要 …… 31
2　新規・拡充事業及び重点施策 …… 34
3　小・中学校標準運営費 …… 36
4　マイスクールプラン …… 37
第３章　計　画　の　推　進 …… 38
1　名古屋市教育振興基本計画 …… 38
2　名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針 …… 39
3　小規模校対策に関する実施計画 …… 40
4　名古屋市不登校対策基本構想 …… 41
5　魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画 …… 42
6　第２次名古屋市子ども読書活動推進計画 …… 43
7　名古屋市スポーツ推進計画 …… 44
8　「歴史の里」基本計画 …… 45

第２部　学校施設、設備、管理、なごや子ども応援委員会

第１章　校（園）地及び校(園)舎の実態 …… 47
1　学校施設の整備 …… 47
2　学校施設の現況 …… 49
3　学校の設置及び通学区域の設定等 …… 68
4　小規模校対策 …… 68

第２章　学校設備の充実状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
第３章　学校施設の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
１　学校施設の機械警備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
２　学校（園）近隣協力員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
第４章　なごや子ども応援委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
１　趣旨・・・ 72
２　各委員会の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
３　設置ブロックと設置校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

第３部　幼児、児童、生徒、教職員

第１章　幼児、児童、生徒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
１　幼児、児童、生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
２　児童・生徒表彰件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
３　進　路　状　況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
４　児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
第２章　教　職　員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
１　教職員構成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
２　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
３　教員の採用と異動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
４　教職員表彰件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
５　教職員の福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
６　平成26年度教員免許状取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
７　教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）・・・・・・・・・・・・・ 87
８　学校事務支援センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
９　学校問題解決支援チーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

第４部　学　校　教　育

第１章　教　育　指　導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
１　平成26年度学校教育の努力目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
２　教育課程の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
３　指　導　方　針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
４　個に応じた指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
５　総合的な学習の時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
６　生　徒　指　導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
７　不登校児童生徒対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
８　進　路　指　導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
９　特　別　活　動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

10　道　徳　教　育…… 95
11　安　全　教　育…… 95
12　学校図書館教育…… 96
13　職　業　教　育…… 96
14　野　外　教　育…… 96
15　国　際　理　解…… 97
16　情　報　教　育…… 100
17　定 時 制 教 育…… 100
18　特別支援教育…… 101
19　幼　児　教　育…… 109
20　学 校 諸 行 事…… 110
21　開かれた学校づくり…… 112
22　エコ・フレンドシップ事業…… 112
23　海外演奏家等による音楽鑑賞の推進…… 112
24　いじめ対策…… 112
第２章　教科用図書採択…… 113
1　教科用図書の採択…… 113
2　教科用図書の展示会…… 113
3　平成27年度使用教科用図書…… 113
第３章　高等学校入学者選抜…… 114
1　概　　要…… 114
2　平成27年度募集人数と志願者数等…… 114
第４章　教職員研修と教育研究…… 116
1　名古屋市教育センター…… 116
2　教職員研修の実施…… 117
3　教員免許状更新講習…… 122
4　なごや教師養成塾…… 122
5　研 究 調 査 等…… 122
6　教育研究資料の利用…… 123
7　情報教育ネットワーク…… 123
8　教　育　相　談…… 124
9　学力向上サポート事業…… 125
10　指導体験記録の募集…… 125
第５章　就　学…… 126
1　就　学　援　助…… 126
2　就　学　奨　励…… 127
3　私　学　助　成…… 128
4　越境通学防止…… 130

第５部　学校保健、給食、体育

第１章　学　校　保　健 133
1　児童・生徒・幼児の保健管理 133
2　就学時健康診断 137
3　教職員の保健管理 138
4　学校環境衛生管理 140
5　学校における安全対策 140
6　日本スポーツ振興センター 141
7　名古屋市学校保健会 141
第２章　学　校　給　食 142
1　学　校　給　食 142
2　運　営　組　織 145
3　普　及　活　動 146
第３章　学　校　体　育 147
1　学校体育の概要 147
2　各 種 講 習 会 148
3　元気いっぱいなごやっ子の育成 148
4　体力・運動能力調査 149
5　各種体育大会 150
6　名古屋市小中学校体育連盟 150
7　名古屋市学校体育センター 151

第６部　生涯学習・社会教育

第１章　生涯学習の推進 153
1　生涯学習社会を目指して 153
2　生涯学習が必要とされる社会的背景 153
3　基　本　方　針 153
4　平成26度重点事業 154
第２章　成　人　教　育 155
1　成人教育の概況 155
2　女　性　教　育 160
3　視 聴 覚 教 育 161
第３章　青少年教育 163
1　青少年教育の概況 163
2　青少年の教育 163
第４章　文化財の保護 166

１　概　　要…… 166
２　文化財の保護…… 166
３　「歴史の里」の整備…… 167
第５章　市民スポーツ…… 168
１　市民スポーツの概況…… 168
２　活動状況（平成26年度主要事業実績）…… 171
第６章　社会教育施設…… 172
１　社会教育施設の概況…… 172
２　図　　書　　館…… 172
３　名古屋市博物館…… 187
４　名古屋市見晴台考古資料館…… 194
５　名古屋市美術館…… 197
６　名古屋市科学館…… 199
７　生涯学習センター、女性会館…… 204
８　スポーツ施設…… 212
第７章　学　校　開　放…… 228
１　学校開放の概況…… 228
２　学　校　開　放…… 228

第７部　人権教育

第１章　人権教育の推進体制…… 243
１　基本的な考え方…… 243
第２章　学　校　教　育…… 244
１　人権教育の研究推進…… 244
２　人権教育研修会…… 245
３　資料の整備…… 245
第３章　社　会　教　育…… 246
１　文化センター等における教育委員会主催事業…… 246
２　市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育…… 246

付　　録

１　事務参考資料（出版物等一覧）…… 249
２　教　育　年　表…… 253
３　中学校区一覧…… 255

第１部　教 育 行 財 政

第１章　教　育　行　政

１　平成26年度本市教育行政のあらまし

（１）教育委員会では、平成23年3月に平成26年度までを計画期間とする「名古屋市教育振興基本計画」を策定し、教育を取り巻く環境の変化に対応しながら、学校教育をはじめとした教育施策を推進することにより、夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成に取り組んだ。

（２）学校教育では、平成26年度の努力目標を定め、社会の変化に主体的に対応できるたくましい青少年の育成を目指して、一人一人のよさや可能性を伸ばし、よりよい自己実現を促す教育の実践に努めた。

ア　学校施設の整備については、教室の増築、大規模改造、リニューアル改修、新設校の建設等を実施した。

イ　教育指導面では、教育課程の参考及び指導指針を示すとともに、集団生活への適応を図るため、小学校１年生・２年生での30人学級を実施した。

各教科等の基盤となる国語力を高めるため、「国語力向上推進事業」に取り組んだ。小学校４～６年生を対象とした「なごやっ子漢字力アッププリント」を小学校に配布・配信するとともに、「小学校国語の授業ハンドブック」の教科書との対応表を配布して、活用を促進した。また、小学生向けの「なごやっ子読書ノート」を全児童に、中学生向けの「なごやっ子読書カード」を全中学校に、「アイディア広がる図書委員会」ポスターを全校に配布するとともに、「本の帯コンクール」を実施した。また、英語が話せるなごやっ子の育成をめざして、外国人英語指導助手とのティームティーチングによる生きた英語指導と英語活動・外国語活動アシスタントとのティームティーチングによる小学校英語活動･外国語活動の実施、日本語指導が必要な外国人児童・生徒の相談等に対応する日本語教育相談センターの運営、母語学習協力員の配置等、学習指導の充実に努めた。一方、生徒指導対策については、関係諸機関との連絡協議会の開催、学校における児童・生徒指導活動推進事業の実施、進路指導体制の確立、小・中学校で特設講座（基礎・発展）の開設、心理的な理由による不登校児童生徒に対する教育相談や適応指導を進める子ども適応相談センターの運営、中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業の実施など、その充実を図った。また、「名古屋市いじめ防止基本方針」を策定し、「学校における仲間づくり推進事業」や「なごやＩＮＧキャンペーン」を実施するとともに「いじめ防止教育プログラム」の活用促進を図り、いじめのない学校づくりに努めた。さらに、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上におけるいじめの対策に取り組んだ。これに加え、市内11ブロックの中学校11校になごや子ども応援委員会を設置し、児童生徒が抱える問題の未然防止・早期発見や個別支援、学校支援の協力体制の構築を図った。

その他にも、特色ある教育活動や学校づくりを行うマイスクールプランの実施、人権教育、国際理解教育、情報教育等、教育内容の充実を図ったほか、「愛・地球博」を契機とし、「COP10」を通じて充実した環境教育を継続・発展させるとともに環境問題に対する一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を図るため「エコ・フレンドシップ事業」を実施した。

ウ　児童・生徒の健康管理の面では、入学及び市外から転入した者を対象とした心臓検診や、全小学校でのアレルギー性疾患に関する検診、また、小学校において歯科疾患特別健診を実施するなど、児童・生徒の疾患対策の一層の充実を図った。

学校給食では、子どもたちの心身の健全な発達に資することを目的として地産地消の取り組みを始め内容の充実に努めた。また、複数メニュー、弁当併用、ランチルームでの喫食等の方式での中学校スクールランチを109校で実施した。

学校体育においては、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践し、健康な生活を営むための能力や態度の基礎の育成に努めるとともに、体育学習や部活動における指導者の資質向上に役立てるため、体育実技等の講習会を実施した。

エ　教育奨励事業としては、要・準要保護児童生徒の就学援助等を実施した。

（3）社会教育行政については、市民が教養を高め、生涯の各時期に応じて、多様で、かつ、自主的な学習ができるよう、条件整備に努めた。

ア　成人教育の面では、社会教育施設における各種講座や講演会等を充実させて開設した。更に、家庭教育の振興を図るための事業として、家庭教育セミナー、あい・あい・あいさつ活動、地域ふれあい実践講座、ファミリーデーなごやを実施するとともに、インターネットを活用した講座を開設したほか、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現するため、名古屋土曜学習プログラムを実施した。

また、女性教育の内容充実を図るとともに、関係団体の指導者育成や活動助成を行った。

イ　青少年教育については、平成18年度から青少年に関する諸施策の総合的な企画等、市長の権限に属する事務の補助執行が解かれ子ども青少年局の所管事業になるとともに、青少年教育に関する権限を子ども青少年局長の補助執行とした。

ウ　スポーツ振興の面では、市民スポーツ祭をはじめ各種事業の充実を図るとともに、スポーティブ・ライフ月間やマラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を実施したほか、スポーツ功労者表彰を実施した。また、子どものスポーツ振興のため、子どもスポーツフェスタを開催したほか、地域ジュニアスポーツクラブの育成・支援を行った。

エ　文化財保護の面では、文化財保護事業への助成、歴史的町並み保存事業の促進、遺跡発掘調査等各種調査を実施したほか、文化財の公開事業、史跡散策路の活用等、保護事業を推進した。また、「歴史の里」の整備に向けて、予定区域内の埋蔵文化財の発掘調査を実施した。

オ　トワイライトスクール（放課後学級・施設開放）については、平成21年度から、放課後学級を「トワイライトスクール」として、それに関する権限を子ども青少年局長が補助執行し実施した。また、施設開放については、「生涯学習開放」として引き続き教育委員会において実施した。

（4）ふれあい交流事業については、昭和61年に名古屋市、中津川市及び稲武町（現豊田市）の３者間で結ばれた「ふれあい協定」に基づき、教育・スポーツ・文化等の交流を通して市民の友好親善と相互理解を深めた。

２　教 育 委 員 会

（１）教育委員会の組織と活動

ア　教育委員会の組織

教育委員会は、合議制の執行機関で６人の委員で構成され、委員は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は４年で、教育行政の安定を図るため、毎年１人又は２人ずつ改任（又は再任）される。

教育委員会の職務権限は、教育に関する事務を管理執行することであり、市長の権限に属するもの（大学・幼保連携型認定こども園・私立学校及び教育財産の取得・処分に関する事務のほか、教育委員会の所掌に係る事項に関する契約の締結及び予算の執行）を除き、教育事務の大部分に及ぶ。

また、教育委員会は、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を定める権限を有している。

なお、委員の中から教育長が選任され、教育委員会の指揮監督のもとに、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどることとされている。

また、教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、教育長は事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督している。

教育委員会の委員　（平成27年７月１日現在）

職　　名	氏　　名	年齢	職　　業	就任年月日
委　　員　　長	服　部　はつ代	70	団 体 役 員	23.10. 1
委　　員 （委員長職務代理者）	梶　田　　知	58	会 社 役 員	24.10. 8
委　　員 （委員長職務代理者）	福　谷　朋　子	44	弁　護　士	24.10. 8
委　　員	小　栗　成　男	51	会 社 役 員	26. 3.24
委　　員	野　田　敦　敬	57	大 学 教 授	26.10. 1（再任）
委　　員 （教　育　長）	下　田　一　幸	60		25. 4. 1

イ　教育委員会の会議

教育委員会の意思は、教育委員会の会議において決定される。会議は、委員長が招集し、委員長及び在任委員の過半数が出席して開かれ、その議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

平成26年度は、定例会12回、臨時会４回の会議を開き、重要案件の審議を行った。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を教育委員会の会議の審議を経て決定することは実際上不可能であり、合理的とは言えないため、重要な事項を除き、平常事務的な事項の決定は教育長専決規則（昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号）の定めるところにより教育長が専決している。

平成26年度において教育委員会に提出された議案は次のとおりである。

教育委員会議案一覧表

内　　容	件　数	内　　容	件　数
事務局人事に関するもの	2　件	予算に関するもの	2　件
教職員人事に関するもの	8　件	表彰に関するもの	9　件
条例の改正等に関するもの	11　件	社会教育委員等の委嘱等に関するもの	12　件
教育委員会規則に関するもの	24　件	教科書の採択に関するもの	2　件
		そ　の　他	24　件

３　条例規則等の制定改廃（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（１）条　　例

条例番号	名　　称	概　　要
26年46	名古屋市立学校設置条例の一部を改正する条例 ［平成26.7.16公布、平成27.4.1施行他］	幅下小学校、江西小学校及び那古野小学校を統合するとともに、南養護学校分校を設置するため、規定を整理した。
27年1	名古屋市教育委員会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例 ［平成27.3.11公布、未施行］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員会の委員の定数を定めるため、規定を整理した。
27年38	名古屋市いじめ対策検討会議条例 ［平成27.3.25公布、同年4.1施行］	いじめ防止対策推進法に基づき、名古屋市いじめ対策検討会議の設置に関して必要な事項を定めるため、新たに条例を定めた。
27年39	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例の一部を改正する条例 ［平成27.3.25公布、同年4.1施行］	子ども・子育て支援法の制定に伴い、私立幼稚園の授業料の補助対象者を変更するため、規定を整理した。

条例番号	名　　称	概　　要
27年40	名古屋市図書館条例の一部を改正する条例 ［平成27.3.25公布、同年6.2施行］	緑図書館の改築工事に伴い、緑図書館を仮設の場所に移すため、規定を整理した。
27年41	名古屋市生涯学習センター条例の一部を改正する条例 ［平成27.3.25公布、同年8.1施行］	千種生涯学習センター等の使用料の額を改定する等のため、規定を整理した。
27年42	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部を改正する条例 ［平成27.3.25公布、同年4.1施行］	子ども・子育て支援法の制定に伴い、市立幼稚園の授業料について必要な事項を定めるため、規定を整理した。
27年47	名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行他］	文化財保護法に基づき、伝統的建造物群保存地区に関して必要な事項を定めるため、新たに条例を定めた。

（２）教育委員会規則

規則番号	名　　称	概　　要
26年19	名古屋市立高等学校入学料免除規則の一部を改正する規則 ［平成26.4.22公布・施行他］	市立高等学校の授業料を徴収することになったことに伴い、授業料の減免について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
26年20	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 ［平成26.5.16公布・施行他］	市立幼稚園の授業料等の減免の対象者を変更する等のため、規定を整理した。
26年21	教育長及び名古屋市教育委員会事務局職員の勤務時間の特例等に関する規則の一部を改正する規則 ［平成26.6.6公布・施行］	なごや子ども応援委員会を構成するスクールカウンセラー等の勤務時間の特例等について定めるため、規定を整理した。
26年22	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 ［平成26.12.12公布、平成27.1.7施行］	山田中学校の運動場の開放月日を変更するため、規定を整理した。
27年1	名古屋市学校事務支援センター規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	学校事務支援センターの所管事務を変更するため、規定を整理した。
27年2	名古屋市図書館処務規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	児童図書選定協議会の廃止に伴い、整理課収集整理係の分掌事務を変更するため、規定を整理した。
27年3	名古屋市教育委員会会議規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行他］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会委員長と教育長を一本化した新教育長を置くこと等に伴い、規定を整理した。

規則番号	名　　称	概　　要
27年4	教育長専決規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行他］	愛知県教育委員会事務処理特例条例の一部改正等に伴い、教育委員会の議決事項を変更するため、規定を整理した。
27年5	名古屋市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行他］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会委員長と教育長を一本化した新教育長を置くこと等に伴い、規定を整理した。
27年6	名古屋市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、未施行］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会委員長と教育長を一本化した新教育長を置くこと等に伴い、規定を整理した。
26年7	名古屋市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、未施行］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会委員長と教育長を一本化した新教育長を置くことに伴い、規定を整理した。
27年8	教育長及び名古屋市教育委員会事務局職員の勤務時間の特例等に関する規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、未施行］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長が一般職に属する職員から特別職に属する職員となる等のため、規定を整理した。
27年9	名古屋市立高等学校学則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	向陽高等学校に国際科学科を設置する等のため、規定を整理した。
27年10	名古屋市立高等学校の通学区域並びに群及びグループに関する規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	向陽高等学校に国際科学科を設置することに伴い、専門学科等に係るグループ編成において、向陽高等学校の属するグループを定めるため、規定を整理した。
27年11	名古屋市立特別支援学校学則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	西養護学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
27年12	名古屋市立幼稚園園則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部改正に伴い、市立幼稚園の授業料の納付方法について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
27年13	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部改正に伴い、規定を整理した。
27年14	名古屋市博物館条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、平成28.1.1施行］	博物館の駐車場の使用方法に関し、必要な事項を定めるため、規定を整理した。

規則番号	名　　称	概　　要
27年15	名古屋市図書館協議会条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	図書館協議会の定例会の回数を変更するため、規定を整理した。
27年16	名古屋市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.27公布、同年8.1施行］	生涯学習センターの使用申込書の受理期間を変更する等のため、規定を整理した。
27年17	博物館の登録に関する規則 ［平成27.3.27公布、同年4.1施行］	博物館法の一部改正に伴い、博物館の登録に関して必要な事項を定めるため、新たに規則を定めた。
27年18	名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則 ［平成27.3.30公布、同年4.1施行他］	名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例の制定に伴い、保存地区内での現状変更行為の許可に関する手続等に関して必要な事項を定めるため、新たに規則を定めた。
27年19	名古屋市教育委員会事務局規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行他］	総務部総務課の分掌事務を変更する等のため、規定を整理した。
27年20	名古屋市科学館処務規則の一部を改正する規則 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行］	科学館学芸課の主査（天文）を廃止し、主幹（天文）を設置するため、規定を整理した。

（３）市　規　則

規則番号	名　　称	概　　要
26年61	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 ［平成26.6.2公布・施行］	私立高等学校の授業料の補助対象者を区分する所得割額を変更する等のため、規定を整理した。

（４）訓　　令

訓令番号	名　　称	概　　要
27名教委教訓令1	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 ［平成27.1.20公布・施行］	配偶者同行休業制度の新設に伴い、規定を整理した。
27名教委訓令1	名古屋市教育委員会情報あんしん条例施行規程の一部を改正する規程 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行他］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会委員長と教育長を一本化した新教育長を置くこと等に伴い、規定を整理した。

訓令番号	名　　称	概　　要
27名教委教訓令2	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行］	鶴舞中央図書館長の格付けが部長段階から局長段階に変わること等に伴い、規定を整理した。
27名教委教訓令3	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに分掌事務規程の一部を改正する規程 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行他］	総務部総務課庶務係の分掌事務を変更する等のため、規定を整理した。
27名教委教訓令4	教育次長委任規程 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行］	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育次長に委任する事務を定めるため、新たに規程を定めた。
27名教委教訓令5	児童図書選定協議会規程を廃止する規程 ［平成27.3.31公布、同年4.1施行］	児童図書選定協議会を懇談会として運用するため、規程を廃止した。

4　附属機関その他の機関

（1）名古屋市産業教育審議会

産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第11条、名古屋市産業教育審議会委員定数条例（昭和27年名古屋市条例第４号）及び名古屋市産業教育審議会規則（昭和27年名古屋市教育委員会規則第３号）に基づき、昭和27年７月に発足し、教育委員会の諮問に応じて、産業教育に関して調査審議し、教育委員会に対して答申又は建議を行っている。

（2）名古屋市社会教育委員協議会

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び名古屋市社会教育委員条例（昭和24年名古屋市条例第58号）に基づき、教育委員会が委嘱した10人の社会教育委員によって構成される協議会である。名古屋市社会教育委員協議会規則（昭和24年名古屋市教育委員会規則第６号）に基づき、会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べている。任期は２年で、平成26年２月１日に第33期社会教育委員を委嘱した。

平成26年度は、６回開催し、補助金交付などについて審議した。

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立栄小学校長	小口博則
社会教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会会長 日本ボーイスカウト愛知連盟元理事	寺本　充 加藤玲子 東頭信夫

種　　別	役　　職	氏　　名
家庭教育の向上に資する活動を行う者	臨床心理士	後　藤　かをり
学識経験者	名城大学大学院教授	伊　藤　康　児
	金城学院大学教授	原　　史　子
	愛知大学教授・名古屋大学名誉教授	加　藤　鉦　治
	弁護士	長谷川　龍　伸
	公募委員	尾　崎　由利子

（３）名古屋市文化財調査委員会

名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第４号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて市指定文化財の指定などに関して意見を述べるとともに、文化財の保存、活用に関する専門的事項を調査審議している。

平成26年度は、２回開催し、文化財保護行政上の課題などについて審議・報告した。

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

所属・職名	氏　　名	担　当　部　会
愛知淑徳大学非常勤講師	赤　羽　一　郎	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
名古屋造形大学教授	池　田　洋　子	美術工芸
東海学院大学教授	岡　本　真理子	建造物・町並み
名古屋工業大学大学院教授	河　田　克　博	建造物・町並み
名古屋芸術大学教授	岸　野　俊　彦	文書典籍
中京大学非常勤講師	鬼　頭　秀　明	無形文化財・民俗文化財
愛知県立芸術大学名誉教授	熊　田　由美子	美術工芸
南山大学教授	黒　沢　　浩	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
日本福祉大学教授	髙　部　淑　子	文書典籍
中部大学教授	永　田　典　子	無形文化財・民俗文化財
名古屋大学大学院教授	西　澤　泰　彦	建造物・町並み

所属・職名	氏　　名	担　当　部　会
名古屋大学博物館准教授	西　田　佐知子	史跡名勝天然記念物
愛知県立旭丘高等学校教諭	服　部　　誠	無形文化財・民俗文化財
岐阜聖徳学園大学名誉教授	安　田　徳　子	文書典籍
名古屋大学大学院教授	山　本　直　人	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
豊田市美術館前館長	吉　田　俊　英	美術工芸

（４）名古屋市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条及び名古屋市スポーツ推進審議会条例（昭和57年名古屋市条例第16号）に基づき、教育委員会が任命した15人以内によって構成される審議会である。

平成26年度は、２回開催し、名古屋市スポーツ推進計画に基づく事業の実施状況、名古屋市スポーツ功労者顕彰などについて審議した。

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

役　　職	氏　　名
名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長	磯　田　芳　美
中日ドラゴンズ営業本部企画部野球振興少年野球担当	三　木　安　司
名古屋市教育スポーツ協会理事（名古屋市体育協会運営審議員）	後　藤　泰　之
あいち健康の森健康科学総合センターセンター長	津　下　一　代
三重大学教授	鶴　原　清　志
アテネ五輪日本代表（陸上競技）	中　田　有　紀
名古屋市会教育子ども委員会委員長	岡　本　やすひろ
公募委員	竹　内　紀　彦
愛知淑徳大学教授	松　田　秀　子
北京五輪日本代表（シンクロナイズドスイミング）	松　村　亜矢子
名古屋グランパスエイト代表取締役専務	中　林　尚　夫
名古屋大学教授	山　本　裕　二
名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員	淀　川　悦　子

（５）名古屋市図書館協議会

図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び名古屋市図書館協議会条例（昭和44年名古屋市条例第７号）に基づき、鶴舞中央図書館に置かれ、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

平成26年度は、５回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア　利用増加について

イ　収入確保策について

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立東桜小学校長	鈴木直政
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	橋本りゑ子
	コミュニケーションアドバイザー	千田伸子
家庭教育の向上に資する活動を行う者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会母親理事	松井宏美
学識経験者	名城大学人間学部教授	神谷俊次
	愛知県弁護士会図書委員会委員	小林和正
	南山大学人文学部准教授	林　雅代
	同朋大学社会福祉学部講師	木本有香
	中日新聞社編集局資料部部長	越智俊至
	公募委員	野本秀喜

（６）名古屋市児童図書選定協議会

児童図書選定協議会規程（昭和33年名教訓第３号）に基づき、次の事項を審議した。

ア　本市小中学校向図書を選定すること。

イ　選定図書の普及に関すること。

平成26年度は、委員37人と特別委員２人で組織されており、11回開催された。

なお、名古屋市児童図書選定協議会は平成27年3月31日をもって廃止され、平成27年度からは、名古屋市児童図書選定懇談会を新たに設置し、本市小中学校向図書を選定するにあたっての意見を聴取することとなった。

（７）名古屋市博物館協議会

博物館法（昭和26年法律第285号）第20条及び名古屋市博物館条例（昭和52年名古屋市条例第８号）に基づき、博物館に置かれ、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成26年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成25年度事業報告・決算について

イ　平成26年度事業中間報告について

ウ　平成26年度中間事業報告について

エ　平成27年度事業計画、予算（案）について

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立汐路小学校長	荒木則子
	学校法人菊武学園理事長	高木弘恵
	名古屋市立向陽高等学校長	津金倫明
社会教育関係者	名古屋市港区西福田学区女性会会長	谷本雅子
	徳川美術館長	徳川義崇
	熱田神宮宝物館長	千秋季頼
家庭教育の向上に資する活動を行う者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	家根谷　佳寿子
学識経験者	日本放送協会名古屋放送局長	菅　　康弘
	中日新聞社名古屋本社事業局長	山口宏昭
	名古屋造形大学教授	池田洋子
	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝　　茂夫
	岐阜聖徳学園大学名誉教授	安田徳子
	東朋テクノロジー株式会社取締役社長	富田英之
	名古屋市博物館資料委員	羽賀祥二
	公募委員	金場昭子

（８）名古屋市美術館協議会

博物館法第20条及び名古屋市美術館条例（昭和63年名古屋市条例第７号）に基づき、美術館に置かれ、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成26年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成25年度事業実施結果について

イ　平成26年度事業実施状況について

ウ　平成27年度事業計画案及び予算案について

委　　員　　（平成27年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立東山小学校長	佐藤佳子
	愛知県私学協会副会長	大谷　　恩
	愛知県立旭丘高等学校長	笹尾幸夫
	名古屋市立向陽高等学校長	津金倫明

種　別	役　職	氏　名
社会教育関係者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	別所眞三
	金城学院大学人間科学部教授	原　史子
	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	橋本りゑ子
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	林　淳子
	公募委員	近藤眞理
学識経験者	愛知県立芸術大学教授	小西信之
	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝　茂夫
	愛知県美術館長	島　敦彦
	名古屋造形大学教授	江本菜穂子
	名古屋大学文学研究科准教授	加藤靖恵

（９）名古屋市科学館協議会

博物館法第20条及び名古屋市科学館条例（昭和37年名古屋市条例第27号）に基づき、科学館に置かれ、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

平成26年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成25年度事業報告について

イ　平成25年度決算見込について

ウ　平成27年度事業計画案について

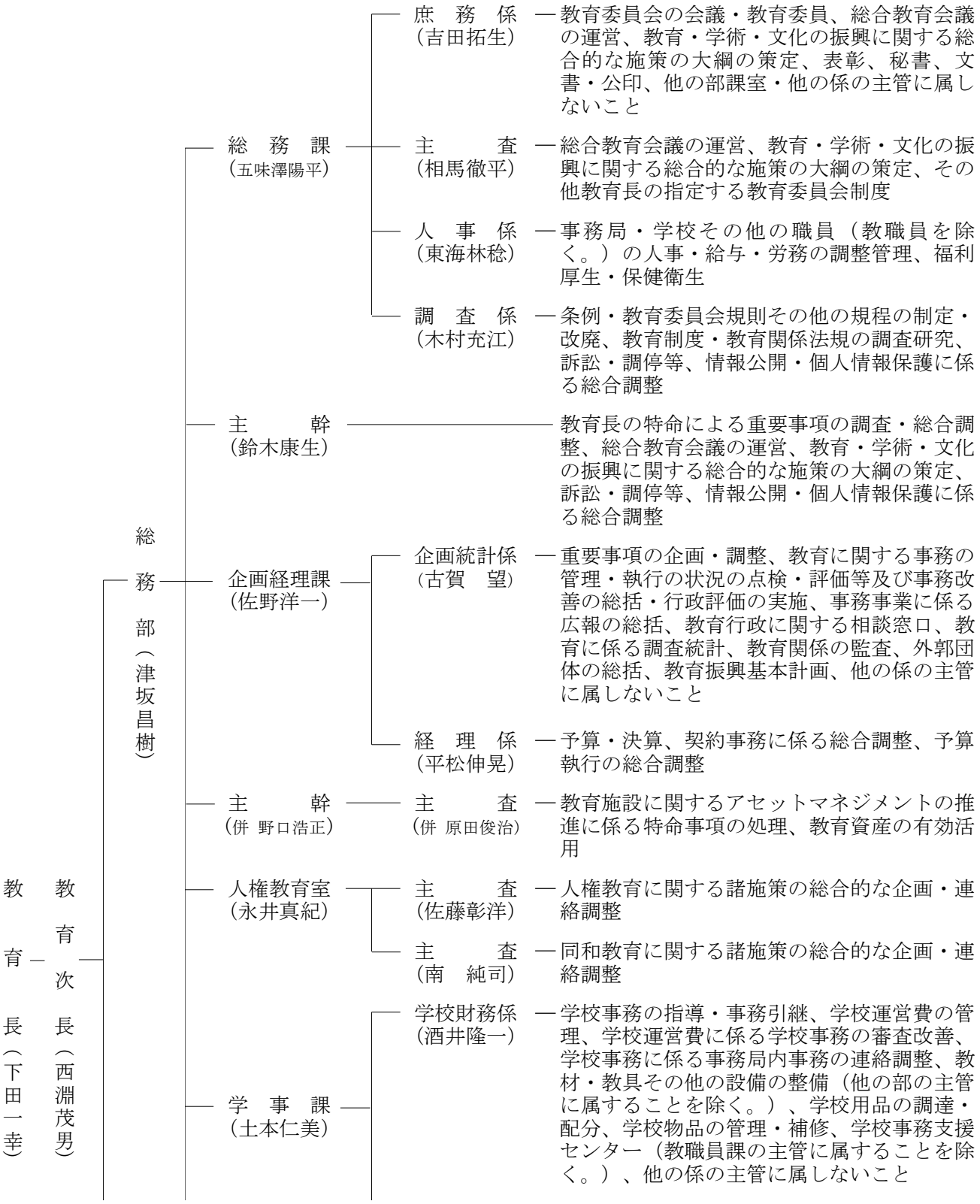
委　員　（平成27年７月１日現在）

種　別	役　職	氏　名
学校教育関係者	名古屋市立大宝小学校長	今川郁子
	名古屋市立菊里高等学校長	加藤雄司
	名古屋市立第三幼稚園長	加藤智子
	愛知県私学協会副会長	大谷　恩
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	青山淑子
家庭教育の向上に資する活動を行う者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	山下清子
	公募委員	村田　実
学識経験者	名古屋看護助産学校非常勤講師	小林身哉
	国立病院機構名古屋医療センター院長	直江知樹
	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	束村博子
	日本放送協会名古屋放送局長	菅　康弘
	公益財団法人中部科学技術センター専務理事	神崎修三
	名古屋商工会議所副会頭	内藤弘康
	中日新聞社名古屋本社事業局長	山口宏昭

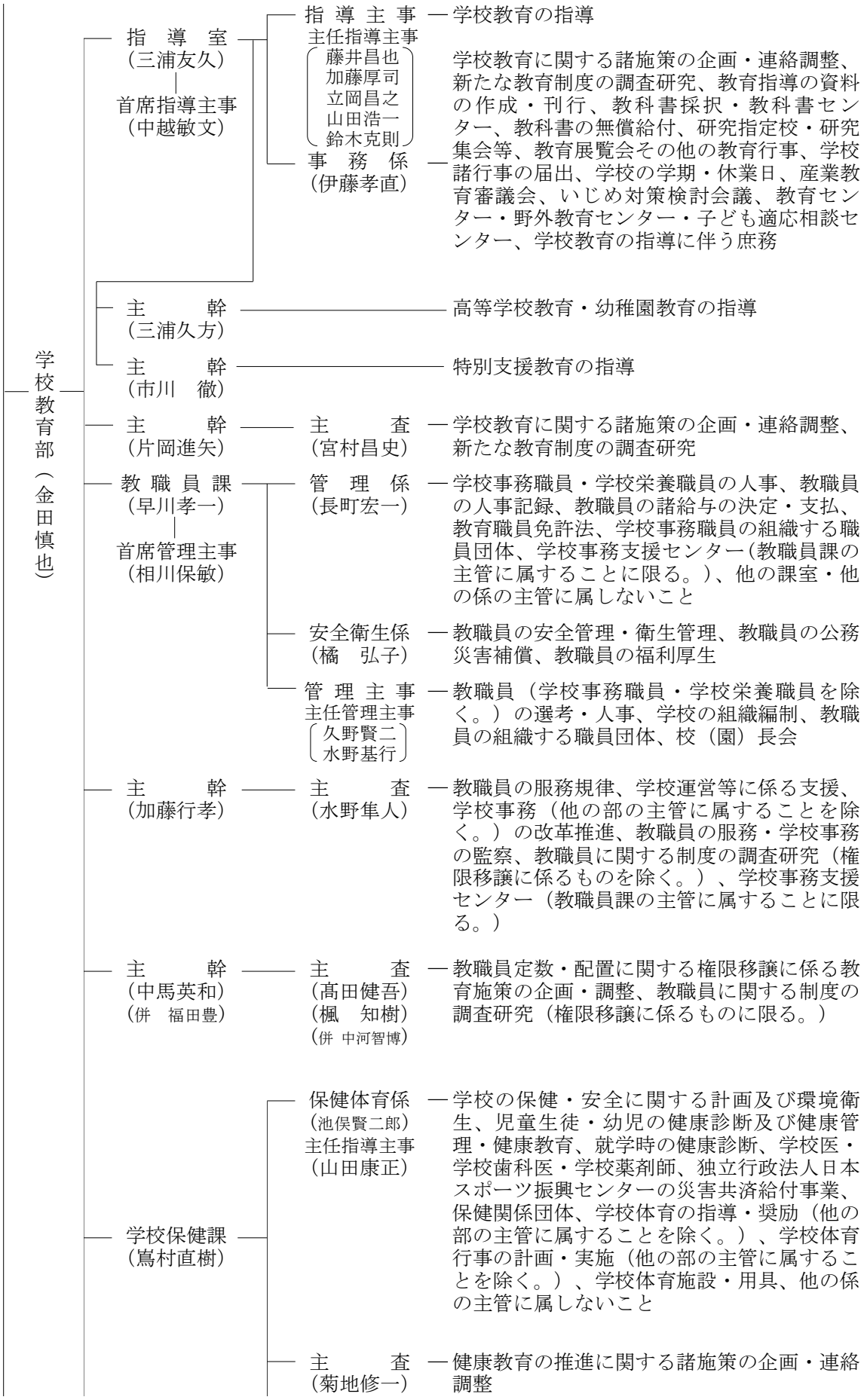
５　教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等

（１）機構及び事務分掌

（平成27年7月1日現在）



- 子ども応援委員会制度担当部長（水野裕之）
  - 学校整備課（坪井浩司）
    - 就学援助係（櫻井英貴）― 学齢児童・学齢生徒の就学及び児童・生徒・幼児の入学・転学・退学の事務手続、就学援助・就学奨励（学校事務支援センターの主管に属することを除く。）、私立学校、学生割引証
    - 主査（筒井亜希子）― 教育長の指定する就学援助・就学奨励
    - 主査（佐藤規子）― 私立学校
    - 管理係（山本佳亮）― 教育財産・普通財産の総括管理、公有財産台帳の整備、学校用地の管理・借地、学校施設の管理、学校施設の目的外使用、選挙公営による学校施設の使用、他の係の主管に属しないこと
    - 整備係（水谷章一）― 学校施設の建設計画の実施、学校施設の保全・改築の計画・実施
    - 主査（佐藤和久）― 学校施設のアセットマネジメントの推進
    - 営繕係（平尾隆明）― 学校施設の維持修繕、学校施設の環境整備（保全・改築の計画及び建設計画に伴うことを除く。）
    - 主査（松永一則）― 小学校・中学校の普通教室への空調設備の設置
  - 学校事務支援センター（谷　茂明）
    - 主査（石田 みゆき 兼 酒井隆一 兼 長町宏一）― 学校事務に係る支援・助言、学校事務改善に係る企画・連絡調整、学校用品の調達・配分の集約、名古屋市立の小学校・中学校間における学校事務の連携、名古屋市立の幼稚園・高等学校の授業料等
  - 子ども応援室（樋口　敦）／首席指導主事（髙原晋一）
    - 子ども応援係（櫻井景子）― 子ども応援委員会制度の実施、子ども応援委員会制度に係る企画・調整、児童生徒の支援体制の調査研究（他の部の主管に属するものを除く。）、他の室の主管に属しないこと
  - 学校計画室（大坪眞人）
    - 計画係（政木弘江）― 学校教育における子どもの学習環境・施設のあり方に係る総合的な計画の立案（他の部室の主管に属することを除く。）、学校教育に関する施設の配置・統合・廃止に係る計画・調整、学校の設置・廃止の事務手続、小学校・中学校の通学区域の設定・廃止・変更、施設整備の総合的実施、用地（借地を除く。）の取得に係る総合調整、小規模校対策その他学校規模の適正化の推進
  - 主幹（牛田宏昭）
    - 主査（南　雅彦）― 小学校・中学校・特別支援学校の配置・統合・廃止に係る計画・調整、小規模校対策その他学校規模の適正化の推進
    - 主査（栗本規子）― 幼稚園・認定こども園その他学校教育に関する施設の配置・統合・廃止の計画・調整


学校教育部（金田慎也）
指導室（三浦友久）
首席指導主事（中越敏文）
指導主事 ― 学校教育の指導
主任指導主事
藤井昌也
加藤厚司
立岡昌之
山田浩一
鈴木克則
事務係（伊藤孝直） ― 学校教育に関する諸施策の企画・連絡調整、新たな教育制度の調査研究、教育指導の資料の作成・刊行、教科書採択・教科書センター、教科書の無償給付、研究指定校・研究集会等、教育展覧会その他の教育行事、学校諸行事の届出、学校の学期・休業日、産業教育審議会、いじめ対策検討会議、教育センター・野外教育センター・子ども適応相談センター、学校教育の指導に伴う庶務
主幹（三浦久方） ― 高等学校教育・幼稚園教育の指導
主幹（市川 徹） ― 特別支援教育の指導
主幹（片岡進矢）
主査（宮村昌史） ― 学校教育に関する諸施策の企画・連絡調整、新たな教育制度の調査研究
教職員課（早川孝一）
首席管理主事（相川保敏）
管理係（長町宏一） ― 学校事務職員・学校栄養職員の人事、教職員の人事記録、教職員の諸給与の決定・支払、教育職員免許法、学校事務職員の組織する職員団体、学校事務支援センター（教職員課の主管に属することに限る。）、他の課室・他の係の主管に属しないこと
安全衛生係（橘 弘子） ― 教職員の安全管理・衛生管理、教職員の公務災害補償、教職員の福利厚生
管理主事 ― 教職員（学校事務職員・学校栄養職員を除く。）の選考・人事、学校の組織編制、教職員の組織する職員団体、校（園）長会
主任管理主事
久野賢二
水野基行
主幹（加藤行孝）
主査（水野隼人） ― 教職員の服務規律、学校運営等に係る支援、学校事務（他の部の主管に属することを除く。）の改革推進、教職員の服務・学校事務の監察、教職員に関する制度の調査研究（権限移譲に係るものを除く。）、学校事務支援センター（教職員課の主管に属することに限る。）
主幹（中馬英和）
（併 福田豊）
主査（髙田健吾）
（楓 知樹）
（併 中河智博） ― 教職員定数・配置に関する権限移譲に係る教育施策の企画・調整、教職員に関する制度の調査研究（権限移譲に係るものに限る。）
学校保健課（嶌村直樹）
保健体育係（池俣賢二郎） ― 学校の保健・安全に関する計画及び環境衛生、児童生徒・幼児の健康診断及び健康管理・健康教育、就学時の健康診断、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付事業、保健関係団体、学校体育の指導・奨励（他の部の主管に属することを除く。）、学校体育行事の計画・実施（他の部の主管に属することを除く。）、学校体育施設・用具、他の係の主管に属しないこと
主任指導主事（山田康正）
主査（菊地修一） ― 健康教育の推進に関する諸施策の企画・連絡調整

- 小学校給食係（碓氷義行）― 学校給食（中学校スクールランチを除く。）の運営・同物資の管理、学校給食の衛生管理、学校給食に係る調理・栄養の指導、学校給食に係る設備の整備、給食関係団体
- 中学校給食係（上野雄也）― 中学校スクールランチの運営・同物資の管理、中学校スクールランチの衛生管理、中学校スクールランチに係る調理・栄養の指導、中学校スクールランチに係る設備の整備

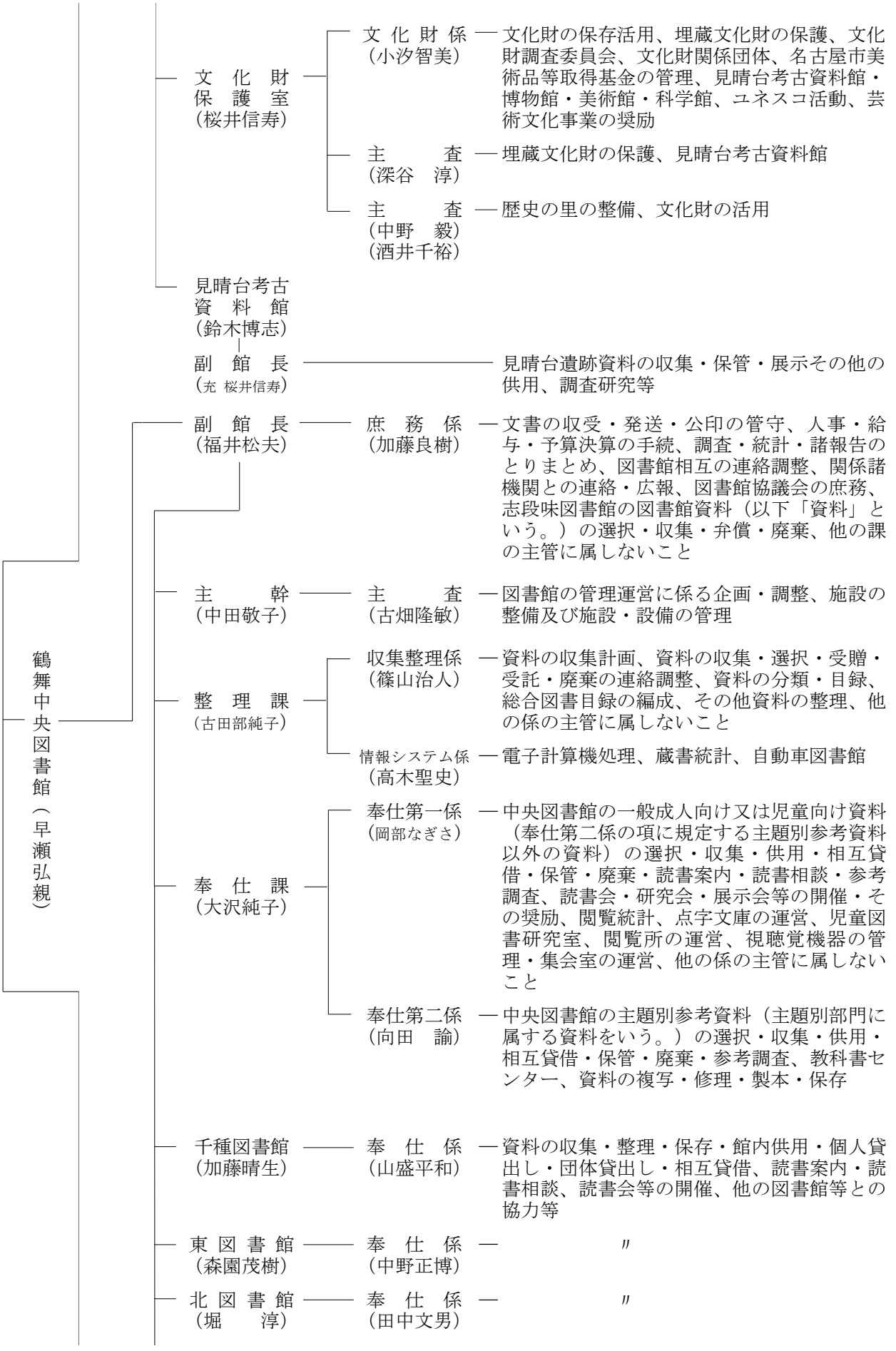
- 主幹（山田博文）
  - 主査（勝田将生）― 学校給食（中学校スクールランチを除く。）の調理業務の効率化に係る施策の企画・調整、学校給食の衛生管理、学校給食に係る設備の整備
- 稲武野外教育センター（神谷洋一）
  - 副所長（水野　聡）― 野外教育の施設としてセンターを使用させること、野外教育に関する指導・助言・調査研究・図書その他の資料の収集等
- 中津川野外教育センター（角谷京一）
  - 副所長（酒向正人）― 〃
- 子ども適応相談センター（森　敬之）
  - 教育相談部（古田多佳子）― 不登校児の教育相談･心理療法による治療･相談に関する調査研究、他の部の主管に属しないこと
  - 適応指導部（髙橋英貴）― 不登校児の学習指導・生活指導、不登校児の指導に関する調査研究
- 生涯学習課（百合草和善）
  - 管理係（永井祐司）― 社会教育委員、生涯学習センター・女性会館に係る総合調整、小学校施設の生涯学習開放、高等学校施設の学習開放、生涯学習に関する事業の連絡調整、図書館（他の係の主管に属することを除く。）、他の課室・他の係の主管に属しないこと
  - 社会教育係（谷藤洋久）― 生涯学習の推進に関する諸施策の企画・調整、社会教育に関する諸施策の調査研究、成人教育、家庭教育の振興、女性教育、生涯学習センター・女性会館における教育に関する事業の企画・実施に係る専門的事項、ＰＴＡ、女性教育関係団体、視聴覚教育、学校における部活動（他の課の主管に属することを除く。）
  - 主査（野村直弘）― 女性教育、女性教育関係団体、女性会館
  - 生涯学習係（鈴木昌泰）― 生涯学習に関する専門的な調査研究・先導的な学習の方法の開発、生涯学習の施策の推進に必要な情報の収集・提供、生涯学習に関する各種の団体・機関との連携協力、生涯学習センター（中村・熱田・名東生涯学習センターに限る。）・女性会館の事業、女性教育の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化

生涯学習部（大島尚美）

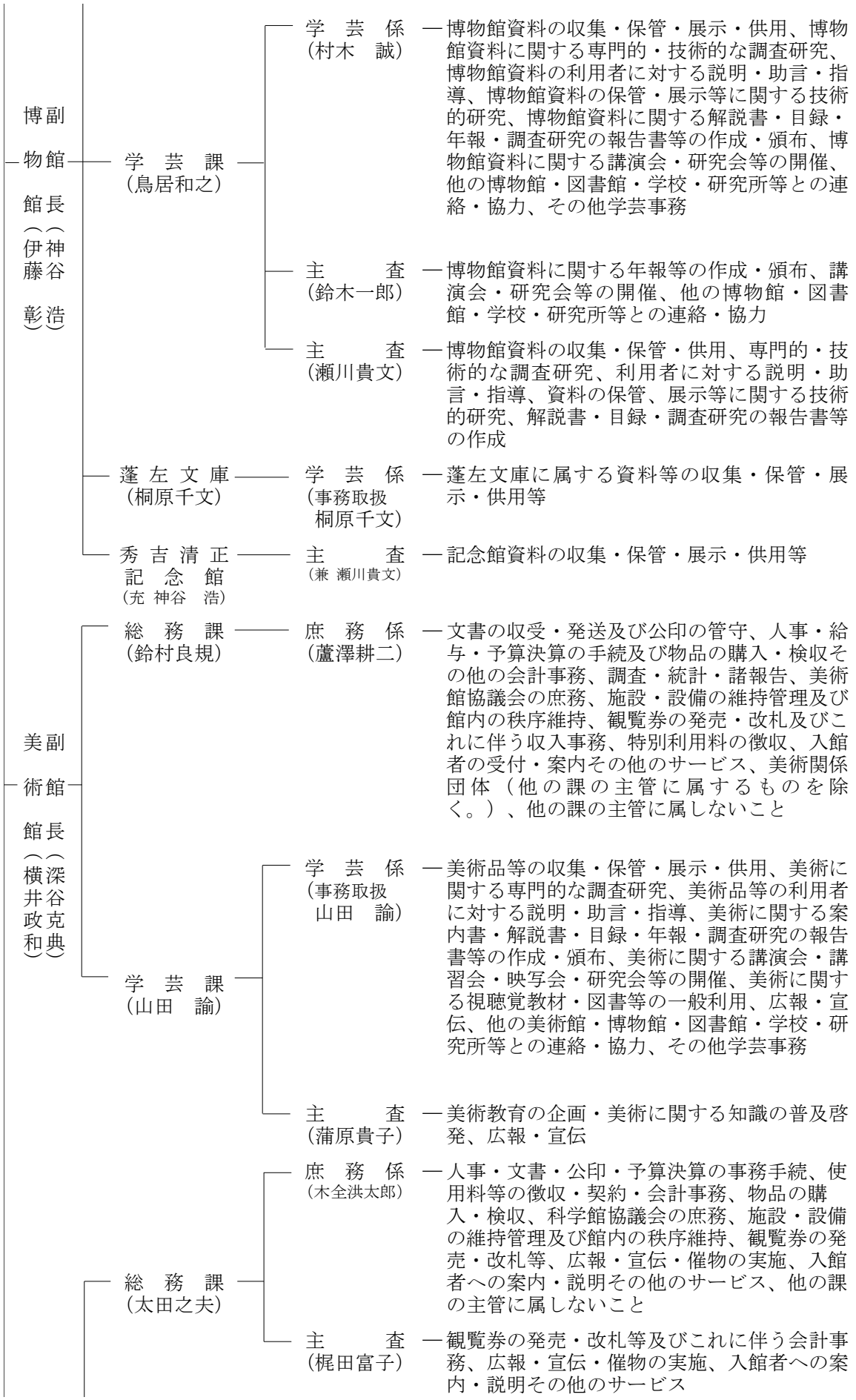
- 主幹（櫻井瑞郎）
  - 生涯学習センター（中村・熱田・名東生涯学習センターに限る。）・女性会館の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化
- 主幹（併）（13）
  - 主査（併）（1）
    - 地域の生涯学習の振興

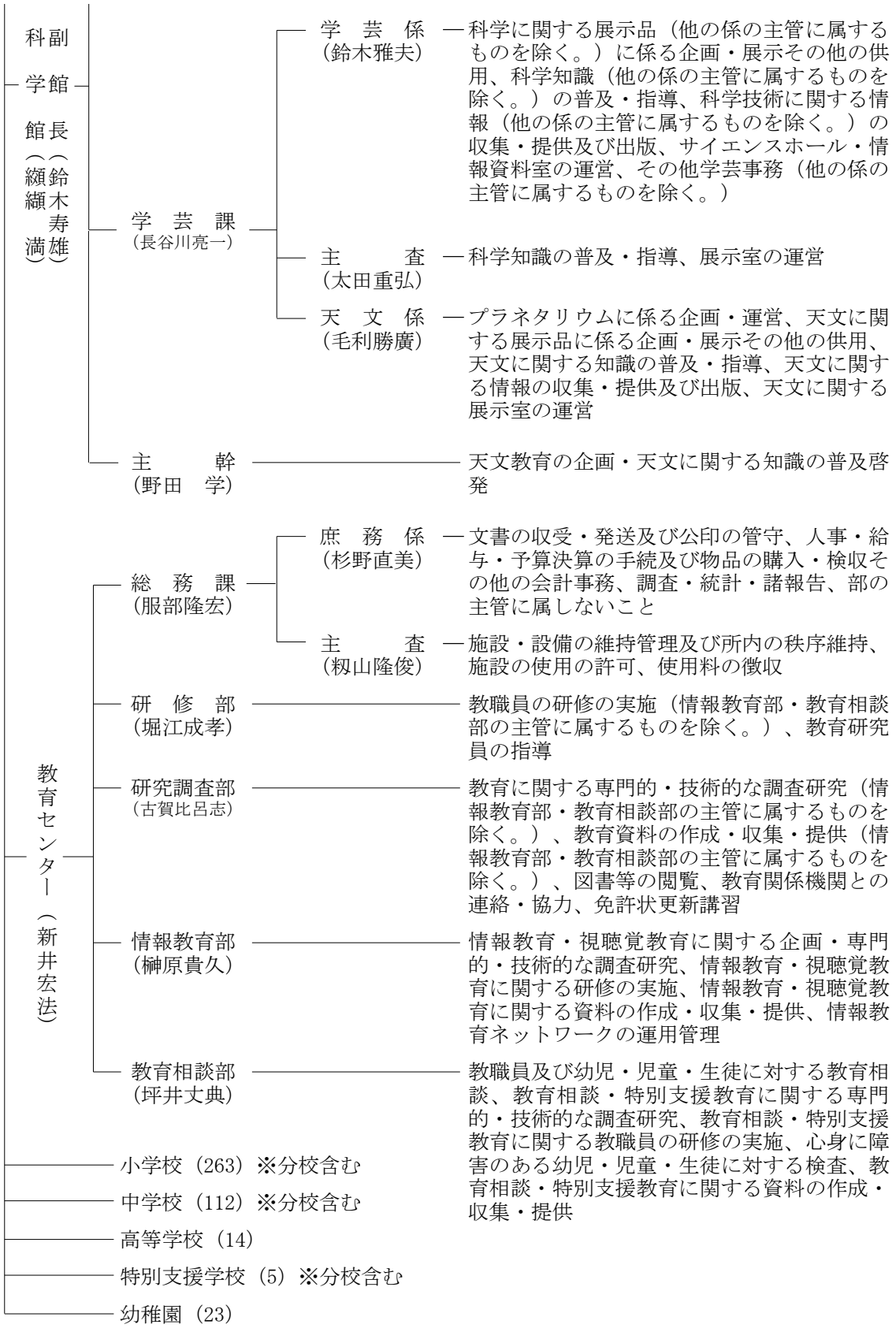
※（併）生涯学習センター館長	
(千種)大野　宏之	(中川)長谷川葉子
(東)大橋　　浩	(港)藤本　知哉
(北)鈴木　淳一	(南)滝川　嘉彦
(西)林　　政隆	(守山)河合　勝人
(中)後藤　和弘	(緑)常包　泰樹
(昭和)大西　　亨	(天白)竹内　勝義
(瑞穂)堺　　英雄	※（併）生涯学習センター主査（緑）山内　富士男

- スポーツ振興課（野嶋　清）
  - 市民スポーツ係（根木　剛）
    - スポーツの普及・振興（他の係の主管に属することを除く。）、市民スポーツ・レクリエーションの指導・奨励（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進審議会、体育関係団体・レクリエーション関係団体（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進委員、教育スポーツ協会、他の係の主管に属しないこと
  - 少年スポーツ係（清水　晃）
    - 少年のスポーツの普及・振興、学校における部活動（体育に係るものに限る。以下「運動部活動」という。）、運動部活動関係団体、運動部活動に関する行事の計画・実施
  - 施設係（平山暁久）
    - 総合体育館・体育館・瑞穂運動場・港サッカー場・プール・名城庭球場・スポーツトレーニングセンター・志段味スポーツランド、体育館その他のスポーツ施設の調査及び整備の計画・実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理
- 主幹（榊原美徳）
  - 総合体育館・体育館・瑞穂運動場・港サッカー場・プール・名城庭球場・スポーツトレーニングセンター・志段味スポーツランド、体育館その他のスポーツ施設の調査及び整備の計画・実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理
  - 主査（森田雅美）
    - スポーツ施設の管理等に関する合理化、体育館その他のスポーツ施設の調査及び整備の計画・実施


鶴舞中央図書館（早瀬弘親）
文化財保護室（桜井信寿）
文化財係（小汐智美）
文化財の保存活用、埋蔵文化財の保護、文化財調査委員会、文化財関係団体、名古屋市美術品等取得基金の管理、見晴台考古資料館・博物館・美術館・科学館、ユネスコ活動、芸術文化事業の奨励
主査（深谷　淳）
埋蔵文化財の保護、見晴台考古資料館
主査（中野　毅）（酒井千裕）
歴史の里の整備、文化財の活用
見晴台考古資料館（鈴木博志）
副館長（充 桜井信寿）
見晴台遺跡資料の収集・保管・展示その他の供用、調査研究等
副館長（福井松夫）
庶務係（加藤良樹）
文書の収受・発送・公印の管守、人事・給与・予算決算の手続、調査・統計・諸報告のとりまとめ、図書館相互の連絡調整、関係諸機関との連絡・広報、図書館協議会の庶務、志段味図書館の図書館資料（以下「資料」という。）の選択・収集・弁償・廃棄、他の課の主管に属しないこと
主幹（中田敬子）
主査（古畑隆敏）
図書館の管理運営に係る企画・調整、施設の整備及び施設・設備の管理
整理課（古田部純子）
収集整理係（篠山治人）
資料の収集計画、資料の収集・選択・受贈・受託・廃棄の連絡調整、資料の分類・目録、総合図書目録の編成、その他資料の整理、他の係の主管に属しないこと
情報システム係（高木聖史）
電子計算機処理、蔵書統計、自動車図書館
奉仕課（大沢純子）
奉仕第一係（岡部なぎさ）
中央図書館の一般成人向け又は児童向け資料（奉仕第二係の項に規定する主題別参考資料以外の資料）の選択・収集・供用・相互貸借・保管・廃棄・読書案内・読書相談・参考調査、読書会・研究会・展示会等の開催・その奨励、閲覧統計、点字文庫の運営、児童図書研究室、閲覧所の運営、視聴覚機器の管理・集会室の運営、他の係の主管に属しないこと
奉仕第二係（向田　諭）
中央図書館の主題別参考資料（主題別部門に属する資料をいう。）の選択・収集・供用・相互貸借・保管・廃棄・参考調査、教科書センター、資料の複写・修理・製本・保存
千種図書館（加藤晴生）
奉仕係（山盛平和）
資料の収集・整理・保存・館内供用・個人貸出し・団体貸出し・相互貸借、読書案内・読書相談、読書会等の開催、他の図書館等との協力等
東図書館（森園茂樹）
奉仕係（中野正博）
〃
北図書館（堀　淳）
奉仕係（田中文男）
〃

楠図書館（兼 堀　淳）	奉仕係（西　隆子）	〃	
西図書館（山本和良）	奉仕係（塩沢宏之）	〃	
山田図書館（兼 山本和良）	奉仕係（大久保智恵）	〃	
中村図書館（坂東　彰）	奉仕係（中村　剛）	〃	
瑞穂図書館（田中敦司）	奉仕係（蓑島直子）	〃	
熱田図書館（朝倉　宏）	奉仕係（山田靖子）	〃	
中川図書館（安立満裕）	奉仕係（山中隆敏）	〃	
富田図書館（兼 安立満裕）	奉仕係（河合和美）	〃	
港図書館（井戸千鶴）	奉仕係（森田和光）	〃	
南陽図書館（兼 井戸千鶴）	奉仕係（阪口泰子）	〃	
南図書館（佐々木孝）	奉仕係（山下豊春）	〃	
守山図書館（山本泰雄）	奉仕係（中村繁夫）	〃	
緑図書館（山下博文）	奉仕係（岩田孝司）	〃	
徳重図書館（兼 山下博文）	奉仕係（天野和彦）	〃	
名東図書館（兼 加藤晴生）	奉仕係（西村正博）	〃	
天白図書館（尾田　功）	奉仕係（小出哲生）	〃	
総務課（阪野吉雄）	庶務係（長谷川裕一）	文書の収受・発送及び公印の管守、人事・給与・予算決算の手続及び物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、博物館協議会の庶務、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料・使用料の徴収、他の課の主管に属しないこと	
	主査（梅村尚生）	施設・設備の維持管理及び館内の秩序維持、施設の使用の許可、入館者の受付・案内その他のサービス、分館	

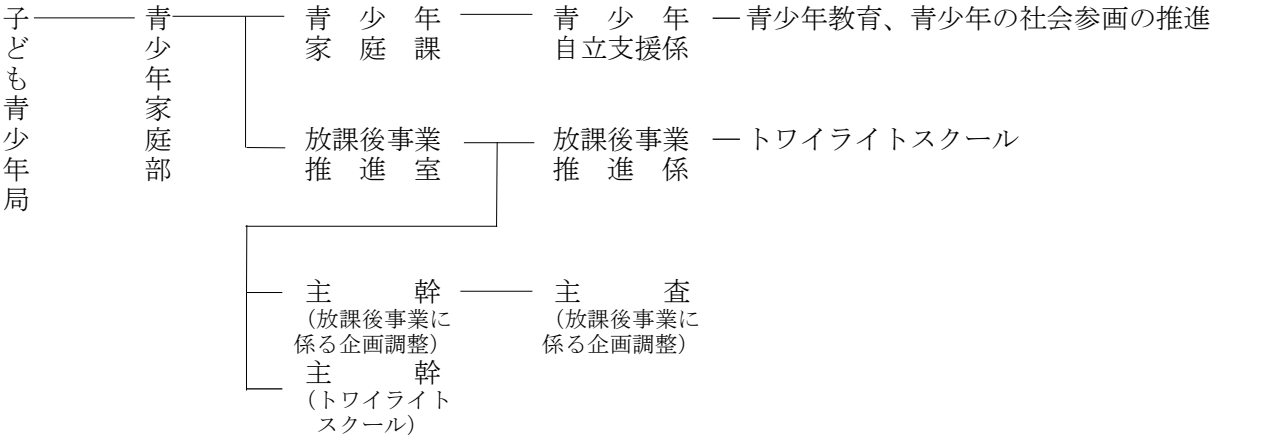

博物館副館長（伊藤彰浩）
学芸課（鳥居和之）
学芸係（村木 誠）
博物館資料の収集・保管・展示・供用、博物館資料に関する専門的・技術的な調査研究、博物館資料の利用者に対する説明・助言・指導、博物館資料の保管・展示等に関する技術的研究、博物館資料に関する解説書・目録・年報・調査研究の報告書等の作成・頒布、博物館資料に関する講演会・研究会等の開催、他の博物館・図書館・学校・研究所等との連絡・協力、その他学芸事務
主査（鈴木一郎）
博物館資料に関する年報等の作成・頒布、講演会・研究会等の開催、他の博物館・図書館・学校・研究所等との連絡・協力
主査（瀬川貴文）
博物館資料の収集・保管・供用、専門的・技術的な調査研究、利用者に対する説明・助言・指導、資料の保管、展示等に関する技術的研究、解説書・目録・調査研究の報告書等の作成
蓬左文庫（桐原千文）
学芸係（事務取扱 桐原千文）
蓬左文庫に属する資料等の収集・保管・展示・供用等
秀吉清正記念館（充 神谷 浩）
主査（兼 瀬川貴文）
記念館資料の収集・保管・展示・供用等
美術館副館長（横井政和）
総務課（鈴村良規）
庶務係（蘆澤耕二）
文書の収受・発送及び公印の管守、人事・給与・予算決算の手続及び物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、美術館協議会の庶務、施設・設備の維持管理及び館内の秩序維持、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料の徴収、入館者の受付・案内その他のサービス、美術関係団体（他の課の主管に属するものを除く。）、他の課の主管に属しないこと
学芸課（山田 諭）
学芸係（事務取扱 山田 諭）
美術品等の収集・保管・展示・供用、美術に関する専門的な調査研究、美術品等の利用者に対する説明・助言・指導、美術に関する案内書・解説書・目録・年報・調査研究の報告書等の作成・頒布、美術に関する講演会・講習会・映写会・研究会等の開催、美術に関する視聴覚教材・図書等の一般利用、広報・宣伝、他の美術館・博物館・図書館・学校・研究所等との連絡・協力、その他学芸事務
主査（蒲原貴子）
美術教育の企画・美術に関する知識の普及啓発、広報・宣伝
総務課（太田之夫）
庶務係（木全洪太郎）
人事・文書・公印・予算決算の事務手続、使用料等の徴収・契約・会計事務、物品の購入・検収、科学館協議会の庶務、施設・設備の維持管理及び館内の秩序維持、観覧券の発売・改札等、広報・宣伝・催物の実施、入館者への案内・説明その他のサービス、他の課の主管に属しないこと
主査（梶田富子）
観覧券の発売・改札等及びこれに伴う会計事務、広報・宣伝・催物の実施、入館者への案内・説明その他のサービス



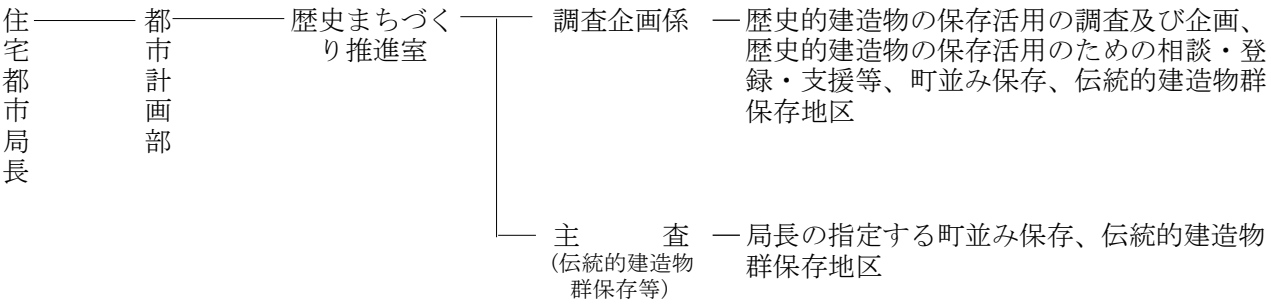
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ派遣

局付理事		局付主査	
〈事務局長〉	平林 幸伸	〈総務課庶務係長〉	川口 義宏
局付主幹		〈総務課経理係長〉	大重健太郎
〈総務課長〉	瀬音 秀幸		
〈学校開放課長〉	小川 真一		
〈学校給食課長〉	長谷川新樹		

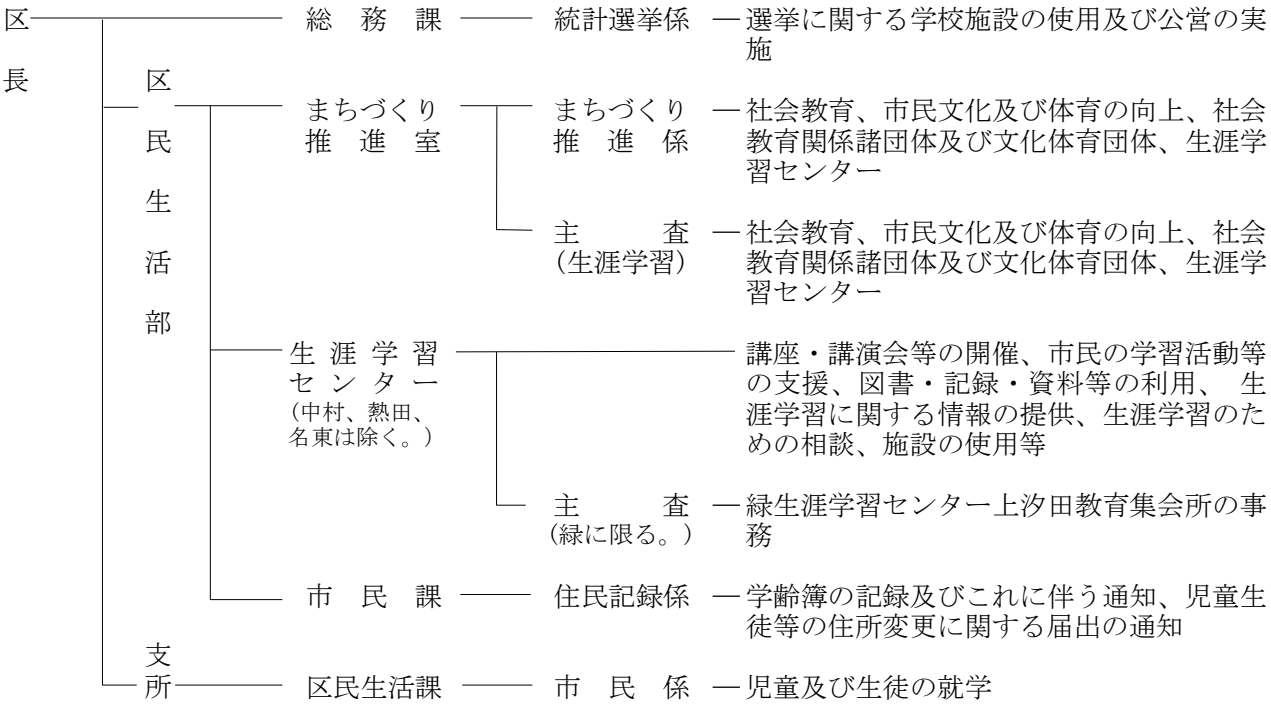
（2）子ども青少年局における教育関係事務



（3）住宅都市局における教育関係事務



（4）区役所（16区）における教育関係事務



職種別 / 組織機構	合計	指導主事	社会教育主事	事務職員			技術職員			
				主事等	司書	学芸員	技師等	保健師	管理栄養士	業務士
総計	673	140	30	335	99	42	13	2	5	7
小計（事務局）	363	98	28	215	—	7	6	2	5	2
総務部	97	—	2	93	—	—	1	—	—	1
総務課	27	—	—	27	—	—	—	—	—	—
企画経理課	17	—	—	17	—	—	—	—	—	—
人権教育室	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—
学事課	24	—	—	23	—	—	—	—	—	1
学校整備課	26	—	—	25	—	—	1	—	—	—
子ども応援委員会制度担当部	61	47	—	14	—	—	—	—	—	—
子ども応援室	51	46	—	5	—	—	—	—	—	—
学校計画室	10	1	—	9	—	—	—	—	—	—
学校教育部	115	50	—	56	—	—	1	2	5	1
指導室	44	29	—	14	—	—	—	—	—	1
教職員課	45	17	—	26	—	—	—	2	—	—
学校保健課	26	4	—	16	—	—	1	—	5	—
生涯学習部	90	1	26	52	—	7	4	—	—	—
生涯学習課	47	—	25	21	—	—	1	—	—	—
スポーツ振興課	25	1	1	22	—	—	1	—	—	—
文化財保護室	18	—	—	9	—	7	2	—	—	—
小計（公所）	310	42	2	120	99	35	7	—	—	5
学校事務支援センター	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—
稲武野外教育センター	6	1	—	2	—	—	—	—	—	3
中津川野外教育センター	4	1	—	2	—	—	—	—	—	1
子ども適応相談センター	11	8	—	3	—	—	—	—	—	—
見晴台考古資料館	3	—	—	1	—	2	—	—	—	—

鶴舞中央図書館	57	—	—	16	40	—	—	—	—	1
千種図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
東図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
北図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
楠図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
西図書館	6	—	—	2	4	—	—	—	—	—
山田図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
中村図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
瑞穂図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
熱田図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
中川図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
富田図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
港図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
南陽図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
南図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
守山図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
緑図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
徳重図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
名東図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
天白図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
博物館	31	—	—	15	—	13	3	—	—	—
蓬左文庫	4	—	—	2	1	1	—	—	—	—
秀吉清正記念館	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—
美術館	16	—	—	9	—	6	1	—	—	—
科学館	34	—	2	18	—	12	2	—	—	—
教育センター	48	32	—	15	—	—	1	—	—	—

（注）１　教育長を除く。
　　２　事務職員の役職者は主事等に、技術職員の役職者は技師等に含む。
　　３　休職、休業に係る定数外指定の職員を含む。

６　教育委員会所管施設一覧

学校教育施設	幼稚園	23	社会教育施設	生涯学習センター（分館含む）	17
	小学校（分校含む）	263		女性会館	1
	中学校（分校含む）	112		総合体育館	1
	高等学校	14		体育館	14
	特別支援学校（分校含む）	5		名城庭球場	1
	野外教育センター（分館含む）	3		プール	13
	子ども適応相談センター	1		スポーツランド	1
	小計	421		スポーツトレーニングセンター	2
その他の施設	学校事務支援センター	1		瑞穂運動場	1
	教育センター（分館含む）	2		港サッカー場	1
	小計	3		図書館（分館含む）	21
				博物館（分館含む）	3
				見晴台考古資料館	1
				美術館	1
				科学館	1
				小計	79
				合計	503

７　広報広聴調査活動

（１）広　報

教育委員会の重点施策や事業は、市の広報紙「広報なごや」あるいはテレビ･ラジオ等を通して幅広く市民に知らせるとともに、市政記者クラブを通じて報道機関へ関係資料を提供した。

ア　きょういくなごや

名古屋市の教育の現状を、写真とグラフなどを使ってわかりやすく表したリーフレット。

イ　教育要覧　平成26年版

平成25年度中における市の教育事業等を集録した。

（２）広　聴

市民の教育に対する「声」を行政に反映させることを目的として市民経済局が行う次のような広聴活動に協力した。

ア　個　別　広　聴（市民の声）

市民からの教育に関する提案・意見・要望、苦情、相談・問合せは、市民経済局広聴課および区役所まちづくり推進室を通じて「市民の声」として寄せられた。平成26年度の総数は429件で、その主な内訳は次のとおりである。

声　の　種　類	件　数	声　の　種　類	件　数
1　学　校　教　育	135	2　生　涯　学　習	229
⑴　入学・転校	2	⑴　成人教育	13
⑵　通学区域	15	⑵　社会教育施設	92
⑶　学校施設	23	⑶　博物館施設	51
⑷　教職員	24	⑷　文化財保護	9
⑸　教育指導・教育相談	57	⑸　スポーツ・レクリエーション	64
⑹　就学支援	6		
⑺　学校給食	8	3　そ　の　他	65

イ　集　会　広　聴

（ア）団体広聴

団体から寄せらせる市政への要望や意見のうち、内容が複数局に係わるものについて、団体広聴として市民経済局広聴課が窓口になり、文書回答をし、関係局との話し合いの場を設け、団体とのコミュニケーションに努めている。

平成26年度は、16団体の要望等が団体広聴として処理されたが、そのうち教育に関する要望等が含まれていたのは、10団体であった。

（イ）地域懇談会

区長をはじめ区内公所（署）長と関係局職員が地域区民の意見、提案など直接聴き、これを行政に反映するとともに、市区政についての広報を図り、区民の理解を深めることによって住みよいまちづくりを進めていくことを目的として、地域懇談会を各区で開催している。

平成26年度は、46回開催され、「教育」に関しての事項は34件であった。

（３）調査統計

平成26年度に実施した調査統計は次のとおり13件で、このうち文部科学省主管によるものが３件、県教育委員会主管によるものが３件、市教育委員会が独自に実施したものが７件であった。

＜平成26年度実施の調査統計一覧＞

調査件名	調査実施月	対象と方法	調査事項	主管
学校基本調査	26年５月			文　部科学省
学校調査		市立学校（悉皆）	学校、在学者、学級数等	
卒業後の状況調査		中・高（悉皆）	卒業者数、進学者数等	
不就学学齢児童生徒調査		市教委・区役所（悉皆）	理由別不就学者数	
学校保健統計調査	26年４月	市立学校（標本）	発育・健康状態	〃
地方教育費調査	26年６月	市立学校・市教委（悉皆）	学校教育費、社会教育費及び教育行政費の使途別、財源別支出状況等	〃
中学校卒業者の進学状況調査	26年５月	中学校（悉皆）	高等学校進学者等	県教委
高等学校入学状況調査	26年５月	高等学校（悉皆）	志願者・入学者数	〃
中学校卒業見込者の進路希望状況調査	26年９月 12月	中学校（悉皆）	高等学校への進学希望者数	〃
幼児児童生徒数、学級数、教職員数調査	26年４月	市立学校（悉皆）	在学者数、学級数、教職員数	市教委
小学校卒業者の進学状況調査	26年４月	小学校（悉皆）	設置者別中学校入学状況	〃
高等学校卒業者の進路状況調査	26年４月	高等学校（悉皆）	進学者、就職者数等	〃
学校保健調査	26年４月	市立学校（悉皆）	発育状況、健康状態	〃
長期欠席児童生徒数調査	26年４月	小・中（悉皆）	欠席日数、欠席理由、欠席中の状態等	〃
幼児人口実態調査	26年４月	区役所（悉皆）	学区別幼児（0～5歳）数	〃
義務教育人口の推計	26年５月	市教委、小･中学校（悉皆）	学校別児童生徒数、学級数	〃

８　企画調整事務

企画調整事務は、教育委員会内の重要事項の企画調整並びに他の局等に関わり合いをもつ事務事業についての連絡調整である。各種計画の教育委員会における対応をはじめ、教育委員会内の全般の事務事業について総合的・有機的な執行のための潤滑油的な役割を担っている。

（１）教育委員会内の重要事項の総合調整

教育委員会の重要事業計画及び教育委員会内重要事項の事前・事後調整

（２）複数の局室区にわたる重要事項の連絡調整

総合調整会議にかかる議案の事前調整、その決定事項の事後調整、進行管理

（３）教育長・教育次長の特命による事務事業

教育委員会内各課間における分掌事項の間隙部分に対する対応措置の立案

（４）規程に基づく事務

ア　計画主任の事務（計画主任設置規程）

イ　広報幹事の事務（名古屋市広報広聴事務取扱規程）など

○　本市の計画

計　画　の　名　称	教育委員会関係部分	備　　考
名古屋市基本構想	Ⅳ－３　市民の教育と文化	昭和52年12月20日 市議会で議決
名古屋市総合計画2018	施策 7, 8, 9, 10, 12, 13, 15, 16, 18, 33, 34, 35, 38, 43, 44の該当部分	平26年10月１日 市議会で議決 （～平成30年度まで）

９　争　訟　事　務

（１）教職員に係る勤務条件に関する措置要求

平成26年度中に市人事委員会の判定又は決定があった勤務条件に関する措置要求は、３件である。

ア　平成26年２月10日、同月26日及び３月12日提出の件（平成26年人委（措）第１号、第２号及び第３号併合）　要求者　中学校教諭

要求者が職場訪問学習の準備や学年研究会のため、休憩時間をとることができないまま勤務時間を超えて勤務したこと、校長が職員の勤務時間の管理を怠ったこと等について、休憩時間に働いた分の超過勤務手当を要求者に支払うこと、校長を懲戒処分にすること等

（平成26年７月14日名古屋市人事委員会判定「要求却下・要求棄却」）

（２）教職員に係る訴訟事件

ア　懲戒免職処分取消等請求事件（平成26年（行ウ）第 135号）

原告　元中学校事務職員

被告　名古屋市

中学校の元学校事務職員である原告が、公金を横領したとの処分理由により懲戒免職処分を受けたが、当該懲戒免職処分は違法であるとして、懲戒免職処分の取消し等を請求して、平成26年12月10日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

（３）その他の訴訟事件

ア　損害賠償請求事件（平成25年（ワ）第 745号）

原告　元中学校の生徒及びその保護者

被告　名古屋市

当時中学生であった原告が、同級生生徒らからのいじめを受けたことに対して、いじめを防止できなかったこと及び事案把握後の学校側の対応に対する慰謝料等として、 1,760万円の支払いを請求して、平成25年２月25日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

イ　損害賠償請求事件（平成26年（ワ）第 215号）

原告　小学校の児童及びその保護者

被告　名古屋市

小学校の児童である原告が、同級生児童からいじめ行為の被害に遭い不登校になったことに対して、学校側が適切な措置を怠ったことにより精神的損害を受けたとして、慰謝料等約3,045万円の支払いを請求して、平成26年１月20日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

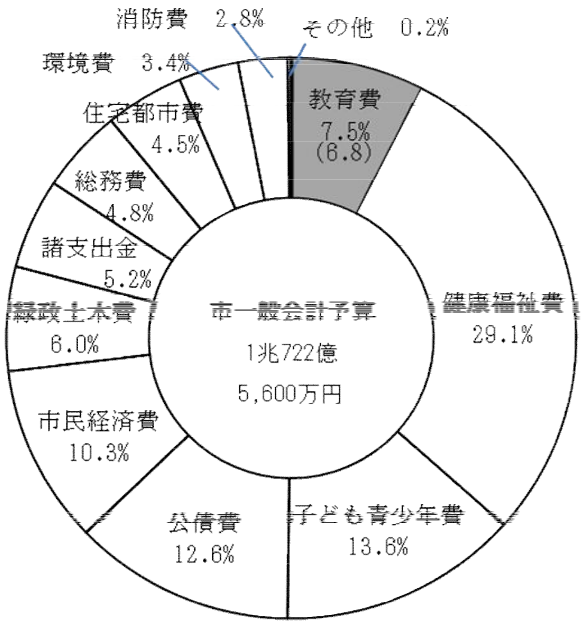
第２章　教　育　財　政

１　平成27年度教育関係予算の概要

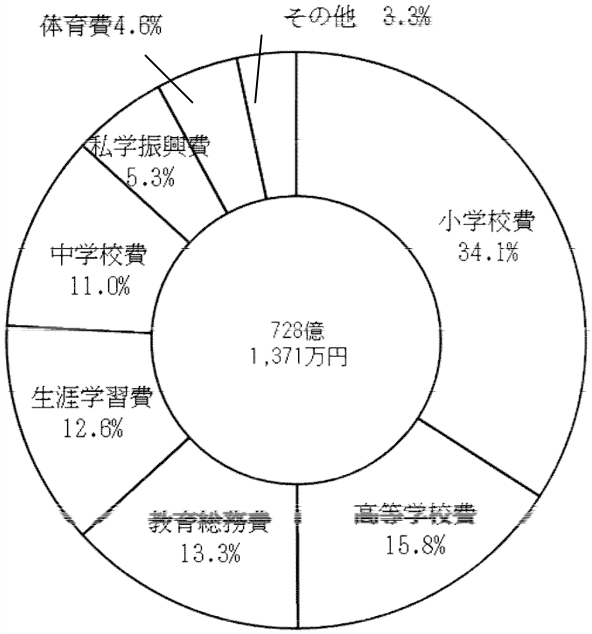
（１）平成27年度当初予算

教育委員会所管予算額は、728億1,371万円で、一般会計の総額1兆722億5,600万円のうち6.8%を占めている。

一般会計予算内訳（単位%）



教育委員会所管予算科目別内訳（単位%）



教育費（　）は、教育委員会所管分

当初予算の科目別内訳

科　　目	27年度 予算額	26年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
教育総務費	9,695,653	9,037,136	658,517	
教育委員会費	10,954	10,954	－	委員会の運営費
事務局費	3,799,821	3,329,355	470,466	教職員の人事管理費、職員の人件費始め事務局運営費
教育指導費	2,158,242	2,044,271	113,971	学校教育の指導・支援費及び子ども適応相談センターの運営費
学校保健体育費	1,143,520	1,130,524	12,996	学校医等の報酬、学校保健衛生対策費及び学校体育振興費

科　　目	27年度 予算額	26年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
教育奨励費	1,704,892	1,730,455	△25,563	要・準要保護児童生徒及び定時制高校生の就学奨励事業費
教育センター費	582,392	512,537	69,855	教育センターの運営費
野外教育センター費	295,832	279,040	16,792	稲武・中津川野外教育センター、野外学習センターの運営費
小学校費	24,838,251	17,290,445	7,547,806	
学校管理費	15,554,081	15,473,209	80,872	小学校263校の運営費
学校整備費	9,284,170	1,817,236	7,466,934	普通教室空調設備の工事費、大規模改造の工事費
中学校費	8,004,468	10,057,942	△2,053,474	
学校管理費	6,656,753	6,657,198	△445	中学校112校の運営費
学校整備費	1,347,715	3,400,744	△2,053,029	天井等落下防止対策の工事費、公害対策校における空調設備の工事費
高等学校費	11,534,450	11,057,208	477,242	
学校管理費	11,534,450	11,057,208	477,242	全日制13校、定時制２校の運営費
幼稚園費	1,674,636	1,801,029	△126,393	
幼稚園費	1,674,636	1,801,029	△126,393	幼稚園23園の運営費
特別支援学校費	736,830	1,060,340	△323,510	
学校管理費	736,830	1,060,340	△323,510	特別支援学校５校の運営費
私学振興費	3,869,070	4,019,413	△150,343	
私学振興費	3,869,070	4,019,413	△150,343	私立高校生、私立幼稚園児の授業料補助など各種助成
生涯学習費	9,138,716	7,955,785	1,182,931	
生涯学習推進費	4,106,371	4,063,575	42,796	生涯学習の推進、学校開放事業の実施、部活動の振興、成人・女性教育の振興、文化財の保護及び職員の人件費
生涯学習施設費	631,787	630,525	1,262	生涯学習センター（16館）、女性会館、見晴台考古資料館等生涯学習施設の運営費

科　　目	27年度 予算額	26年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
図　書　館　費	1,122,640	1,099,065	23,575	図書館（21館）の運営費
博　物　館　費	369,173	373,163	△3,990	博物館の運営費
科　学　館　費	663,825	682,086	△18,261	科学館の運営費
美　術　館　費	225,422	239,663	△14,241	美術館の運営費
生　涯　学　習 施　設　整　備　費	2,019,498	867,708	1,151,790	歴史の里の整備
体　　育　　費	3,321,636	3,334,116	△12,480	
体　育　振　興　費	3,321,636	3,334,116	△12,480	市民スポーツの振興費及び総合体育館、スポーツセンター（13館）、市営プール（13か所）、瑞穂運動場、志段味スポーツランド等市民体育施設の運営費
計	72,813,710	65,613,414	7,200,296	

（２）当初予算の推移（教育委員会所管分）

年　度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
(百万円) 教 育 費	73,103	72,834	69,943	70,327	78,204	66,829	61,715	61,168	65,614	72,814
(%) 対前年 度伸率	△3.7	△0.4	△4.0	0.5	11.2	△14.5	△7.7	△0.9	7.3	11.0

２　新規・拡充事業及び重点施策

事項	主な内容
スポーツセンター等の窓ガラス飛散防止対策	●避難所となるスポーツセンター等の安全対策のための窓ガラスの取替及び飛散防止フィルムの貼付
スポーツセンター等の天井等落下防止対策調査	●競技場の吊り天井等について、地震発生時の落下防止対策を行うための調査
なごや小学校新校舎の建設	●平成 27 年度に幅下・江西・那古野小学校を統合し、幅下小学校跡地に新校舎を建設
高等特別支援学校の整備に向けた調査	●職業教育へのニーズの高まりや高等部の生徒増加による特別支援学校の狭あい化に対応するための高等特別支援学校の整備に向けた調査
教育館移転改築基本構想の策定	●老朽化が進み、耐震性が不十分な教育館の移転改築にかかる基本構想の策定及び用地の先行取得のための不動産鑑定
第100回日本陸上競技選手権大会の開催準備	●平成28年度開催に向けた競技用備品の更新
第93回日本選手権水泳競技大会の開催準備	●平成29年度開催に向けた競技用備品の更新等
小学校のリニューアル改修	●築 40 年程度経過した東志賀小学校の校舎のリニューアル改修
肢体不自由学級設置校へのエレベーターの整備	●中学校の肢体不自由学級設置校においてエレベーターを整備
高等学校におけるグローバル人材の育成	●世界で活躍する人材を育てるため、向陽高等学校国際科学科及び北高等学校普通科国際理解コースを設置し、理数教育及び外国語教育を充実
高等学校の今後のあり方検討	●高等学校教育に対するニーズの変化などを調査し、市立高等学校の今後のあり方について検討
幼稚園の今後のあり方検討	●子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、市立幼稚園の今後のあり方について検討
なごや子ども応援委員会の運営	●いじめや不登校など児童生徒に関わる諸問題へ対応するなごや子ども応援委員会の体制を強化
スクールカウンセラーの配置	●いじめ問題等の悩みを抱える児童生徒や保護者等へのカウンセリング体制の充実
学校における仲間づくり推進事業	●児童生徒が互いに思いやる心を身につけ、友情を深め合うための自主的ないじめ防止活動を推進
学習支援講師の配置	●発達障害対応支援講師、不登校対応支援講師、学習指導支援講師、日本語指導講師、生徒指導支援講師を配置

ことばの力育成事業	●学習の基本となることばの力の向上を図るため、国語科補助教材の活用促進及び国語科標準学力調査等を実施
発達障害対応支援員の配置	●発達障害の可能性のある幼児・児童生徒の介助等を行うための支援員を配置
通級指導定着支援員の配置	●発達障害の可能性のある児童生徒への通級指導教室での指導をより効果的に定着させるための支援員を新たに配置
医療的ケアが必要な障害のある児童生徒の学校生活支援	●医療的ケアが必要な障害のある児童生徒に対する学校生活における支援
母語学習協力員の配置	●バイリンガルの学習協力員を配置し、日本語指導や適応相談を実施
子ども適応相談センター第２サテライトスクールの運営	●子ども適応相談センターの通所者数の増加への対応等のため、男女平等参画推進センターの旧施設を活用し、第２サテライトスクールを設置
社会保障・税番号制度の導入に向けた就学援助システムの改修	●就学援助システムにおいて、マイナンバーを利用する機能を付加する改修等
私立幼稚園授業料補助	●市民税非課税世帯、市民税所得割非課税世帯への補助額の増
土曜日の教育活動推進事業	●伝統芸能や郷土史探索など体験を重視した土曜日の学習プログラム
緑図書館のリニューアル改修	●バリアフリー対策や耐震対策が未実施である緑図書館の内外装の改修、設備機器の更新等を行うリニューアル改修
瑞穂公園陸上競技場芝生フィールドの改修	●経年劣化した瑞穂公園陸上競技場の芝生を全面張替
科学館Ｂ６型蒸気機関車の動態展示に向けた調査	●科学館の屋外展示物であるＢ６型蒸気機関車の動態展示に向けた調査
山車行事の総合調査	●名古屋三大祭に関連した山車行事についての調査
歴史の里の整備	●国史跡である志段味古墳群を活用し、歴史を身近に感じ、体験・学習できるエリアにするための整備及び用地取得等
小・中・高等学校の耐震改修	●建物強度確認調査の結果、耐震性が不十分と判断された校舎等の耐震改修
小・中・高等学校の天井等落下防止対策	●体育館及び格技場の吊り天井等について、地震発生時の落下防止対策としての撤去等
図書館の耐震改修	●対策が必要とされた名東図書館の耐震改修
小学校１・２年生での30人学級の実施	●集団生活への適応を図るため、小学校１・２年生における 30 人学級を全校で実施

小学校校舎の大規模改造	●昭和 55 年以前に建設された校舎の内装・外壁・屋上防水等工事
小学校普通教室空調設備の整備	●小学校の学習環境の充実を図るため、普通教室に空調設備を整備
学校生活アンケートの実施	●いじめや不登校の防止及び早期発見に向けてアンケートを実施
インターネット上におけるいじめ対策	●インターネット上における児童生徒に関する誹謗中傷等問題のある書き込みについて、検索・監視・削除依頼等を行うとともに学校からの相談を受付
幼稚園における預かり保育の実施	●子育て支援の一環として、在園児に対して預かり保育を全園で実施
部活動外部指導者及び顧問の派遣	●市立小・中・高等学校の部活動の充実、活性化を図るため、教員指導者を補助し、専門的な技術指導を行う外部指導者を派遣するとともに、教員指導者がいなくても部活動指導ができるよう顧問を派遣
ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業	●中学生の選手団をロサンゼルス市へ派遣し、バスケットボールの試合を実施
博物館所蔵資料の修復	●劣化が進んでいる伊勢参宮図屏風及び古墳時代の刀剣の修復
ウィーン博物館との交流事業	●友好提携に関する協定書に基づき交流事業を実施
ランス美術館との交流事業	●友好提携に関する覚書に基づき交流事業を実施

3　小・中学校標準運営費

標準運営費とは、各教科等教育活動に要する経費及び学校の維持管理等に要する経費（人件費、光熱水費等を除く。）の標準を算定したものである。

（1）標準運営費の推移

区分／年度	小学校				中学校			
	校数	予算額	1校平均	児童1人平均	校数	予算額	1校平均	生徒1人平均
	校	千円	千円	円	校	千円	千円	円
18	260	2,886,757	11,103	24,014	110	1,681,637	15,288	31,856
19	261	2,800,154	10,729	23,354	110	1,631,188	14,829	30,513
20	262	2,800,154	10,688	23,404	110	1,631,188	14,829	30,631
21	263	2,800,154	10,647	23,548	110	1,631,188	14,829	30,594
22	262	2,800,154	10,688	23,813	110	1,631,188	14,829	30,718
23	262	2,800,154	10,688	24,356	110	1,631,188	14,829	30,421
24	263	2,810,842	10,688	24,694	110	1,631,188	14,829	30,337
25	264	2,809,284	10,641	24,980	110	1,632,660	14,709	30,590
26	264	2,890,925	10,950	25,715	111	1,678,222	15,119	31,827
27	263	2,882,917	10,962	25,589	112	1,692,160	15,109	32,443

（注）事務局等で一括支払又は一括購入する経費を含む。

（２）平成27年度１校当たり標準運営費

区分 / 科目	小学校			中学校		
	27予算	26予算	対前年比較	27予算	26予算	対前年比較
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
報償費	72	71	1	103	105	△2
交際費	6	6	0	6	6	0
需用費	5,404	5,395	9	7,237	7,245	△8
（消耗品費）	(4,846)	(4,843)	(3)	(6,033)	(6,035)	(△2)
（燃料費）	(4)	(4)	(0)	(6)	(6)	(0)
（食糧費）	(19)	(18)	(1)	(17)	(17)	(0)
（印刷製本費）	(299)	(296)	(3)	(949)	(954)	(△5)
（修繕料）	(186)	(184)	(2)	(182)	(182)	(0)
（賄材料費）	(50)	(50)	(0)	(50)	(51)	(△1)
役務費	312	312	0	485	484	1
（通信料）	(264)	(264)	(0)	(408)	(407)	(1)
（手数料）	(48)	(48)	(0)	(77)	(77)	(0)
委託料	357	357	0	416	416	0
使用料及び賃借料	22	22	0	67	67	0
工事請負費	1,848	1,848	0	2120	2,120	0
原材料費	48	48	0	61	61	0
備品購入費	2,883	2,881	2	4,599	4,600	△1
（庁用備品費）	(874)	(874)	(0)	(819)	(819)	(0)
（事業用備品費）	(1,054)	(1,052)	(2)	(2,055)	(2,007)	(△2)
（図書費）	(955)	(955)	(0)	(1,775)	(1,774)	(1)
負担金補助及び交付金	10	10	0	15	15	0
合計	10,962	10,950	12	15,109	15,119	△10

４　マイスクールプラン

小・中・高等学校、特別支援学校では、様々な体験活動や既存の教科の枠を超えた学習を行う等、多彩な特色ある教育活動や学校づくりを「マイスクールプラン」として実施している。

第３章　計　画　の　推　進

１　名古屋市教育振興基本計画

（１）計画の概要

名古屋市教育振興基本計画は、教育を取り巻く環境や諸制度の変化に対応し、本市教育行政の進むべき方向性を明らかにするとともに、その充実に資する取り組みの総合的かつ計画的な推進のため、平成27年3月に策定した。

この計画の対象範囲は、「名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策」及び「生涯学習全般における学びの支援に関する施策」としている。

ア　基本理念

この計画では、「なごやっ子教育推進計画（平成 19 年３月策定)」及び「名古屋市教育振興基本計画（平成 23 年３月策定)」の基本理念を受け継ぎ、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念とする。

～この計画がめざす「なごやっ子」像～

（ア）なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる

（イ）豊かな感性と創造力を備える

（ウ）社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する

（エ）人生をたくましく生きる力を備える

（オ）未来への夢を抱き、学び成長し続ける

イ　計画期間

平成 27 年度～平成 30 年度（４年間）

（２）主要な課題

ア　社会を生き抜く力を備えた子どもの育成

イ　多様な教育的ニーズに対応できる教育環境の充実

ウ　子どもの豊かな育ちの応援

エ　生涯を通じた学びへの接続

（３）施策の基本的方向

ア　「なごやっ子」の資質と個性を育む“学び”の提供

イ　教員の資質向上と、教育環境の整備

ウ　子どもの育ちと針路を応援する体制づくり

エ　学校・家庭・地域の連携

オ　生涯を通じた学びの支援

２　名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針

平成21年９月に名古屋市学校教育研究協議会から、名古屋市における小・中学校の適正規模、学校規模適正化の対象などの検討結果が報告された。

この協議会からの報告を踏まえ、平成 22 年３月に「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」を策定した。

＜基本方針の概要＞

（１）学校規模の基準

望ましい学校規模は、小・中学校ともに、少なくとも各学年でクラス替えができる規模とする。

ア　望ましい学校規模（適正規模）

（ア）小学校　12 学級から 24 学級

（イ）中学校　６学級以上は必要（９学級から 18 学級が望ましい）

イ　学校規模適正化の対象

（ア）小学校　11 学級以下

（イ）中学校　５学級以下

ウ　学校規模適正化の方法

（ア）学校の統合

（イ）通学区域の変更

エ　通学距離

徒歩通学を基本とし、小学校で概ね２ｋｍ、中学校で概ね３ｋｍ

（２）学校規模適正化の進め方

・教育的課題が大きい小学校を優先して学校規模適正化に取り組む。

・中学校については、現段階では対象とせず、小学校の進捗状況等を勘案して改めて検討する。

ア　対象校選定の考え方

平成 22 年５月１日現在の学級数を基に、幼児人口により把握した将来の学級数による。

イ　対象校の優先順位

対象となるすべての学校を一斉に実施することはできないため、グループ分けを行い、クラス替えができない第１グループから段階的に順次取り組む。

（ア）第１グループ

平成 22 年５月１日現在、６学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

（イ）第２グループ

・　平成 22 年５月１日現在、６学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に６学級でなくなる見込みの学校（７学級から 11 学級になる見込みの学校）

・　平成 22 年５月１日現在、７学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内に６学級になる見込みの学校

（ウ）第３グループ

平成 22 年５月１日現在、７学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

ウ　実施計画の策定

（ア）実施計画を平成 22 年度に定め、幼児人口が把握できる６年ごとに見直す。

（イ）学校の組合せは、中学校ブロック内の小学校同士で 12 学級から 24 学級となる組合せとする。

（ウ）通学距離が２ｋｍを大幅に超える場合は、通学区域の変更での対応を検討する。

（エ）組合せを検討する際には、学校の沿革や歴史、地域の特性、校地・校舎の状況などの諸条件を勘案する。

（３）取り組みの際の留意点

保護者や地域の皆様の十分な理解を得ながら、次の事項に留意して進める。

ア　児童への配慮（スクールカウンセラーの派遣、統合前の学校の教員のバランスよい配置など）

イ　通学の安全（関係行政機関との連携、家庭・地域との協力）

ウ　保護者、地域との連携・協力（各種情報の共有化）

エ　統合後の校舎・校地の活用（可能な限り既存校舎を活用し、必要に応じて整備の検討。校舎や校地は、全市的な視点での有効活用などの検討）

３　小規模校対策に関する実施計画

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた「小規模校対策に関する実施計画」を平成22年９月に策定・公表した。

＜実施計画の概要＞

（１）実施計画期間

平成23年度から平成28年度まで

（２）対象校

平成22年５月１日現在の学級数及び０歳から５歳までの幼児人口により、小規模校対策の対象校（小学校44校）を選定し、優先順位をつけ第１から第３までのグループに分類した。

ア　第１グループ（９校）

幅下小・南押切小・江西小・那古野小・豊臣小・御園小・白金小・大生小・高坂小

イ　第２グループ（18校）

内山小・千種小・六郷小・六郷北小・榎小・浮野小・中村小・栄小・平和小・千早小・大須小・広見小・正色小・中川小・西築地小・浦里小・梅森坂小・相生小

ウ　第３グループ（17校）

東桜小・明倫小・大杉小・杉村小・栄生小・米野小・諏訪小・松原小・鶴舞小
井戸田小・西福田小・白水小・柴田小・千鳥小・本地丘小・西城小・牧の原小

（３）学校ごとの方策と具体的な進め方

ア　第１グループ

統合相手校など小規模校対策の具体的な学校ごとの方策を定め、実施計画期間内の開校を目指す。

- 幅下小・江西小・那古野小の３校を統合
- 南押切小・榎小（第２グループ）・栄生小（第３グループ）の３校を統合
- 豊臣小：諏訪小（第３グループ）と統合
- 御園小：名城小と統合
- 白金小：村雲小と統合
- 大生小：宝小と統合
- 高坂小：相生小（第２グループ）と統合

イ　第２グループ

保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第１グループに準じて進める。

ウ　第３グループ

保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行う。

４　名古屋市不登校対策基本構想

（１）構想の概要

不登校の未然防止及び不登校児童生徒の学校復帰の促進を目指し、不登校対策として取り組むべき施策の方向性を定めた「名古屋市不登校対策基本構想」を平成 25 年２月に策定した。

ア　５つの視点

不登校の子ども及びその保護者に対する支援の一層の充実を図るため、下記の５つの視点に基づき取り組みを実施する。

（ア）子どもが安心できる環境づくり
（イ）学習への興味・関心・意欲の喚起
（ウ）子どもの心に寄り添う体制づくり
（エ）適応段階に応じた支援
（オ）保護者への情報提供や保護者の不安軽減

イ　計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度（５年間）

（２）26 年度の主な実績

ア　不登校・いじめ・問題行動等の教育相談に加え、福祉との連携も視野に入れた、子ども･教育に関する総合的な相談施設について､関係局を交えた整備検討を行うとともに、相談施設相互の連携のあり方について検討を行った。

イ　子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の緩和及び南部方面からの通所促進を図るため、南区にサテライトスクールを設置するとともに、中区に新たなサテライトスクールを設置するための準備を進めた。

ウ　相談環境の充実のため、小学校 77 校のスクールカウンセラー配置時間を 30 時間から 70 時間に拡大した。

エ　発達障害のある児童生徒の学校生活への適応を図るため、発達障害対応支援員の配置校数を 48 校から 54 校へ拡充した。

オ　担任教員が不登校児童生徒等に接する時間を増やし学校復帰の促進を図るため、不登校対応支援講師を 40 校に配置した。

５　魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画

（１）計画の概要

魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画は、名古屋市教育振興基本計画の「特色ある市立高等学校づくり」を受け、全ての市立高校で目指す特色づくりを明確にし、平成 25 年度より５年間にわたって推進する計画として、平成 25 年２月に策定された。

ア　基本理念

(ア)名古屋市立高校は、社会の変化や生徒・保護者のニーズに対応しながら、次に掲げる資質をもった生徒を育成する。

①人生をたくましく生きる力を備える

②未来への夢を抱き、学び成長し続ける

③社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する

④豊かな感性と創造力を備える

(イ)名古屋市立高校は、社会の発展に努め、地域社会に貢献できる人材を育成する。

(ウ)名古屋市立高校に、義務教育と高等教育や産業界とを結ぶ役割をもたせ、学校間連携や校種を超えた連携による教育活動を推進し､名古屋市の教育活動を活性化させる。

イ　計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度

（２）計画の主な内容

ア　向陽高等学校

世界で活躍できる科学技術系人材を育てる理数教育の推進するために､平成 27 年度に国際科学科を新設する。

イ　北高等学校

国際的な教養を身につけさせる国際理解教育を推進するために､平成 27 年度に国際理

解コースを新設する。

ウ　名古屋商業高等学校

国際ビジネス社会で活躍できる人材を育てる商業教育を推進するために、平成 29 年度に国際経済科をグローバルビジネス科へ学科変更する。

エ　若宮商業高等学校

商業デザインや地域経済の活性化、観光まちづくりを中心とした商業教育を推進するために平成 29 年度に地域・観光を学ぶコース設置する。

オ　工業高等学校

先端的な技能を習得し、熟練した技能者の育成を目指すために、デュアルシステムを導入する。

カ　工芸高等学校

専攻科を設置し、先端的な技術を習得した技術者を育成する工業教育　　を目指す。

キ　中央高等学校

個の特色を生かしながら、自分の道を切り拓いていく定時制教育を推進する。

６　第２次名古屋市子ども読書活動推進計画

（１）計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成24年度に策定した「第２次名古屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア　理念

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。乳幼児期から読書に親しむようにさせるとともに、発達段階に応じた読書活動を総合的に推進する。

（２）平成26年度の主な実績

ア　10月19日に、「読書フェスティバル」を開催。谷本賢一郎氏によるコンサート、みんなヨンデルー総選挙で選ばれた本の展示、自動車図書館の出動等を実施し、3,570人の市民が参加した。

イ　市内全区で小学生110名を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等を実施。プログラム修了後、学校等で図書館の魅力を伝える活動を行った。

ウ　市内全保健所の乳幼児健診時に絵本紹介冊子を3種類配布するとともに、507回26,590人の子どもと保護者に絵本の読み聞かせを実施した。

エ　市立小学校、中学校及び特別支援学校に「なごやっ子読書ノート」、「なごやっ子読書カード」を配布し、日常生活における読書意欲と表現力を喚起した。

オ　読書への興味関心を高めるため、市立小学校・特別支援学校小学部５・６年生を対象に、「本の帯コンクール」を実施した。

カ　鶴舞中央図書館に設置した「学校図書館連携窓口」により、市立小中学校・特別支援学校の学校図書館に図書室整備・図書購入・図書委員会活動・現場職員研修・授業協力等の助言を20校30件行った。また学校への郵送貸出サービスとして「学習支援図書セット貸出」を77校103件、「特別支援教育資料貸出」を23校387点実施した。図書修理ボランティアを養成・派遣し61校のべ183人で4,658冊の修理を行った。

キ　学校図書館における子どもの主体的な取り組みを推進するため、ポスター「アイディア広がる図書委員会」を市立小学校、中学校、特別支援学校及び高等学校に配布した。

７　名古屋市スポーツ推進計画

（１）計画の概要

「なごやマイ・スポーツ推進プラン」（平成14年３月策定）を継承・発展させるスポーツ基本法第10条に基づく「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」として平成25年３月に策定した。

この計画では、平成25年度から概ね10年間を計画期間とし、スポーツを実施することによる多様な意義の啓発、運動・スポーツの実施機会の提供により運動・スポーツの実施率の向上を図っていく。

ア　基本理念

「やろまい　運動・スポーツ」でナゴヤ・元気UP！～スポーツを通じた交流・個から社会へ～を基本理念とし、「いつでも、どこでも（地域において、職場において、通勤途上において）、だれとでも、気軽に、スポーツを楽しむことができる「みんなでやろまい（皆でやりましょう）」という社会環境の醸成を図ることをめざしている。

イ　目標

（ア）基本目標

・スポーツの楽しさ・意義への気づきを促進

・いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツを楽しむことができるよう機会・場を提供

（イ）数値目標

成人の運動・スポーツ実施率（週に１回以上の頻度で運動・スポーツを実施する者の割合）を65%以上とする。

（２）施策体系

ア　意識啓発・スポーツ実施機会の提供

・スポーティブ・ライフ月間の実施

・健康・スポーツのまるはちデーの設定

・大会・イベントの誘致・開催、交流の推進
・他の施策と連携したスポーツの推進

イ　支援体制の充実

・市民スポーツの推進体制の整備
・インセンティブ制度の拡充

ウ　活動の場の充実

・スポーツ総合推進拠点施設等の充実
・市有施設の維持管理・有効活用

８　「歴史の里」基本計画

（１）計画の概要

「歴史の里」は、歴史的資産を活用したまちづくりを推進するため、日本の古墳時代の縮図、尾張のルーツとも言われる国史跡を含む貴重な文化財である志段味古墳群と自然地形・景観を保存・活用して、歴史を身近に感じた体験・学習を通して幅広い世代が楽しむことができる施設として平成30年度のフルオープンを目指して事業を推進している。

「歴史の里」基本計画は、平成21年３月に策定された「歴史の里」基本構想をもとに、整備に向けての基本理念や利用・整備内容等について定めた計画として平成26年３月に策定された。

（２）基本理念

古代ロマンを五感で体感～「学び」と「にぎわい」のある地域づくり～

（３）基本方針

ア　貴重な文化財、自然環境の保存
イ　歴史・文化の体感・体験
ウ　過去と未来をつなぐ歴史・文化の拠点づくり
エ　市民と連携し、協働する仕組みの形成

（４）計画範囲

計画範囲は庄内川、東谷山、尾張丘陵、野添川に囲まれた地域とし、このうち主要な古墳が残る５つの地区を拠点地区としている。

ア　勝手塚古墳地区
イ　大塚・大久手古墳群地区
ウ　白鳥塚古墳地区
エ　東谷山白鳥古墳地区
オ　東谷山山頂３古墳地区

至 高蔵寺駅
至 多治見
庄内川
東谷山白鳥古墳地区
東谷山山頂３古墳地区
白鳥塚古墳地区
野添川
勝手塚古墳地区
東谷山
フルーツパーク
大塚・大久手古墳群地区
大久手池
至 小幡
計画対象範囲

第２部　学校施設、設備、管理、なごや子ども応援委員会

第１章　校（園）地及び校（園）舎の実態

１　学校施設の整備

（１）校（園）舎の建設

ますます多種・多様化する学校施設へのニーズの中で、よりよい教育環境をめざして、既存の施設を有効に活用しつつ、学校施設の改善・向上を図っている。平成26年度の主な整備内容は次のとおりである。

ア　校舎の改修

校舎の老朽化対策として小学校39校、中学校２校、高等学校３校、幼稚園２園について大規模改造を行うとともに、施設の長寿命化に向けてリニューアル改修をモデル校１校で行う等既存施設の改善に努めている。

イ　新設校の建設

過大規模となる見込みである志段味中学校の分離新設校として「吉根中学校」を建設した。

小規模校である幅下小学校・江西小学校・那古野小学校の３校を統合した「なごや小学校」の新校舎を整備するための設計を実施した。

ウ　小学校の普通教室の冷房化

子どもたちの学習環境の充実を図るため、小学校100校の普通教室へ空調設備を整備した。

エ　天井等落下防止対策工事

地震発生時の安全確保を図るため、小学校9校、中学校50校、高等学校2校において、体育館、格技場等の吊り天井等落下防止対策工事を行った。

オ　事業費

平成26年度の事業費（委託料を含む）は、小学校14,336,475千円、中学校3,906,749千円、高等学校408,130千円、幼稚園134,151千円、特別支援学校407,100千円である。

（２）学校施設の維持修繕

平成26年度に実施した維持修繕は以下のとおりである。

（千円）

種別／項目	小学校費	中学校費	高等学校費	幼稚園費	特別支援学校費
指　定　修　繕　費	721,637	348,755	56,993	13,491	11,885
（校舎雨漏り補修）	122,522	48,412	13,589	745	0
（校舎・教室補修）	153,239	53,372	13,283	9,453	6,273
（障害児用施設改修）	63,435	38,101	0	0	－
（トイレ補修）	40,932	24,448	2,895	2,497	1,033
（給食調理所補修）	23,883	0	－	－	2,885
（給排水補修）	57,881	26,985	2,689	0	0
（電気・ガス補修）	28,018	18,612	6,800	0	0
（空調機器補修）	68,801	44,900	5,865	610	0
（プール補修）	71,126	37,782	1,134	－	0
（運動場補修）	19,354	4,667	5,916	186	0
（体育館補修）	32,908	16,963	3,409	－	1,447
（門・塀補修）	15,377	11,088	369	0	0
（防球ネット補修）	11,266	18,030	518	0	0
（その他）	12,895	5,395	526	0	247
常　時　修　繕　費	486,729	241,450	43,358	11,983	14,693
合　　計	1,208,366	590,205	100,351	25,474	26,578

２　学校施設の現況

（１）幼稚園　23園

（平成27年５月１日現在）

区分 / 園名	幼児数 人	学級数	園地面積 ㎡	園舎	
				建物延面積 ㎡	保育室数
総　計	**2,156**	**99**	**42,440**	**18,402**	**132**
第二	137	6	1,529	1,031	8
第一	117	6	2,653	1,162	6
大幸	107	5	2,216	989	8
報徳	49	3	1,682	1,115	7
楠西	58	3	2,117	626	4
おりべ	46	3	2,221	794	6
第三	107	6	3,767	1,881	10
比良西	71	3	1,859	570	4
吹上	70	3	2,376	763	6
高田	55	3	860	565	4
常磐	62	3	―	―	4
荒子	26	2	―	598	4
春田	61	3	2,585	572	4
はとり	79	3	1,590	572	4
二城	128	6	1,998	750	6
鳴子	121	6	2,365	1,024	6
桶狭間	115	6	1,820	734	6
大高	81	3	2,594	826	6
神の倉	115	5	1,652	656	5
西山台	161	6	1,988	848	6
猪高	172	6	2,916	1,013	8
梅森坂	65	3	1,652	571	4
植田	153	6	―	742	6

（注）　園地面積、園舎の―は、併設などの区分不可能なもの。

（２）小学校　263校

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
総　計	**110,779**	**(425) 4,216**	**(12,118) 3,175,032**	**1,555,932**	**5,494**	**1,636**

※校地面積には笹島中学校分・南養護学校分校分を、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分を含む

千　種　区　15校

計	7,143	261 (24)	(11,521) 172,829	93,512	335	92
内山	125	8 (2)	7,987	5,324	11	6
春岡	309	13 (1)	9,783	4,817	14	6
千種	214	9 (1)	11,068	5,437	16	7
高見	496	17 (1)	10,533	7,143	31	7
大和	311	13 (1)	8,055	4,780	15	5
田代	992	32 (3)	11,427	9,184	33	6
上野	681	23 (2)	10,116	7,623	32	8
東山	958	31 (2)	10,059	6,820	37	5
自由ケ丘	369	15 (2)	21,299	5,930	17	6
千石	190	8	11,566	4,536	13	5
富士見台	955	30 (2)	13,276	8,600	30	6
星ケ丘	344	16 (2)	9,087	5,066	18	6
宮根	374	15 (2)	10,817	5,933	26	6
千代田橋	405	16 (2)	13,200	6,483	25	7
見付	420	15 (1)	14,556	5,836	17	6

東　　区　９校

計	3,011	119 (9)	(10,215) 91,938	50,662	155	58
旭丘	467	17 (2)	9,951	5,392	19	7
筒井	346	15 (2)	9,578	5,920	16	6
東桜	308	12	9,542	5,294	14	7
矢田	404	16 (2)	11,591	8,145	28	7
山吹	477	17	10,412	5,417	18	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
東白壁	297	12	7,404	4,890	14	7
葵	252	10	10,924	4,771	12	5
明倫	239	10 (1)	9,336	4,873	12	6
砂田橋	221	10 (2)	13,200	5,960	22	7

北　　区　　19校

計	7,108	276 (29)	(11,372) 216,084	113,478	388	122
飯田	473	17 (2)	8,300	5,527	23	6
大杉	227	9 (1)	12,751	5,414	14	6
清水	415	15 (2)	11,468	7,087	26	6
杉村	184	7	7,775	5,038	12	7
名北	491	18 (2)	12,075	6,880	27	7
金城	417	16 (2)	11,650	6,379	27	7
城北	603	22 (2)	11,646	7,491	27	7
六郷	108	6	6,603	3,556	6	6
楠	770	27 (3)	9,938	7,134	28	6
光城	491	17 (1)	13,731	6,550	18	6
東志賀	366	13	11,235	6,368	21	6
味鋺	669	23 (2)	16,671	7,463	32	6
西味鋺	288	13 (1)	11,115	4,520	14	6
楠西	343	14 (2)	9,809	5,161	17	6
如意	260	12 (2)	10,651	5,208	15	7
宮前	320	14 (2)	13,053	6,710	28	8
川中	258	12 (2)	11,420	5,898	17	7
六郷北	148	7 (1)	12,993	4,999	15	5
辻	277	14 (2)	13,200	6,095	21	7

西　　区　　18校

計	6,750	264 (26)	(10,236) 184,251	95,412	338	106

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
榎	222	9	5,771	3,951	11	5
栄生	189	8 (1)	9,855	4,162	11	7
上名古屋	368	15 (1)	9,628	5,940	22	6
城西	335	14 (1)	10,910	5,199	17	6
児玉	241	10 (1)	10,056	4,859	14	6
枇杷島	336	13 (1)	8,658	5,489	23	6
南押切	138	8 (2)	8,000	3,742	11	5
庄内	664	22 (2)	13,257	7,553	28	7
稲生	634	23 (2)	10,653	7,548	31	4
山田	850	29 (2)	16,411	6,536	32	6
平田	475	17 (2)	10,156	5,479	23	6
比良	281	13 (2)	10,695	4,679	16	6
大野木	537	21 (3)	11,103	5,712	22	6
浮野	173	8 (1)	11,690	5,100	20	8
比良西	318	15 (2)	11,617	5,169	17	6
中小田井	611	21 (2)	11,407	5,987	25	6
なごや（西）	280	12 (1)	7,437	3,980	9	5
なごや（東）	98	6	6,947	4,327	6	5

中　村　区　　15校

計	4,903	195 (22)	(11,107) 166,618	93,122	275	102
中村	196	10 (3)	8,886	5,840	20	6
牧野	216	9 (2)	9,063	5,549	15	8
米野	214	7	8,971	3,938	13	6
日比津	329	14 (2)	10,565	6,101	17	6
柳	358	15 (2)	9,017	4,511	18	6
稲葉地	651	23 (2)	13,971	7,415	29	7
日吉	322	14 (1)	13,679	5,584	16	7
岩塚	470	17 (1)	15,149	6,313	23	7
豊臣	130	6	8,648	4,358	11	5

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
千成	376	13	12,679	6,373	25	7
諏訪	278	12（1）	13,433	4,460	13	5
稲西	243	11（2）	10,244	5,247	21	8
八社	525	19（2）	12,853	5,865	20	7
ほのか	453	17（2）	10,382	7,962	20	6
笹島（※）	142	8（2）	9,078	13,606	14	11

（※）校地面積、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分含む

中　　区　　11校

計	2,128	99（13）	（9,530） 104,835	51,111	133	62
名城	216	8（1）	10,914	6,127	20	5
栄	114	7（1）	10,052	5,117	13	6
新栄	198	10（2）	9,219	5,047	12	6
松原	225	9（1）	11,430	4,285	12	6
橘	333	15（2）	6,823	5,114	15	7
平和	161	8（2）	11,817	4,309	9	5
老松	184	9（2）	10,341	5,299	15	6
大須	177	8（1）	7,418	5,042	13	6
正木	311	13（1）	8,134	4,001	11	5
千早	128	6	9,074	3,389	7	5
御園	51	6	9,613	3,381	6	5

昭　和　区　　12校

計	4,428	171（19）	（10,263） 112,898	58,261	211	68
鶴舞	184	8（1）	8,167	4,337	11	5
吹上	311	14（2）	7,946	5,437	23	7
村雲	302	15（2）	13,035	5,086	17	7
松栄	781	27（2）	9,302	6,808	27	6
御器所	482	16（1）	9,738	5,430	21	5

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
広路	414	17（2）	10,601	5,537	22	7
八事	388	16（2）	7,265	4,070	16	5
白金	169	6	9,604	4,146	9	6
川原	392	15（2）	13,297	5,868	18	6
川原（分）	16	2（2）	—	—	—	—
滝川	728	26（3）	12,927	6,298	29	7
伊勝	261	9	11,016	5,244	18	7

瑞　穂　区　　11校

計	4,951	187（17）	（11,714） 128,862	68,776	234	69
弥富	688	23（1）	14,134	7,619	25	5
御劔	273	12（1）	11,666	6,866	12	7
堀田	234	11（2）	14,766	6,054	23	7
汐路	589	21（2）	12,473	7,246	27	7
高田	349	15（2）	7,929	5,442	18	6
瑞穂	417	17（3）	10,969	5,885	25	5
井戸田	308	12	9,748	5,276	16	6
穂波	450	17（2）	11,158	5,510	17	7
豊岡	353	13	9,996	6,112	17	6
陽明	758	26（2）	13,405	7,216	30	7
中根	532	20（2）	12,618	5,550	24	6

熱　田　区　　７校

計	2,611	107（11）	（10,704） 74,928	39,163	133	43
高蔵	294	13（1）	10,615	5,093	15	6
旗屋	360	16（2）	7,738	4,902	16	6
千年	301	12（1）	9,714	4,765	16	7
船方	622	21（1）	16,648	6,766	27	7
白鳥	346	16（2）	7,834	6,040	22	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
野立	351	15 (2)	11,414	6,156	22	6
大宝	337	14 (2)	10,965	5,441	15	5

中　川　区　　24校

計	11,190	418 (40)	(11,807) 283,371	137,651	514	148
広見	110	6	11,390	3,794	6	6
露橋	312	12 (1)	14,148	4,604	14	5
愛知	260	12 (2)	13,200	5,485	18	6
八熊	288	13 (2)	10,878	5,214	19	6
昭和橋	511	19 (3)	8,726	5,432	20	7
常磐	829	28 (3)	13,492	7,318	31	5
八幡	631	22 (2)	9,186	6,907	29	7
荒子	1,033	33 (2)	13,424	8,596	38	7
正色	137	6	11,642	5,281	17	7
篠原	588	21 (2)	10,768	6,275	22	6
戸田	615	22 (2)	11,278	6,286	27	7
豊治	598	22 (2)	12,174	5,554	25	5
千音寺	719	25 (2)	14,608	6,662	27	6
長須賀	403	15 (1)	8,137	4,140	14	6
万場	421	17 (2)	14,409	6,547	25	6
野田	500	16	10,912	5,239	19	6
明正	308	15 (2)	12,293	5,911	23	6
中島	472	16 (1)	11,572	6,239	27	8
玉川	327	15 (2)	10,063	4,427	15	5
西中島	354	14 (2)	12,072	5,236	18	6
五反田	527	19 (1)	11,609	5,475	20	6
春田	411	15 (2)	12,758	6,418	22	7
赤星	566	21 (2)	12,030	5,954	23	7
西前田	270	14 (2)	12,602	4,657	15	5

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室

港　　区　20校

計	7,795	302（34）	(11,467) 229,354	117,839	413	123
東築地	588	20（2）	14,982	8,129	30	7
中川	211	8（1）	7,284	5,479	12	7
大手	509	20（2）	12,250	6,355	25	6
港西	563	20（1）	9,279	5,614	25	6
小碓	483	19（2）	13,986	7,983	30	5
西築地	227	10（1）	9,810	4,919	12	6
高木	516	19（2）	9,281	6,195	23	7
南陽	398	15（2）	13,342	7,191	28	6
港楽	355	16（3）	9,284	5,465	21	5
成章	256	10	10,131	5,153	15	6
明徳	433	16（2）	9,927	5,361	22	6
稲永	429	15（2）	12,830	6,844	25	6
東海	219	10（2）	10,537	4,666	13	6
野跡	263	13（1）	12,288	4,228	13	4
当知	504	19（2）	10,654	6,296	23	8
正保	348	13（1）	12,649	5,209	18	7
神宮寺	249	13（2）	11,924	5,143	18	6
西福田	215	9（1）	12,602	5,099	15	6
福田	633	22（2）	13,497	6,222	27	6
福春	396	15（2）	12,817	6,288	18	7

南　　区　18校

計	5,906	237（27）	(13,087) 235,577	112,998	380	116
豊田	453	18（2）	12,287	6,429	22	6
明治	393	16（2）	14,411	8,072	33	8
呼続	353	15（2）	11,740	6,570	26	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
白水	232	10（1）	13,012	5,469	19	7
桜	281	12（1）	10,727	5,304	18	7
道徳	404	16（2）	16,302	8,563	29	7
笠寺	395	16（2）	21,316	6,939	32	7
大生	132	8（2）	13,728	5,636	15	7
大磯	248	11（1）	9,413	4,544	14	6
千鳥	213	9（1）	12,413	6,007	19	6
菊住	483	18（3）	10,802	5,757	18	6
宝（※）	289	11	14,705	8,371	20	6
柴田	162	7（1）	11,492	5,788	12	5
伝馬	356	13（1）	16,794	7,381	18	7
星崎	368	14（2）	11,906	5,476	21	6
春日野	361	15（2）	10,623	4,597	18	6
笠東	389	14（1）	10,034	4,724	18	6
宝南	394	14（1）	13,872	7,371	28	7

（※）校地面積には南養護学校分校分含む

守　山　区　　20校

計	10,083	377（38）	（14,227） 284,548	124,927	470	131
大森	383	15（2）	13,140	6,350	24	6
小幡	676	23（2）	26,804	8,834	39	7
守山	580	22（2）	18,482	7,561	25	8
廿軒家	702	25（3）	17,676	6,564	25	6
鳥羽見	344	15（2）	16,568	6,160	19	6
瀬古	811	29（3）	18,008	7,609	30	7
志段味東	642	24（3）	13,802	5,313	25	7
志段味西	665	24（2）	14,166	5,571	29	6
白沢	542	20（2）	11,967	5,819	23	6
本地丘	166	8（2）	15,920	5,643	27	6
苗代	785	26（2）	9,089	5,989	27	7
天子田	312	14（2）	11,706	6,480	26	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
二城	504	18 (1)	10,276	5,207	21	6
森孝東	215	8 (1)	13,320	4,950	15	6
森孝西	304	13 (1)	15,006	5,463	22	7
西城	246	11 (1)	13,637	5,685	13	6
大森北	359	14	7,690	5,587	15	7
小幡北	391	17 (2)	10,014	5,402	16	6
吉根	755	25 (2)	13,800	7,813	27	7
下志段味	701	26 (3)	13,477	6,927	22	7

緑　　区　　28校

計	15,295	559 (55)	(15,084) 422,364	176,548	668	174
鳴海	659	23 (2)	29,580	8,359	26	7
平子	430	16 (2)	14,987	4,954	19	5
鳴海東部	749	25 (2)	16,970	6,866	25	6
東丘	645	22 (2)	18,144	5,558	26	5
鳴子	329	15 (2)	13,547	5,771	18	6
有松	768	27 (2)	12,931	7,037	27	7
大高	616	22 (2)	31,322	7,411	28	7
緑	335	16 (2)	9,915	4,882	17	5
片平	576	22 (2)	13,515	6,128	22	6
戸笠	417	15 (1)	11,640	5,358	21	7
太子	457	17 (1)	13,222	5,175	19	6
旭出	584	21 (2)	13,317	6,367	24	7
浦里	201	9 (2)	14,598	6,287	22	7
黒石	244	12 (2)	10,363	4,854	16	6
神の倉	721	25 (3)	12,388	6,418	27	5
長根台	442	17 (2)	14,450	6,373	28	6
桶狭間	896	28 (2)	14,508	6,442	32	8
相原	442	17 (2)	11,588	5,721	21	7
桃山	553	20 (1)	12,709	6,462	25	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
南陵	518	19 (2)	14,817	5,914	24	7
大高北	307	12 (1)	17,190	4,850	14	5
大高南	525	22 (3)	21,170	5,916	19	4
徳重	450	16 (2)	13,888	6,268	25	7
滝ノ水	538	20 (2)	13,221	7,559	33	6
大清水	1,050	33 (2)	12,999	6,640	32	6
常安	272	13 (1)	13,001	5,995	15	6
小坂	638	23 (3)	12,725	8,010	28	7
熊の前	933	32 (3)	13,659	8,973	35	6

名東区　19校

計	9,371	341 (31)	(12,824) 243,664	114,935	448	117
猪高	556	21 (1)	20,945	8,788	35	6
藤が丘	584	23 (4)	10,931	6,493	29	6
香流	578	21 (2)	10,159	5,892	25	6
猪子石	388	12	10,811	5,181	19	7
高針	403	16 (2)	16,499	5,965	22	7
西山	1,340	39	15,213	7,297	40	7
名東	1,035	34 (3)	13,511	7,075	32	6
梅森坂	212	10 (2)	11,568	5,264	21	6
蓬来	375	14 (1)	10,844	6,501	18	7
本郷	347	15 (2)	9,901	6,013	22	6
貴船	687	24 (2)	13,110	6,493	27	6
上社	519	16	12,898	5,615	24	5
豊が丘	282	12 (1)	12,036	4,764	16	6
引山	266	12 (2)	14,771	5,897	22	7
極楽	457	16 (1)	10,830	5,711	20	6
平和が丘	307	13 (2)	12,401	5,530	21	5
前山	398	16 (2)	11,567	6,191	23	7
北一社	421	17 (2)	12,470	5,679	20	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
牧の原	216	10（2）	13,199	4,586	12	5

天白区　17校

計	8,106	303（30）	（13,112） 222,911	107,537	399	105
天白	823	28（2）	14,402	7,111	32	6
野並	507	19（1）	10,122	6,298	29	7
高坂	126	8（2）	12,396	5,265	14	7
八事東	509	20（2）	9,934	6,442	28	5
表山	568	21（2）	11,372	5,347	22	6
平針	617	22（2）	15,335	6,849	26	6
平針南	336	13（1）	13,987	6,058	19	7
植田	511	20（2）	20,565	7,237	27	6
しまだ	380	16（2）	16,579	6,371	23	6
山根	558	21（2）	11,566	5,583	22	6
相生	130	6	11,592	5,593	17	6
大坪	405	16（3）	10,502	5,431	18	6
原	664	23（2）	11,536	6,395	28	6
植田南	432	16（2）	12,303	7,053	28	7
平針北	301	13（1）	11,954	5,819	19	6
植田北	477	16（1）	14,066	6,350	19	6
植田東	762	25（3）	14,700	8,335	28	6

（注）　1　学級数欄の（　）内は、特別支援学級数の再掲。

2　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。ただし、川原小学校分校を除く。

（３）中学校　112校

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
総　計	**51,499**	**1,666（179）**	**（17,584） 1,951,849**	**863,301**	**2,119**	**1,345**

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

千　種　区　　７校

計	2,888	94（10）	（18,353） 128,473	56,178	120	87
今池	200	8（2）	13,935	6,348	12	11
城山	487	16（2）	17,801	8,470	21	13
振甫	485	16（2）	22,270	9,021	21	13
千種台	591	18（2）	19,836	8,969	19	13
若水	324	9	14,065	7,396	17	13
千種	342	12（1）	17,248	7,469	15	13
東星	459	15（1）	23,318	8,505	15	11

東　　区　　４校

計	1,178	40（4）	（16,354） 65,417	28,644	60	48
あずま	207	8（2）	16,531	7,371	12	12
富士	411	12	16,151	7,523	18	13
桜丘	268	9	17,071	6,680	12	10
矢田	292	11（2）	15,664	7,070	18	13

北　　区　　７校

計	3,503	115（14）	（18,841） 131,888	58,417	151	88
若葉	292	11（2）	14,565	7,314	15	12
志賀	539	17（2）	20,692	8,126	25	11
大曽根	497	16（2）	24,692	9,054	23	13
八王子	285	12（3）	16,374	7,954	21	13
楠	686	22（2）	17,505	9,207	22	13

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
北陵	627	19（1）	21,521	8,997	26	13
北	577	18（2）	16,539	7,765	19	13

西　　区　　７校

計	3,201	107（11）	(13,793) 96,556	51,564	127	84
浄心	453	13	11,489	7,427	17	11
菊井	159	9（3）	10,532	5,982	12	11
名塚	535	18（2）	17,185	8,759	22	13
天神山	387	14（2）	12,929	7,853	18	13
山田	770	24（2）	14,246	7,979	24	12
山田東	624	19（1）	12,958	6,911	21	11
平田	273	10（1）	17,217	6,653	13	13

中　村　区　　７校

計	2,332	78（10）	(18,205) 109,234	45,192	125	73
豊国	319	11（2）	19,296	7,945	21	12
笹島（※）	93	5（2）	―	―	8	―
笈瀬	197	7（1）	14,796	6,600	15	12
御田	579	18（1）	27,370	7,857	21	13
豊正	558	19（3）	22,239	9,420	28	12
黄金	175	6	13,064	6,584	11	11
日比津	411	12（1）	12,469	6,786	21	13

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

中　　区　　４校

計	825	28（2）	(18,257) 73,031	27,271	51	43
前津	153	5	13,947	7,457	12	12
伊勢山	419	14（2）	23,306	6,774	17	11
白山	137	5	21,784	6,290	10	11

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
丸の内	116	4	13,994	6,750	12	9

昭和区　6校

計	1,778	61（8）	(16,297) 81,489	33,990	78	61
桜山	517	15	14,406	6,828	18	13
北山	221	8（1）	19,920	6,575	11	12
川名	507	15	21,381	8,004	23	12
川名（分）	16	2（2）	—	—	—	—
円上	223	9（2）	13,056	6,397	13	11
駒方	294	12（3）	12,726	6,186	13	13

瑞穂区　5校

計	2,099	66（6）	(18,508) 92,540	38,914	86	64
田光	275	10（2）	13,195	7,160	12	12
瑞穂ケ丘	258	8	26,529	6,774	13	13
萩山	713	20（1）	21,685	8,587	25	13
汐路	529	17（2）	18,112	8,239	21	13
津賀田	324	11（1）	13,019	8,154	15	13

熱田区　4校

計	1,246	42（6）	(15,085) 60,341	27,381	53	44
沢上	301	11（2）	15,156	6,522	12	10
宮	284	11（2）	14,952	8,122	15	13
日比野	451	14（2）	13,599	7,669	18	13
日比野（南）	210	6	16,634	5,068	8	8

中川区　11校

計	5,621	180（22）	(18,081) 198,893	85,868	204	134

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
一色	316	11（2）	13,209	7,331	14	12
長良	838	27（4）	27,196	9,374	28	14
山王	349	12（2）	18,939	7,410	17	13
一柳	711	22（2）	18,676	7,972	24	13
八幡	290	10（1）	13,098	6,496	13	12
昭和橋	377	12（2）	14,287	7,105	14	11
富田	379	15（4）	26,563	7,988	22	13
はとり	946	28（2）	17,985	9,154	26	10
助光	347	11	16,513	6,737	12	13
供米田	615	18（1）	15,980	8,126	17	11
高杉	453	14（2）	16,447	8,175	17	12

港　　区　　８校

計	3,866	122（12）	(18,308) 146,465	65,109	161	101
港南	658	21（3）	16,989	8,740	22	12
港北	436	14（1）	19,834	7,903	19	13
東港	543	17（2）	17,874	8,886	25	13
南陽	627	19（2）	23,897	8,741	25	12
宝神	589	17	16,525	8,192	23	13
当知	464	17（4）	16,500	7,756	18	12
港明	328	10	18,541	7,915	16	13
南陽東	221	7	16,305	6,976	13	13

南　　区　　７校

計	3,029	103（13）	(17,768) 124,381	60,676	142	86
本城	598	19（2）	17,361	8,752	27	13
新郊	252	10（2）	14,022	7,178	15	12
桜田	465	16（2）	21,519	8,441	19	12

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
大江	443	15（2）	16,510	8,255	21	12
名南	327	11（2）	22,245	9,910	19	13
南光	450	15（1）	16,198	10,319	24	14
明豊	494	17（2）	16,526	7,821	17	10

守山区　8校

計	4,612	148（17）	（19,763） 158,108	63,678	183	100
守山	685	21（2）	17,072	8,537	22	13
守山東	718	23（3）	32,033	7,812	21	11
守山西	845	27（3）	18,348	8,554	31	13
志段味	387	17（4）	18,222	6,580	25	13
大森	569	18（2）	17,960	7,997	25	12
守山北	430	14（2）	17,823	7,117	14	12
森孝	356	11（1）	16,545	7,124	21	13
吉根	622	17	20,105	9,957	24	13

緑　区　12校

計	7,122	224（22）	（17,687） 212,254	99,686	265	149
鳴海	478	16（2）	18,196	8,689	24	13
有松	929	27（2）	18,431	9,146	28	13
大高	563	18（2）	30,579	8,628	21	12
鳴子台	433	15（2）	17,100	8,711	21	12
東陵	446	14（1）	17,844	6,672	15	12
千鳥丘	334	12（2）	16,776	7,821	17	13
神沢	589	18（1）	13,895	7,902	23	13
扇台	695	21（2）	16,536	9,101	29	12
滝ノ水	916	27（2）	16,522	8,473	29	13
左京山	407	13（1）	13,337	7,536	14	13
鎌倉台	446	15（2）	16,539	6,905	16	10
神の倉	886	28（3）	16,499	10,102	28	13

名　東　区　　８校

計	4,314	137（11）	(19,209) 153,679	64,451	172	98
猪高	654	21（2）	37,661	9,227	26	13
神丘	958	28（2）	16,090	8,764	30	13
高針台	755	24（3）	17,264	8,475	25	12
猪子石	380	13（2）	16,203	9,481	26	13
藤森	491	17（2）	13,258	7,585	22	13
牧の池	374	12	18,791	7,139	15	12
上社	240	8	16,621	6,193	10	10
香流	462	14	17,791	7,587	18	12

天　白　区　　７校

計	3,885	121（11）	(17,871) 125,100	56,282	141	85
天白	656	20（2）	26,405	8,652	21	12
御幸山	670	22（4）	15,975	8,542	23	13
久方	371	11	16,558	8,038	21	12
平針	455	16（3）	16,407	8,134	18	12
南天白	219	7	16,501	6,444	10	12
植田	1,019	30（2）	16,754	8,557	30	11
原	495	15	16,500	7,915	18	13

（注）　１　学級数欄の（　）内は、特別支援学級数の再掲。
　　２　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。ただし、川名中学校分校を除く。

（４）高等学校　14校

区分／校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
計	**12,911**	**330**	**(32,229) 451,202**	**205,018**	**362**	**290**
菊里	1,071	27	35,841	13,747	30	41
向陽	1,086	27	26,486	11,970	30	18
桜台	1,116	28	27,679	13,810	30	19
北	949	24	35,180	13,196	28	21
緑	1,072	27	38,226	12,024	30	17
富田	917	23	33,808	11,458	25	25
山田	831	21	29,838	11,614	28	18
名東	1,116	28	35,011	13,054	30	21
西陵	598	15	31,997	14,083	22	17
名古屋商	958	24	29,476	16,814	24	23
若宮商	713	18	32,526	11,786	24	15
工業	711	18	42,554	23,873	24	21
工業(定時制)	125	4	—	—	—	—
工芸	836	21	43,232	25,516	21	21
中央	812	25	9,348	12,073	16	13

（注）　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。

（５）特別支援学校　５校

区分／校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
計	**1,109**	**169**	**40,628**	**34,268**	**150**	**68**
西	275	43	9,065	7,836	32	16
南	309	39	11,603	11,227	39	18
天白	141	25	10,273	4,999	19	13
守山	325	49	9,687	8,439	44	21
南（分）	59	13	—	1,767	16	0

※校地面積のうち、南養護学校分校分は宝小学校欄に記載

３　学校の設置及び通学区域の設定等

（１）学校の設置　（平成 27 年４月１日施行）

校　　名	位　　置
名古屋市立なごや小学校（西校舎）	西区菊井二丁目12番32号
名古屋市立なごや小学校分校（東校舎）	西区那古野二丁目14番１号
名古屋市立吉根中学校	守山区笹ヶ根二丁目 102 番地
名古屋市立南養護学校分校	南区中割町２丁目10番地

（２）通学区域の設定等（平成 27 年４月１日施行）

ア　通学区域の設定

（ア）名古屋市立なごや小学校の通学区域の設定

次の区域を名古屋市立なごや小学校の通学区域とする。

名古屋市立幅下小学校、名古屋市立江西小学校及び名古屋市立那古野小学校の通学区域

（イ）名古屋市立吉根中学校の通学区域の設定

次の区域を名古屋市立吉根中学校の通学区域とする。

名古屋市立志段味西小学校及び名古屋市立吉根小学校の通学区域

イ　通学区域の変更

（ア）名古屋市立大清水小学校及び名古屋市立鳴海東部小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立大清水小学校の通学区域から除き、名古屋市立鳴海東部小学校の通学区域に加える。

名古屋市緑区大清水二丁目 1802 番から 1805 番まで及び 1807 番から 1814 番までの各地番

（イ）名古屋市立菊井中学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立菊井中学校の通学区域とする。

名古屋市立なごや小学校の通学区域

（ウ）名古屋市立志段味中学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立志段味中学校の通学区域から除く。

名古屋市立吉根中学校の通学区域

４　小規模校対策

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」及び「小規模校対策に関する実施計画」に基づき、保護者、地域住民等の理解を得ながら小規模校対策を進めていく。

（１）平成26年度の主な実績

・　幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、３校統合校の開校に向けて準備委員会を開催し、校名や校章選定、施設整備等の協議を進め、平成26年度末をもって３校を閉校した。

・　計画の対象校（44校）及び統合の相手校（３校）について、各学校の状況に応じ、平成27

年度入学予定児童の保護者への説明会や、ＰＴＡや地域住民に対する説明等を実施するなど、小規模校対策への理解を得るための取り組みを進めた。特に児童数の推移に基づき、児童数が120人を超えないと見込まれる学校について速やかに統合へ向けた合意を図るため、ＰＴＡや地域住民に対する説明等を実施した。

（２）平成27年度の主な取り組み予定

- 幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、なごや小学校西校舎・東校舎の開校を行い、新校舎の建設を進める。
- 計画の対象校及び統合の相手校について、各学校の状況に応じ、平成28年度入学予定児童の保護者への説明会や、ＰＴＡや地域住民に対する説明等を実施するなど、引き続き小規模校対策への理解を得るための取り組みを進める。さらに、児童数の推移に基づき、児童数が120人を超えないと見込まれる場合、速やかに統合へ向けた合意を図る。
- 「小規模校対策に関する実施計画」の実施計画期間が平成 28 年度までのため、新計画の策定に向けて準備を進める。

第２章　学校設備の充実状況

平成26年度に実施した学校設備の充実状況は、次のとおりである。

（千円）

項目＼種別		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援学校	備考
1	主要設備品の更新	55,747	23,585	10,035	―	1,941	
2	多目的スペース設備品	―	―	―	―	―	
3	増改築設備品	6,308	90,456	―	―	―	
4	体育館兼講堂設備品	―	―	―	―	―	
5	産業教育設備品	―	―	4,974	―	―	
6	理科教育設備品	29,066	34,696	3,030	―	―	
7	教材教具設備品	276,778	194,325	40,654	36,504	2,528	
8	教室設備品修繕費	4,699	8,386	726	―	―	
9	表簿用紙の購入	4,627	2,373	894	243	182	
10	どん帳の整備	500	―	―	―	―	
計		377,725	353,821	60,313	36,747	4,651	

第３章　学校施設の管理

１　学校施設の機械警備

教育委員会が所管する学校における教職員の勤務時間外の学校施設、物品等の保全を図るため、民間警備会社へ警備を委託している。火災、侵入等の災害が発生したときには、次の警備により、民間警備会社警備員が緊急措置を講ずる。

ア　火災警備　火災感知器による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ消防署への通報や施設管理者への連絡を行う。

イ　防犯警備　機械監視装置による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ警察署への通報や施設管理者への連絡を行う。

２　学校（園）近隣協力員

機械警備の補完として、各校（園）２名（併設園を除く）を学校（園）長の内申に基づき教育委員会が依頼する。学校内の鍵を保管し、学校施設の異常を確認した場合に関係機関へ通報したり、地震・風水害等で避難所となる場合には、その開設について協力する。

第４章　なごや子ども応援委員会

１　趣旨

平成 26 年４月１日、市内 11 ブロックの中学校 11 校に、なごや子ども応援委員会を設置した。なごや子ども応援委員会では、スクールカウンセラー始め４つの職種の職員が、学校のスタッフの一員として教員と協働して活動し、いじめ、不登校等につながる心の問題に対し、専門的見地からの積極的なアプローチを行い、児童生徒が抱える問題の未然防止・早期発見や個別支援とともに、学校支援の協力体制を構築していく。

２　各委員会の構成

職　　種	人数	身　　分
スクールカウンセラー	２	一般任期付職員
スクールソーシャルワーカー	１又は２	一般任期付職員
スクールアドバイザー	１	一般任期付職員
スクールポリス	１	非常勤職員

３　設置ブロックと設置校

	ブロック	学　校　名	住　　所
1	千種・東	振甫中学校	名古屋市千種区北千種一丁目７番１号
2	北	北陵中学校	名古屋市北区志賀町２丁目12番地
3	西	山田東中学校	名古屋市西区宝地町10番地
4	中村・中	御田中学校	名古屋市中村区岩塚町２丁目10番地
5	昭和・天白	天白中学校	名古屋市天白区池場五丁目1014番地
6	瑞穂・南	明豊中学校	名古屋市南区豊二丁目39番３号
7	熱田・港	東港中学校	名古屋市港区港楽一丁目７番16号
8	中川	一柳中学校	名古屋市中川区中郷四丁目 235 番地
9	守山	大森中学校	名古屋市守山区大森一丁目2601番地
10	緑	大高中学校	名古屋市緑区森の里一丁目 107 番地
11	名東	高針台中学校	名古屋市名東区勢子坊三丁目 801 番地

※　設置校以外のブロック内の市立学校（園）の事案にも、学校からの依頼により対応する。

第３部　幼児、児童、生徒、教職員

第１章　幼児、児童、生徒

１　幼児、児童、生徒数

（１）市立幼稚園・学校の学校種別学年幼児、児童、生徒数

（平成27年５月１日現在）

区　　分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校		
					全日制	定時制	小学部	中学部	高等部
	男	282	9,669	8,703	1,651	150	21	41	162
１　年	女	311	9,190	8,144	2,307	148	13	24	95
	計	593	18,859	16,847	3,958	298	34	65	257
	男	367	9,771	9,012	1,694	149	26	43	155
２　年	女	384	9,134	8,217	2,382	124	13	19	72
	計	751	18,905	17,229	4,076	273	39	62	227
	男	407	9,420	9,027	1,621	117	13	50	142
３　年	女	405	9,075	8,396	2,319	109	6	28	87
	計	812	18,495	17,423	3,940	226	19	78	229
	男	—	9,075	—	—	86	28	—	—
４　年	女	—	8,770	—	—	54	11	—	—
	計	—	17,845	—	—	140	39	—	—
	男	—	9,402	—	—	—	25	—	—
５　年	女	—	9,004	—	—	—	16	—	—
	計	—	18,406	—	—	—	41	—	—
	男	—	9,390	—	—	—	15	—	—
６　年	女	—	8,879	—	—	—	4	—	—
	計	—	18,269	—	—	—	19	—	—
	男	1,056	56,727	26,742	4,966	502	128	134	459
計	女	1,100	54,052	24,757	7,008	435	63	71	254
	計	2,156	110,779	51,499	11,974	937	191	205	713

（注）　幼稚園１年欄は３歳児、２年欄は４歳児、３年欄は５歳児。

（２）行政区別幼児、児童、生徒数

（平成27年５月１日現在）

区分		千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田
幼稚園	男	75	109	64	88	—	—	33	29	—
	女	62	115	89	90	—	—	37	26	—
	計	137	224	153	178	—	—	70	55	—
小学校	男	3,691	1,569	3,615	3,467	2,534	1,087	2,242	2,547	1,323
	女	3,452	1,442	3,493	3,283	2,369	1,041	2,186	2,404	1,288
	計	7,143	3,011	7,108	6,750	4,903	2,128	4,428	4,951	2,611
中学校	男	1,503	610	1,797	1,673	1,221	393	945	1,060	659
	女	1,385	568	1,706	1,528	1,111	432	833	1,039	587
	計	2,888	1,178	3,503	3,201	2,332	825	1,778	2,099	1,246
高等学校 全日制	男	495	493	487	357	—	—	564	—	—
	女	1,534	343	462	1,072	—	—	522	—	—
	計	2,029	836	949	1,429	—	—	1,086	—	—
高等学校 定時制	男	—	—	—	—	—	386	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	426	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	812	—	—	—
特別支援学校	男	—	—	—	—	—	—	—	—	195
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	114
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	309

区分		中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
幼稚園	男	112	—	—	68	208	194	76	1,056
	女	116	—	—	60	224	204	77	1,100
	計	228	—	—	128	432	398	153	2,156
小学校	男	5,799	3,895	2,991	5,186	7,860	4,762	4,159	56,727
	女	5,391	3,900	2,915	4,897	7,435	4,609	3,947	54,052
	計	11,190	7,795	5,906	10,083	15,295	9,371	8,106	110,779
中学校	男	2,937	2,029	1,605	2,363	3,653	2,253	2,041	26,742
	女	2,684	1,837	1,424	2,249	3,469	2,061	1,844	24,757
	計	5,621	3,866	3,029	4,612	7,122	4,314	3,885	51,499
高等学校 全日制	男	1,133	—	437	—	506	471	23	4,966
	女	495	—	679	—	566	645	690	7,008
	計	1,628	—	1,116	—	1,072	1,116	713	11,974
高等学校 定時制	男	116	—	—	—	—	—	—	502
	女	9	—	—	—	—	—	—	435
	計	125	—	—	—	—	—	—	937
特別支援学校	男	180	—	46	209	—	—	91	721
	女	95	—	13	116	—	—	50	388
	計	275	—	59	325	—	—	141	1,109

（３）高等学校の課程別・学科別生徒数、学級数

（平成27年５月１日現在）

区分		全日制		定時制		計		学科別比率（%）
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
普通科	男	3,602		352		3,954		
	女	4,157	195	376	21	4,533	216	65.7
	計	7,759		728		8,487		
商業科	男	69		34		103		
	女	1,602	42	50	4	1,652	46	13.6
	計	1,671		84		1,755		
工業科	男	1,157		116		1,273		
	女	390	39	9	4	399	43	13.0
	計	1,547		125		1,672		
家庭科	男	1		—		1		
	女	117	3	—	—	117	3	0.9
	計	118		—		118		
音楽科	男	9		—		9		
	女	111	3	—	—	111	3	0.9
	計	120		—		120		
英語科	男	27		—		27		
	女	94	3	—	—	94	3	0.9
	計	121		—		121		
総合学科	男	78		—		78		
	女	520	15	—	—	520	15	4.6
	計	598		—		598		
国際科学科	男	23		—		23		
	女	17	1	—	—	17	1	0.3
	計	40		—		40		
合計	男	4,966		502		5,468		
	女	7,008	301	435	29	7,443	330	100.0
	計	11,974		937		12,911		
課程別比率（%）		92.7		7.3		100.0		

（注） 比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

（４）年度別学校数、学級数、幼児・児童・生徒数、教員数

幼　稚　園　　（各年度５月１日現在）

区　分	園　数	学級数	幼　児　数			教員数
			男	女	計	
25　年　度	23	97	1,009	1,027	2,136	170
26　年　度	23	98	1,130	1,077	2,207	165
27　年　度	23	99	1,056	1,100	2,156	165

小　学　校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数	児　童　数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
25　年　度	263	1	264	4,168	56,886	54,219	111,105	6,103
26　年　度	263	1	264	4,176	56,699	54,123	110,822	6,152
27　年　度	261	2	263	4,216	56,727	54,052	110,779	6,246

中　学　校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数	生　徒　数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
25　年　度	109	2	111	1,682	27,431	25,431	52,862	3,218
26　年　度	109	2	111	1,682	27,190	25,027	52,217	3,235
27　年　度	110	2	112	1,666	26,742	24,757	51,499	3,232

高 等 学 校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数		生　徒　数						教員数	
	全日制	定時制	計	全日制	定時制	全　日　制			定　時　制			全日制	定時制
						男	女	計	男	女	計		
25　年　度	13	2	15	298	28	4,866	6,938	11,804	489	420	909	782	82
26　年　度	13	2	15	302	28	4,934	7,067	12,001	497	418	915	799	85
27　年　度	13	2	15	301	29	4,966	7,008	11,974	502	435	937	801	84

特別支援学校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数	小　学　部			中　学　部			高　等　部			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
25　年　度	4		4	166	128	62	190	128	64	192	388	230	618	413
26　年　度	4		4	171	137	64	201	131	70	201	433	236	669	422
27　年　度	4	1	5	169	128	63	191	134	71	205	459	254	713	431

２　児童・生徒表彰件数

区　分	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総　計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
24　年　度	47	49	31	50	0	0	2	0	80	99	179
25　年　度	41	53	40	41	0	1	1	1	82	96	178
26　年　度	47	51	32	58	2	0	1	2	82	111	193

３　進　路　状　況

（比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。）

（１）平成27年度入学及び平成26年度卒業児童生徒数

区　分		入学児童生徒数			卒業児童生徒数		
		男	女	計	男	女	計
小学校		9,669	9,190	18,859	9,538	9,053	18,591
中学校		8,703	8,144	16,847	9,100	8,410	17,510
高等学校	全日制	1,651	2,307	3,958	1,578	2,334	3,912
	定時制	150	148	298	94	84	178

（２）平成26年度市立中学校卒業者の進路状況

区　分	卒業者	進学者			就職者その他
		全日制	定時制	通信制等	
男	9,100	8,080	176	660	184
女	8,410	7,723	113	423	151
計	17,510	15,803	289	1,083	335
比　率　％	100.0	90.3	1.7	6.2	1.9

（３）平成26年度市立高等学校卒業者の進路状況

ア　全日制課程

区　分	卒業者			進学者				就職者		専修学校等入学者		就職をして進学した者		その他	
				国公立		私　立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	1,160	1,389	2,549	289	229	593	850	19	11	233	270	—	—	26	29
商業科	24	519	543	—	—	7	79	10	293	7	128	—	—	—	19
工業科	369	137	506	—	3	41	31	269	58	54	42	—	—	5	3
家庭科	0	39	39	—	—	—	11	—	—	—	27	—	—	—	1
音楽科	2	37	39	1	18	—	14	—	—	1	5	—	—	—	—
英語科	7	32	39	—	3	4	22	—	—	2	5	—	—	1	2
総合科	16	181	197	1	1	8	72	5	43	1	59	—	—	1	6
計	1,578	2,334	3,912	291	254	653	1,079	303	405	298	536	—	—	33	60
比率％	100.0			58.2				18.1		21.3		0.0		2.4	

イ　定時制課程

区　分	卒業者			進学者				就職者		専修学校等入学者		就職をして進学した者		その他	
				国公立		私　立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	76	73	149	2	1	21	21	14	12	29	20	—	—	10	19
商業科	3	10	13	—	—	—	—	1	5	—	—	—	—	2	5
工業科	15	1	16	—	—	1	—	10	1	1	—	—	—	3	—
計	94	84	178	2	1	22	21	25	18	30	20	—	—	15	24
比率%	100.0			25.8				24.2		28.1		—		21.9	

（注）　専修学校等入学者…専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校、洋裁学校等）、又は公共職業訓練機関等に入学した者

（４）市立中学校、高等学校の進路累年比較

ア　中　学　校

区　分	卒業者		進学者						就職者その他	
			全日制		定時制		通信制等			
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
24　年　度	17,788	100.0	16,062	90.3	353	2.0	975	5.5	398	2.2
25　年　度	17,898	100.0	16,176	90.4	357	2.0	994	5.6	371	2.1
26　年　度	17,510	100.0	15,803	90.3	289	1.7	1,083	6.2	335	1.9

イ　高等学校（全日制）

区　分	卒業者		進学者		就職進学者		就職者		その他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
24　年　度	3,966	100.0	2,258	56.9	—	—	709	17.9	999	25.2
25　年　度	3,806	100.0	2,162	56.8	—	—	703	18.5	941	24.7
26　年　度	3,912	100.0	2,277	58.2	—	—	708	18.1	927	23.7

ウ　高等学校（定時制）

区　分	卒業者		進学者		就職進学者		就職者		その他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
24　年　度	196	100.0	52	26.5	—	—	33	16.8	111	56.6
25　年　度	200	100.0	42	21.0	—	—	43	21.5	115	57.5
26　年　度	178	100.0	46	25.8	—	—	43	24.2	89	50.0

４　児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況

（比率は小数点以下第３位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。）

（１）平成26年度間長期欠席児童生徒数

ア　長期欠席者総数と長期欠席率

区　分	在　学　者　数			長期欠席者数			長期欠席率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小　学　校	56,699	54,123	110,822	656	546	1,202	1.16	1.01	1.08
中　学　校	27,190	25,027	52,217	1,054	970	2,024	3.88	3.88	3.88
合　　計	83,889	79,150	163,039	1,710	1,516	3,226	2.04	1.92	1.99

（注）　長期欠席者とは、年間を通じて30日以上欠席した者

イ　長期欠席者総数と長期欠席率（欠席理由別）

区　分	長期欠席者数	欠席理由別長期欠席者数			欠席理由別欠席率（%）		
		身体傷病	不登校	家庭によるもの	身体傷病	不登校	家庭によるもの
小　学　校	1,202	365	535	302	30.37	44.51	25.12
中　学　校	2,024	302	1,516	206	14.92	74.90	10.18
合　　計	3,226	667	2,051	508	20.67	63.58	15.75

ウ　長期欠席者の行政区別比較

区分		千種	東	北	西	中村	中	昭和
小学校	在学者	7,052	2,865	7,205	6,715	4,865	2,093	4,347
	長期欠席者	44	26	92	65	76	53	29
	長期欠席率	0.62	0.91	1.28	0.97	1.56	2.53	0.67
中学校	在学者	2,887	1,193	3,545	3,244	2,359	829	1,770
	長期欠席者	81	37	182	103	97	42	53
	長期欠席率	2.81	3.10	5.13	3.18	4.11	5.07	2.99

エ　欠席理由別・欠席日数別長期欠席者数

区分			小学				
			1年	2年	3年	4年	5年
在学者（A）			18,948	18,544	17,971	18,452	18,294
長期欠席者（B）			127	159	166	217	230
学年別長期欠席率（B／A×100）％			0.67	0.86	0.92	1.18	1.26
欠席理由別	本人によるもの	身体傷病	42	58	61	64	57
		不登校	31	49	68	97	132
	家庭によるもの	経済的理由	0	0	0	0	0
		家族の傷病	2	3	3	2	0
		保護者の無理解	26	29	18	27	23
		その他	26	20	16	27	18
欠席日数別	30日～49日		57	85	68	89	85
	50日～99日		46	52	54	74	81
	100日～149日		17	10	22	20	33
	150日以上		5	9	16	30	28
	全欠席		2	3	6	4	3

瑞　穂	熱　田	中　川	港	南	守　山	緑	名　東	天　白	計
4,959	2,642	11,260	7,911	5,932	10,039	15,300	9,373	8,264	110,822
26	31	156	156	78	92	118	84	76	1,202
0.52	1.17	1.39	1.97	1.31	0.92	0.77	0.90	0.92	1.08
2,129	1,280	5,771	3,957	3,119	4,652	7,181	4,374	3,927	52,217
67	58	294	254	145	150	203	141	117	2,024
3.15	4.53	5.09	6.42	4.65	3.22	2.83	3.22	2.98	3.88

校			中	学	校		
6　年	計	比率（%）	1　年	2　年	3　年	計	比率（%）
18,613	110,822		17,257	17,457	17,503	52,217	
303	1,202		529	727	768	2,024	
1.63	1.08	—	3.07	4.16	4.39	3.88	—
83	365	30.37	92	105	105	302	14.92
158	535	44.51	388	546	582	1,516	74.90
0	0	—	0	1	1	2	0.10
3	13	1.08	4	5	9	18	0.89
25	148	12.31	24	38	40	102	5.04
34	141	11.73	21	32	31	84	4.15
111	495	41.18	134	137	108	379	18.73
96	403	33.53	165	203	188	556	27.47
52	154	12.81	132	153	213	498	24.60
38	126	10.48	88	189	226	503	24.85
6	24	2.00	10	45	33	88	4.35

（２）就学免除・猶予児童生徒数

（平成27年５月１日現在）

理由 / 不就学 / 年齢 / 性別		就学免除者					就学猶予者				
		病弱・発育不全	は少年院にいるため児童自立支援施設又	重国籍のため	その他	計	病弱・発育不全	は少年院にいるため児童自立支援施設又	重国籍のため	その他	計
６歳	男								2		2
	女						1		1		2
７歳	男								1		1
	女								1		1
８歳	男										
	女	1				1			2		2
９歳	男								1		1
	女										
10歳	男										
	女	1				1			1		1
11歳	男										
	女								1		1
小計（６～11歳）	男								4		4
	女	2				2	1		6		7
12歳	男								1		1
	女								2		2
13歳	男								2		2
	女										
14歳	男								2		2
	女								1		1
小計（12～14歳）	男								5		5
	女								3		3
合計（６～14歳）	男								9		9
	女	2				2	1		9		10

第２章　教　職　員

１　教職員構成状況

（１）学校種別職務別教職員数

（平成27年５月１日現在）

区分	校（園）長		教頭		主幹教諭		教諭		養護教諭		栄養教諭		講師		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
幼稚園	2	19					4	117					1	22	7	158	165
小学校	211	49	221	41	3	2	1,670	3,503		298	5	66	63	114	2,173	4,073	6,246
中学校	103	7	107	5	5		1,493	1,317		134		3	27	31	1,735	1,497	3,232
高等学校 全日制	12	1	13				443	261		24			23	24	491	310	801
高等学校 定時制	1		3				52	21		5			1	1	57	27	84
特別支援学校	4		6	3			139	237	1	9		5	21	6	171	260	431
小計	333	76	350	49	8	2	3,801	5,456	1	470	5	74	136	198	4,634	6,325	10,959
合計	409		399		10		9,257		471		79		334				

区分	事務職員		実習助手		栄養職員		業務士			
							給食調理員		用務員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
幼稚園									33	11
小学校	113	167			2	44	19	825	287	259
中学校	69	63				2			122	112
高等 全日制	32	9	21	36					14	13
学校 定時制	3	1	2	4					2	1
特別支援学校	3	12		(27)				16	5	4
小計	220	252	23	(27) 40	2	46	19	841	463	400
合計	472		(27) 63		48		860		863	

（注）　実習助手欄の（　）内は、介助職員で別掲。業務士には、嘱託員を含む。

（２）学校種別年齢段階別教員数（小、中学校）　（平成27年４月１日現在）

区　分	小　学　校						中　学　校					
	男		女		計		男		女		計	
	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率
２５歳未満	130	2.6	279	5.5	409	8.0	72	2.6	80	2.9	152	5.4
25歳～29歳	321	6.3	623	12.3	944	18.6	259	9.3	250	9.0	509	18.2
30歳～34歳	349	6.9	613	12.1	962	18.9	275	9.9	179	6.4	454	16.3
35歳～39歳	230	4.5	433	8.5	663	13.0	180	6.5	166	5.9	346	12.4
40歳～44歳	163	3.2	346	6.8	509	10.0	167	6.0	181	6.5	348	12.5
45歳～49歳	178	3.5	463	9.1	641	12.6	163	5.8	168	6.0	331	11.9
50歳～54歳	107	2.1	365	7.2	472	9.3	185	6.6	165	5.9	350	12.5
５５歳以上	110	2.2	374	7.4	484	9.5	153	5.5	147	5.3	300	10.8
合　計	1,588	31.2	3,496	68.8	5,084	100.0	1,454	52.1	1,336	47.9	2,790	100.0
平均年齢	37歳8月		39歳1月		38歳2月		39歳4月		39歳5月		39歳4月	

（注）　１　臨時講師（１年未満）、非常勤講師は含まない。
　　２　比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

２　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

（平成27年５月１日現在）

区別 / 学校別	学校医	学校医（眼科）	学校医（耳鼻咽喉科）	学校医（精神科）	学　校歯科医	学　校薬剤師
	人	人	人	人	人	人
小　学　校　(263)	262	262	—	—	262	262
中　学　校　(112)	111	111	111	4	111	111
全日制（13）	13	—	—	—	13	13
高等学校　単位制（１）	1	—	—	—	1	1
定時制（２）	2	—	—	—	2	2
幼　稚　園　(23)	23	—	—	—	23	23
特別支援学校　（５）	5	5	5	5	5	5
計	417	378	116	9	417	417

（注）　（　）内は、学校・園数（分校を含む。）

３　教員の採用と異動状況

（１）教員志願と採用状況

平成26年度実施の教員採用選考により、幼・小・中・高・特別支援学校（小・中学校特別支援学級を含む。）教員、養護教員及び栄養教員合わせて376人を平成27年４月１日付で採用した。

平成26年度実施教員採用選考状況

区　分	志願者数	受験者数	採用者数	採用内訳				
				幼稚園	小学校（特別支援学級含む）	中学校（特別支援学級含む）	高等学校	特別支援学校
幼稚園教員	114	101	8	8	—	—	—	—
小学校教員	869	791	214	—	214	—	—	—
中学校教員 高等学校教員	1,194	1,005	124	—	—	104	20	—
特別支援学校教員	68	54	14	—	—	—	—	14
養護教員	117	107	10	—	7	1	2	—
栄養教員	39	34	6	—	6	—	—	—
合　計	2,401	2,092	376	8	227	105	22	14

（２）平成26年度末教員異動状況

ア　教員異動の大部分は、平成27年４月１日付で実施した。

イ　教員の異動方針は、次のとおりである。

（ア）清新の気を流入し、教育意欲の高揚を図る。

（イ）公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。

（ウ）広く人材を登用し、学校教育の活性化を図る。

（エ）適材を適所に配置し、教職員構成の均衡を図る。

平成26年度末教員異動状況（一般教員）

区　分	転　任	退職及び市外転出
幼稚園	11	12
小学校	619	173
中学校	401	95
高等学校	50	31
特別支援学校	45	16
合　計	1,126	327

平成26年度末教員異動状況（校（園）長・教頭）

区　分	新　任		転　任		退職及び市外転出	
	校（園）長	教　頭	校（園）長	教　頭	校（園）長	教　頭
幼　稚　園	4	－	4	－	4	－
小　学　校	38	41	52	29	53	12
中　学　校	20	21	26	7	22	2
高　等　学　校	1	1	1	2	1	1
特別支援学校	1	3	1	0	1	1
合　計	64	66	84	38	81	16

４　教職員表彰件数

区　分	幼稚園	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総　計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
23　年　度	0	1	6	5	0	1	1	0	0	7	7	14
24　年　度	1	3	7	1	2	1	0	1	0	6	10	16
25　年　度	0	5	7	4	1	0	1	1	0	10	9	19
26　年　度	1	4	5	5	2	0	1	1	0	10	9	19

５　教職員の福利厚生

教職員の福利厚生は、主として公立学校共済組合及び一般財団法人愛知県教育職員互助会の事業として実施されている。また補完的に市立学校教職員で組織する名古屋市教職員福利厚生会が、レクリエーションを主体とした事業を実施している。

６　平成26年度教員免許状取得状況

名古屋市立学校教員で平成26年度中に新たに免許状を取得した件数は次のとおりで、合計70件である。

免許状種別	件数	計	免許状種別	件数	計
高等学校教諭専修免許状	4	8	幼稚園教諭専修免許状	0	1
高等学校教諭一種免許状	4		幼稚園教諭一種免許状	1	
高等学校助教諭臨時免許状	0		幼稚園教諭二種免許状	0	
			幼稚園助教諭臨時免許状	0	
中学校教諭専修免許状	5	7	養護教諭専修免許状	0	1
中学校教諭一種免許状	2		養護教諭一種免許状	1	
中学校教諭二種免許状	0		養護教諭二種免許状	0	
中学校助教諭臨時免許状	0		養護助教諭臨時免許状	0	
小学校教諭専修免許状	8	22	特別支援学校教諭専修免許状	1	27
小学校教諭一種免許状	10		特別支援学校教諭一種免許状	2	
小学校教諭二種免許状	4		特別支援学校教諭二種免許状	24	
小学校助教諭臨時免許状	0		特別支援学校助教諭臨時免許状	0	
栄養教諭一種免許状	1	4			
栄養教諭二種免許状	3				

７　教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）

学校教育の充実及び円滑な推進を図るため「名古屋市教育人材バンク」を昭和61年７月に教育館内に設置し、臨時講師の発掘、登録及び紹介事務を行っている。平成20年４月より、「名古屋市教育サポートセンター」と名称を変更し、人材を有効に活用するための事業拡大を図る。

平成26年度中の登録者数及び派遣・紹介した講師の人数は次のとおりである。

種別	登録者数（26.４～27.３）	登録者総数（27.３.31現在）	派遣者数（26.４～27.３）
	人	人	人
臨時講師	834	4,399	2,028

８　学校事務支援センター

学校事務支援センターでは、学校（幼稚園を含む）の学校事務に係る支援を行うことにより、学校事務の円滑かつ適正な運営を図るため、手引・マニュアルの電子化を行う等の事務改善、学校用品の一括調達・支払、及び、小中学校間における学校事務の連携に関すること等を行っている。

９　学校問題解決支援チーム

名古屋市立学校・幼稚園における解決困難な事案について、その早期解決と学校の負担軽減を図るため、平成23年度に学校問題解決支援チームを設置した。教育委員会と各分野の専門家が連携し、学校に対し指導・助言及び支援を行っている。

第４部　学　校　教　育

第１章　教　育　指　導

１　平成26年度学校教育の努力目標

学校は、「夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成」を期し、豊かな感性と創造力を備え、心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている。

そのため、各学校では、一人一人の持つよさや可能性を理解し、他者とのかかわりの中でその伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ教育実践が進められている。一方、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、いじめ・不登校の解消、運動習慣の確立など、家庭や地域と連携して取り組まなければならない課題もある。とりわけ、いじめの問題については、子どもの声に真摯に耳を傾け、未然防止に努めるとともに、早期発見・早期対応を徹底し、いじめを許さない心を育む必要がある。

そこで、各学校では、子どもの実態と学習指導要領等の趣旨を踏まえ、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を学びの連続性を重視しつつ展開していかなければならない。さらに、学校評価や学校評議員制を活用し、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む「創造していく学校づくり」に努めていかなければならない。

子どもが、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができるよう、平成26年度名古屋市学校教育の努力目標を次のように定める。

広がる笑顔　輝く瞳

１　基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力の育成に努める。
２　創り出す喜びや表現する楽しさ、美しいものや自然に感動する心など、豊かな感性の育成に努める。
３　思いやりの心、自律心や公共心、自他の生命や人権を尊重する態度、自分や家族・郷土に対する誇りや愛着など、道徳性の涵養に努める。
４　すすんで運動に親しむとともに、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度の育成に努める。

２　教育課程の概況

学習指導要領を基準とし、本市教育課程を参考として、各学校で教育課程を編成し、年間35週の授業時間を確保した。

平成26年度の名古屋市立小中学校の授業時間数の設定は、次のとおりである。

小学校標準授業時数（平成26年度）

区　分		第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
各教科の授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
	社会	—	—	70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科	—	—	90	105	105	105
	生活	102	105	—	—	—	—
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭	—	—	—	—	60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
道徳の授業時数		34	35	35	35	35	35
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		—	—	70	70	70	70
外国語活動		—	—	—	—	35	35
総授業時数		850	910	945	980	980	980

中学校標準授業時数（平成26年度）

区　分		第１学年	第２学年	第３学年
必修教科の授業時数	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	140	140	140
道徳の授業時数		35	35	35
特別活動の授業時数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
総授業時数		1,015	1,015	1,015

３　指　導　方　針

各学校においては、名古屋市学校教育の努力目標を達成するため、一人一人の児童生徒の持つよさや可能性を理解し、その伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ適切な教育活動を行うことによって、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができる子どもを育てることに努める。そのために、次の事項について具体的に検討し、校内での共通理解を図り、創意と工夫のある指導を進める。

【教育課程編成】

教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に基づくとともに、本市教育課程を参考にして、児童生徒一人一人の学習状況や興味・関心を的確に把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、自ら課題を解決しようとする力の育成が図られるよう全体として調和のとれた編成に努める。その際、各教科等の関連、学びの連続性を重視するとともに、地域や学校の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動が展開できるように留意する。

【指導と評価】

1　各教科等の指導に当たっては、知的好奇心を喚起する「分かる授業」を展開し、児童生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、次の点に留意する。

・ 言語活動の充実を図り、体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習を重視した指導に努める。指導にあたっては、「コミュニケーション能力育成事例集」等を参考にする。

・ 児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるように個別指導やグループ別指導、繰り返し指導を取り入れる。また、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。

・ 学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、運動習慣の確立などについては、家庭と連携して定着を図ることが必要である。

・ 児童生徒が、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できるようにする学習活動の充実に努める。

・ 教科書やその他の教材・教具の有効活用や学校図書館、特別教室・施設の計画的な活用に努める。

2　児童生徒の個に応じた指導に配慮して、個性の伸長を図るとともに、豊かな心の育成に努め、相互理解に基づく温かい人間関係を育てる。また、より良い人格の形成や社会性の育成を図るために、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣及び集団や社会のルール・マナーを身に付けさせる指導に努める。

3　健康教育、人権教育、国際理解教育、環境教育、情報教育等については、他の各教科等との関連付けを図るなど、指導計画に適切に位置付けた指導に努める。

4　障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的なニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、計画的・組織的に適切な指導及び必要な支援に努める。

5　学習の到達目標を明確にして、学習内容の指導の徹底を図るとともに、評価規準を設定して、指導の過程や成果を絶えず評価し、より効果的な指導が行えるよう指導の改善を図る。

なお、指導に当たっては、「指導と評価の一体化を目指した具体的な事例集」等を参考にする。

4　個に応じた指導

（1）小学校１年生・２年生の30人学級、中学校１年生の35人学級の全校実施

学校生活の入門期の小学校１、２年生において30人以下の学級を基本として構成し、一人一人を大切にしたきめ細かな指導を展開することにより、学校生活に早く慣れ親しむことを目的としている。平成21年度より、愛知県と同様、「中１ギャップ」に対応するため、中学校１年生での35人学級を実施している。

（２）少人数指導の推進

基本教科を中心とした少人数による指導やティームティーチングを通して、児童生徒の基礎学力の定着を図ることを目的としている。

（３）学習支援講師

基礎的な学習から発展的な学習まで、幅広く児童生徒に対する学習指導を支援し、教育活動の一層の充実を図るために学習指導支援講師を、また、不登校児童生徒や問題行動への対応に取り組む教員をサポートするために不登校対応支援講師を派遣している。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒が多く在籍する学校には日本語指導講師を、通常の学級に在籍している発達障害の可能性のある児童生徒に対してきめ細かな指導が必要である学校には発達障害対応支援講師を派遣し、学習補充や適応指導の充実を図っている。

５　総合的な学習の時間

（１）趣旨

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育成するために、児童生徒の興味・関心などに基づく課題や国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題、地域や学校の特色に応じた課題等に取り組む。小学校３年生から中学校３年生まで実施。

（２）取り組み例

○　自然や環境を守る取り組みや福祉についての調べ学習
○　地域の人の協力を得た中学生の職場体験学習
○　保護者や地域の方々を学習ボランティアとして招いている。
○　「その道の達人派遣事業」で、その道の達人である大学教授・ものづくりの熟練職人・外国人ボランティア・博物館等の学芸員・図書館司書などが学校に出向き、自らの専門分野を児童生徒にわかりやすく教える授業を展開した。
○　環境教育を推進する一つの方法として、「環境学習ウィーク・トライ＆アクション」において、児童生徒の主体的な環境保全活動の取り組みをした。

６　生　徒　指　導

（１）学校教育全体を通して、共通理解に基づいた生徒指導体制の確立を目指し、望ましい人間関係の育成、一人一人を大切にする個別指導に努めた。
（２）小学校低学年では、基本的生活習慣の育成に重点をおき、中学年以上では、生活場面での具体的指導に努めた。また、中学校では教師と生徒、生徒相互の人間的な心のふれあいを重視し、一人一人の生活実態に即した適切な指導と教育相談の充実に努めた。
（３）家庭・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、「いじめ」を始めとする児童生徒の問題行動については早期発見・早期対応に努めた。

（4）生徒指導対策として、次の事業を実施した。

○　生徒指導担当教員の連絡会の開催……　中学校生徒指導主事連絡会（ブロック・区）

○　関係諸機関との連絡会の開催……　中学校生徒指導連絡協議会（市教委・学校・関係諸機関）

○　児童・生徒指導活動推進……　進路指導、地域別懇談会、緊急家庭訪問、いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）、学区巡視パトロール、児童・生徒指導校内研修会　等

○　スクールカウンセラーの配置……　小学校60校、中学校110校、高等学校14校に配置

○　中・高生による「夢･チャレンジ」支援事業…　12校で実施

○　特設講座(基礎・発展)の開設（小･中･特別支援学校）…　非常勤講師をのべ161校に配置

○　高校生徒指導活動推進……　要指導生徒家庭訪問、緊急指導対策、生徒指導主事連絡協議会、校外補導等

○　ふれあいフレンド事業……　小学校90校に配置

○　いじめ対策……　なごやＩＮＧ（いじめのない学校づくり）キャンペーン、学校生活アンケート、ネットパトロール、学校における仲間づくり推進事業の実施、いじめ防止教育プログラムの活用促進

7　不登校児童生徒対策

（1）概　　要

ア　「生活指導の手引」等を参考にして不登校児童生徒への援助・指導や教育相談活動の充実に向けての取り組みを進めた。

イ　遊び・非行や無気力などによる不登校児童生徒に対しては、13人の生徒指導相談員が臨床心理士のサポートを受け、家庭・学校などへの訪問相談・指導を行った。

ウ　不登校児童生徒の減少を図るために、不登校対応支援講師を派遣し、児童生徒の実態に合った具体的な不登校対策を推進した。

（2）名古屋市子ども適応相談センター（愛称：なごやフレンドリーナウ）

心理的な理由により登校できない児童生徒に対して、教育相談、適応指導を行いながら早期に学校へ復帰させることを目的として、昭和63年12月に開設した。平成３年９月には改築移転し、施設・事業の拡充を図った。

教育相談部と適応指導部の二部門による相談・適応指導を行う。

また、平成26年４月、南区笠寺にサテライトスクールを開設した。

平成26年度の実績等は次表のとおりである。

施　　設　　名	子ども適応相談センター	子ども適応相談センター サテライトスクール
所　　在　　地	名古屋市西区城西三丁目 20番30号	教育相談室 名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の16 スポーツ振興会館5階
		適応指導教室 名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の10 南生涯学習センター1階
通所申込者数	311人	
学校復帰者数	154人（小学生 29人・中学生 125人）	

８　進　路　指　導

（１）中学生に対する進路指導は、主として学級活動の時間に、高校生に対しては、主としてホームルームの時間に行った。

（２）自己の個性の理解、進路への関心の高揚、進路の明確化とその吟味、進路情報の理解と活用、望ましい勤労観・職業観の形成、将来の生活設計、適切な進路選択などの指導に努めた。

（３）中学校全校に配置した進路指導用コンピュータを活用し、事務量の軽減を図るとともに、学校独自の指導資料の作成や、より適切な進路指導が行えるよう配慮した。

（４）中学校全校に整備した進路指導室を活用し、生徒一人一人の実態に即した進路指導の一層の充実を図った。

（５）個々の生徒に対する指導の徹底を図るために、生徒の家庭との連絡を密にし、保護者会、進路相談など計画的に実施した。

（６）よりきめの細かい進路指導の体制を確立するため、非常勤講師あるいは本務教員を配置した。

９　特　別　活　動

教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを基盤に、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。また、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活や人間関係を築いていく資質や能力を身に付けていくよう支援した。

（１）児童生徒が児童会・生徒会活動に、自発的・積極的に参加するよう支援した。

（２）学級活動においては、児童生徒が自主的に活動の計画や実践をできるよう支援した。

（３）児童一人一人が個性の伸長を図り、集団の一員として協力できるように、文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動の全般にわたってクラブを設けるようにした。

（４）日常の学習成果を生かし、児童生徒の自主的な活動を助長するような学校行事の実践に努めた。

（５）心豊かな実践力のある児童生徒を育てるために、全小中学校で体験活動や地域との交流活動などを実施した。

10 道 徳 教 育

（1）学校の教育活動の全体を通して行うことを基本とし、特に、各学校の教育目標、地域や児童生徒の実態を踏まえた全体計画を全教師の共通理解のもとに作成し、効果的な指導に努めた。また、家庭や地域社会との連携を図り、指導の効果を一層高めるように努めた。

（2）道徳の時間の指導に当たっては、「生きる力」の育成及び今日的な教育課程に対応した重点指導の内容を明確にし、児童生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、その指導実践を通して、よりよく生きるための道徳的実践力を培うように努めた。

（3）毎時間の指導においては、読み物資料・「私たちの道徳」の利用、教育機器の活用、体験活動との関連を図るなどし、一人一人の児童生徒の道徳性の育成を図るように努めた。

11 安 全 教 育

（1）交通安全教育

交通安全指導の手引、名古屋市教育課程（特別活動編）に基づき、地域や学校の実情に即した指導を行った。

交通訓練日の設定や、交通安全行事への積極的な参加により、交通安全の意識の高揚に努めた。

各校の通学路を検討し、登下校の安全確保に努めた。

ア 新入学児童の交通安全対策

新入学児童全員に黄色い帽子を支給し、通学の安全を図った。

新入学児童保護者に対して市長から交通安全メッセージの手紙を送り、交通指導員から「交通安全のお願い」のリーフレットを渡すとともに交通安全講話を行い、交通安全の徹底を図った。

イ 交通安全指導用備品等の配置

小学校及び特別支援学校に自転車用ヘルメットなどの備品を配置し、「自転車安全教室受講証」を配布した。

ウ 通学路安全対策検討会の開催

通学路の交通安全施設に関する要望事項を、各関係機関と協議・判定し、その結果を各学校に説明した。

関係機関から児童・生徒の交通事故防止や区における安全対策について説明した。

エ 学童交通生活安全協力功労者及び団体への感謝状贈呈

各区に選考委員会を設け、区長の推薦により、教育委員会が対象者を決定し、個人16人、団体16団体に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

オ　平成26年度における幼児・児童・生徒の交通事故（教育委員会への届出による）

事故程度別　（人）

軽　傷	重　傷	死　亡	計
24	28	1	53

学校種別　（人）

幼	小	中	高	計
0	41	10	2	53

（２）防災教育

授業時、業間など様々な場合を想定した避難訓練を実施し、緊急時の避難方法の習得に努めた。また、「なごやっ子防災ノート」を配布し、授業等で活用して児童生徒の防災に対する意識を高めるとともに、家庭とも連携して防災教育を進められるようにした。

12　学校図書館教育

（１）自ら学ぶ学習態度の育成を目指し、教育活動全体を通して、学校図書館の計画的な利用を図った。

（２）豊かな人間性の育成を目指し、図書館利用指導や読書指導を通して、読書の習慣化に努めた。

（３）利用しやすい図書館づくりを目指し、資料整理と施設・設備の改善に努めた。

（４）「学校図書館の指導の手引き」を活用し、子どもたちの健やかな成長を支える読書活動が推進されるよう努めた。

13　職　業　教　育

（１）教育課程の運営に当たって、指導内容及び指導方法の工夫と改善を推進した。

（２）望ましい勤労観・職業観の育成を目指し、インターンシップ（就業体験）を職業に関する専門学科を有する全日制の全ての高校で実施した。

（３）課題解決能力の育成を図るため、職業に関する全ての学科で「課題研究」の推進を図った。

（４）全校をインターネットに接続し、ネットワークを活用した模擬取引等の実施をすすめるなど、その教育利用を推進した。

（５）本市の職業教育の充実・振興を図ることを目的として、商業科・工業科・総合学科の高校生10人を東南アジアに派遣し、現地の産業の視察や体験活動などを行った。

14　野　外　教　育

（１）概　　要

名古屋の児童生徒に対して、自然に親しみ豊かな自然環境の中での学習や集団生活を体験させるため、稲武（昭和41年９月開設）及び中津川（昭和45年12月開設）の野外教育センターを利用し、中学校２年生、小学校５年生全員に２泊３日の野外教育を実施した。また、野外学習センター（平成２年５月開設）は、高校生のオリエンテーション・部活動合宿・その他の研修などの場として利用されている。

（２）施設の概要

施設名	名古屋市稲武 野外教育センター	名古屋市中津川 野外教育センター	名古屋市野外 学習センター
所在地	愛知県豊田市稲武町 井山１番地の19	岐阜県中津川市 苗木4827番地	愛知県豊田市富永町 ヨシガタイラ15番地
施　設	敷地総面積　約315万㎡ 建　物　（延面積） 第一本館　2,950.70㎡ 第二本館　1,553.69㎡ 第三本館　1,376.37㎡ 多目的ホール　1,722.77㎡ 収容人員　600人 第一本館　200人 第二本館　200人 第三本館　200人	敷地総面積　約12万㎡ 建　物　（延面積） 第一本館　4,093.30㎡ 第二本館　2,619.62㎡ 多目的ホール　738.93㎡ 集会室　814.05㎡ 収容人員　700人 第一本館　400人 第二本館　300人	敷地総面積　約123万㎡ 建　物　（延面積） 管理棟　951.29㎡ 食堂棟　1,455.76㎡ 宿泊棟　1,587.10㎡ 体育館　1,332.00㎡ 収容人員　500人

（３）平成26年度施設利用状況

施　設　名	校　数	参加者合計（含引率者）
	校	人
稲武野外教育センター	109	18,188
中津川野外教育センター	267	19,873
野外学習センター	27	6,693

※野外学習センターについては、表中のほか、社会教育団体等（52団体、3,023人）が利用した。

15　国　際　理　解

（１）高校生海外派遣事業

本市では、平成４年から市立商業科・工業科・総合学科に在籍する高校生10人を東南アジアに夏季休業中12日間派遣し、体験学習や現地産業の視察を通して相互理解を深め国際的感覚の向上に努めている。また、平成７年より普通科を設置する市立高校８校より16人をシドニー市の現地高校へ18日間派遣するとともに、シドニー市からの高校生16人を14日間市立高校８校で受け入れてきた。平成21年度より本市からの派遣のみとなり、また平成26年度より夏季休業中12日間の派遣とし、現地校での英語学習・授業体験・交流活動及び自主研修プログラムなどにより、国際的視野をもった人間の育成を図っている。

（２）姉妹友好都市児童生徒書画展

本市の姉妹友好都市へ小中学生の作品を送るとともに、姉妹友好都市からも作品を送ってもらい、作品交換を通して国際親善に努めた。これらの作品については、名古屋市博物館において、本市児童生徒の作品とともに11月下旬に展示され、小中学生はもちろん、多数の市民の観覧を受け、国際親善に役立った。なお、名古屋国際学園の絵画作品と、「ふれあい協定」による中津川市・豊田市稲武地区の小中学生の作品も展示した。

（３）国際理解教育

本市では、昭和55年度より中高等学校の生徒に外国人英語指導助手の指導による学習を体験させ、英語学習に対する意欲を高めるとともに、生徒との直接的な交流による国際理解教育の実践を図っている。平成26年度は、助手95人を中学校全校、高等学校10校へ派遣した。また、商業高校３校（中央高校含む）と総合学科高校１校には高等学校非常勤外国人講師を７人配置し、１校当たり全学年で年間500時間程度生きた英語による学習を体得した。さらに、名東高校にはロサンゼルス市より現職教員２人を配置するとともに、英語に慣れ親しむために小・特別支援学校267校へ英語活動アシスタントを、小学校261校に外国語活動アシスタントを派遣した。

（４）日本語教育が必要な児童生徒の受け入れ

ア　趣　　旨

急増する外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るとともに、外国人児童生徒との直接的な交流体験を通して日本人児童生徒の国際理解を促進するために本市では以下のような取り組みを行っている。

イ　学校生活への適応指導

日本語教育相談センターに教育経験豊かな日本語学習支援コーディネーターと、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピノ語及びハングルが理解できるコンサルタントを配置して、電話等による相談や翻訳・通訳派遣要請に応じた。また、上記言語の会話集及びガイドブック「ようこそなごやへ」を活用して、日本語指導の充実を図っている。

ウ　日本語指導講師の配置

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小中学校には、日本語教育適応学級担当教員を配置するとともに、日本語指導講師を派遣し、日本語習得のための個別指導等を行った。

エ　母語学習協力員の配置

北区、中区、中川区、港区、南区、緑区に、フィリピノ語、ポルトガル語、中国語が話せる母語学習協力員を配置し、拠点校を中心に日本語指導や適応指導の補助を行った。

オ　平成27年度の主な事業予定

（ア）　日本語教育相談センターにおける相談事業及び通訳・翻訳派遣を引き続き実施する。
（イ）　初期日本語集中教室２教室を引き続き実施する。
（ウ）　日本語通級指導教室 16 教室を引き続き実施する。
（エ）　母語学習協力員を 20 人から 26 人に増員し学校に配置する。
（オ）　日本語指導が必要な児童生徒への支援に関するホームページを運営し、各施策の周知及び利用促進を図る。

（５）帰国児童生徒教育

ア　趣　　旨

近年、海外から帰国したり、海外へ出国したりする保護者の増加に伴い、同伴する児童生徒の就学・進路や学校への適応にかかわる教育相談が多くなった。そこで本市としては、教育相談機関と帰国児童生徒教育の研究校の充実を図るとともに、高等学校への帰国生徒の受け入れを実施している。また、中国からの帰国者が増加し、それに伴う児童生徒の教育の重要性が問われるようになってきた。

イ　教育相談機関

名古屋市教育センター等で、次のような事項について相談に応じた。

相談内容　１　出国に伴う教育上の問題
　　２　帰国に伴う進路・就職や学校への適応の問題
相 談 員　名古屋市教育センター指導主事

ウ　帰国児童生徒教育研究協議会における研究

最近、海外勤務経験者児童生徒とあいまって中国帰国児童生徒が増加しており、その教育上の問題も複雑化してきた。

（ア）　海外勤務経験者児童生徒数　田代小32人、東山小39人、城山中33人、笹島小32人、笹島中22人

（イ）中国帰国児童生徒数　浦里小31人、千鳥丘中15人　（平成26年度調査実績）

そこで、これらの問題に対応するために海外日本人学校の教職経験者や、帰国児童生徒教育研究協力校（上記７校）の教員で組織する帰国児童生徒教育研究協議会において、学校生活への早期適応指導、国際理解教育等に関する研究を進めている。指導方法としては学齢相当学年に入級させ、一般児童生徒とともに学習させること、特別時間割を設けて特定時間に帰国児童生徒を個別指導することで対応した。

エ　帰国児童生徒教育推進校

帰国児童生徒教育研究協力校のうち、笹島小学校と笹島中学校では、特に日本語教育が必要な海外勤務経験者児童生徒への個別指導などを行い、学校生活への適応を図った。また、ＡＥＴや外国人ボランティアの協力を得て、児童生徒が海外で身に付けた言語や国際的な感覚の保持・伸長を図った。

オ　海外帰国生徒にかかる入学者選抜

海外帰国生徒の高等学校への受け入れ特別措置として、名東高校国際英語科において、所定の資格を有する者に特別選抜を実施している。

16 情 報 教 育

（１）学習用コンピュータの設置及びネットワークの整備

学習用コンピュータは、平成元年度から本格整備を始め、平成10年度には特別支援学校に各８台のマルチメディア対応コンピュータを設置、平成11年度からは、小学校22台、中学校42台のコンピュータにサーバを加え、ネットワーク化し、その後、機器の更新と拡充を図っている。

平成18年度からは、電子黒板とノートパソコン、プロジェクタを組み合わせて配備し、教室での活用を進めている。

ネットワークについては､すべての学校で平成22年度末までに校内ＬＡＮを整備している。現在、名古屋市立の全幼稚園、小・中・特別支援・高等学校412校が一つのネットワークで結ばれ、名古屋市教育センターを通してインターネットにつながっており、安全かつ安心してインターネットが使える環境が整っている。

（２）情報教育の推進

「郷土学習なごや」などの教育用デジタルコンテンツ、学習リンク集などをネットワーク環境のもとで提供しており、電子黒板等を使って、「分かる授業の実現」に取り組んでいる。

また、情報モラルに関して「情報モラルコンテンツ」をパッケージ化して提供し、情報モラル教育を推進している。

（３）視聴覚教材

名古屋市教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーでは､16ミリ映画教材､ビデオ教材、ＤＶＤ教材などを、学校や社会教育関係団体等へ貸し出している。

17 定 時 制 教 育

（１）定時制教育の概況

生涯学習社会の中で、定時制高校には、勤労青年だけでなく、さまざまな学習歴をもった生徒が学習の場を求めて入学を希望するようになった。昨今では志望者数も増加傾向に転じている。これに応えて各校では、多様な教育課程の編成や、個別指導、少人数指導、個人面談や家庭訪問等、指導内容・指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

さらには平成11年度には、学年の区分を設けず、多様な選択科目から生徒が自分のペースに合わせて学習計画をたて、修得した単位を積み上げて卒業するという、新しいタイプの課程として、中央高校に本市としては初めて、単位制による課程を設置した。

定時制生徒のための教育条件の整備・充実は、関係方面の協力を得てその実績をあげている。条件に合致した生徒への教科書の無償給付、給食（割子弁当・牛乳）の補助などがその主なものである。

また、魅力ある定時制教育のあり方を求めて、指導内容・指導方法についての実践研究を重ね、修学の喜びを体験させるよう工夫をこらしている。

（２）平成26年度定時制教育充実のための経費

設　備　費	教　科　書 無償給与費	給　食　費	教育指導費	計
円 341,000	円 1,103,000	円 863,000	円 424,000	円 2,731,000

（３）主な定時制教育振興事業

ア　定時制教育に精励する生徒への激励及び表彰

イ　部活動等での活躍が顕著である生徒への激励及び表彰

ウ　「名古屋市立高等学校定時制入学案内」（平成27年度生徒募集用パンフレット）「単位制による定時制課程（昼間）普通科」（紹介リーフレット）の作成・配布及び「広報なごや」に生徒募集要項を掲載（１回）

エ　「定時制の生徒調査と研究紀要」（平成26年度版）の作成・発行

オ　定時制教育に関する各種調査・研究

18　特別支援教育

（１）概　　況

障害のある児童生徒に対して、障害の種類及び程度に応じたきめ細かい教育を行うため、知的障害、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由及び病弱・身体虚弱（病院内学級を含む）の特別支援学級と、難聴、言語障害、発達障害の通級指導教室を設けると共に、知的障害の程度が比較的重い児童生徒のために特別支援学校を設置した。また、知的障害に加えて身体の障害が重いため学校へ通って学習することの困難な児童生徒に対しては、教師が家庭へ出向いて指導する訪問教育を行っている。さらに、軽度の知的障害の生徒のための職業教育を充実するため、平成23年度に守山養護学校高等部に産業科を設置した。小・中学校及び幼稚園、高等学校に在籍する障害のある幼児児童生徒に年間を通して介助・支援が必要な場合に、学校生活介助アシスタントを配置している。また、学級や教科担任との連携を図りながら、発達障害の可能性のある幼児児童生徒に対して学校（園）生活への適応のため、学校（園）生活全般での介助等を行う発達障害対応支援員や個別指導あるいは少人数での指導を行う発達障害対応支援講師を配置している。

（２）就学指導委員会

特別支援学級や通級指導教室、特別支援教育諸学校への入級・入室や入学については、適切な就学をすすめるため医師・学識経験者等の意見聴取者及び教育職員・関係行政職員等の委員からなる就学指導委員会を設けている。

ア　学校別就学指導委員会

市内の各小学校及び中学校に置かれる就学指導委員会において、当該学校への障害のある児童生徒の就学に関する調査及び障害のある児童生徒の保護者に対する就学上の相談・助言等を行う。

イ　区別就学指導委員会

行政区内等に居住する障害のある児童生徒の就学に関する調整並びに、学校別就学指導委員会に対する指導及び助言を行う。

ウ　障害別専門部会

視覚障害等の障害種別や、特別支援学校に関する専門部会を開催し、入級・入室及び入学対象者の適切な学びの場について意見聴取を行う。

エ　市就学指導委員会

障害のある児童生徒の障害の程度に応じた特別支援学校及び特別支援学級への就学について、調査し審議するとともに、学校別就学指導委員会の依頼に応じて指導及び助言を行う。

（３）特別支援教育の現状

ア　特別支援学級

特別支援学級の種別と入級対象者

種　　別	入　級　対　象　者
知的障害	知的発達に遅滞がみられ、 他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、 社会生活への適応が困難な者
弱　　視	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、 図形等の視覚による認識が困難な者
難　　聴	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な者
自閉症・情緒障害	自閉症又はそれに類する者等、及び心理的な要因でかん黙等がみられる者
肢体不自由	補装具によっても歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある者
病弱・身体虚弱 （病院内学級を含む）	呼吸疾患等、疾患の状態が長期に渡り、持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする者
言語障害	構音障害、吃音等のある者又は言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者

・特別支援学級設置状況一覧表（設置年度は最初の年度を記載）

知的障害特別支援学級

（平成27年５月１日現在）

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
千種	内山	30	1	2
	春岡	H13	1	3
	高見	H17	1	3
	大和	H27	1	3
	田代	58	1	6
	自由ヶ丘	H17	1	2
	上野	59	1	4
	富士見台	56	1	5
	東山	H27	1	1
	星ケ丘	H7	1	1
	宮根	H18	1	4
	見付	H26	1	3
東	旭丘	41	1	3
	筒井	H15	1	6
	矢田	62	1	2
	明倫	H27	1	1
	砂田橋	H11	1	1
北	飯田	30	1	3
	大杉	38	1	2
	清水	H14	1	6
	名北	58	1	2
	金城	60	1	3
	城北	36	1	3
	光城	H12	1	2
	楠	52	1	3
	味鋺	H13	1	4
	西味鋺	H18	1	3
	楠西	H12	1	2
	如意	H27	1	3
	宮前	H14	1	7
	川中	H27	1	2
	辻	61	1	3
西	なごや（西）	H27	1	2
	栄生	H27	1	2
	上名古屋	36	1	3
	枇杷島	H22	1	4
	南押切	38	1	2
	庄内	H22	1	4
	稲生	H26	1	3
	山田	59	1	3
	平田	51	1	3
	比良	56	1	2
	大野木	H23	1	4
	浮野	H25	1	1
	比良西	H17	1	4
	中小田井	H20	1	6
中村	中村	40	1	4
	ほのか	H14	1	5
	牧野	H21	1	3
	日比津	H20	1	2
	柳	H12	1	5
	稲葉地	H24	1	6
	日吉	36	1	3
	岩塚	59	1	2
	稲西	50	1	1
	八社	H18	1	2
中	栄	H21	1	2
	新栄	H25	1	5

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
中	松原	H27	1	1
	橘	31	1	4
	平和	H25	1	1
	老松	57	1	3
	大須	H27	1	1
	正木	H17	1	3
昭和	鶴舞	H25	1	3
	吹上	39	1	3
	村雲	H20	1	2
	松栄	30	1	7
	御器所	H27	1	4
	広路	42	1	5
	川原	60	1	3
	八事	H21	1	4
	滝川	H20	1	4
瑞穂	堀田	37	1	3
	汐路	59	1	5
	高田	H27	1	2
	瑞穂	32	1	4
	穂波	H19	1	4
	陽明	H21	1	4
	中根	H18	1	5
熱田	高蔵	H15	1	2
	旗屋	H19	1	1
	千年	H21	1	2
	白鳥	31	1	3
	野立	38	1	2
	大宝	H24	1	2
中川	露橋	36	1	4
	愛知	H16	1	2
	八熊	H14	1	3
	昭和橋	H26	1	2
	常磐	30	1	8
	八幡	H20	1	2
	荒子	H21	1	7
	篠原	H17	1	4
	戸田	41	1	3
	豊治	H22	1	4
	千音寺	H19	1	4
	長須賀	H25	1	3
	万場	H7	1	5
	明正	61	1	3
	玉川	H27	1	2
	赤星	H21	1	4
	西中島	H19	1	2
	五反田	H27	1	1
	春田	H20	1	2
	西前田	H20	1	2
港	東築地	H18	1	8
	中川	H27	1	1
	大手	36	1	3
	港西	H27	1	2
	小碓	59	1	6
	高木	57	1	4
	南陽	H16	1	3
	港楽	40	1	3
	明徳	51	1	3
	稲永	53	1	3
	東海	H15	1	2

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
港	野跡	H23	1	4
	当知	H20	1	5
	正保	H21	1	5
	神宮寺	H25	1	3
	福田	H26	1	3
	福春	H22	1	2
南	豊田	H22	1	4
	明治	59	1	2
	伝馬	H18	1	4
	呼続	60	1	4
	白水	42	1	2
	柴田	H22	1	1
	桜	36	1	2
	菊住	H19	1	2
	道徳	49	1	2
	笠寺	58	1	2
	大生	39	1	2
	千鳥	32	1	2
	星崎	H27	1	2
	春日野	H11	1	2
	笠東	H23	1	3
	宝南	H18	1	2
守山	守山	36	1	5
	小幡	H16	1	2
	廿軒家	H22	2	9
	大森	50	1	4
	瀬古	H16	1	4
	鳥羽見	40	1	2
	志段味東	H13	2	10
	志段味西	H27	1	2
	白沢	58	1	3
	苗代	60	1	6
	本地丘	H24	1	2
	天子田	H26	1	2
	二城	H26	1	3
	森孝東	H17	1	1
	森孝西	H22	1	3
	小幡北	H18	1	5
	吉根	H19	1	3
	下志段味	H24	1	3
緑	鳴海	50	1	8
	鳴海東部	60	1	5
	東丘	H11	1	7
	平子	40	1	2
	鳴子	59	1	1
	大高	61	1	2
	有松	58	1	6
	緑	48	1	2
	片平	47	1	2

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
緑	戸笠	H20	1	2
	太子	H11	1	3
	浦里	H20	1	2
	旭出	H12	1	2
	黒石	55	1	1
	神の倉	H16	2	9
	長根台	H14	1	3
	桶狭間	H18	1	2
	相原	H16	1	6
	桃山	H19	1	7
	南陵	H13	1	6
	大高北	H26	1	4
	大高南	H21	1	4
	徳重	H13	1	2
	滝ノ水	H21	1	3
	大清水	H14	1	4
	常安	H21	1	2
	小坂	H17	1	1
	熊の前	H20	1	2
名東	香流	57	1	5
	高針	52	1	2
	藤が丘	H13	1	3
	名東	60	2	10
	蓬来	H27	1	3
	本郷	58	1	1
	貴船	H12	1	4
	引山	H11	1	1
	平和が丘	H17	1	2
	前山	H18	1	3
	梅森坂	H23	1	2
	北一社	H18	1	5
	牧の原	H22	1	4
天白	天白	40	1	6
	八事東	H16	1	2
	平針	50	1	1
	植田	55	1	4
	野並	H21	1	2
	高坂	H19	1	2
	しまだ	60	1	1
	表山	H26	1	2
	平針南	H17	1	4
	大坪	59	2	10
	山根	H18	1	3
	原	H27	1	2
	植田南	H23	1	5
	平針北	H11	1	2
	植田北	H18	1	5
	植田東	H21	1	4
計		（214校）	219	702

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
千種	今池	35	1	2
	城山	59	1	4
	千種台	H16	1	4
	振甫	41	1	8
	千種	60	1	2
	東星	H27	1	3
東	あずま	40	1	4
	矢田	58	1	7
北	若葉	36	1	4
	志賀	H23	1	2
	北陵	H27	1	3
	大曽根	H13	1	6
	八王子	34	1	6
	楠	40	1	4
	北	H23	1	5
西	名塚	58	1	5
	天神山	38	1	3
	山田	56	1	4
	平田	60	1	5
中村	豊国	36	2	12
	笈瀬	37	1	4
	御田	H26	1	3
	豊正	38	2	10
	日比津	H26	1	4
中	伊勢山	H23	1	2
昭和	北山	33	1	3
	円上	42	1	3
	駒方	58	2	11
瑞穂	田光	H15	1	4
	萩山	H25	1	6
	汐路	58	1	7
	津賀田	38	1	2
熱田	沢上	H23	1	5
	宮	59	1	5
	日比野	35	1	5
中川	一色	39	1	2
	長良	36	1	4
	山王	35	1	4
	一柳	H25	1	5
	八幡	H26	1	6
	昭和橋	H23	1	2
	富田	45	2	11
	はとり	60	1	2
	供米田	H24	1	4
	高杉	H22	1	8

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
港	港南	34	1	4
	港北	H26	1	5
	東港	37	2	10
	南陽	62	1	6
	当知	58	2	10
南	本城	39	1	4
	新郊	H22	1	2
	桜田	36	1	2
	大江	59	1	2
	明豊	H22	1	5
	名南	H13	1	4
	南光	33	1	4
守山	守山	H26	1	8
	守山東	38	2	14
	守山西	41	1	4
	志段味	H22	2	9
	大森	57	1	3
	守山北	H26	1	5
	森孝	H27	1	5
緑	鳴海	40	1	1
	大高	H10	1	4
	有松	H10	1	7
	鳴子台	58	1	3
	東陵	H16	1	5
	千鳥丘	H21	1	7
	神沢	H11	1	5
	扇台	H15	1	7
	滝ノ水	H14	1	3
	左京山	H16	1	3
	鎌倉台	H16	1	3
	神の倉	H26	1	4
名東	猪高	H21	1	5
	神丘	H17	1	3
	高針台	H14	1	8
	猪子石	62	1	3
	藤森	59	1	1
天白	天白	52	1	7
	御幸山	H19	2	10
	平針	H4	2	11
	植田	59	2	10
計		（85校）	96	431

自閉症・情緒障害特別支援学級

（平成27年５月１日現在）

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
千種	内山	58	1	1
	千種	H26	1	2
	田代	H22	2	11
	自由ヶ丘	H21	1	6
	上野	H11	1	3
	富士見台	H14	1	6
	東山	H15	1	2
	星ヶ丘	H25	1	2
	宮根	H18	1	4
	千代田橋	H24	1	1
東	旭丘	53	1	6
	筒井	H26	1	2
	矢田	H19	1	3
	砂田橋	H17	1	4
北	飯田	H27	1	1
	清水	H21	1	2
	名北	H14	1	3
	金城	H15	1	3
	城北	H27	1	2
	楠	H4	2	11
	味鋺	H16	1	4
	楠西	H20	1	8
	如意	H27	1	3
	宮前	H22	1	5
	川中	H18	1	2
	辻	H24	1	1
西	城西	H27	1	1
	児玉	H23	1	4
	南押切	H24	1	3
	庄内	H24	1	5
	稲生	H18	1	1
	山田	H24	1	3
	平田	H22	1	5
	比良	H11	1	2
	大野木	H26	1	3
	比良西	H18	1	4
	中小田井	H22	1	3
中村	笹島	H22	1	3
	中村	59	1	2
	ほのか	H20	1	3
	牧野	H24	1	2
	日比津	H17	1	4
	諏訪	H23	1	4
	柳	H15	1	5
	稲葉地	H22	1	4
	稲西	H16	1	2
	八社	H24	1	3
中	新栄	H27	1	2
	橘	59	1	5
	平和	H27	1	1
	老松	H16	1	4
昭和	吹上	54	1	1
	松栄	59	1	2
	広路	H15	1	1
	川原	H14	1	2
	川原分校	H25	2	16
	八事	H22	1	2
	滝川	48	1	3
瑞穂	弥富	H20	1	1
	御劔	H27	1	2
	堀田	58	1	2
	高田	H24	1	3
	瑞穂	H15	1	2
	穂波	H22	1	1
	陽明	H19	1	4
	中根	H18	1	7
熱田	旗屋	H21	1	2
	船方	H26	1	5
	白鳥	H21	1	3
	野立	57	1	3
	大宝	H25	1	2
中川	愛知	H26	1	2
	八熊	H18	1	2
	昭和橋	H27	1	3
	常磐	H7	1	7
	八幡	H21	1	4
	荒子	H22	1	4
	篠原	H21	1	4
	戸田	56	1	2
	豊治	H24	1	4
	千音寺	H27	1	4
	万場	H14	1	6
	明正	H22	1	3
	中島	H17	1	1
	玉川	H15	1	1
	赤星	H22	1	3
	西中島	H27	1	2
	春田	H22	1	2
	西前田	H27	1	1
港	東築地	H18	1	8
	大手	H17	1	3
港	小碓	H11	1	4
	西築地	H21	1	2
	高木	H14	1	4
	南陽	H17	1	4
	港楽	H20	1	3
	明徳	H14	1	3
	稲永	58	1	6
	東海	H23	1	3
	野跡	H27	1	2
	神宮寺	H21	1	1
	西福田	H27	1	1
	福田	61	1	3
	福春	H25	1	4
南	豊田	H22	1	4
	明治	H15	1	4
	呼続	H15	1	4
	菊住	H22	1	1
	道徳	58	1	3
	笠寺	H15	1	5
	大生	H23	1	1
	大磯	H24	1	4
	星崎	H26	1	5
	春日野	H12	1	2
守山	守山	H15	1	3
	小幡	H26	1	5
	廿軒家	H23	1	4
	大森	H17	1	4
	瀬古	H21	1	5
	鳥羽見	57	1	1
	志段味東	H21	1	4
	志段味西	H26	1	2
	白沢	H13	1	5
	苗代	H19	1	3
	本地丘	H22	1	5
	天子田	H25	1	4
	西城	H27	1	1
	小幡北	H25	1	1
	吉根	H21	1	3
	下志段味	H25	1	2
緑	鳴海	57	1	4
	鳴海東部	H24	1	7
	東丘	H23	1	2
	平子	H27	1	1
	鳴子	H9	1	4
	大高	H10	1	3
	有松	H20	1	5
	緑	H12	1	2
	片平	H15	1	4
	浦里	H21	1	2
	旭出	H27	1	2
	黒石	H27	1	1
	神の倉	H18	1	4
	長根台	H18	1	4
	桶狭間	H22	1	3
	相原	H21	1	4
	南陵	H22	1	3
	大高南	H22	1	3
	徳重	H16	1	3
	滝ノ水	H13	1	3
	大清水	H25	1	4
	小坂	H22	1	4
	熊の前	H20	1	5
名東	猪高	H元	1	5
	香流	63	1	2
	高針	H13	1	3
	藤が丘	H15	1	3
	名東	H21	1	5
	本郷	H19	1	1
	貴船	H14	1	6
	引山	H15	1	2
	豊が丘	H26	1	2
	平和が丘	H25	1	2
	極楽	H27	1	1
	前山	H15	1	3
	梅森坂	H27	1	2
	北一社	H25	1	3
	牧の原	H22	1	2
天白	天白	59	1	4
	八事東	H18	1	1
	平針	H14	1	2
	植田	57	1	2
	高坂	H25	1	3
	しまだ	H24	1	1
	表山	H23	1	5
	大坪	H23	1	3
	山根	H22	1	2
	原	H27	1	2
	植田南	H13	1	4
	植田東	H21	1	4
計		（180校）	183	583

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
千種	今池	59	1	4
	城山	H24	1	4
	千種台	H19	1	6
	振甫	H21	1	4
東	あずま	59	1	2
	矢田	H10	1	4
北	若葉	57	1	2
	志賀	H24	1	3
	大曽根	H17	1	3
	八王子	H17	1	4
	楠	H16	1	7
	北	H25	1	3
西	名塚	H24	1	3
	天神山	63	1	2
	山田	62	1	8
中村	笹島	H23	1	3
	豊正	61	1	6
中	伊勢山	62	1	2
昭和	川名分校（くすのき学園）	H25	2	16
	円上	59	1	4
	駒方	H20	1	4
瑞穂	田光	H21	1	4
	汐路	H元	1	4
熱田	沢上	H25	1	4
	宮	H23	1	2
	日比野	57	1	5
中川	一色	H15	1	2
	長良	60	2	9
	山王	H22	1	3
	一柳	H27	1	4
	昭和橋	H25	1	4
	富田	58	2	11
	はとり	H20	1	5
	高杉	H22	1	1

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
港	港南	H26	2	10
	南陽	H元	1	1
	当知	H3	2	11
南	本城	H26	1	4
	新郊	H22	1	2
	桜田	59	1	2
	大江	63	1	2
	明豊	H23	1	2
	名南	58	1	2
守山	守山	H26	1	3
	守山東	59	1	5
	守山西	H2	1	3
	志段味	H27	2	9
	大森	H19	1	2
	守山北	H27	1	3
緑	鳴海	59	1	7
	大高	H25	1	7
	有松	H15	1	6
	鳴子台	H26	1	4
	千鳥丘	H26	1	3
	扇台	H21	1	3
	滝ノ水	H25	1	4
	鎌倉台	H18	1	2
	神の倉	H18	1	3
名東	猪高	H23	1	5
	神丘	H25	1	7
	高針台	60	2	10
	猪子石	H24	1	4
	藤森	H11	1	1
	天白	57	1	3
	御幸山	H25	2	10
	平針	H23	1	5
計		（66校）	74	297

156

難聴特別支援学級

校名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	49	2	12
計	（1校）	2	12

言語障害特別支援学級

校名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	H24	1	1
計	（1校）	1	1

肢体不自由特別支援学級

校名	設置年度	学級数	児童生徒数
千代田橋小	H22	1	2
六郷北小	H22	1	3
大野木小	H21	1	2
村雲小	H23	1	4
瑞穂小	H22	1	1
常磐小	H15	1	5
当知小	H20	1	1
菊住小	H23	1	3
瀬古小	H16	1	2
下志段味小	H27	1	1
小坂小	H18	1	2
藤が丘小	H26	1	2
植田東小	H24	1	3
八王子中	H25	1	1
山田東中	H27	1	1
長良中	H20	1	2
守山西中	H23	1	2
神の倉中	H22	1	1
計	（18校）	18	38

弱視特別支援学級

校名	設置年度	学級数	児童生徒数
笹島小	49	1	2
熊の前小	H20	1	1
笹島中	H25	1	1
計	（3校）	3	4

病弱・身体虚弱特別支援学級（病院内学級を含む）

校名（病院名）	設置年度	学級数	児童数
中村小（第一日赤）	57	1	8
名城小（名古屋医療）	57	1	3
滝川小（第二日赤）	57	1	8
汐路小（市　大）	59	1	1
昭和橋小（掖済会）	60	1	1
港楽小（中部労災）	58	1	0
大高南小（南生協）	57	1	0
藤が丘小	H26	1	4
計	（8校）	8	25

イ　通級指導教室

・通級指導教室の種別と入室対象者

言語障害教室	言語障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
難　聴　教　室	聴覚障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
発達障害教室	発達障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者

・通級指導教室設置状況一覧表

（平成27年５月１日現在）

言語障害教室

校　名	設置年度	教室数	児童数
東桜小	H5（40）	1	7
牧野小	H5（49）	1	6
井戸田小	H5（60）	1	6
高蔵小	H5（44）	1	4
成章小	H9	1	13
小幡小	H7	1	5
鳴海小	H7	1	12
表山小	H6	1	6
計	（8校）	8	59

難　聴　教　室

校　名	設置年度	教室数	児童数
東桜小	H5（40）	1	7
牧野小	H5（49）	1	5
井戸田小	H5（60）	1	6
高蔵小	H5（44）	1	6
計	（4校）	4	24

※（　）内は学級としての設置年度

発達障害教室

校　名	設置年度	教室数	児童・生徒数
田代小	H18	1	10
星ヶ丘小	H22	1	17
旭丘小	H26	1	10
矢田小	H24	1	13
矢田中	H21	1	12
東志賀小	H18	1	7
城北小	H25	1	17
楠小	H22	1	11
稲生小	H22	1	14
山田小	H24	1	15
中小田井小	H21	1	8
稲葉地小	H21	1	13
八社小	H24	1	18
正木小	H20	1	14
川原小	H25	1	16
桜山中	H19	1	9
弥富小	H22	1	13
豊岡小	H21	1	9
白鳥小	H22	1	12
大宝小	H22	1	11

校　名	設置年度	教室数	児童・生徒数
常磐小	H22	1	13
篠原小	H19	1	7
万場小	H24	1	6
高木小	H22	1	13
豊田小	H22	1	25
大磯小	H19	1	10
千鳥小	H25	1	20
廿軒家小	H21	1	10
有松小	H18	1	14
旭出小	H22	1	9
大高南小	H22	1	15
熊の前小	H22	1	11
千鳥丘中	H26	1	4
猪子石小	H21	1	6
前山小	H22	1	9
植田小	H22	1	21
しまだ小	H20	1	13
計	（37校）	37	455

※県立聾学校による巡回指導

高見小・大和小・辻小・大野木小・御器所小・八事小・五反田小・小碓小・東海小・明治小・廿軒家小・　鳴海小・猪子石小・平和が丘小・植田小・大坪小―　16校　19教室　19名

御田中―１校　２教室　２名

ウ　名古屋市立特別支援学校（知的障害）

特別支援学校設置状況一覧表　　（平成 27 年５月１日現在）

校　　名	開設年度	区　　分		小学部 １～６年	中学部 １～３年	高等部 １～３年	計
西養護学校	48	普通科	通　　常	47	50	176	273
			訪問教育	2	0	―	2
		計		49	50	176	275
南養護学校	51	普通科	通　　常	59	52	255	366
			訪問教育	0	2	―	2
		計		59	54	255	368
天白養護学校	55	普通科	通　　常	32	47	62	141
			施設内教育	0	0	―	0
		計		32	47	62	141
守山養護学校	60	普通科	通　　常	51	54	139	244
		産業科(H23～)		―	―	81	81
		計		51	54	220	325

（注）　施設内教育の施設とは、子ども青少年局所管のあけぼの学園。

（４）その他

ア　特別支援学級・特別支援学校連合運動会

期　日　　８月８日

場　所　　日本ガイシスポーツプラザ　ガイシホール

参加者　　市立小・中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童・生徒

イ　特別支援教育展（きらめき展）

期　日　　２月17日～22日

場　所　　名古屋市博物館

出品者　　市立小・中学校の特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校の児童・生徒

ウ　「名古屋の特別支援教育」の刊行

目　的　　一般の学校職員・ＰＴＡ等に対して、本市の特別支援教育の概要についての理解を図ること。

内　容　　特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室の教育、障害の種類、教育措置、就学指導、その他本市の特別支援教育の現状等についての概要

19　幼　児　教　育

（１）幼稚園教育の概況

幼児期は、さまざまな体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期である。

幼稚園教育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、一人一人の個性を大切にしながら､家庭と力を合わせ､幼児の健やかな成長や発達を促すことを目的としている。

そして、友達や先生と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心などが育つような環境を整えて教育している。

（２）幼稚園心の教育推進プラン

ア　体験学習の充実

幼稚園において、幼児の心に響く豊かな体験を推進することで、幼児期の健やかな成長を促す。

・人形劇や音楽等の鑑賞事業
・自然体験、社会体験事業

イ　子育て支援事業

幼稚園は地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、地域の親子に幼稚園の施設や機能を開放し、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど「親と子の育ちの場」として、子育てを支援する事業を実施している。

・園舎、園庭開放
・未就園児の親子登園日の設定
・子育て相談
・子育て井戸端会議
・預かり保育など

（３）その他

「名古屋市立幼稚園の子どもたち」リーフレットの刊行

目的　市民に名古屋市立幼稚園の教育の概要について理解を図る。

内容　名古屋市立幼稚園の教育内容、幼稚園の一日の流れ、名古屋市立幼稚園配置図等についての概要

20　学 校 諸 行 事

（１）名古屋市教育祭

ア　主　催　団　体

名古屋市教育祭実施委員会（名古屋市教育委員会、名古屋市立高等学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市立幼稚園長会、名古屋市立高等学校教員組合、名古屋市教員組合、名古屋市立幼稚園教職員組合）

イ　協　賛　団　体

名古屋市教育会、名古屋市立高等学校ＰＴＡ協議会、名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会、名古屋市立幼稚園ＰＴＡ協議会

ウ 行 事 内 容

（ア） 展覧会　高等学校は名古屋市民ギャラリー栄において９月16日から６日間、幼稚園は名古屋市博物館において11月26日から５日間、作品を展示した。小・中学校は学校ごとに実施した。

（イ） 発表会　高等学校は11月１日に音楽会をアートピアホールにおいて実施した。小・中学校は11月５日に音楽会を日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにおいて、午前・午後に分かれそれぞれ実施した。

（２）修学旅行

ア 目 的 地

小学校（263校）

京都・奈良	260校	奈良･大阪・京都	1校	奈良	1校	岐阜・石川	1校

中学校（109校）

東京・千葉・山梨	48校	東京・千葉・静岡	15校	東京・千葉	8校	東京･千葉･神奈川	8校
東京・千葉・長野	3校	東京・山梨	7校	東京・静岡	1校	その他関東方面	14校
大阪・兵庫	3校	大阪･兵庫･和歌山	1校	その他の方面	1校		

高等学校（14校：18行程）

長野（スキー）	2校	岡山・広島・香川	2校	岡山・広島	1校
広島・(山口)	2校	広島・兵庫	1校	京都・大阪・兵庫	1校
奈良・京都・(滋賀)	2校	長崎・福岡・大阪	1校	広島・大阪・(兵庫)	2校
静岡・山梨	1校	沖縄	2校	韓国	1校

特別支援学校（４校）

小・中学部	三重	4校		
高等部（普通科）	大阪	3校	東京・千葉	1校
高等部（産業科）	長崎	1校		

イ 実施時期

小 学 校　５月17校、６月17校、９月53校、10月161校　11月15校

中 学 校　５月18校、６月86校、７月５校

高等学校　５月１校、６月１校、10月８校、11月３校、１月４校、２月１校

特別支援学校　小・中学部　10月４校、

高等部（普通科）　５月１校、10月１校、11月１校、３月１校

高等部（産業科）　２月１校

21　開かれた学校づくり

（１）学校開放週間

１週間程度、保護者や地域の人々の参加・協力を得て学習や行事に取り組むことにより、年間を通じて開かれた学校づくりを進めている。

（２）学校評議員制

家庭や地域との連携を深め教育活動の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営のあり方について幅広く意見を聞いている。

平成26年度は、小学校263校、中学校109校、特別支援学校４校、高等学校14校、幼稚園23園の全413校（園）で実施した。

（３）ホームページの開設

学校から家庭・地域への情報発信のひとつとして学校ホームページの利用を行っている。

22　エコ・フレンドシップ事業

環境問題に対する児童生徒の一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を進めるために、「環境未来探検隊（児童生徒の派遣と交流事業)」「なごや子ども環境会議（成果発表・普及事業)」の２つの事業を行った。

環境未来探検隊は、名古屋市内の小中学校から公募をし、小学校５年生から中学校３年生40名が集まった。児童生徒は、エネルギーや森、海などの環境について学ぶ体験活動を行った。その結果をもとに「なごや子ども環境会議」で成果発表・意見交換を行うとともに、環境保全の大切さについて提言をまとめ普及した。

23　海外演奏家等による音楽鑑賞の推進

世界のトップクラスの演奏家が学校を訪れて演奏することにより、音楽を身近な芸術文化として児童生徒に実感させるために、ゲーテ弦楽四重奏団と名古屋フィルハーモニー交響楽団木管五重奏による演奏会を、小学校６校、中学校１校で開催した。

24　いじめ対策

いじめの未然防止については、児童生徒がいじめのない学校づくりに参画する「学校における仲間づくり推進事業」や「なごやＩＮＧキャンペーン」を実施するとともに、人権教育を基盤にした「いじめ防止教育プログラム」の活用促進を図った。いじめの早期発見については、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上のいじめへの対応の充実、全ての小・中・高等学校における学校生活アンケートの実施を行った。いじめに対する措置・対応については、いじめの認知件数や態様等の報告を各学校から定期的に受けて対応の支援を図ったり、愛知県警察本部と締結した協定に基づいて連携を図ったりした。

第２章　教科用図書採択

１　教科用図書の採択

教科用図書は、学習指導上重要なものであるから、その採択は慎重かつ公正に行わなければならない。教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、厳正かつ民主的に、本市児童生徒に最も適した教科用図書を採択する方針を定めた。中学校用教科用図書は、平成26年度と同一のものを採択する方針を決定し、平成27年度使用教科用図書を採択した。小学校は採択替えの年に当たり、平成27年度使用教科用図書を種目ごとに審議し、採択した。

２　教科用図書の展示会

教科書センターを、鶴舞中央図書館、西・中川・南・緑図書館及び教育センターに設置した。展示会は、６月11日から７月５日まで開催した。

３　平成27年度使用教科用図書

（１）小学校用（教科―出版社名）

国語―教育出版、書写・音楽―教育出版、社会・家庭・保健―東京書籍、地図―帝国書院、算数―啓林館、理科・生活―大日本図書、図画工作―日本文教出版

（２）中学校用（教科―出版社名）

国語・書写・社会（地理）・社会（歴史）―教育出版、社会（公民）・技術家庭・英語―東京書籍、地図―帝国書院、数学―啓林館、理科・保健体育―大日本図書、音楽（一般）・音楽（器楽合奏）―教育芸術社、美術―日本文教出版

第３章　高等学校入学者選抜

１　概　　要

平成27年度名古屋市立高等学校入学者選抜は、「平成27年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき実施した。

全日制課程の入学者選抜は、中学校長より提出される推薦書と調査書及び面接等による「推薦入学」と、調査書及び学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）と面接等による「一般入学」により実施した。なお、名東高校国際英語科では「海外帰国生徒にかかる入学者選抜」を行った。

定時制課程においては、中学校長より提出される調査書及び基礎学力検査、作文、面接により実施した。

２　平成27年度募集人数と志願者数等

（１）全日制課程

日程　推薦入学　２月17日（面接）

海外帰国生徒にかかる入学者選抜　２月17日（学力検査及び面接）

一般入学　Ｂグループ：３月９日（学力検査）、10日（面接）

Ａグループ：３月12日（学力検査）、13日（面接）

学　　科	募集人数	推薦入学志願者数	推薦入学合格者数	一般入学募集人数	一般入学志願者数	倍　率	昨年度の倍率
	人	人	人	人	人		
普　通　科	2,520	552	356	2,164	4,795	2.22	2.19
音　楽　科	40	36	20	20	32	1.60	1.95
国際科学科	40	17	12	28	59	2.11	―
国際英語科	40	24（4）	22（4）	18	79	4.39	4.64
商　業　科	560	303	250	310	706	2.27	2.20
工　業　科	520	386	241	279	710	2.54	2.99
家　庭　科（ファッション文化）	40	29	20	20	34	1.70	2.20
総合学科	200	150	100	100	193	1.93	2.29
合　　計	3,960	1,497（4）	1,021（4）	2,939	6,608	2.25	2.28

（注）（　）内は、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の再掲。

（２）定時制課程

日程　　前期選抜　３月６日　　後期選抜　３月24日

学　　科	総募集人員	志　願　者　数	
		前期選抜	後期選抜
	人	人	人
普　　通　　科（昼間）	160	263	45
普　　通　　科（夜間）	80	48	34
商　　業　　科（夜間）	40	24	3
工　　業　　科（夜間）	40	20	15
合　　計	320	355	97

（注）前期選抜の募集人員は、昼間定時制は総募集人員の８割程度、夜間定時制は総募集人員の７割程度。

第４章　教職員研修と教育研究

１　名古屋市教育センター

（１）教育センターの概要

教育センターは、研修・研究調査部門、障害児教育部門、講堂・展示ホールを包括する総合教育センターとして、昭和56年７月16日開所。平成16年４月１日、視聴覚教育センターと情報処理教育センターが統合され、情報教育部が設置された。

教育センターでは、名古屋市立学校教職員の資質向上を図るため、初任者研修など各種の研修を実施するほか、平成８年10月１日に開設した子ども教育相談「ハートフレンドなごや」（教育相談の総合窓口）を通して、幼児から高校生年齢までの子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる相談に応じるとともに、教職員相談を実施している。また、最も重要な教育課題に対する研究を行い、学校現場に還元している。さらに、教育資料の作成・収集及び頒布、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究も行っている。

	設立年月日	構　造	建物延面積	所　在　地
教育センター	昭和56年 ７月16日	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階　地上７階 塔屋２階	㎡ 10,870.04	熱田区神宮三丁目 ６番14号
分館（教育館）	昭和37年 ９月１日	鉄筋コンクリート造 地下１階　地上６階 塔屋２階	4,965.61	中区錦三丁目16番６号

（２）平成26年度利用状況

区　分		延　件　数		延利用人数	
		件	件	人	人
教育センター	主催事業	2,413	3,602	41,280	141,708
	一般利用	1,189		100,428	
分館	主催事業	266	5,898	7,843	119,521
	一般利用	5,632		111,678	
合計	主催事業	2,679	9,500	49,123	261,229
	一般利用	6,821		212,106	

2　教職員研修の実施

（1）研　　修

（平成26年度）

	研修会名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修	幼稚園新規採用教員研修会	教員としての心構えや基本的な知識・技能	幼新規採用教諭のうち対象者	1
	初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用教諭のうち対象者	1
	高等学校初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	高新規採用教諭のうち対象者	1
	新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	小・中・特新規採用養護教諭のうち対象者	1
	高等学校新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	高新規採用養護教諭のうち対象者	1
	新規採用栄養教員研修会	栄養教諭としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用栄養教諭のうち対象者	1
	新規採用学校事務職員研修会	学校事務職員としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用学校事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）	幼児の成長と発達についての理解	幼稚園経験５年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅰ）	実践的指導力の養成	小・中・特経験５年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	生徒指導･教科指導についての知識や考え方	高経験５年目教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅰ）	学校保健に関する専門的な知識・技能	小・中・特経験５年目養護教諭全員	1
	高等学校養護教員経験者研修会（Ⅰ）	保健指導･生徒指導についての知識や考え方	高経験５年目養護教諭全員	1
	栄養教員・学校栄養職員経験者研修会（Ⅰ）	栄養教員･学校栄養職員に関する専門的な知識･技能	小・中・特経験５年目栄養教諭・学校栄養職員全員	1
	学校事務職員経験者研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な実務能力の向上	小・中・特経験５年目学校事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅱ）	幼稚園教員としての幅広い見識・資質の向上	幼経験10年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目教諭全員	1

	研修会名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修	高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10年目教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目養護教諭全員	1
	高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10年目養護教諭全員	1
	事務長研修会（新任事務長研修・事務長研修）	事務長の役割、学校運営への参画・遂行能力の養成	小・中・特の新任事務長全員と経験２年目以上の事務長の全員	1
	新任主査研修会	主査の役割と学校運営への参画・遂行能力の養成	小・中・特新任主査全員	1
	学校運営研修会（Ⅰ）	教務主任の役割と学校運営	新任教務主任 経験２年目教務主任 教務主任全員	1 1 1
	学校運営研修会（Ⅱ）	校務主任の役割と学校運営	新任校務主任 校務主任全員	1 1
	生徒指導研修会	生徒指導に関する今日的な課題とその対応	小・中・特・高の生徒指導主任、生徒指導主事及び生活指導関係教諭	1
	情報教育担当者研修会	これからの情報教育のあり方についての理解	幼・小・中・特・高の情報教育担当者等、情報教育を推進する者１人以上	1
	教育相談研修会	教育相談担当者の役割と子どもの抱える今日的な課題克服に向けた具体的な指導・支援	小・中・特・高の教育相談担当者等、教育相談を推進する教員各校１人以上	1
	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室新規担当教員研修会	特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室の担当教員として必要となる学級・教室経営や指導・支援	小・中の通常の学級から、新たに特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室に異動した教諭・常勤講師全員 特別支援学校・特別支援学級から、新たに通級指導教室に異動した教諭・常勤講師の希望者 担当する障害種が変わった特別支援学級・通級指導教室の教諭・常勤講師の希	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修			望者 初任研（特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室）により、本研修未受講者の希望者	
	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会	障害のある子どもの理解や指導に関する、障害特性に応じた総合的な知識や今日的課題	特の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師全員、及び、小・中の特別支援学級・通級指導教室の教諭・常勤講師全員	1
	幼稚園教育研修会	幼稚園教員としての実践力や見識	幼教諭全員	1
	栄養教員・学校栄養職員研修会	食に関する指導と学校給食管理の在り方	小・中・特の栄養教諭・学校栄養職員全員	1
	学校事務職員研修会	学校事務職員にかかわる今日的課題	小・中・特の学校事務職員全員	1
	指導改善特別研修	学習指導、児童・生徒理解、意欲、使命感、今日的教育課題等	該当教員	1
	講師研修会	教員としての心構え、基本的な指導方法、児童生徒理解	任用１年目の常勤講師・非常勤講師全員と経験１年目未満で本研修の未受講者の希望者	1
	幼稚園教育課程研修会	幼稚園教育課程の講習	幼稚園各園１人	1
	小学校教育課程研修会	小学校教育課程の講習	小学校各教科等教諭代表	1
	中学校教育課程研修会	中学校教育課程の講習	中学校各教科等教諭代表	1
	特別支援教育　教育課程研修会	特別支援教育　教育課程の講習	特別支援学級担任及び通級指導教室担当各区代表	1
	高等学校教育課程説明会	高等学校教育課程の講習	高等学校各校、各教科等教諭１人以上	1
	人権教育担当教員研修会	人権教育についての理解	人権教育担当教諭　各校（園）１人	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
経営研修	校（園）長研修会	学校経営と校長の職務	新任校（園）長 経験２年目校（園）長 校（園）長全員	1
	教頭研修会	学校経営と教頭の職務	新任教頭 経験２年目教頭 教頭全員	1 1 1
専門研修	アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座	各教科等の基礎的な指導法及び意欲を高める教材、学習方法	小・中・特の教員の希望者	1 1 1
	高等学校各科研修講座	教科等の専門的な知識･技能を高める	高各科担当教員	42
	16ミリ映写機等操作技術講座	16ミリ映写機操作技術の習得	幼・小・中・特・高の希望者	21
	コンピュータ講座	学校におけるコンピュータ活用	幼・小・中・特・高の希望者	17
	情報教育研修講座	高校普通教科「情報」等の指導者養成	高の普通教科「情報」等担当者の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅰ）	学校運営の推進を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験８年目以上の教諭･養護教諭の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅱ）	学校運営の中核を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験13年目以上の教諭･養護教諭の希望者	1
	子ども理解を深めるための教育相談講座	子どもが抱えている課題を解決するため専門家を交えて指導･支援の在り方の検討	幼・小・中・特・高の経験20年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育相談基礎講座：教育臨床相談研修会	教育相談に関する基礎的な知識・技能の習得	幼・小・中・特・高の経験６年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	教育相談発展講座：教育相談実践研修会	教育相談を校内の中心となって推進するための専門的な知識・技能の習得	教育相談基礎講座又は教育相談集中研修会を修了した教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
専門研修	発達障害のある子どもの理解と支援講座	発達障害のある子どもの特性の理解とつまずきに応じた具体的な支援方法	幼・小・中・特・高の教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・学校事務職員・常勤講師・非常勤講師の希望者	1
	特別支援学校・特別支援学級指導法講座	特別支援学校、特別支援学級に在籍する障害のある子どもの指導法	幼・小・中・特の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	障害理解と障害種に応じた支援専門講座	種々の障害に関する理解と、障害のある子どもへの支援の実際	幼・小・中・特の経験年数３年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	発達障害支援専門講座	発達障害支援の専門的技能と、校(園)内の特別支援教育を推進する上で必要な専門的知識・技能	幼・小・中・特・高の経験年数３年目以上で、「発達障害のある子どもの理解と支援講座」を受講したことがある教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座	日本語指導を必要とする児童生徒教育に必要な知識・技能	「日本語教育適応学級担当教員」配置校の教諭・常勤講師１人及び希望者	1
	幼年教育研修講座	幼年教育に関する具体的な問題の究明と教員としての資質の向上	幼経験３年目以上の教諭の希望者	1
	学校事務職員研修講座	職務遂行に必要な実務・法規・財務	小・中・特の経験３年目以上の学校事務職員の希望者	1
	学校保健研修講座	児童生徒の心身の健康問題に対応していくために必要な知識・技能	小・中・特・高の養護教諭・保健主事・常勤講師の養護教諭の希望者	2
	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	管理職としての職場のメンタルヘルス	校（園）長の希望者 教頭の希望者	1
	名古屋市美術館における鑑賞教育講座	美術作品の鑑賞教育の進め方	小・中・高・特の教諭の希望者	1 1
	フレンドリーナウにおける子どもの理解と支援講座	施設見学と事例検討による児童生徒理解	小・中・高・特の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
長期研修	特別支援教育専門研修	特別支援教育に関する具体的な研修課題の追究と専門性の向上	小・中・特の経験年数４年目以上で45歳以下の教諭の希望者	1
	教育研究員	教育実践における具体的な問題の究明と教員の資質向上	幼・小・中・高・特の経験８年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	生涯学習研修	生涯学習についての研究	幼・小・中・高・特の経験11年目以上の教諭の希望者	1
	長期社会体験研修	教育に対する使命感や情熱の再認識と力量向上	幼・小・中・高・特の経験６年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	若手教員海外派遣研修	今日的かつ喫緊の教育課題の解決の参考となる海外先進事例の調査とそれに基づいた実践	幼・小・中・高・特の経験年数３年目以上で35歳以下の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1

（２）英語教員海外研修

本市教員の海外研修を通して、本市英語教育の充実と発展に努める。

３　教員免許状更新講習

本市教員が教員免許状更新講習を所定の期間内に受講する機会を確保するため、教育委員会が開設者となり、夏季休業中に名古屋市立大学で１コース、９月から10月の土曜日に教育センターで１コースの講習を実施した。

４　なごや教師養成塾

教員の大量退職に伴う新規採用教員の増加などに対応するため、実践的な指導力を備えた人材を育成することを目的として開講している。

本市小学校教員を目指す大学生等を対象に、講座と体験研修により、即戦力としての人材を育成することを指導方針としている。

５　研 究 調 査 等

（１）研　究　調　査

「センター研究」

今日的な教育課題について、実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方などを追究し、名古屋市の学校（園）教育の発展に資する研究・調査を行う。

（２）主な刊行物

ア 「教育センターＮＡＧＯＹＡ」

「教育センターＮＡＧＯＹＡ」を、第66号から第68号まで編集、刊行した。

イ 「教師となって」

新任教師として必要な専門職としての教師の資質や実践的指導について編集し、初任者研修会資料として刊行した。

（３）名古屋教育史

名古屋教育史Ⅲを発刊した。また、名古屋教育史資料編の発刊に向けて資料調査を行った。

６ 教育研究資料の利用

（１）教育センター図書室

昭和22年に「教育課程文庫」として開設されて以来、毎年内外の教育図書の収集整理を行い、その拡充を図っている。研究や研修のための貸出し、調査・相談サービスをする。

区　　分	図　　書	研究資料	教　科　書	計
	冊	冊	冊	冊
26年度増減数	101	191	272	564
27．３．31現在	28,239	25,918	13,678	67,835

上記の表の区分以外の資料

ア 雑　誌　　初等教育資料始め58種

イ 新　聞　　日本教育新聞始め６種

上記の表の資料の利用実績

ア 26年度貸出総数　　1,357冊

イ 26年度調査・相談サービス　278件

（２）教育研究資料の活用

図書資料を始め、各学校や教育研究所などで研究された教育資料を収集・整理している。教育情報検索システムや教育関係文献目録で、閲覧、貸出しの便宜を図っている。

調査普及教科書資料室には、小・中学校の教科書を整備して研究できるようにしている。

７ 情報教育ネットワーク

（１）概　　要

平成16年４月、教育センター内に情報教育部ができたことを受け、名古屋市情報教育ネットワークの運用・管理をしている。現在、このネットワークを通して名古屋市立の全幼稚園、小、中、特別支援、高等学校が一つに結ばれている。各学校が安心してインターネットを利用できるように、教育センターではウィルスチェックや有害情報除去のためのフィルタリングを行っている。さらに、外部からの不正侵入を防ぐためのファイヤーウォールも設置し、二重の防御態勢で安心して学習に取り組める環境を得ている。学校からの質問や相談、機器のトラブルに対しては、専用のヘルプデスクを設置し対応している。

（２）教育センター　学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」

児童生徒、教員が教育現場でインターネットをより便利に、かつ簡単に使えるように、学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」を提供している。

各教科や総合的な学習の時間での調べ学習をはじめ、教員の教材研究や授業支援等でも幅広く活用できる。

- 名古屋市の教育課程に合わせ、校種、学年、教科、単元別に沿った構成を整えるとともに、地域、学区の教材を充実し、名古屋市独自の情報教育支援サイトになっている。
- インターネット等を原因とするトラブルを防止するために、名古屋市独自の情報モラル学習用コンテンツを開発し、児童生徒・教職員だけでなく、保護者に対しても情報モラルコンテンツを配信している。
- 児童生徒、教員により作成された授業のアイディアや指導のコツ、すぐに活用できる教材や資料の登録が容易にでき、共有化を目指している。
- 授業や現職教育の動画等を配信し、教員の研修を支援している。

（３）校内ＬＡＮ・電子黒板・学習用コンピュータ等の整備

普通教室でＩＣＴを活用して「分かる授業」をすることができるように、すべての小・中学校、特別支援学校、高等学校で校内ＬＡＮを整備し、学習用ノートパソコンやプロジェクタ、電子黒板を導入した。平成26年度からは電子黒板機能付タブレットの整備を始めている。

８　教　育　相　談

（１）教育相談　子ども教育相談「ハートフレンドなごや」

幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じている。

ア　電話相談・来所相談・メール相談

- いじめ・不登校など学校生活に関わること
- 発達の様子に関わること
- 就学や進路について気掛かりなこと
- 帰国・出国に際しての学校教育のこと　等

イ　訪問相談

- 不登校の小中学生を対象に、家庭を訪問することを基本にして、相談に応じている。

（２）教職員相談

ア　一般相談

- 子どもの指導や保護者との関わり方、教職員間の悩みなど（指導主事・臨床心理士）

イ　専門相談

- 心の健康問題（精神科医）
- 法律問題（弁護士）

９　学力向上サポート事業

（１）概　　要

各小・中・高・特別支援学校の創意工夫を生かした積極的な教科指導の研究や教育活動の展開を支援し、知的好奇心を喚起する「分かる」授業、感動ある授業を実践することにより、「学力」の向上に資する。またその成果を普及し学校教育の一層の充実を図ることをねらいとする。

（２）対象事業

区　　分	小　学　校	中　学　校	高等学校	特別支援学校	合計
1　課題提示型 教育委員会が提示する今日的な課題に基づく研究	千石、 枇杷島、 神宮寺、 白水、西山、 八事東	八王子	北		８校
2　課題自由型 学校の実情から独自に設定した課題に基づく研究	大和、如意、 中小田井、 名城、広路、 汐路、千年、 港楽、福田、 呼続、笠寺、 菊住、小幡北、 守山、鳴海、 大清水、南陵、 蓬来	昭和橋、明豊	工芸		21校
合　　計	24校	３校	２校	０校	29校

10　指導体験記録の募集

幼稚園・小・中・高・特別支援学校教職員の日常指導の中で生じた問題点を、実践的に解明した記録を募集した。平成26年度（第62回）は、513編の応募があった。そのうち特選１編、入選33編、佳作134編を表彰した。

第５章　就　　学

１　就　学　援　助

（１）概　　要

就学援助は、経済的理由のため就学困難な児童・生徒の保護者に対して、市が学用品費、給食費等の援助をすることにより、児童・生徒が小・中学校における義務教育を円滑に受けられるようにする制度である。

就学援助の対象となる者は、次に掲げる児童・生徒の保護者である。

ア　要保護児童生徒

生活保護法（昭和25年法律第144号）第６条に規定する要保護者のうち、教育扶助を受けている家庭の児童・生徒

イ　準要保護児童生徒

教育委員会が、生活保護法第６条に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認定した児童・生徒

ウ　特別支援教育就学奨励費受給児童生徒

特別支援学級等に就学している児童・生徒の保護者のうち、その世帯の収入額が需要額の2.5倍未満の者（一部の支給費目を除く）ただし、上記ア及びイを除く。

（２）平成26年度事業実績

費　　目	支給人数	支給単位	支給金額	
			小学校 中学校	計
	人	円	円	円
入学準備金（準）	小　1,705	20,470	34,901,350	93,705,700
	中　2,497	23,550	58,804,350	
学用品費・通学用品費 校外活動費（準）	小１年　1,954	12,970	186,014,170	390,426,590
	その他　11,202	15,200		
	中１年　2,617	24,560	204,412,420	
	その他　5,449	26,790		
修学旅行費（要・準）	小　2,686	（平均）23,212	62,346,838	203,785,408
	中　2,899	（平均）48,789	141,438,570	
通学交通費（準）	小　1	（所要額全額）	37,980	381,500
	中　6		343,520	
学校給食費（準）	小（完全）13,156	41,800	507,031,332	766,971,663
	中（完全）　60	47,300	2,560,652	
	中ｽｸｰﾙﾗﾝﾁ　8,006	1食280＋ﾐﾙｸ代	257,379,679	
学校病医療費（要・準）	小　39	（平均）20,880	814,300	1,223,450
	中　15	（平均）27,277	409,150	

費　　目	支給人数	支給単位	支給金額	
			小学校	計
			中学校	
野外活動費（準）	人	円	円	円
	小 2,224	5,720	12,721,170	26,982,567
	中 2,491	5,730	14,261,397	
食物アレルギー管理指導費（準）（給食実施校のみ）	小 69	（平均）1,905	131,420	131,420
	中 0	0	0	
特別支援教育就学奨励費	小 622	┌通学交通費　全額┐	16,195,868	30,205,276
	中 356	└その他　限度額┘	14,009,408	
合　　計		小学校	820,194,428	1,513,813,574
		中学校	693,619,146	

2 就学奨励

（1）高等学校（入学準備金）

ア 概　　要

勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、名古屋市入学準備金条例（平成16年名古屋市条例第11号）に基づいて、高等学校等に入学するために必要な学資を貸与した。（平成16年度から実施）

イ 平成26年度事業実績

貸与額	貸与人員	貸与金額
300,000円	308人	92,400,000円

（2）高等学校（市立高等学校入学料免除）

ア 概　　要

高等学校教育の振興に資するため、名古屋市立高等学校授業料等減免規則（平成14年教育委員会規則第６号）に基づいて、入学料を免除した。

イ 平成26年度事業実績

区　　分	人　　員	金　　額
入　　学　　料	291人	1,448,900円

（3）幼稚園（市立幼稚園授業料及び入学料減免）

ア 概　　要

幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、名古屋市立幼稚園授業料等減免規則（昭和47年名古屋市教育委員会規則第22号）に基づいて、授業料等を減免した。

イ　平成26年度事業実績

減免区分			園児１人あたりの減免額(年額)（単位：円）	人員（人）	金額（円）
世帯の所得状況	小学校３年生以下の子どもの中で、対象園児が				
生活保護世帯（特定中国残留邦人等に対する支援給付を受けている世帯を含む。）	１人目		79,000	2	158,000
	２人目		79,000	3	237,000
	３人目以降		102,000	1	98,400
市民税所得割の納付義務を負わない世帯	１人目		43,000	52	2,129,200
	２人目	兄・姉が小学校１～３年生の場合	58,000	41	2,309,600
		兄・姉が幼稚園等に通っている場合	73,000	7	511,000
	３人目以降		102,000	5	506,400
その他の世帯					
市民税の課税の基礎となる課税総所得金額が 829,000 円以下の世帯	１人目		13,000	7	85,600
市民税の課税の基礎となる課税総所得金額が 829,000 円を超え、996,000 円以下の世帯	１人目		5,000	5	22,100
所得制限なし	２人目		40,000	725	28,246,100
	３人目以降		79,000	75	5,785,200
東日本大震災の被災者				2	187,400
合　　計				925	40,276,000

３　私　学　助　成

（１）概　　要

私立学校における保護者負担を軽減し、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校及び私立幼稚園に在籍している方を対象に、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例（昭和48年名古屋市条例第27号）等に基づいて、授業料等の補助を行った。（平成12年４月に総務局から事務移管された。）

ア　私立高等学校授業料補助　平成26年度事業実績

補　助　区　分	補助額（年）	人　員	金　額
	円	人	円
愛知県の実施する授業料減免の対象とならない者で、市民税の所得割額が298,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円 （平成26年度に入学した生徒については、愛知県の授業料軽減事業の対象範囲外の者で、同325,500円未満の世帯）	26,000	1,280	33,280,000
同298,500円に①、②の合計を加えた額以上388,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円 （平成26年度に入学した生徒については、同415,500円未満の世帯）	15,000	1,086	16,290,000
合　　計		2,366	49,570,000

イ　私立幼稚園授業料補助　平成26年度事業実績

補　助　区　分		補助額(年)	人　員	金　額
		円	人	円
ア	生活保護世帯	308,000	10	2,288,000
		308,000	12	2,981,600
		308,000	3	716,600
イ	市民税非課税世帯・市民税所得割非課税世帯	199,200	1,059	200,466,300
		253,000	567	129,413,450
		308,000	57	13,169,000
ウ	市民税所得割額が34,500円に①、②の合計を加えた額以下の世帯 ①…16歳未満の扶養親族の数×21,300円 ②…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円	115,200	1,356	152,692,300
		211,000	936	189,653,600
		308,000	118	28,786,900

補助区分		補助額(年)	人員	金額
		円	人	円
エ	市民税所得割額が171,600円に③、④の合計を加えた額以下の世帯 ③…16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ④…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	62,200 185,000 308,000	9,613 5,456 429	583,618,200 982,553,300 104,715,200
オ	市民税所得割額が231,300円に③、④の合計を加えた額以下の世帯 ③…16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ④…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	43,600 154,000 308,000	2,425 1,403 96	102,004,800 210,396,600 24,246,600
カ	市民税所得割額が231,300円に③、④の合計を加えた額を超える世帯 ③…16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ④…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	32,000 154,000 308,000	4,393 2,306 175	134,201,300 342,533,160 45,600,200
	上記の区分以外の世帯	37,000 47,000	158 8	4,998,800 317,300
合計			30,580	3,255,353,210

(注1)　補助区分における補助年額の内訳は、上段から１人目の方、同時在園及び小学校１～３年に兄姉がいる場合の２人目の方、同時在園及び小学校１～３年生に兄姉がいる場合の３人目以降の方。

(注2)　補助区分カにおける「上記の区分以外の世帯」とは、所得等に応じた補助額の算定を希望しない場合であり、この場合の１人目は、「市民税所得割額が231,300円に③、④の合計を加えた額を超える世帯」の１人目に含んで記載している。

４　越境通学防止

（１）概　　要

市立小・中学校への通学は、特別な事情がある場合を除いて住所地の学区の学校へ通学するようになっている。越境通学とは、不正な住民登録を行うなど不当な手続きによって住所を偽り、通学区の学校に就学せず他学区の学校へ通学することをいう。

こうした越境通学は、行政的には違法な行為であり、人間尊重という教育本来の目的をゆがめ、教育の機会均等をそこなうものである。また、児童・生徒の人間形成を進めるうえからも大きなへい害となり、さらに、義務教育に関する施策に支障を及ぼすことになる。

このような越境通学の防止については、これまで関係者の協力を得て努力してきたが、依然として解消していない。

そのため、防止対策をさらに推進するために、教育委員会・校長会・区長代表・関係局長などで構成する「名古屋市学区外通学防止対策連絡会議」を設置し（昭和53年２月）、「越境入学防止対策基本方針」を決定して、種々対策を講じその解消に一層の努力をしてきた。

（２）越境入学防止対策基本方針

越境入学は、法令に反する行為であるばかりか、児童・生徒の人間形成を進めるうえで教育本来の目的をゆがめるものである。なかでも旧「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第２条第１項に規定する対象地域を学区域に有する学校（以下「関係校」という）から他校への越境入学は、教育の機会均等・人間尊重のうえから重大な問題を生ずるものである。そのため連絡会議は、越境入学防止について、次の基本方針を決定するものとする。

１　越境入学は、発生を防ぐことが重要であり、教育委員会及び各小学校は、小・中学校への入学予定者の保護者に対して適正学区の学校へ入学するよう指導する。また、一般市民に対しても理解を求める。

２　教育委員会及び各小・中学校は、実態調査に基づき、現に越境通学していると認められる児童・生徒の保護者に適正学区へ復帰するよう勧告するとともに、あわせて、今後の防止対策の参考資料とするため、各種調査を行う。

３　各小・中学校において、小・中学校１年生及び各学年転入学者のうち、入学後に越境通学者と認められたものについては、保護者に対して居住地の学校へ通学するよう説得に努める。

４　各区役所窓口においては、学齢児童・生徒を含む世帯分離について慎重に取り扱い、特に関係校を含む学区からの転出については、十分な確認を行うなど、適切な措置をとるものとする。

５　越境入学の多い小・中学校及び区は、緊密な連携をはかり、越境入学防止の徹底をはかる。

６　市外からの越境入学を防止するため、教育委員会は、近隣市町村及びその教育委員会と緊密な連絡をとり、協力を依頼する。

（３）平成26年度における主な対策

ア　越境通学者の保護者に対して、適正学区の学校に復帰するよう文書で勧告した。
（平成26年７月・12月、27年３月）

イ　区役所における指導

区役所の窓口において、越境通学のためと思われる住民登録の届出について、注意喚起文書を手渡すとともに誓約書や家主の証明書をとるなど指導を強めた。

越境通学者の保護者に対して、区役所から住所の確認の文書を出し、指導をした。

ウ　教職員への趣旨の徹底

小・中学校の職員室等に啓発ポスターを掲示するとともに、教職員全員にパンフレット（「越境入学を防止するために」）を配布して趣旨の徹底を図った。

全教頭を対象とする研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしてい

ただくよう指導した。

エ　隣接市町村教育委員会との協議

名古屋市外からの越境入学を防止するため隣接市町村教育委員会と協議し、協力を要請した。

オ　各ＰＴＡへの協力依頼

名古屋市立小中学校の各ＰＴＡ会長あてに越境入学防止に関するチラシを配布し、協力を依頼した。

市ＰＴＡ会報紙上に、越境入学防止の啓発文を掲載し、協力を依頼した。

カ　市民・保護者へのＰＲ

市民・保護者へは、「広報なごや」等で啓発に努めた。

平成27年度小学校１年生と平成26年度小学校６年生の保護者全員に対し、越境入学防止に関するチラシを配布し、啓発に努めた。

各区役所・支所に越境入学防止についての立看板・ポスターを掲示し、リーフレットを配布するなどして来庁する市民の啓発に努めた。

キ　幼児教育機関への協力依頼

幼稚園・保育所で越境入学防止に関するポスターを掲示した。

ク　区役所職員への趣旨の徹底

職員研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

第５部　学校保健、給食、体育

第１章　学　校　保　健

１　児童・生徒・幼児の保健管理

定期健康診断、臨時健康診断及び健康相談を、学校医（眼科・耳鼻咽喉科を含む）・学校歯科医が中心となって実施した。

また、ぎょう虫卵の有無の検査を民間検査機関に委託して実施した。

定期健康診断実施結果は次表のとおりである。

平成26年度学校種別疾病異常の被患率　（%）

性別	疾病異常／校種別	低視力	結膜炎	中耳炎	慢性副鼻腔炎	へんとう肥大	伝染性皮ふ疾患	心臓疾患	ぜんそく	腎臓疾患	う歯		結核性疾患
											処置完了者	未処置歯のある者	
男子	幼稚園	…	—	0.09	0.09	4.55	0.19	0.57	0.38	—	7.69	17.65	…
	小学校	27.63	3.06	0.33	0.35	3.38	0.06	1.33	6.36	0.29	26.15	18.02	0.00
	中学校	44.71	1.65	0.19	0.69	0.73	0.07	1.56	6.19	0.30	19.76	11.50	—
	高等学校	44.14	0.68	0.12	0.19	1.17	—	1.40	4.55	0.28	26.41	14.08	—
女子	幼稚園	…	—	—	—	1.46	0.10	0.78	0.10	—	8.97	14.81	…
	小学校	33.62	2.34	0.22	0.22	3.06	0.05	1.27	4.14	0.25	24.71	15.94	0.00
	中学校	52.44	1.29	0.15	0.47	0.59	0.02	1.55	3.72	0.28	22.52	11.41	0.00
	高等学校	43.92	0.76	0.07	0.04	0.76	—	1.03	2.63	0.32	31.19	11.38	0.01

（注）　表中「…」は調査を実施していないことを、「—」は該当者のないことを表す。

（１）児童・生徒の疾患対策

ア　心臓検診

小・中・高・特別支援学校１年生の児童・生徒全員を対象に心電図検査を実施した。なお、昭和57年度から心電図判読の省力化、迅速化、診断の均一化を目的としてコンピューターによる自動解析を導入し、昭和60年度から市外から転入した児童・生徒も対象とした。精密検診は専門の医療機関に依頼し、心疾患者に対しては適切な事後指導を行うとともに、学校における指導管理のために個人ごとの管理指導表を作成し、学校医の指導のもとに活用した。昭和59年度から川崎病既往症の小学校１年生に対し運動負荷心電図・心エコー等精密検査を実施した。昭和61年度から必要と認められる者を対象に心エコー図及びホルター心電図を導入した。なお、検診データのコンピューター処理を昭和63年度から小学校１年生、平成元年度から中学校１年生に導入した。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	要精検査		心疾患者	
	人	人	%	人	%
小学校	18,932	393	(2.08)	290	(1.53)
中学校	17,133	343	(2.00)	393	(2.29)
高等学校	4,389	193	(4.40)	80	(1.82)

イ　屈折検診

名古屋市学校医会に委託して、小学校１～６年生の全児童のうち、矯正視力で両眼とも（D）ランク（0.3未満）であった者を対象に特別精密検診を実施し、86人が受診した。

ウ　腎臓検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び第１次検査を実施し、異常の認められた者についてはさらに第２・３次検査を行った。平成26年度の結果は次表のとおりである。

このうち要再検者に対しては、医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。

区　分	受診人員	要観察		要再検	
	人	人	%	人	%
小学校	110,565	12	(0.01)	102	(0.09)
中学校	51,181	24	(0.05)	79	(0.15)
高等学校	12,785	2	(0.02)	18	(0.14)
特別支援学校	1,017	0	(0.00)	2	(0.20)
計	175,548	38	(0.02)	201	(0.11)

エ　糖尿病検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び尿糖検査を実施し、異常の認められた者については医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	要観察		要治療	
	人	人	%	人	%
小学校	110,565	2	(0.002)	16	(0.014)
中学校	51,181	3	(0.006)	9	(0.018)
高等学校	12,785	1	(0.008)	3	(0.023)
特別支援学校	1,017	0	(0.000)	2	(0.197)
計	175,548	6	(0.003)	30	(0.017)

オ　ぎょう虫卵検査

小学校１～３年及び幼稚園児全員を対象にぎょう虫卵検査を行った。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分	ぎょう虫卵		
	検査人員	保有者	
	人	人	%
幼稚園	2,186	1	(0.05)
小学校	55,436	32	(0.06)
計	57,622	33	(0.06)

カ　う歯予防対策

児童・生徒の歯と口の健康づくりのため、歯と口の健康週間に協賛し、市内小・中・特別支援学校で歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を毎年数校表彰して歯科衛生思想の向上を図った。平成26年度の表彰校は、特別優良校が小学校１校、中学校１校、優良校が小学校21校、中学校６校、特別支援学校１校、歯科衛生活動奨励校が小学校４校、中学校２校であった。

また、歯みがきが歯の健康にとってどのような意味を持つのかを児童・生徒に認識させ、自分の歯ならびに合ったみがき方を習慣づけるため、小学校３年生全員を対象に染め出し錠による歯口清掃指導を行った。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	り患者数	う歯総数	処置歯総数	１人平均う歯数
	人	人	本	本	本
小学校	110,240	10,833	18,707	12,285	0.17
中学校	50,979	16,131	38,954	25,890	0.76

キ　歯科疾患特別健診

歯周疾患対策として全市より抽出した小学校を対象に、歯科疾患特別健診を実施した。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分		受診人員	歯周疾患要観察者	歯周疾患要治療勧告者
		人	人	人
春 期	小学校４年生	2,166	597	211
秋 期	小学校４年生	2,131	533	106

ク　アレルギー性疾患対策事業

アレルギー性疾患を早期に発見して、適切な健康管理を行うとともに、健康の保持増進を図ることを目的とし小学校１年生18,948人に対して、内科、眼科、耳鼻咽喉科の検診として行った。平成26年度の結果は次表のとおりである。

区　分	内　科		眼　科	耳鼻咽喉科
	アトピー	ぜん息	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎
	人　%	人　%	人　%	人　%
要 観 察	2,075（10.95）	440　（2.32）	574　（3.03）	388　（2.05）
要 医 療	450（2.37）	62　（0.33）	288　（1.52）	544　（2.87）

（２）児童・生徒の体位

平成26年度の児童・生徒の主な体位は次表のとおりである。

性別	年齢 ＼ 項目 ＼ 年度	身長（cm） 昭和49年	身長（cm） 平成6年	身長（cm） 平成26年	身長（cm） 全国平均	体重（kg） 昭和49年	体重（kg） 平成6年	体重（kg） 平成26年	体重（kg） 全国平均
男子	6歳（小学１年生）	115.3	116.8	116.6	116.5	20.6	21.4	21.1	21.3
男子	12歳（中学１年生）	148.3	152.2	152.4	152.5	40.1	43.8	43.0	44.0
男子	15歳（高校１年生）	166.2	168.4	168.2	168.3	55.2	58.6	57.5	58.9
女子	6歳（小学１年生）	114.5	115.9	115.6	115.5	20.1	21.0	20.6	20.8
女子	12歳（中学１年生）	149.6	151.8	151.8	151.8	41.4	43.9	43.0	43.6
女子	15歳（高校１年生）	155.9	157.4	157.0	157.0	49.7	51.2	50.1	51.4

性別	年齢 ＼ 項目 ＼ 年度	座高（cm） 昭和49年	座高（cm） 平成6年	座高（cm） 平成26年	座高（cm） 全国平均
男子	6歳（小学１年生）	64.7	65.2	64.8	64.8
男子	12歳（中学１年生）	79.5	81.0	81.2	81.3
男子	15歳（高校１年生）	88.8	89.7	90.0	90.4
女子	6歳（小学１年生）	64.1	64.7	64.3	64.4
女子	12歳（中学１年生）	81.2	82.2	82.1	82.1
女子	15歳（高校１年生）	84.4	85.2	85.2	85.4

２　就学時健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第11条の規定により、平成27年４月に小学校へ入学する者の心身の状況を把握して適切な就学を図るため、平成26年11月末までに各小学校において実施した。

この健康診断の結果、疾病のあるものについては入学時までに治療して入学するように指導した。また、心身に障害があり、普通学級で学習することが困難と認められる者には、その心身の状況に応じた適切な就学指導・相談を進めた。

３　教職員の保健管理

教職員の健康管理として、健康診断・健康相談・安全衛生教育等を行った。なかでも、メンタルヘルスの重要性に鑑み、総合的なメンタルヘルス対策として、教職員安全衛生委員会及び元気な学校づくりプロジェクト会議等での審議を経て、平成24年３月に、「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」を策定した。実施期間は、平成24年度から平成28年度までの５年間を目途としている。

（１）健康診断

学校保健安全法第15条及び教職員安全衛生管理規則（昭和60年教育委員会規則第14号）第16条の規定に基づき、定期健康診断、個別健康診断及び特別健康診断を実施した。

平成25年度の実施結果は次表のとおりである。

①　定期健康診断・個別健康診断

健診区分	受診者数
	人
管　理	2,310
一般Ａ	6,014
一般Ｂ	1,501
計	9,825

項　　目	受診者数	所見なし		要観察及び要医療	
	人	人	%	人	%
胸　　部	9,686	9,657	(99.7)	29	(0.3)
高　血　圧	9,731	8,091	(83.1)	1,640	(16.9)
心　臓　病	8,234	7,283	(88.5)	951	(11.5)
脳血管疾患	24	0	(0)	24	(100.0)
腎　臓　病	9,733	7,950	(81.7)	1,783	(18.3)
糖　尿　病	9,728	9,267	(95.3)	461	(4.7)
貧　　血	8,240	6,924	(84.0)	1,316	(16.0)
肝　臓　病	8,241	6,299	(76.4)	1,942	(23.6)
脂質異常症	8,241	4,631	(56.2)	3,610	(43.8)
尿　　酸	8,230	7,198	(87.5)	1,032	(12.5)
そ　の　他	844	81	(9.6)	763	(90.4)

② 特別健康診断

胃検診受診状況

受診者	要精検者	出現率
人	人	%
2,405	49	2.0

大腸がん検診

受診者数	要精検者	出現率
人	人	%
3,271	152	4.6

風しん抗体検査　（抗体値８倍未満……風しんに対する免疫がない。）

受診者数	８倍未満	出現率
人	人	%
434	28	6.5

Ｂ型肝炎抗体検査

受診者数	無抗体者	ワクチン接種者
人	人	人
205	23	19

ＶＤＴ業務検診

一次検診	要二次検診	二次検診受診者
人	人	人
1,536	135	100

二次検診（100人）の内訳

経過観察等	所見なし
人	人
9	91

海外派遣後健康診断

対象者	受診者
人	人
5	5

（２）健康相談

教職員課分室にて、保健師等がからだや心の悩みなどについて常時相談に応じた。

	件
電話相談及び個別面接	1,373

（３）安全衛生教育

ア　産業医等が46校（園）へ出向き衛生講話を行った。

イ　教職員の健康を保持・増進するため、健康教室（11回）・予防教室（４回）・安全衛生セミナー（７回）を合計22回開催した。

４　学校環境衛生管理

（１）感染症予防及び環境衛生管理のために、学校便所の清掃を実施した。

（２）学校プール衛生対策として、循環ろ過機の設置によるプール水の消毒、浄化、プール施設の清掃及び水質検査を実施した。

（３）し尿浄化槽の維持管理のため、し尿浄化槽のある学校には消毒薬品の配布と清掃を実施した。

（４）飲料水の衛生維持のために、水質検査及び飲料用貯水槽の清掃・消毒を実施した。

５　学校における安全対策

（１）来訪者への声かけや校内巡視などの日常的な取り組みを始め、各職員の役割や対処方法などを明記した防犯対策・マニュアルを各学校の実情に応じて作成し、緊急時の対応を周知徹底している。また、全校に、防犯カメラやさすまたを整備するとともに、「なごやっ子あんしんメール」を運用し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報を、保護者の登録アドレスへ直接メール配信できるようにした。

（２）児童の登下校時等の安全確保を推進するために、小学校区毎に「子ども安全ボランティア」等が「通学路の見守り活動」等を実施した。また、警察官ＯＢをスクールガードリーダーとして委嘱し、登下校時の巡回や学校周辺の巡回を実施するとともに、学校、ＰＴＡ及び地域の方々に対し専門的立場から指導助言を行った。

（３）登下校時等の安全確保等のために、新入学児童を対象に防犯ブザーを配布した。

６　日本スポーツ振興センター

学校安全の普及・充実を図るとともに、小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の管理下において児童、生徒及び幼児に事故が起きた場合、その治療、見舞等に必要な給付等を行うため日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入した。

平成26年度　学校種別加入及び医療費給付状況　（平成27年５月21日現在）

種　別	加入校数	加入人員	給付件数	給付金額
	校（園）	人	件	円
小　学　校	263	110,878	13,408	23,800,748
中　学　校	110	52,170	10,073	23,920,573
高 等 学 校	16	12,906	4,099	29,469,252
特別支援学校	4	1,054	165	604,207
幼　稚　園	23	2,275	286	520,614
計	416	179,283	27,866	77,711,187

７　名古屋市学校保健会

学校保健の研究及び普及発達を図ることを目的として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校（園）長・保健主事・養護教諭・ＰＴＡ、その他学校保健関係者によって組織されている団体である。

平成26年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

（１）第65回指定都市学校保健協議会への参加
（２）第66回指定都市学校保健協議会実行委員会の開催
（３）第64回全国学校保健研究大会への参加
（４）第57回名古屋市学校保健協議会の開催
（５）第47回名古屋市学校保健研究大会の開催
（６）平成26年度「名古屋市学校保健優良校」審査
（７）学校保健に関する研修会・講演会の開催
（８）会報「なごや学校保健」及び「教育医学」の発行
（９）各種疾患・歯科疾患・学校環境衛生に関する調査研究

第２章　学　校　給　食

１　学　校　給　食

学校給食は、健康教育の一環として、児童・生徒に、望ましい食事のあり方を理解させるとともに、食事を通して心のふれあいを深め、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達に資するものである。

（１）学校給食の実施状況

（平成27年５月１日現在）

項目／校別	種　別	実施校数	実　施　人　員			備　　考
			児童生徒数	教職員数	計	
		校	人	人	人	
小　学　校	完全給食	262	110,763			
中　学　校	〃	1	478			
〃	〃（スクールランチ）	110	51,005			
特別支援学校	完全給食	5	1,105			訪問教育を除く
高等学校（定時制）	〃	2	167	―		
計		379	164,249	12,016	176,265	

中学校スクールランチについては、ランチルームを整備するとともに、複数メニューからの選択・弁当の持参も認める方法で実施している。

（２）献立と栄養摂取状況

ア　給　食　内　容

学校給食のねらいは、児童・生徒の適切な栄養摂取・健康増進を図るとともに、食事の正しいあり方を体得させ、好ましい人間関係を育成することである。

子どもは大人とちがって、生活をするのに必要なエネルギーのほかに自分自身の体の成長、発育のための栄養素を必要とするので、この成長期にある児童・生徒の食事内容は、体の構成に必要な良質のたんぱく質（特に動物性たんぱく質）、骨の発育に必要なカルシウム、体の調子をよくし、抵抗力をつける各種のビタミンなどが豊富なものでなければならない。

このような点をふまえて栄養管理にあたっては、児童・生徒１人１回当たりの学校給食摂

取基準とその食品構成により、児童・生徒の必要とする栄養量を確保し、家庭において不足しがちな栄養素を補充するよう配意している。

従来の小学校における完全給食は、パン（めん）・牛乳・おかずであったが、昭和55年度からは、食事内容の多様化を目的として米飯を月１回採り入れた。その後も国の方針として米を主食とした日本型食生活の推進がいわれ、本市においても米飯給食を順次拡大し、平成23年度より週３回を週3.5回とし実施している。

また、昭和58年度からは、国際理解教育の一環として、児童が姉妹・友好都市提携している都市の特徴ある料理や食材を用いた食文化の一端に触れ、幅広くその国の国民性や文化などについて学ぶなど、国際的な広い視野に立った好ましい能力を身につけていくことの手がかりとなるよう、姉妹・友好都市給食を実施している。平成16年度からは、「みんなで食べる！なごや産」という地産地消の取り組みを展開しており、現在、港区・中川区産の米、中川区産のみつば、水耕ねぎ、天白区産のにんじん、キャベツ、かぼちゃ、緑区産のたまねぎ、はくさい、ブロッコリー等の市内産野菜を使用しているほか、平成23年度より、愛知県の特産物を取り入れた献立や身近な郷土料理などの特徴ある献立を新たに「ふるさと献立」として位置づけ、食文化に対する総合的な理解を深め、郷土を心の拠り所とする気持ちの醸成を図った。

さらに、平成19年度から食物アレルギーの対策として、一部献立の除去食対応を実施している。

中学校スクールランチの献立については、中学生の発達段階を考慮し、学校給食法に基づき学校給食摂取基準にあわせるとともに、生徒のし好や季節感にも留意し、「楽しく・おいしく・バランスよく」という内容で作成している。種類は、ランチルーム用として２種類（Ａ・Ｂランチ）と教室用として２種類（Ｃ・Ｄランチ）の複数メニューで実施している。

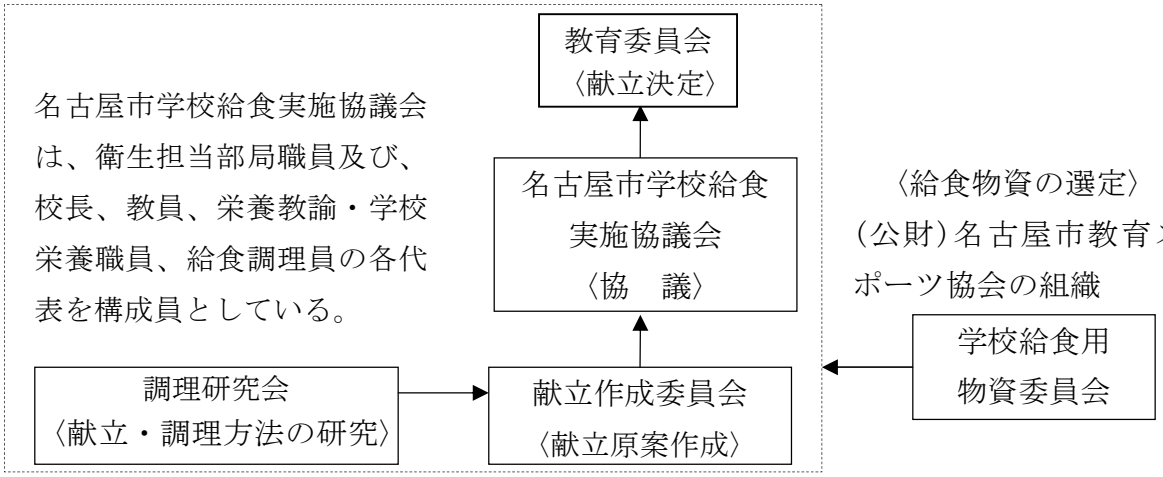
ランチルームメニューは、めん類・どんぶり物・シチューなど温かいメニューをメインとし、教室用のランチボックスでは、季節感・彩りにも配慮し、保温汁わんを使用して温かい汁物やカレー・どんぶりの具もつけている。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の食品への影響に対する不安を解消するため、平成23年９月より小学校給食及び中学校スクールランチにおいて使用する主な食材の放射性物質の検査を開始し、主な食材の産地情報と併せて名古屋市公式ウェブサイトにおいて公表を行った。

イ　献立のできるまで

「おいしい、楽しい、魅力ある学校給食」を実現するため、給食の基盤となる献立の作成には十分配慮し食事内容の改善充実に努めている。

小学校給食の献立作成過程は、次のとおりである。



献立の作成にあたっては、栄養・衛生・し好に配慮し、学校給食摂取基準に基づく栄養素を児童・生徒が摂取できるように努めている。

調理研究会で検討された献立内容を献立作成委員会に提出し、慎重に審議され、さらに学校給食実施協議会において了承したものを教育委員会が決定し実施される。

中学校スクールランチは、毎月１回の献立会議（献立調理技術会議）を通して、献立の実際のメニューを作成して検討を行ったものを、教育委員会で決定し実施している。

ウ　栄養摂取状況

平成26年度の小学校栄養摂取状況と本市の児童・生徒１人１回当たりの学校給食摂取基準は、次のとおりである。

区　分	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂　質 g	食　塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食　物繊　維 g
							レチノール当量μg	B_1 mg	B_2 mg	C mg	
平成26年度平均(小学校)	610	23.5	18.2	2.4	325	2.4	203	0.53	0.49	27	3.6
本市基準（小学校）	640	24.0	摂取エネルギーの25～30％	2.5未満	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5.0
平成26年度平均(中学校)	832	33.2	24.3	4.4	402	3.1	479	0.48	0.61	34	5.4
本市基準（中学校）	820	30.0	摂取エネルギーの25～30％	3未満	450	4.0	300	0.50	0.60	35	6.5

（３）学校給食関係職員の活動等

ア　学校給食研究会

教員が食に関する指導を通して、子どもたちの望ましい食事のあり方と人間関係の効果的な育成について研究を進めている。

イ　栄養教諭・学校栄養職員研究会

学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員で構成され、健康な体と豊かな心を育てる学校給食をめざして、栄養管理上の指導及び食に関する指導の資料作成・研究等を行っている。

ウ　調理員

本市小学校では、単独校調理場方式を採用しており、各学校における日々の調理の中でおいしい魅力ある給食づくりに努めている。

（４）食に関する指導の推進と充実

「なごやっ子　食に関する指導の手引」、「学校給食指導の手びき」を活用し、食に関する指導の充実を図っている。また、小学校を中心に栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」の巡回指導を実施した。

２　運　営　組　織

（１）名古屋市学校給食実施協議会

名古屋市学校給食実施協議会は、学校給食の円滑な運営を図るため、標準献立作成、連絡調整その他給食実施の総括をしている。

（２）中学校スクールランチ連絡協議会

中学校スクールランチ連絡協議会は、中学校校長・教員などで構成し、中学校スクールランチの円滑な運営について協議している。

（３）公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会（学校給食課）

名古屋市立小学校などにおける学校給食の円滑な運営、実施及びその発展に寄与することを目的として、次の事業を行っている。

ア　学校給食に用する物資の調達に関する事業

イ　学校給食の普及奨励に必要な事業

ウ　その他この法人の目的達成に必要な事業

具体的な業務内容は、下記のとおりである。

（ア）　給食費の一括精算事務

（イ）　献立作成及び各種協議会等への協力

３　普　及　活　動

（１）調理員の研修

平成26年度は、食品・調理及び衛生管理に関する知識の向上のため、講演会や調理技術実習を行った。また、新規採用者等を対象に、学校給食に従事するための職員としての心構えと調理実習、調理員経験10年以上の職員を対象に職場内における後輩職員等への円滑な指導が行えるよう研修を実施し、調理員の資質及び士気向上を図った。

（２）学校巡回と夏季衛生講習会

中学校スクールランチ指導員・管理栄養士が巡回し、実施校での実施状況や衛生管理状況などを把握し、各学校の配膳室で調理業者への指導を行っている。また、夏季衛生講習会を開催し、調理業者の従事者に衛生管理指導を実施した。

（３）試食会

新入生の保護者などを対象として各小学校及び各特別支援学校が開催する試食会（延べ小学校217回、特別支援学校5回）を実施し、学校給食のＰＲに努めた。

中学校スクールランチでは、各中学校の保護者や次年度入学予定児童、地域の方などを対象に、学校主催の試食会（延べ315回）を実施し、スクールランチへの理解を深めた。

第３章　学　校　体　育

１　学校体育の概要

（１）基本方針

学校における体育・スポーツ活動は、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践するとともに、健康で安全な生活を営むための能力や態度の基礎を育てるため、その調和的な発達を促す価値ある教育活動として学校教育の一翼を担っている。

本市において、学習指導要領に基づく教科体育はもとより運動部活動の振興、学校体育施設の拡充等、児童・生徒が十分な活動ができるよう諸条件を整備し、学校体育の充実と発展を図っていく。

（２）学校体育の重点施策と事業の概要

ア　学校体育の研究推進

- 教科体育外部指導者派遣事業（中学校教科体育の柔道、剣道の指導者）

イ　学校体育指導者の資質の向上

- 体育実技講習会
- 水泳指導法講習会
- 中・高等学校柔道、剣道指導者講習会
- 野外活動指導者養成講習会（小・中学校）
- 新規採用教員水泳講習会
- スクールダンササイズ講習会（小・特別支援学校）

ウ　児童・生徒の体力運動能力の育成

- 「元気いっぱいなごやっ子の育成」事業
- 体力・運動能力調査の実施と集計

エ　部活動の振興

- 部活動顧問及び外部指導者の派遣
- 部活動指導者の養成
- 生徒の全国大会等参加費に対する助成
- 各種体育大会の充実
- 名古屋市小中学校体育連盟への助成

オ　学校体育施設の充実

- 学校体育センターの運営

２　各 種 講 習 会

体育・スポーツの指導者の資質の向上を図るため各種の講習会を開催し、併せて学校体育の振興に努めた。

平成26年度に実施した主な講習会は、次のとおりである。

講　習　会　名	期　　日	参　加　者　数
水泳指導法講習会	５月９日・13日	各校１人347人
部活動外部指導者研修会	６月15日・10月12日	部活動外部指導者127人
体育実技講習会	６月４・６・10日	小学校261人、中学校84人
新規採用教員水泳講習会	７月31日 ８月１・５日	小・中・特別支援学校374人
中・高等学校 柔・剣道指導者講習会	８月26・27日 ９月２日	柔道47人、剣道60人
野外活動指導者養成講習会 （小・中学校）	８月５・６・７日(中津川) ８月５・６・７日(稲武)	小学校54人（中津川） 中学校40人（稲武）
スクールダンササイズ講習会 （学校への講師派遣）	９月８日～２月16日	小学校19校 児童4,179人、教員231人
部活動指導者養成講習会	５月～１月	小・中学校11種目627人 高校１種目300人
各種スポーツ講習会	４月～10月	13種目

３　元気いっぱいなごやっ子の育成

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、望ましい食生活等の指導を行うことにより、元気いっぱいなごやっ子の育成を目指した。

（１）今の体力を知り、体力向上を目指そう

児童・生徒が自分自身の現在の体力・運動能力を知り、主体的に体力づくりに取り組んでいくことができる体力アップソフトの活用を行った。

（２）体力アップに挑戦しよう

特色ある体力づくりに取り組む学校を募集し、実践研究を委嘱した。平成26年度は新たに小学校５校、中学校１校を委嘱し、平成26年度までに小学校101校、中学校20校の121校となった。各校とも全校体制で楽しく体力づくりに取り組んだ。

（３）食を学んで健康アップしよう

「食生活学習教材」を活用して、望ましい食生活などを身につけさせる食に関する指導を実施した。

４　体力・運動能力調査

児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、健やかな成長発達の指導に役立てることを目的に昭和41年度から継続して体力運動能力の調査を実施し、平成11年度からは、新種目で実施した。

（１）平成26年度本市児童・生徒の体力の状況

区分	年齢	種目 / 性別	握力（kg）		上体起こし（回）		長座体前屈（cm）		反復横とび（回）	
			男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10		15.9	15.4	18.1	16.8	31.4	36.0	39.9	37.9
	11		18.8	18.7	20.7	18.6	33.9	39.0	44.2	41.5
中学校	12		22.6	20.9	23.7	20.7	36.6	41.1	47.3	44.1
	13		27.8	23.1	27.1	23.3	40.7	44.3	51.2	46.1
	14		33.2	24.6	30.0	24.6	45.9	47.1	54.5	46.9

（２）平成26年度本市児童・生徒の運動能力の状況

ア　小学校児童の運動能力の状況

区分	年齢	種目 / 性別	20mシャトルラン（回）		50m走（秒）		立ち幅とび（cm）		ソフトボール投げ（m）	
			男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10		45.5	34.5	9.4	9.7	152.0	144.9	22.6	13.7
	11		57.4	42.8	9.0	9.3	163.0	154.2	26.7	15.9

イ　中学校生徒の運動能力の状況

区分	年齢	種目 / 性別	持久走 男・1500m　女1000m（分・秒）		20mシャトルラン（回）		50m走（秒）		立ち幅とび（cm）		ハンドボール投げ（m）	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中学校	12		7′ 16″	5′ 09″	70.7	50.9	8.8	9.3	172.2	158.2	18.0	11.7
	13		6′ 37″	4′ 54″	84.9	57.4	8.2	9.0	189.0	164.1	20.9	13.0
	14		6′ 21″	4′ 59″	94.2	59.5	7.8	9.0	204.1	167.3	23.6	13.9

５　各種体育大会

児童・生徒の体力を増進し、スポーツ精神の育成を目指して各種体育大会を開催している。平成26年度に実施した主な体育大会は、次のとおりである。

体育大会名	期　　日	会場・参加者等
名古屋市中学校総合体育大会 男子14種目・女子13種目 （陸上競技・体操・新体操・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・バドミントン・剣道・水泳・柔道・軟式野球・ソフトボール・ラグビー） （ただし、サッカー・軟式野球・ラグビーは男女混合チームを編成できる）	５月３日～７月26日	瑞穂公園陸上競技場、市内各体育館、市内中学校他 男子　9,007人 女子　6,231人
名古屋市立高等学校体育大会 18種目	７月26日～９月23日	瑞穂公園陸上競技場他 3,024人
名古屋市中学校駅伝競走	10月25日	庄内緑地公園陸上競技場・サイクリングコース 男子　396人（44校） 女子　360人（45校）

６　名古屋市小中学校体育連盟

昭和22年４月に、学校体育の振興を図ることを目的として発足した。現在18部の運動部（陸上競技・水泳・軟式野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・ソフトテニス・卓球・体操・ダンス・すもう・柔道・剣道・登山ハイキング・バドミントン）を有し、主として、学校体育（特に教科外体育）の振興に寄与する行事を各部ごとに開催している。

平成26年度には主な事業として、小学校指導会（10種目）、各運動部講習会（13種目）を開催した。

7　名古屋市学校体育センター

（1）学校体育センターの概要

学校体育センターは、学校建設予定地の有効活用を図り、学校教育にかかる体育大会及び練習などに利用するための施設として、設置されている。

なお、学校教育の諸活動を妨げない限度において、市民のスポーツ及びレクリエーションその他社会教育活動のために利用することができる。

施　設　名	開所年月日	施　設　概　要	所　　在　　地
平田学校体育センター	平成５年 ４月10日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　10,038.55㎡	西区山木二丁目167番地
天白学校体育センター	平成５年 ４月10日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　13,601.49㎡	天白区菅田一丁目501番地
中川学校体育センター	平成７年 ４月26日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　15,057.34㎡	中川区下之一色町字松蔭一丁目45番地の１

（2）利用状況

平成26年度における利用状況は、次のとおりである。

センター名	体　育　館		運　動　場		会　議　室	
	件	人	件	人	件	人
平田学校体育センター	1,070	43,299	275	19,721	432	6,796
天白学校体育センター	1,282	55,172	331	32,630	477	10,877
中川学校体育センター	1,336	60,278	332	40,330	529	9,735

第６部　生涯学習・社会教育

第１章　生涯学習の推進

１　生涯学習社会を目指して

平成18年12月に教育基本法が改正され、第３条に生涯学習の理念として、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」との条文が新設された。

変動する現代社会で生活する人々が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、生涯を通して自ら学ぶ活動として「生涯学習」がますます重要になってきている。

また、同法の社会教育に関する条文においても、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」とする改正が加えられた。生涯学習を推進する中核的な役割を担う社会教育行政においては、個人的な興味・関心はもとより、社会共通の課題を解決するための学習の機会及び情報の提供など適切な方法で社会教育の振興に努め、生涯学習社会の構築を目指すことが求められている。

２　生涯学習が必要とされる社会的背景

（１）社会の変化に対応するための学習の必要性

少子高齢化、科学技術の進展、情報化、国際化や環境問題などの社会の急激な変化によって生じたさまざまな課題に主体的に対応していくためには、学校教育で得た知識・技術だけにとどまらず、絶えず新しく生みだされる知識・教養・技術を生涯にわたって学習する必要が生じてきている。

（２）社会の成熟化に伴う学習ニーズの拡大

人々のライフスタイルが大きく変化し、余暇時間の増大、生活水準や教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきている。そして、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己実現などのために、学習活動への意欲や関心が高まっているとともに、その目的や内容も多様かつ高度なものとなってきている。

（３）生涯学習による市民の交流と地域活動の発展

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することは、多くの人との交流や協調を通して、学習を基盤とした多様な活動が展開され、主体的に社会参加しようとする意欲の醸成につながるものであり、地域社会の活性化やまちづくりを進める上で有意義である。

３　基　本　方　針

市民の学習は、学校や社会教育施設などの教育機関だけでなく、地域や社会の生活において、多様な学習機会を選択することにより、あるいは市民生活のなかで様々な形で行われている。こうした学習をきめ細かく支援していくためには、生涯学習に関連する諸機関の連携を図り、市民の学習環境を総合的に整備していくことが必要である。

本市では、こうした認識にたって、市民一人一人の高度化・多様化する学習意欲に対応するため、次の基本方針のもとに、各種の取り組みを進めていく。

（1）いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめる。

（2）誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめる。

（3）子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の発展をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめる。

４　平成26年度重点事業

トワイライトスクールの実施
「親学」の展開
あい・あい・あいさつ活動の推進
ファミリーデーなごや
子どもの読書活動の推進
女性の学習活動の支援
生涯学習センター等の事業の充実
なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業の実施
「家庭の日」の普及促進
土曜学習の推進
プラザ事業への参加・参画事業の実施
青少年の自主活動推進事業の実施
青少年育成サポーターの養成事業の実施
文化財保護事業補助の実施
歴史的町並み保存事業の推進
遺跡発掘調査の実施
文化財保護・啓発事業の実施
「歴史の里」の整備
市民スポーツ祭の開催
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催
なごやかウォークの開催
スポーティブ・ライフ月間関連イベントの実施
子どもスポーツフェスタの開催
国際スポーツ交流の推進
部活動の振興
地域ジュニアスポーツクラブの育成支援
スポーツ教室の充実
博物館・美術館・科学館の特別展、企画展等の開催

第２章　成　人　教　育

１　成人教育の概況

本市の成人教育は、生涯学習の観点から、市民一般を対象とした学習機会提供、親を対象とした家庭教育の振興、ＰＴＡを対象とした組織的活動の助成の３つを主な柱として推進している。なお、市民一般を対象とした学習機会提供としては、市民の多様化する学習要求にこたえるため、生涯学習センターなど社会教育施設を中心に、現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座を地域の実情に合わせて開設した。

（１）家庭教育事業

ア　家庭教育セミナー

本市社会教育の重点施策のひとつとして、昭和55年度から全市立小・中学校ＰＴＡに、それに加え平成６年度からは全市立幼稚園ＰＴＡ及び特別支援学校父母の会にも委託し、家庭教育セミナーを開設してきた。

	趣　　旨	運　営　形　態	参加者
家庭教育セミナー	子どもの健全な成長を図るため、家庭教育に関する諸問題や親のあり方などについて学習を深めることにより、家庭や親のあるべき姿・親の役割やしつけのあり方（親学）などについて認識を深め、よりよい家庭を築こうとする意欲を高める。	・市立幼稚園・小・中学校ＰＴＡ、特別支援学校父母の会の計398団体に開設委託、年１回以上実施 ・「親学」を参考資料に、全体会で基調提案、分散会で討議	延べ　19,719人

イ　パンフレット「親学」の発行

子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶ「親学」の普及・推進のため、パンフレット「親学」を発行し、幼稚園･保育園・小・中・特別支援学校の保護者を対象として配布した。

ウ　幼児期家庭教育支援事業

（ア）「幼稚園の子どもたち」の発行

乳幼児期の教育がその人の生涯にわたっての人間形成に資する面がきわめて大きいにもかかわらず、これらの養育者に対する家庭教育についての学習機会は必ずしも十分とはいえない。そこで、昭和46年度から家庭教育資料を発行し、その役割の一端を果してきた。

「親学」を柱に親としてのあり方を考える素材を提供することを編集方針とし、幼稚園の保護者を対象として年間３回配布した。

（イ）家庭教育相談事業

全市立幼稚園で、専門家による子育て相談を実施した。

エ　地域ふれあい実践講座

家庭の教育機能を充実させるため、系統的に学習する場として昭和39年度から、家庭教育学級を開設してきたが、平成16年度より、事業名を「地域ふれあい実践講座」に改称し、親や地域の大人が子どもとの関わりをもつための実践的な活動手法について学習する機会を提供している。

平成26年度地域ふれあい実践講座一覧

区　　分	実　　施　　機　　関	受講者（人）
地域ふれあい実践講座	千種小、筒井小、川中小、南押切小、千成小、正木小、円上中、高田小、沢上中、八熊小、正保小、伝馬小、森孝西小、太子小、名東小、植田東小	387

オ　「家庭の日」普及促進

昭和41年以来、親子のふれあいのある、明るい家庭づくりを促進するため、毎月第３日曜日を「家庭の日」と定めており、各種啓発資料や広報誌等により関係機関や団体、市民への普及啓発に努めた。また、「家庭の日」のポスター・作文の募集を行った。

カ　ファミリーデーなごや

家庭の大切さや家庭の素晴らしさについて改めて考えるイベント「ファミリーデーなごや」を、市立幼稚園・小中学校ＰＴＡ協議会などの協力により１月 10 日に日本ガイシホールで開催した。参加者は約２万８千人。

キ　ｅ - ねっと＊なごや

いつでも、どこでも学習できるように、平成16年度からインターネットを活用した講座を開設し、「現代的課題」「なごや学」「親学」に関する内容のコンテンツを動画とテキストで配信している。（平成27年３月末現在62講座）

ク　「おやじの会」の促進

父親や地域の男性に親学の普及・啓発をめざすとともに、家庭教育や地域活動への参加を促すため、「おやじの会事例集」を作成し、活動事例を紹介することによって「おやじの会」「おやじクラブ」の結成や活動の促進を図った。

ケ　親学推進協力企業制度

企業(団体)に親学推進協力企業(団体)として登録してもらい、登録企業(団体)に、保護者である従業員が「親学」にふれる機会を提供してもらうことで「親学」の推進を図った。平成 19 年度から登録を開始し、平成 27 年３月末現在で 178 の企業(団体)が登録している。

コ　あいさつ活動の推進

あいさつの大切さを再確認するとともに、ＰＴＡ、学校、地域と連携し、朝のあいさつ活動をきっかけとして、地域の大人と子どものつながりを深めるため、「あい・あい・あいさつ活動」を推進した。

（２）ＰＴＡ活動

父母と教師の協力によって、子どもの健全な成長を図り、また、自らも学習する団体であるＰＴＡを対象に指導者研修事業を始め、成人教育活動、非行防止活動等の諸活動への助成を行った。

ア　ＰＴＡの団体数・会員数

（平成26年５月１日現在）

団体・会員数 / 種別	団体数（団体）	ＰＴＡ会員数			
		保護者（人）	教師（人）	その他（人）	計（人）
小学校	263	86,194	6,152	1,121	93,467
中学校	108	48,047	3,235	186	51,468
高等学校	15	12,750	884	23	13,657
幼稚園	23	2,052	165	8	2,225
計	409	149,043	10,436	1,338	160,817

イ　ＰＴＡ指導者研修

（ア）　幼稚園ＰＴＡ指導者研究集会

ａ　全体会

日　　程　９月19日

会　　場　イーブルなごや

講演テーマ　見えないものが見える－幼児期にできること－

講　　師　愛知教育大学非常勤講師　槇野　泰夫　氏

ｂ　分科会

日　　程　11月18日

会　　場　イーブルなごや

研究テーマ　第１分科会「つながりやふれあいを広げるＰＴＡ活動はどうあればよいか」

第２分科会「幼児が心身ともに豊かに育つためのＰＴＡ活動はどうあればよいか」

（イ）　小中学校ＰＴＡ指導者研究集会

ａ　市集会

日　　程　６月４日

会　　場　市公会堂

講演テーマ　父親も母親もみんなでつくろうＰＴＡ活動

講　　師　ＮＰＯ法人ファザーリングジャパン　東海支部支部長　榊原　輝重　氏

b　区　集　会

区	会　　場	月日	区	会　　場	月日
千種	ルブラ王山	6.25	熱田	熱田区役所等複合施設	7.4
東	ウィルあいち	7.9	中川	富田北地域センター	6.10
北	北生涯学習センター	6.26	港	港区役所他	6.18
西	西区役所	7.2	南	南生涯学習センター他	6.24
中村	中村生涯学習センター	6.25	守山	守山生涯学習センター	7.4
中	青少年文化センター	7.2	緑	緑信用農業組合	7.1
昭和	昭和生涯学習センター	7.9	名東	名東文化小劇場	7.9
瑞穂	瑞穂陸上競技場	7.1	天白	天白生涯学習センター	6.27

（ウ）　高等学校ＰＴＡ指導者研究集会

a　全　体　会

日　　程　10月29日

会　　場　中央高等学校

講演テーマ　「命の授業～今の幸せに気づくことから夢はひろがる～」

講　　師　元中学校教師・養護学校教師　腰塚　勇人　氏

b　分　科　会

日　　程　11月18日

会　　場　イーブルなごや

研究テーマ　第１分科会　「向陽高校ＰＴＡ活動のこれから」

第２分科会　「生徒の活動を応援するＰＴＡ活動」

（エ）　幼・小・中・高ＰＴＡ指導者研究大会（ＰＴＡ活動研究大会）

日　　程　２月３日

会　　場　市公会堂

講演テーマ　「角度を変えて考える～子どもとの新しい関係の作り方～」

講　　師　椙山女学園大学国際コミュニケーション学部准教授　堀田　あけみ　氏

ウ　ＰＴＡパトロール活動

心身ともにたくましい青少年の育成を願って、市立小中学校ＰＴＡ協議会との共催により、ＰＴＡ全市一斉パトロールを実施し、児童生徒にとって有害な環境をなくすように努めるとともに、非行防止活動を積極的に展開した。

実施期間・参加人員　　夏　７月11日～31日　　11,473人

冬　12月1日～15日　　10,625人

春　３月2日～16日　　10,286人

（３）土曜学習の推進

子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現するため、地域、保護者、民間事業者等の協力を得ながら、学校の教科学習で学んだ知識や技能を実際に生かし、学ぶ意義を見出せるよう、体験を重視した学習プログラムを実施した。

平成26年度名古屋土曜学習プログラム一覧

区　　分	実　　施　　学　　区	延べ参加者（人）
名古屋土曜学習プログラム	自由ケ丘小、岩塚小、平子小	4,384

（４）　生涯学習推進事業

ア　企画開発・調査研究事業

（ア）「生涯学習に関する市民意識調査」を踏まえた、今後の公的社会教育施設が行う事業展開について

平成 25 年度に実施した「生涯学習に関する市民意識調査」では、市民の学習状況や学習志向、学習成果の還元について調査した。この調査結果から、市民の意識・動向・要望の変化を把握し、解決が求められている地域課題を踏まえた上で、今後の公的社会教育施設が行うべき事業展開のあり方について、調査研究を行った。

（イ）超高齢社会における学習機会提供のあり方について

今後の「超高齢社会」において、公的社会教育施設が提供すべき現代的課題に関する講座・事業について調査研究し、大学等高等教育機関との連携によって企画開発を行った。

新たに、名古屋市民大学において、超高齢社会への対応講座を企画し、モデルプランとして実施した。

イ　情報提供・学習相談事業

学習成果を生かしたい市民の情報を、教育や生涯学習に関する指導・支援を必要とする地域や学校などからの求めに応じて提供する教育サポーターネットワークを運用するとともに、学習グループ情報の提供、情報誌「生涯学習なごや」の発行、生涯学習情報総合サイト「生涯学習Webナビなごや」による学習情報提供を行った。

また、市民ボランティア（生涯学習アドバイザー）による学習相談を実施した。

ウ　学習機会提供事業

市民の多様化・高度化する学習要求に応えることができる広域的・専門的な学習機会として「名古屋市民大学」や「市民大学公開講演会」を開設した。また、大学等高等教育機関との連携による「大学連携講座」を開設した。

・名古屋市民大学　　通年　1講座　受講者数　860人
　　後期　1講座　受講者数　58人
・大学連携講座　　前期　12講座　受講者数　699人
　　後期　17講座　受講者数　1,762人
・市民大学公開講演会　　８回　入場者数　1,688人

エ　その他の事業

・大学連携協議会　　20大学　　22人参加

２　女　性　教　育

（１）女性教育の概況

社会変化により、女性のライフスタイルや家庭生活も大きく変わってきている。また、男女共同参画社会の実現をめざし､家庭･地域･職場などで女性が男性とパートナーシップを図り、個性と能力を発揮し活躍することが今後ますます期待されている。

こうした中で女性の能力の向上を図るとともに､男女平等意識のかん養や女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）をめざすことが大切になってくる。

本市の女性教育は、こうした状況を踏まえて、学習活動を側面から支援し、学習機会の増加や内容の充実を図るとともに、団体・グループの育成、指導者の養成及び資質の向上を主眼として、すすめている。

（２）主な事業

ア　学習活動の推進と支援

名　　称	目　　的　　等	開設数	参加者（延べ）
女　性 セミナー	女性がもつ身近な生活課題、 地域課題をテーマに自主的、 継続的に学習することを目的に開設。 セミナー終了後も引き続き学習する例が多く、 女性の身近な学習機会の場として定着している。	16	人 1,959
女性学習活動研究委託	女性団体や学習グループの自発的な学習を促すとともに、 学習の定着化を図る。 研究結果を女性教育推進の参考にするため､公募による委託を実施している。	委託団体・グループ数 30	4,644

イ　指導者研修

名　　称	対　　象	回　数	参加者（延べ）
女性学習団体リーダー研修	学習活動研究委託団体、グループのリーダー他	回 2	人 310
女性団体指導者研修	女性団体・グループのリーダー	4	72
女性国内研修	女性団体・グループのリーダー	6	24

ウ　女性団体等への支援

市内の女性団体には、地域を基盤として結成されたものと、学習内容別に結成されたものがある。そのうち、全市的規模をもち、協議会組織で活発に学習活動を展開している団体の活動

に対し、事業補助、事業共催、求めに応じた指導・助言を行っている。

一方、その他の女性団体が行う学習活動に対しても、求めに応じた助言を行うなど団体の育成に努めている。

３　視 聴 覚 教 育

本市では、生涯学習の一環として市民文化の向上や個性に応じた学習を支援するため視聴覚機器・教材の整備・充実に努めている。また、16ミリ映画教材等の視聴覚教材の収集・提供、視聴覚教育研修等の事業を積極的に行うことにより、視聴覚教育の普及・啓発を図るとともに、指導者の育成を計画的に実施している。

＜視聴覚ライブラリー＞

（１）概　　要

昭和56年７月、それまで別個に管理されていた社会教育・学校教育の16ミリ映画教材の収集・提供、視聴覚教育研修などの事業を統合し、それらを総合的に行う施設として視聴覚教育センターを開所した。その後、社会教育・学校教育の両面を対象に、視聴覚教材の収集・提供を始め視聴覚教育に関する各種の研修、教材の作成等に取り組んできたが、平成16年４月、教育センターに統合、教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーとなる。

（２）16ミリ映画教材・ビデオ教材・ＤＶＤ教材の整備状況（平成27年３月31日現在）

【16ミリ映画教材保有本数（タイトル数）】

4,310本　内訳：社会教育用1,591本　学校教育用2,719本　（3,532タイトル）

【ビデオ教材保有本数（タイトル数）】

2,440本（1,821タイトル）

【ＤＶＤ教材保有本数（タイトル数）】

447本（407タイトル）　平成15年より利用開始

（３）16ミリ映画教材・ビデオ教材・ＤＶＤ教材の利用状況（平成26年度）

【16ミリ映画教材利用本数】	69本	内訳：社会教育での利用	69本
		学校教育での利用	0本
【ビデオ教材利用本数】	125本	内訳：社会教育での利用	33本
		学校教育での利用	92本
【ＤＶＤ教材利用本数】	152本	内訳：社会教育での利用	121本
		学校教育での利用	31本

〈利用の多い作品〉

16ミリ映画教材		ビデオ教材		ＤＶＤ教材	
分野	作品名	分野	作品名	分野	作品名
物語児童文学	やさしいおおかみ	防　災	忍たま乱太郎の 地震用心・火の用心	交通安全	角田信郎の 自転車虎の巻
物語児童文学	ドナルドダックと 貯金箱	交通安全	ちびまるこちゃんの こんな乗りかたあぶないよ	交通安全	孫悟空の交通ルール
物語児童文学	とべないホタル	交通安全	我が家の交通安全 父との約束	人　権	勇気あるホタルと とべないホタル
物語児童文学	こびとといもむし	交通安全	ひろしくんと学ぶ 安全な自転車の乗り方	人　権	みんないちばん
物語児童文学	だるまちゃんと だいこくちゃん	人　権	みーつけた！	情　報	ネットいじめに 向き合うために

（４）研修会等（平成26年度）

16ミリ映写機等操作技術講座を開催し、32人が受講した。

研修会名	実施回数	受講者数	
		社会教育（人）	学校教育（人）
16ミリ映写機等操作技術講座	延べ２回	29	3

第３章　青少年教育

１　青少年教育の概況

激しく変化する現代社会において、今日の青少年の状況を見ると、情報化社会がより高度に発達していく中、携帯電話やインターネットの普及により、様々な情報ツールを活用する力を身につけている一方、人間関係の希薄化による社会性・主体性の欠如、直接体験の不足など、様々な課題も指摘されている。

こうした現状の認識の上に、青少年が直面する課題の克服をめざすとともに、青少年がもつ明るい可能性を伸長していくことが大切である。

生きる活力にあふれ、たくましく、心豊かな青少年を育成するため、青少年がボランティアや自然体験などの様々な体験活動や自主的な成果発表、交流活動等に取り組むことを通して、自らの成長や自己啓発に努め、地域や社会に貢献できるよう条件整備をし、青少年の活動を支援することに努めている。

２　青少年の教育

（１）青少年の社会参加活動支援

青少年の社会参加活動の促進や青少年を指導者として養成することを目標に、次の事業を実施した。

ア　社会参加活動

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
プラザ事業への参加・参画事業	26年４月～27年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	地域と連携したプラザ事業の企画・運営を通して、青少年が主体的に地域やまちの活動に参加・参画することができるように促す。
地域活動への参加・参画事業	26年４月～27年３月 児童館、商店街、生涯学習センター等	15～34歳の青少年	地域や他団体からの要請により、青少年が地域へ出かけ、成果発表や子どもの体験活動、世代間交流活動について、主体的に活動することを通して、社会参加・参画を促す。

イ　青少年ボランティアの養成

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
青少年育成サポーターの養成	26年４月～27年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	子どもの体験活動支援、まちづくりにかかわる活動支援などのボランティアを養成する。

（２）青少年の主体的な成果発表・交流活動支援

青少年がこれまでの活動の成果発表や子どもの体験活動等、地域において主体的に活動することを通して幅広い世代間交流を促進するため、次の事業を実施した。

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
青少年の自主活動推進事業	26年４月～27年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	青少年による体験、交流、成果発表の場を提供し、主体的な活動を促す。これらの企画、準備、広報、参加者募集、振り返りなどを自らの手で行い、その過程を通して青少年自身の成長を図る。

（３）青少年の体験活動支援

自然体験活動や創作体験活動など青少年の体験活動を促進するため、次の事業を実施した。

＜青少年宿泊センター等を活用した自然・宿泊等の体験事業＞

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
「青少年の自主活動推進事業」の一部において実施（再掲）	26年４月～27年３月 青少年宿泊センター等	６～34歳の青少年	自然、宿泊、ボランティア、創作等の体験活動の場の提供により、主体性や豊かな心を育む。

＜なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業＞

子どもたちの学校外でのさまざまな体験活動に関するイベントや施設等の情報提供をするホームページを開設し、情報誌を発行した。

事　業　名	内　　容
ホームページ運用 （パソコン版）	子どもの体験活動に関するイベントや施設の検索機能を備えた「イベント・施設情報」や市民の感想などを掲載する「行ってみました」等のコーナーから構成。
情報誌発行（７月）	学校の長期休業前に体験活動のイベント情報を情報誌にて提供。市内の小中学生のいる各世帯に配布。

（４）障害者青年学級

青少年の自主的な学習・活動と交流を支援し、健全な青少年を育成することを目的とし、障害者青年学級に対する支援を行った。

事　項　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
障害者 青年学級	26年６月～27年２月 生涯学習センター他	15～34歳の障害者青年・ボランティア25人以上の団体	障害者青年の生きがいづくりや生きる力の育成等を目指した学級活動を支援する。

第４章　文化財の保護

１　概　　要

われわれの歴史、文化、生活の変遷を知るうえで文化財は、市民全体にとって公共的な意義を持つかけがえのない財産であり、将来に向かって保存し、活用し、伝承していく必要がある。

しかし、文化財の中には、開発事業や生活様式の変化等による地域社会の変ぼうや後継者難などから失われ、忘れ去られていくものもある。

そのため、本市では名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第４号）を制定し、市指定文化財として指定し、指定文化財に対する保存事業への助成をするなど文化財の保護と活用を図っている。

また、新たに文化財を発掘したり、記録するための調査を行っている。その他、市内遺跡の発掘調査、文化財保護意識の高揚、史跡の整備管理等の事業を実施している。

市内所在指定等文化財数　（平成27年３月31日現在）

種別／区分	有形文化財							無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造物	考古資料	歴史資料							
国指定	17	5	41	51	11	1	—	—	—	—	6	1	1	134
県指定	17	9	40	18	12	6	4	—	—	2	—	—	—	108
市指定	11	5	9	—	27	3	4	2	18	33	5	1	3	121
国登録	—	—	—	—	84	—	—	—	—	—	—	1	—	85

２　文化財の保護

（１）文化財保護事業補助

指定文化財等の保存修理及び後継者育成のために市の補助と併せて国庫補助事業を活用し、竹田家住宅（緑区有松）の修理、また福禄寿車（中区栄）の修理等39件の補助事業を実施した。

（２）文化財保護事業等

文化財に関する出版物を刊行するとともに、文化財保護意識の高揚や史跡の整備等を図った。その主なものは、次のとおりである。

ア　出版物の刊行

名古屋市文化財調査報告90「埋蔵文化財調査報告書73　市内4遺跡のH25 年度発掘調査報告（千音寺遺跡第６次・７次、高蔵遺跡第59次、玉ノ井遺跡第11次、桜本町遺跡第5次）」

国史跡　志段味古墳群ガイドブック

おうさまのおはか　と　はにわたち

尾張の大型古墳群　国史跡志段味古墳群の実像

名古屋の山車行事

イ　保護意識の高揚

（ア）わくわく文化財普及事業の実施

図書館と協働し、土器の展示や古代の歴史に関する講演を行い、地域の古墳や史跡に関する図書の紹介を行うイベントを実施した。

（イ）史跡名勝標札の管理

史跡名勝等の所在地298ヶ所に設置してある標札の一部塗り替えを行った。

（ウ）文化財の管理

教育委員会所管の史跡の除草、清掃を行った。また、文化財パトロール員（16名）による市内の文化財の保存･管理等を行った。

（３）市内遺跡の発掘調査

周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為などに先立って、埋蔵文化財の記録保存をするために、玉ノ井遺跡始め４遺跡で延べ2,431㎡、４件の発掘調査を行った。また、埋蔵文化財包蔵地での開発計画等に対して、埋蔵文化財の保護を検討するための試掘調査を富士見町遺跡（中区）始め15件実施した。

（４）史跡散策路の活用

地域における文化財の活用と保護意識の普及を図り、あわせてゆとりとうるおいのあるまちづくりに資するため設定された散策路（市内16区80コース）の利用者に便宜を図るため、説明板等の設置修繕を行った。

３　「歴史の里」の整備

（１）平成26年度の主な実績

「歴史の里」の整備に向けて、古墳保存管理計画を策定し、古墳･緑地整備の実施設計を行った。また、現地を活用した古墳見学や体験事業のほか、市街地や中部国際空港など各所で普及啓発イベントを実施した。「歴史の里」の整備にともない、志段味大塚古墳の発掘調査を実施した。平成26年10月には、志段味古墳群に所在する尾張戸神社古墳、中社古墳、南社古墳、東谷山白鳥古墳、志段味大塚古墳及び勝手塚古墳の６古墳が国史跡に指定された。

（２）平成27年度の主な取り組み予定

古墳保存管理計画、実施設計に基づき古墳や緑地整備を行うとともに、現地を活用した古墳見学や体験事業だけでなく、国内外に向けて国史跡志段味古墳群を発信し、平成30年度のオープンに向けた普及啓発に取り組む。

第５章　市民スポーツ

１　市民スポーツの概況

スポーツ及びレクリエーション事業を通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の実現を図るために、各区まちづくり推進室、公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市レクリエーション協会と連携して、各種スポーツ・レクリエーション大会、講習会、研修会等を開催し、その普及奨励に努めている。なお、平成６年11月から電話やインターネットで施設の空き情報や、予約の抽選申込みができる「スポーツ・レクリエーション情報システム」を運用し、市民サービスの向上と生涯スポーツ活動の推進を図っている。

（１）スポーツ功労者顕彰

昭和56年度より本市のスポーツ振興を図ることを目的に、特にスポーツ振興に功績のあった者に対しスポーツ功労賞を、スポーツ競技大会において優秀な成績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される者に対してスポーツ奨励賞を、また、平成26年度より生涯スポーツの分野において優秀な成績を挙げた者に対して新たな表彰区分、「生涯スポーツ奨励賞」を設け、それぞれ市長が授与し表彰している。

平成26年度は、スポーツ功労賞として浅田真央（フィギュアスケート）、小林義雄（名古屋市レクリエーション協会会長）、スポーツ奨励賞として個人36名、団体20チーム、生涯スポーツ奨励賞として個人14名を表彰した。

（２）市民スポーツ祭

スポーツの日常化を図るため、毎年８月を中心に実施しており、平成26年度は６部門（区対抗、一般、高校、中学生、小学生、マスターズ）38種目にわたり開催した。３万人以上の市民が、スポーツを通じて交歓しており、スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている。

（３）市民体力づくり推進事業

ア　スポーツ普及事業

本市制定の女性レクリエーションバレーボール大会･レクリエーションインディアカ大会を開催し、普及に努めた。

イ　「スポーティブ・ライフ月間」における大会イベントの実施

10月の「体育の日」を中心とする秋季（10月～11月）をスポーティブ・ライフ月間とし、多彩なスポーツ･レクリエーション事業を行うとともに、エンディング･イベント「はじめよう！つづけよう！スポーティブ･ライフin瑞穂」を実施するなど、市民へのスポーツ普及に努めた。

ウ　「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催

名古屋シティマラソンと名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンを同時開催する３万人規模の大会。開催種目として、女子フルマラソンと男女ハーフマラソン、男女クオーターマラソン、チャレンジランを行った。

エ　「なごやかウォーク」

健康づくりや家庭･地域での交流を深めるため､市内16区でウォーキングイベントを開催し､ウォーキングの推奨に努めた。

オ　「子どもスポーツフェスタ」の開催

子どもが誰でも気軽に参加できるスポーツイベントとして、９月６日と１月17日に「子どもスポーツフェスタ夏・冬」を開催し、子どもへのスポーツ普及に努めた。

（４）部活動の振興

ア　部活動外部指導者派遣事業

民間指導者の活用により部活動の充実を図るため、小・中・高等学校へ専門的な技術指導を補助する部活動外部指導者を派遣した。さらに、部活動外部指導者の資質向上のための研修会を開催した。

イ　部活動顧問派遣事業

部活動顧問がいないため､部活動を継続できなかったり創部できない中学校へ学校の指導方針、指導計画のもとに部活動全般を担う民間指導者を顧問として派遣した。さらに、部活動顧問の資質向上のための研修会を開催した。

ウ　指導者養成講習会

部活動指導者層の拡大と資質向上のため、小・中・高等学校教員を対象に部活動指導者養成講習会を開催した。

エ　補助金

東海大会・全国大会等に出場する中・高等学校生徒の参加費の補助を行った。

オ　各種大会の開催

小学校ブロック指導会、中学校総合体育大会、高等学校体育大会等を開催した。

カ　わいわいスポーツアカデミー・ワクワクアカデミー

トップアスリート・プロの演奏家・指導者による専門的技術指導教室を開催したり、トップレベルのスポーツ観戦招待を行ったりした。

キ　学校体育センター

小・中学校における各種体育大会、交流試合、練習などに活用できる施設として、３施設を設置しており、管理運営を「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」へ委託した。

ク　ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業

ロサンゼルス市に在住する日系四世による中学生バスケットボールチームを本市に招待し、市内中学生と親善試合等を行った。

（５）地域ジュニアスポーツクラブ育成事業

地域における子どもたちのスポーツ活動の充実を図るため､地域ジュニアスポーツクラブの設立・育成を支援した。

（６）競技力向上事業

市内の優秀な選手や素質のある選手を早期発掘するとともに、年齢・競技種目に応じて計画的、継続的に適切な指導を行い、国際的選手の育成を図り、さらに、審判員資格取得又は上級審判員資格取得のための研修会を実施し、審判員等の育成を図った。

ア　ジュニア競技力向上事業　　33競技　　4,007人参加

イ　審判員・指導者養成事業　　17競技　　815人参加

（７）スポーツ推進委員

昭和36年に制定されたスポーツ振興法（平成23年８月24日にスポーツ基本法に改正）に基づき、スポーツ活動を奨励するため、本市においてもスポーツ推進委員を配置（定数１学区３人、全市で798人）し、各区まちづくり推進室と協力して、市民生活に直結したスポーツ・レクリエーション活動を展開するとともに、全市的なスポーツイベントに参画した。

（８）公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

昭和 58 年 10 月、財団法人名古屋市スポーツ振興事業団として発足し、アマチュアスポーツ及びスポーツ・レクリエーションの普及促進並びに教育の振興に資する事業を行うことを目的として、①体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業②学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業③児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業―などを行っている。

事 務 局　名古屋市南区東又兵ヱ町５－１－16（スポーツ振興会館内）
理 事 長　柴　田　達　男
副理事長　吉　田　健　一、加　藤　常　文

（平成27年７月１日現在）

（９）名古屋市レクリエーション協会

健全で明るい市民生活を営むため、レクリエーション活動の普及推進のために、教育委員会と連携して各種レクリエーション行事を開催し、市民の健康増進に努めた。

事 務 局　名古屋市中区三の丸三丁目１－１（市教委スポーツ振興課内）
会　　長　小　林　義　雄
副 会 長　寺　田　邦　昭
理 事 長　大　島　尚　美

（平成27年７月１日現在）

２　活動状況（平成26年度主要事業実績）

月	日	事　業　名	会　場
4	13・20・27 4月～3月	第85回レクリエーションインディアカ大会 競技力向上事業	稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 各　会　場
5	14～6/10 17 18	第49回春の女性レクリエーション バレーボール大会 第29回名古屋市ゲートボール大会 2014ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 庄内緑地ゲートボール場 豊田市稲武地区
6	21	でらスポ☆アリーナ	守山スポーツセンター
7	13 26～31	第21回グラウンド・ゴルフ大会 ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業	瑞穂公園北陸上競技場、瑞穂公園レクリエーション広場 東スポーツセンター他
8	23～31 21	第56回市民スポーツ祭 スポーツ推進審議会	各競技場 正庁
9	10～10/7 6 26～28	第49回秋の女性レクリエーション バレーボール大会 子どもスポーツフェスタ・夏 レインボーカップマスターズスイミングin NAGOYA 2014	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 東スポーツセンター 日本ガイシアリーナ 日本ガイシアリーナ
10	1～11/30 19・26・11/2	スポーティブ・ライフ月間 第86回レクリエーションインディアカ大会	鶴舞公園他 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター
11	24	スポーティブ・ライフ月間　エンディング・イベント「はじめよう！つづけよう！スポーティブ・ライフin瑞穂」	瑞穂運動場
1	17	子どもスポーツフェスタ・冬	日本ガイシスポーツプラザ 東スポーツセンター 天白スポーツセンター 中スポーツセンター
2	22 4	第56回市民スポーツ祭スキー競技大会 スポーツ推進審議会	ほおのき平スキー場 正庁
3	6～8 24	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2015 スポーツ功労者表彰	ナゴヤドーム他 名古屋市公館

第６章　社会教育施設

１　社会教育施設の概況

本市の社会教育施設は、学習、集会等の多目的施設として、生涯学習センター、女性会館がある。専門施設としては、図書館、博物館、スポーツ施設等がある。

図書館は、中区を除く各区と全支所管内に設置されている。

博物館施設としては、博物館、見晴台考古資料館、美術館及び科学館がある。

スポーツ施設としては、ネーミングライツ（命名権）を平成19年度から導入した日本ガイシスポーツプラザ、同じく平成27年度から導入したパロマ瑞穂スポーツパークを始めスポーツセンター、プール、庭球場、スポーツトレーニングセンター、志段味スポーツランドがあり、合理的な管理運営と利用の促進を図るため、指定管理者制度を導入している。

このほか、学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民の学習、スポーツ、レクリエーションの場として開放する学校施設開放を行っている。

２　図　　書　　館

（１）平成26年度活動のあらまし

平成26年度名古屋市図書館全体で貸出した資料は、個人が3,284,000人の11,722,242点、団体が9,601団体の77,261点で合計11,799,503点となる。これは、名古屋市民が１人5.20点ずつ借りたことになる。この貸出登録者数は、平成26年度末現在、484,122人である。蔵書数は、平成26年度全館で179,240冊受入れ、3,228,915冊となった。図書以外では、新聞、雑誌、ＣＤ、カセットテープ、ビデオテープ、ビデオディスク（ＤＶＤ）、紙芝居等を所蔵している。

「名古屋市子ども読書活動推進計画」における、保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行う「はじめての本との出会い事業」を全区の図書館で実施した。小学生を対象として図書館の業務や行事を体験し、学校でその体験を通じて考えたことを伝える子ども図書館大使事業を全区の図書館で実施した。

「その道の達人派遣事業」として司書が小･中学校等に出向く「ブックトーク＆読み聞かせ」は82校989クラスに対して延べ587回実施した。図書館見学や調べ学習の援助をする図書館訪問は64校、中学生・高校生などの職場体験学習は87校（延べ134回）344人が体験した。

平成24年度より実施開始しているメールによるレファレンスは、平成26年度は176件受け付けた。また、名古屋に関するあらゆる疑問や質問に対応し、名古屋の歴史・情報・魅力を発信する「名古屋なんでも調査団」により、受け付けた郷土に関するレファレンスは平成26年度1,400件となっている。

図書館ホームページ及び携帯電話サイトにおいて、平成21年６月よりインターネットによる図書の貸出し予約受付サービスを実施している。平成26年度のアクセス件数（トップページ）は、図書館ホームページが6,363,195件、スマートフォンサイトが53,533件、携帯電話サイトが149,270件となっており、予約申込みについても、図書館ホームページからが1,386,452件、携帯電話サイトか

らが37,195件と、合計で予約申込み総数（2,078,842件）の約68％を占めている。

市立小中学校の夏休み期間中（７月21日から８月31日まで）、中央館及び志段味図書館の全日開館を実施した。

また、平成25年度から守山区志段味支所管内の志段味図書館に指定管理者制度を試行導入した。

（２）図書館一覧

館　名	鶴　舞　中　央	千　　種	東
開館年月日	大正12年10月１日	昭和43年10月８日	昭和40年７月１日
沿　　革	大正12年10月１日市立名古屋図書館として開館。 昭和20年戦災にて焼失。昭和27年名古屋市鶴舞図書館として旧地に再建。 昭和39年４月市の中央図書館となる。 昭和59年４月新装開館。	第９番目の市立図書館として開館。	第５番目の市立図書館として開館。 平成13年10月に東スポーツセンター、東文化小劇場、市民ギャラリー矢田の入った複合施設「カルポート東」に移転、移転開館。
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階地上３階	鉄筋コンクリート造２階	鉄骨鉄筋コンクリート造 ５階
敷地面積 延床面積	8,800.0㎡ 11,285.9㎡	1,691.2㎡ 1,106.5㎡	10,639.5㎡ 1,759.1㎡
所　在　地	昭和区鶴舞一丁目１番155号	千種区田代町字瓶杁 １番地の137	東区大幸南一丁目１番10号
開館時間	火～金　９時30分～20時 土　　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	
休　館　日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等		
施設内容	主題別参考閲覧室、読み物実用書コーナー、児童室、児童図書研究室等	一般･児童コーナー、集会室、学習コーナー、展示コーナー、閉架書庫等	一般コーナー、スポーツ資料コーナー、参考コーナー、児童コーナー、集会室、学習室等
行事及び読書会	おはなし会 名古屋郷土文化会 読書会（つるの会、ぼちぼちいこう会） 展示会 てづくりあそび ちくちく手づくりの会 サイエンス夜話　ほか	おはなし会、展示会 伊吹俳句会 ちくさ文学研究会 千種英語クラブ こぐまちゃんの会 ナルニアの会、ババールの会 ちくちく手づくりの会 東山読書会、きららの会	おはなし会、人形劇 わらべうた 対面読書 ふきのとうの会 葵の会（東区婦人読書会） 対面読書ボランティアグループ 保健所読み聞かせボランティア（くれよん）
特　　色	市の中央館として資料を保存、提供している。 各種和漢書・絵草紙・遺墨・風俗史料・市史資料を所蔵する。 点字文庫を併設する。	南側は東山公園の緑に囲まれ新緑の頃が美しい。 玄関を入るとすぐ、展示コーナーがあり、市民の作品展示などに利用されている。	特色コーナーとして「スポーツ資料」と、東区関係の郷土資料と古地図を中心とした「わが街の伝統と新しい息吹」がある。

北	楠	西	山　　田
昭和42年６月15日	平成９年７月10日	昭和40年11月１日	平成17年５月６日
第８番目の市立図書館として開館。 平成12年６月に文化小劇場と複合施設の１階に移転開館。	第17番目の市立図書館、北区楠支所管内図書館として開館。 北区役所楠支所、北消防署楠出張所、北保健所楠分室に隣接。	大正14年矢田績氏により東区武平町に設立された後本市に寄付され、その後、栄図書館となる。 昭和40年11月西区花の木二丁目に移転し西図書館と称する。 平成６年６月に文化小劇場との複合施設の1・2階に開館。	第20番目の市立図書館、西区山田支所管内図書館として開館。山田支所との合築施設の３階にある
鉄骨鉄筋コンクリート造３階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 地上２階地下３階	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨５階 （３階部分）
3,776.8㎡ 1,525.3㎡	1,163.2㎡ 799.9㎡	1,983.1㎡ 2,364.4㎡	3,576.0㎡ 818.9㎡
北区志賀町 ４丁目60番地の31	北区楠二丁目974番地	西区花の木二丁目 18番23号	西区八筋町358番２号
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般コーナー、街道と旅のコーナー、医療情報コーナー、児童コーナー、集会室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞･雑誌コーナー等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、集会室、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会など おはなしの会ボランティア（プー、どんどこ、千成どうわの会、いろり、まほうのおなべ）、対面読書ボランティア（桜）、保健所よみきかせボランティア(おはなしポケット)、読書会（近代文学読書会）	おはなし会 子ども映画会 工作教室 テーマ展示 対面読書 おはなし会ボランティア（くすのき） 対面読書ボランティア	おはなし会 子ども映画会など としょかんくらぶ 対面読書ボランティア（プリムラ） 万年青読書会・ひよこの会 おはなし会ボランティア（グループぽんぽん、ぐるーぷころころ）、えほんくらぶ	おはなし会 子ども映画会 対面読書ボランティア(オリーブ) おはなし会ボランティア（なずさんピッカ）(山田おはなしの会かかし) 保健所よみきかせボランティア（ころころたまご）
稲置街道にちなみ「街道と旅のコーナー」を設置し、街道や、そこを旅した人々に関する図書を集め、閲覧に供している。また、「医療情報コーナー」を設け、より詳しい医療関連の図書資料を提供している。	日常生活に実際に役立つ図書・雑誌の収集に力を入れ、調べものや読書相談にも積極的に応えるサービスを行っている。地域団体・住民と連携した活動を行っている。	郷土のシンボルである名古屋城に関する資料を豊富に集めた名古屋城コーナーや対面読書室などを備えている。配本所（西文文庫）を運営している。	図書展示コーナーを設け、月１回程度、テーマに沿った図書の紹介を実施している。 「地域・郷土資料コーナー」をはじめ、小説・暮らし・娯楽に関する本を中心に、地域に密着したサービスを行っている。

中　　村	瑞　　穂	熱　　田	中　　川
昭和40年７月15日	昭和44年８月１日	昭和35年９月１日	昭和45年６月20日
昭和40年旧配水塔を大改修して、第６番目の市立図書館として開館。 平成３年５月中村公園の中村公園文化プラザ内１・２階に移転開館。	第10番目の市立図書館として開館。 （平成27年７月10日、豊岡通３丁目29番地に瑞穂文化小劇場と併設施設として移転開館。）	昭和35年東邦瓦斯より寄付を受け、次いで昭和42年井上ゴム工業より冷房設備の寄付をうける。 平成13年10月、JR熱田駅前に移転開館。	第11番目の市立図書館として開館。 平成14年11月、中川文化小劇場との合築施設の１・２階に移転開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造３階（一部４階）	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下２階・地上７階 （北館１階部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造 ４階
5,772.0㎡ 1,324.0㎡	2,021.7㎡ 1,142.4㎡	8,500.0㎡ 1,790.8㎡	3,596.1㎡ 1,529.2㎡
中村区中村町 字茶ノ木25番地	瑞穂区東栄町２丁目 １番地	熱田区神宮三丁目 １番15号	中川区吉良町 178番地の３
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般閲覧室、秀吉清正コーナー、児童閲覧室、閉架書庫等	一般･児童閲覧室、集会室、学習室、新聞コーナー、閉架書庫等	一般室、児童室、熱田資料コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、前田利家コーナー、児童コーナー、学習室等
おはなし会、読書会（ぼんの会）、工作教室つくってあそぼう、夏休みプラザおやこ映画会、かるた大会、こどもおみくじ、人形劇	おはなし会 やかまし村くらぶ ちくちく手づくりの会 ほか 読書会（よんでる会）	おはなし会、子ども映画会、カルタ大会など おはなし会ボランティアグループ（ピッピの会、つくしの会、ピースの会、まほうのおなべ） 対面読書ボランティアグループ 保健所よみきかせボランティアグループ（ぴょんぴょんうさぎ）	おはなし会、わらべうたの会、子どもと本の入門講座、工作教室、カルタ大会、長寿イキイキ音読教室 絵本の読み聞かせボランティア（こぶしの会）、対面読書ボランティア（葉ぼたん）、保健所読み聞かせボランティア
緑豊かな中村公園の一角にあり、文化小劇場・秀吉清正記念館を併設した複合施設。 秀吉･清正コーナーを備えている。	市内有数の文教地域の中にある。 ボランティアルームが設けられているなど市民活動も活発で、児童関係行事などが盛んに行なわれている。	区役所、保健所、文化小劇場、在宅サービスセンターとの複合施設の北館１階にある。誰もが気軽に立ち寄れるバリアフリーの図書館となっている。	前田利家コーナーを始め、利用者のニーズを考えて、様々なコーナーを設置している。また、吹き抜けの明るい閲覧室はバリアフリーにも配慮されている。

富　　田	港	南　　陽	南
平成９年７月８日	昭和42年４月27日	平成14年７月12日	昭和39年５月１日
第16番目の市立図書館、中川区富田支所管内図書館として開館。	第７番目の市立図書館として開館。 平成11年９月改築開館。	第18番目の市立図書館、港区南陽支所管内図書館として開館。	南部工業地帯の生涯学習振興のために田中均一郎氏の寄付により建設される。 平成４年３月に文化小劇場との複合施設の１・２階に移転開館。
鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨造 ２階	鉄骨鉄筋コンクリート造３階（一部４階）
1,599.9㎡ 800.0㎡	1,779.1㎡ 1,571.0㎡	1,597.4㎡ 800.0㎡	3,069.2㎡ 1,750.4㎡
中川区服部三丁目 601番地	港区港楽一丁目 14番16号	港区秋葉一丁目 130番地の79	南区千竈通 ２丁目10番地の２
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞･雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童室、学習室、集会室、海と港の資料室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞、雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、伊勢湾台風資料室等
おはなし会 工作教室 対面読書ボランティアグループ（すぎな） おはなし会ボランティア（おはなしえほんばこ･ノンタンくらぶ・ＳＴロバの耳） 保健所よみきかせボランティア（ＢＢクラブ）	おはなし会 読書会 （もくよう会、まつぼっくり） 対面読書ボランティアグループ （しおかぜの会）	おはなし会 工作教室 子ども映画会 おはなし会ボランティア（ぴこの会） 保健所読み聞かせボランティア（しゃぼんだま）	おはなし会、南図書館まつり、子ども映画会、読書会（二水会、しろうさぎの会）、対面読書ボランティアグループ（虹の会）、おはなし会ボランティア（Zoo（ズー）の会・ぴよぴよ・ひまわり）、人形劇、工作教室
対面読書室等機能的な設備を備えている。また、千音寺地域には古くからキツネにまつわる民話が多いことから、キツネをイメージシンボルとしてパンフレットなどに載せている。	港北公園の一角に位置し、読書環境を整え、地下鉄の便も良い。 １階には対面読書室、２階には「海と港の資料室」を備えている。	支所管内３番目の図書館として開館。 「本」「人」「地域」との出会いのお手伝いの場としての図書館サービスを展開している。特色あるコーナーとして「郷土･南陽コーナー」を設置。	南部工業地帯にあり文化小劇場を併設したモダンな建物。 伊勢湾台風資料室を備えている。

守　　山	志　段　味	緑	徳　　重
昭和47年８月10日	平成16年７月15日	昭和47年８月12日	平成22年５月６日
第12番目の市立図書館として開館。	第19番目の市立図書館。守山区志段味支所管内図書館として開館。平成25年４月１日から指定管理者株式会社図書館流通センターが運営。	第13番目の市立図書館として開館。	第21番目の市立図書館。緑区徳重支所管内図書館として開館。
鉄筋コンクリート造２階、一部３階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨造４階建（３階西側部分）
2,103.5㎡ 1,125.3㎡	2,100.0㎡ 800.0㎡	2,152.0㎡ 1,171.8㎡	1,758.5㎡ 1,039.1㎡
守山区守山一丁目 6番1号	守山区深沢一丁目 101番地	緑区旭出一丁目 1104番地	緑区鳴海町字徳重 18番地の41
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			月・水～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～１／４）等			火曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～１／４）等
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会 工作教室 人形劇 読書会 （わかば会、かつらの会、絵本を楽しむ会）	おはなし会 工作教室 英語でおはなし会 おはなし会ボランティア（ほんわかい） 対面読書ボランティア（しだみライブ） 保健所読み聞かせボランティア（よちよち）	おはなし会 読書会（あゆち会、モモの会） 工作教室 おはなしの会（きらら会、おはなし会コスモス、ルる、もうやっこ、にこにこ） 人形劇	おはなし会 工作教室 ユメリアブッククラブ カルタ大会 講演会 おはなし会ボランティア（ぐるんぱ、にこにこ、波の会、がらがらどん） 対面読書ボランティア（あいあい）
旧守山市役所跡に建設された図書館。 ２階には郷土資料や辞典類を備えた参考室があり、落ちついた読書環境を提供している。	支所管内４番目の図書館として開館。 子どもや高齢者、障害者にも配慮した、人にやさしい施設となっている。 また、２階のテラスは樹木を植え庭園となっている。	市立緑高等学校の南隣に設置され、高台にあるため南部を遠くまで見わたすことができ、その眺望が素晴らしい。	区役所支所、保健所分室、地区会館との複合施設。月曜日を開館、休館日を火曜日とし、時間外貸出しロッカーを整備した。

名　　東	天　　白
昭和51年６月15日	昭和52年11月18日
第14番目の市立図書館として開館。	第15番目の市立図書館として開館。
鉄筋コンクリート造２階	鉄筋コンクリート造４階（１階部分）
2,464.7㎡ 1,250.7㎡	2,081.6㎡ 1,102.7㎡
名東区文教台二丁目 205番地	天白区横町 701 番地
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始(12/29～１/４）等	
一般コーナー､児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー､児童コーナー、学習室、集会室等
おはなし会・読書会（ともしび読書会）・子どもと本の講座・名東手づくり絵本の会 子ども人形劇、名東の日おたのしみ会、小さい子向けおはなし会（乳幼児と保護者）、耳でたのしむおはなし会、英語でおはなし会図書館まつり・講演会、工作教室・科学実験講座、ちくちく手づくりの会	おはなし会、あかちゃんからのおはなし会、おはなしとてづくりあそび、昔話の会、人形劇、子どもと本の講座、おとなのためのおはなし会、おはなし会ボランティアグループ（ひばりの会・おはなしピピンの会・波の会）、保健所読み聞かせボランティア（絵本で子育てよちよち）、講座
レンガ風タイル貼りの外壁を持つシックな建物で、身体障害者向け施策による施設整備を初めてとりいれた。	大きな窓より陽射しが入り明るい図書館。一般コーナー南側には庭があり、雰囲気を和らげている。市民の作品を飾る展示コーナー、小グループで使える和室を設置している。

（３）蔵　書　数（平成27年３月31日現在）　（単位　冊）

分類／館名	総　数	一　般							
		郷土資料	総　記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	工業工学	産　業
総　数	**3,228,915**	**149,034**	**81,890**	**100,559**	**207,621**	**358,985**	**163,960**	**243,348**	**93,892**
鶴　舞	1,305,875	51,967	43,551	59,877	101,982	224,108	84,479	112,469	52,551
千　種	96,775	4,486	2,208	2,411	5,485	8,023	4,815	5,743	2,031
東	109,132	6,113	2,307	2,481	6,253	7,736	4,633	6,519	1,933
北	116,855	5,716	2,715	2,400	6,766	8,734	5,328	6,967	2,858
楠	71,167	3,504	1,209	1,286	3,644	4,145	2,693	5,022	1,392
西	107,752	9,153	2,082	1,978	5,639	6,478	3,970	7,025	2,131
山　田	70,345	2,631	1,027	1,156	2,920	4,441	2,621	5,352	1,371
中　村	97,013	5,759	2,422	2,164	6,503	7,320	3,827	5,781	1,813
瑞　穂	104,655	5,411	2,367	2,684	6,143	8,698	4,362	6,806	2,183
熱　田	129,474	7,840	3,914	3,853	10,467	11,009	5,302	7,311	2,906
中　川	106,206	4,797	1,982	2,389	6,074	7,423	4,557	7,827	3,114
富　田	65,860	2,600	1,136	1,243	3,380	4,786	2,709	4,882	1,507
港	101,929	6,421	2,197	1,963	5,981	7,323	4,550	6,440	2,453
南　陽	66,140	2,270	1,027	1,047	3,467	4,752	2,879	5,496	1,750
南	107,420	6,930	2,271	2,010	5,838	7,221	4,161	7,258	2,098
守　山	107,334	4,719	2,042	2,410	5,852	7,189	4,257	7,769	2,303
志段味	70,110	2,772	1,023	1,360	3,327	4,866	3,103	6,196	1,846
緑	83,948	5,841	1,642	1,758	4,103	5,527	3,448	5,283	1,622
徳　重	76,790	2,071	937	1,353	3,236	4,579	3,212	6,077	1,750
名　東	93,896	3,455	1,560	2,026	5,075	6,659	3,799	6,776	2,019
天　白	93,575	4,419	2,156	1,935	4,519	6,708	3,945	5,411	1,675
建物館計	3,182,251	148,875	81,775	99,784	206,654	357,725	162,650	238,410	93,306
自動車図書館	46,664	159	115	775	967	1,260	1,310	4,938	586

（単位　冊）

和書						一般洋書	児童書	点字
芸　術	語　学	文　学	漫　画	その他	小　計			
206,646	**43,990**	**805,154**	**23,565**	**26,763**	**2,505,407**	**14,256**	**676,364**	**32,888**
98,309	22,233	260,029	5,410	26,694	1,143,659	12,306	117,022	32,888
4,965	1,330	24,836	2,032	0	68,365	463	27,947	0
8,004	1,370	32,102	523	0	79,974	201	28,957	0
6,333	1,305	37,177	467	0	86,766	39	30,050	0
4,205	695	20,308	1,206	0	49,309	6	21,852	0
7,044	1,347	28,867	2,479	0	78,193	58	29,501	0
4,002	782	17,778	765	0	44,846	7	25,492	0
5,145	1,093	27,978	416	0	70,221	187	26,605	0
6,373	1,111	32,612	1,043	0	79,793	118	24,744	0
8,858	1,568	35,022	1,317	0	99,367	228	29,879	0
6,309	1,234	31,216	808	59	77,789	66	28,351	0
3,631	682	19,381	744	0	46,681	7	19,172	0
5,837	1,527	29,553	521	0	74,766	45	27,118	0
3,772	707	19,328	440	0	46,935	6	19,199	0
6,379	1,211	31,700	394	0	77,471	196	29,753	0
5,900	1,318	34,757	620	0	79,136	39	28,159	0
4,020	814	16,376	945	0	46,648	3	23,459	0
4,309	726	24,971	707	10	59,947	29	23,972	0
3,207	731	19,875	24	0	47,052	6	29,732	0
4,471	1,083	22,661	892	0	60,476	205	33,215	0
4,595	963	24,191	1,524	0	62,041	41	31,493	0
205,668	43,830	790,718	23,277	26,763	2,479,435	14,256	655,672	32,888
978	160	14,436	288	0	25,972	0	20,692	0

注）1．西図書館の蔵書数に配本所を含む。

2.その他は鶴舞中央図書館特別集書（名古屋市史資料、河村文庫、深山文庫、水口屋文庫等）を指す。

（４）平成26年度館外貸出登録者数

（単位　人）

館名＼分類	登録者数							
	個人						団体	
	一　般	児　童	小　計	郵送貸出	点字文庫	合　計	団体数	構成員数
総　数	**378,194**	**104,534**	**482,728**	**328**	**1,066**	**484,122**	**1,056**	**171,446**
鶴　舞	64,072	7,073	71,145	105	1,066	72,316	176	21,899
千　種	16,484	4,626	21,110	13	－	21,123	53	10,713
東	22,111	5,662	27,773	5	－	27,778	36	3,402
北	16,249	4,163	20,412	11	－	20,423	44	5,493
楠	9,184	3,103	12,287	3	－	12,290	24	3,879
西	14,651	3,353	18,004	7	－	18,011	41	4,751
山　田	11,671	4,445	16,116	49	－	16,165	30	7,560
中　村	18,044	4,154	22,198	8	－	22,206	47	7,396
瑞　穂	14,446	3,836	18,282	3	－	18,285	47	8,150
熱　田	18,745	4,978	23,723	7	－	23,730	36	5,766
中　川	20,419	6,315	26,734	13	－	26,747	41	7,662
富　田	9,943	3,738	13,681	7	－	13,688	38	6,724
港	13,833	3,667	17,500	18	－	17,518	52	9,762
南　陽	4,826	1,782	6,608	1	－	6,609	20	3,769
南	16,301	4,710	21,011	7	－	21,018	49	8,816
守　山	12,134	3,894	16,028	14	－	16,042	50	8,179
志段味	10,406	5,289	15,695	7	－	15,702	18	4,127
緑	19,070	5,790	24,860	12	－	24,872	80	15,078
徳　重	20,504	8,253	28,757	10	－	28,767	31	5,236
名　東	20,505	7,341	27,846	13	－	27,859	74	11,037
天　白	18,428	6,123	24,551	15	－	24,566	52	11,210
建物館計	372,026	102,295	474,321	328	1,066	475,715	1,039	170,609
自動車図書館	6,090	2,206	8,296	－	－	8,296	17	837
配本所（西文化ｾﾝﾀｰ）	78	33	111	－	－	111	0	0

（５）平成26年度館外利用者数

（単位　人）

館名＼分類	館外利用者数						
	個人						団体
	一般	児童	小計	郵送貸出	点字文庫	合計	
総数	**2,570,277**	**697,055**	**3,267,332**	**1,932**	**14,736**	**3,284,000**	**9,601**
鶴舞	271,104	39,927	311,031	697	14,736	326,464	1,069
千種	123,519	34,702	158,221	127	－	158,348	575
東	170,412	42,274	212,686	10	－	212,696	604
北	117,585	28,716	146,301	66	－	146,367	592
楠	66,326	17,607	83,933	16	－	83,949	365
西	108,458	21,994	130,452	28	－	130,480	393
山田	82,322	29,916	112,238	81	－	112,319	386
中村	119,242	28,174	147,416	200	－	147,616	382
瑞穂	131,818	37,987	169,805	22	－	169,827	470
熱田	138,441	33,054	171,495	48	－	171,543	294
中川	138,716	40,158	178,874	80	－	178,954	319
富田	73,176	23,078	96,254	2	－	96,256	319
港	92,510	19,784	112,294	71	－	112,365	514
南陽	36,353	9,723	46,076	0	－	46,076	183
南	113,190	27,943	141,133	19	－	141,152	216
守山	101,924	31,037	132,961	99	－	133,060	503
志段味	76,332	33,810	110,142	74	－	110,216	240
緑	127,843	40,815	168,658	76	－	168,734	416
徳重	175,922	58,866	234,788	49	－	234,837	463
名東	137,950	45,623	183,573	99	－	183,672	578
天白	141,727	44,076	185,803	68	－	185,871	606
建物館計	2,544,870	689,264	3,234,134	1,932	14,736	3,250,802	9,487
自動車図書館	24,452	7,337	31,789	－	－	31,789	114
配本所（西文化ｾﾝﾀｰ）	955	454	1,409	－	－	1,409	0

（６）平成26年度館外貸出冊数

（単位　冊・点）

分類／館名	個人						団体	合計A
	一般書	児童書	小　計	郵送貸出	点字文庫	計		
総　数	**6,720,025**	**3,910,821**	**10,630,846**	**6,068**	**24,174**	**10,661,088**	**77,261**	**10,738,349**
鶴　舞	632,201	219,373	851,574	1,857	24,174	877,605	12,747	890,352
千　種	315,104	177,713	492,817	581	－	493,398	4,001	497,399
東	413,799	239,747	653,546	32	－	653,578	3,313	656,891
北	308,206	166,115	474,321	251	－	474,572	4,544	479,116
楠	179,687	98,589	278,276	30	－	278,306	2,723	281,029
西	298,143	119,560	417,703	104	－	417,807	2,709	420,516
山　田	214,081	170,373	384,454	204	－	384,658	2,187	386,845
中　村	314,744	160,904	475,648	389	－	476,037	2,713	478,750
瑞　穂	339,917	192,196	532,113	73	－	532,186	2,337	534,523
熱　田	358,635	193,830	552,465	206	－	552,671	2,246	554,917
中　川	374,277	232,167	606,444	255	－	606,699	2,535	609,234
富　田	207,053	125,918	332,971	4	－	332,975	2,801	335,776
港	242,664	116,140	358,804	261	－	359,065	2,627	361,692
南　陽	101,866	55,727	157,593	0	－	157,593	2,700	160,293
南	310,537	163,714	474,251	48	－	474,299	1,872	476,171
守　山	290,968	170,239	461,207	429	－	461,636	3,150	464,786
志段味	210,565	193,369	403,934	268	－	404,202	1,740	405,942
緑	352,355	224,280	576,635	282	－	576,917	3,198	580,115
徳　重	421,210	346,036	767,246	123	－	767,369	4,049	771,418
名　東	345,728	240,095	585,823	330	－	586,153	3,767	589,920
天　白	368,705	233,648	602,353	341	－	602,694	3,915	606,609
建物館計	6,600,445	3,839,733	10,440,178	6,068	24,174	10,470,420	71,874	10,542,294
自動車図書館	116,575	67,529	184,104	－	－	184,104	5,387	189,491
配本所（西文化ｾﾝﾀｰ）	3,005	3,559	6,564	－	－	6,564	0	6,564
OPAC等	－	－	－	－	－	－	－	－

（単位　冊・点）

視聴覚資料館外利用点数（点）				総貸出数 A+B	貸出延長冊数（点）C	総貸出数 A+B+C
個人	郵送貸出	点字文庫	合計B			
277,815	**627**	**0**	**278,442**	**11,016,791**	**782,712**	**11,799,503**
43,471	444	0	43,915	934,267	28,606	962,873
11,267	3	－	11,270	508,669	12,653	521,322
16,295	0	－	16,295	673,186	17,768	690,954
10,087	0	－	10,087	489,203	12,778	501,981
8,983	3	－	8,986	290,015	7,188	297,203
12,671	8	－	12,679	433,195	11,048	444,243
6,681	0	－	6,681	393,526	8,608	402,134
10,932	44	－	10,976	489,726	12,578	502,304
9,963	0	－	9,963	544,486	11,494	555,980
15,353	0	－	15,353	570,270	14,628	584,898
14,868	21	－	14,889	624,123	18,838	642,961
6,843	0	－	6,843	342,619	8,197	350,816
9,703	52	－	9,755	371,447	9,399	380,846
5,075	0	－	5,075	165,368	3,874	169,242
12,668	0	－	12,668	488,839	12,630	501,469
9,883	30	－	9,913	474,699	12,525	487,224
10,158	18	－	10,176	416,118	11,952	428,070
13,567	1	－	13,568	593,683	15,821	609,504
19,794	3	－	19,797	791,215	20,737	811,952
13,812	0	－	13,812	603,732	15,469	619,201
12,432	0	－	12,432	619,041	18,338	637,379
274,506	627	0	275,133	10,817,427	285,129	11,102,556
3,189	－	－	3,189	192,680	212	192,892
120	－	－	120	6,684	0	6,684
－	－	－	－	－	497,371	497,371

注）OPAC 等には、館内蔵書検索機・インターネット用（パソコン・携帯電話）・情報ダイヤルサービスを含む。

（７）自動車図書館

自動車図書館は、南図書館に基地があり、運営は、平成24年４月から中央館に移管されている。

現在、自動車図書館は２台で、中央館、各区の分館とともに図書館システムの一環を担い、建物館から離れた地域への個人貸出サービスと、図書館へ来館できない社会福祉施設や病院などへの団体貸出サービスを行っている。原則として各区の図書館から1.5㎞以遠を対象に１学区１ヵ所の駐車場を設置し、巡回周期は年８回を目標としている。個人貸出は１人８冊以内で、市立図書館共通の個人貸出券で利用できる。

３　名古屋市博物館

（１）名古屋市博物館

ア　概　　要

沿　　革		昭和52年４月　本館工事完成 10月　開館 53年10月　常設展開設 〃　蓬左文庫・豊清二公顕彰館が分館となる 11月　博物館法に基づく登録博物館となる 61年４月　国宝・重要文化財の公開指定館となる 平成元年７月　常設展を全面改装	
構　　造		鉄骨鉄筋コンクリート造、地上４階・地下２階建	
敷地面積 延床面積		15,100.39㎡ 18,821.59㎡	
所　在　地		名古屋市瑞穂区瑞穂通１丁目27番地の１	
休　館　日		月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第４火曜日（祝日を除く） 年末年始（12／29～１／３）	
開館時間		午前９時30分～午後５時（入場は午後４時30分まで）	
施設内容	部屋名	面積	内　　容
	常設展示室	1,867.9㎡	尾張地方の原始から現代までの歴史を時代順に16テーマに区分し、わかりやすく展示するとともに、フリールームでは随時、展示替も行う。
	特別展示室	498.0㎡	内外のすぐれた文化財を紹介する展覧会を催すとともに、常設展示を補う意味で、随時、時代別・分野別の展示を行う。
	部門展示室	465.0㎡	
	展示説明室	264.5㎡	博物館についての基礎知識や、展示資料に関する解説を行う。
	ふれてみるコーナー	11.4㎡	常設展のエントランスに、直接手に触れて学ぶ資料を展示する。

<table>
<tr><td rowspan="11">施設内容</td><td colspan="2">部屋名</td><td>面積</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="9">ギャラリー</td><td>第１室</td><td>204.0㎡</td><td rowspan="9">美術家、美術団体を始め一般市民が行う展覧会の開催に施設を供用し、また、時には国際的な展覧会も催す。</td></tr>
<tr><td>第２室</td><td>123.0</td></tr>
<tr><td>第３室</td><td>171.0</td></tr>
<tr><td>第４室</td><td>171.0</td></tr>
<tr><td>第５室</td><td>156.0</td></tr>
<tr><td>第６室</td><td>89.0</td></tr>
<tr><td>第７室</td><td>389.0</td></tr>
<tr><td>第８室</td><td>115.0</td></tr>
<tr><td>屋外展示場</td><td>500.0㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">講堂</td><td>378.0㎡</td><td>舞台、映写室を備え、客席238を有する。講演会、映画会、芸能鑑賞などを催すとともに、一般の利用にも供する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要</td><td colspan="2">１　歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管、展示及び供用
２　博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究、博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究
３　博物館資料に関する講演会、研究会等の開催、解説書、目録、年報、報告書等の作成及び頒布、その他博物館資料の利用者に対するサービスの提供
４　ギャラリー、講堂等の博物館施設の供用
５　常設展「尾張の歴史」の運営
　　ボランティアと音声解説機による展示ガイド
６　出前ミュージアム、歴史体験セミナー等の教育・普及活動の実施

＜平成27年度開催(予定)の特別展・企画展＞
○特別展「いつだって猫展」　４／25～６／７
○特別展「魔女の秘密展」　７／18～９／27
○企画展「横井庄一さんのくらしの道具」　10／17～11／29
○特別展「名古屋めしのもと」　12／12～２／14
○企画展「陸前高田のたからもの」　２／27～３／27</td></tr>
<tr><td colspan="2">所蔵資料
(平成27年3月31日現在)</td><td colspan="2">総集　326点　民俗　44,097点
考古　119,816点　自然　128点
美術工芸　14,999点
文献　66,700点　合計　246,066点</td></tr>
</table>

イ　平成26年度博物館資料利用状況

	資料特別利用		資料貸出		図書閲覧	
件数及び点数	510件	712点	120件	252点	―	―

ウ　平成26年度施設利用状況

	特別展示室	部門展示室	ギャラリー									講堂
			第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室	第7室	第8室	屋外	
利用日数	222	152	245	148	184	264	240	199	202	218	0	43.5
利用率（％）	75	68	83	50	62	89	81	67	68	74	0	15

(注)利用率＝利用日数÷開館日数297日×100

エ　平成26年度入場者数

区分	日数	入場者数	1日平均	備考
	日	人	人	
常設展	295	65,515	222	
ビデオコーナー	193	5,749	30	
ふれてみるコーナー	295	14,329	49	
展覧会	延 222	133,893	603	
くらし体験学習室	55	22,835	415	※展覧会開催状況は別掲
ギャラリー	278	164,412	591	
講堂	42	5,920	141	
展示説明室	51	6,229	122	
ナイトミュージアム	2	943	472	
むかしのおもちゃで遊ぼう	41	6,693	163	
合計	―	426,518	―	

※　展覧会開催状況

会期	展覧会名	日数	入場者数	1日平均	備考
		日	人	人	
4／1～5／6	大浮世絵展	32	45,067	1,408	
5／21～7／13	幽霊・妖怪画大全集	45	47,616	1,058	
7／26～9／15	NIPPONパノラマ大紀行	44	14,842	337	
10／25～11／30	三英傑と名古屋	31	11,094	358	
12／13～2／8	感じる縄文時代	44	11,456	260	
2／28～3／31	エピソードでたどる書の散歩道	26	3,818	147	
合計	6展覧会	222	133,893	603	

（２）名古屋市蓬左文庫

ア　概　　要

沿　　革	尾張藩初代藩主徳川義直が父家康の旧蔵書を中心に、名古屋城内に創設した尾張藩御文庫を起源とする。 明治以降、尾張徳川家の私有、昭和７年、財団法人徳川黎明会に寄付されて、東京へ移転 昭和25年４月　名古屋市が購入、社会教育課に所属 26年11月　徳川園において公開 36年６月　鶴舞図書館の分館 41年４月　蓬左文庫として、社会教育部に所属 53年10月　博物館の分館 平成10年　「徳川園整備基本構想」策定 16年11月　新蓬左文庫開館。蔵書数約110,000点（内重要文化財154点） 26年10月　旧書庫、国の有形登録文化財（建築物）に登録
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建　　木造瓦葺２階建（旧書庫）
延 床 面 積	3,002.67㎡　うち旧書庫406.36㎡
所　在　地	名古屋市東区徳川町1001番地（徳川園内）
休　館　日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・12月中旬～１月３日
開 館 時 間	閲覧室　午前９時30分～午後５時・展示室　午前10時～午後５時

	部屋名	面積	内　　容
施設内容	ガイダンスホール	147.39 ㎡	蓬左文庫展示室入り口のホールで、デジタル御文庫（デジタル映像視聴）、陶板地図を設置して、展示室への導入とする。
	展示室１	280.10 ㎡	徳川美術館と提携し、蓬左文庫の蔵書と徳川美術館の調度をあわせて展示し、近世武家文化等をわかりやすく表現する。
	展示室２	103.38 ㎡	
	映像ルーム（32 席）	58.67 ㎡	「源氏物語」をテーマとしたハイビジョン映像「千年の時を越えて」（朗読竹下景子）を上映する。
	閲覧室（26 席）	296.82 ㎡	蓬左文庫所蔵の資料の閲覧、研究・調査のために一般利用に供する。
	エントランスホール	120.62 ㎡	旧書庫を正面玄関ホールに再利用。１階に蔵書の複製等を展示し、２階に旧書庫の姿を一部再現している。

事　業　概　要	1　文庫資料の収集、保管、展示及び供用 2　文庫資料の利用者に対する説明、助言及び指導 3　文庫資料に関する専門的、技術的な調査・研究 4　文庫資料の保管、展示等に関する技術的研究 5　文庫資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布 6　文庫資料に関する講演会等の開催
事　業　概　要	〈平成 27 年開催（予定）の特別展・企画展〉 夏・秋２回の特別展と４回の企画展を開催する。 ○企画展「尾張の茶道と香道」　４／11～６／７ ○企画展「異国への窓」　６／10～７／26 「殿様が愛した鳥たち」 ○特別展「徳川家康」　８／１～９／13 ○特別展「豊かなる朝鮮王朝の文化」　９／19～11／８ 「茶の湯の名品」 ○企画展「源氏物語の世界」　11/14～12／13 ○企画展「コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ」　１／５～４/10

イ　平成26年度利用状況

閲　覧　者	1,736人	資料特別利用	164件
観　覧　者	176,220人	資　料　貸　出	9件
資　料　複　写	522件	写真掲載許可	120件

(注)開館日数 296日。入館者数 197,730人。（エントランス（無料）利用者19,774人を含む）。

※　展覧会開催状況

会　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
４／１～４／６	企画展「ひなの世界」 「大名家の礼法－小笠原家伝書－」	6	4,396	733
４／12～５／25	特別展「徳川宗春」 「将軍からのおくりもの－儀礼と拝領－」	39	22,918	588
５／31～７／13	企画展「尾張徳川家の若君・姫君」 「名古屋まつりと山車揃え」	38	18,075	476
７／16 ～８／31	企画展「大曽根御殿と徳川光友」	41	24,065	587

会　　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
９／３～９／28	企画展「墨－黒の世界」 「第一次長州征伐と尾張藩」	23	13,935	606
10／４～11／９	特別展「復古やまと絵　新たなる王朝の美の世界－訥言・一蕙・為恭・清―」	32	21,959	686
11／15～12／14	企画展「古典文学の世界　大名文化と古典」	26	16,687	642
１／４～２／８	企画展「飾り金具」「源氏物語の世界①」 「江戸時代の名古屋をさぐる－城・まち・ひと－」	31	11,456	370
２／11～３／31	企画展「ひなの世界」 「源氏物語の世界②」「江戸時代の名古屋をさぐる－城・まち・ひと－」	42	42,729	1,017
合　　計	15展覧会	278	176,220	634

ウ　地域別閲覧人員　（単位　人）

市　　内	県　　内	県　　外	計	１　日　平　均
904	384	448	1,736	5.9

エ　参考事務取扱数　（単位　件）

窓　　口	電　　話	文　　書	画　　像	計
353	89	25	298	765

オ　分類別閲覧冊数　（単位　冊）

国　　書	郷 土 資 料	絵　　図	漢　　籍	一 般 図 書	計
1,517	711	103	697	5,855	8,883

（３）名古屋市秀吉清正記念館

ア　概　　要

沿　　革	昭和42年５月　豊臣秀吉と加藤清正の業績を顕彰する目的で中村公園内に豊清二公顕彰館として開館 53年10月　博物館の分館となる 平成元年４月　改築のため休館 ３年５月　秀吉清正記念館と名称を改め、中村公園文化プラザ２階に再オープン

構　　造	鉄骨・鉄筋コンクリート造３階
延 床 面 積	721.21㎡
所　在　地	名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地
休　館　日	月曜日（祝日の場合は翌日）・第３金曜日（祝日を除く） 年末年始（12／29～１／３）
開 館 時 間	午前10時～午後５時
施 設 内 容	１　常設展示室　205㎡ ２　特別陳列室　88㎡ ３　収蔵庫　81㎡
事 業 概 要	秀吉・清正に関する資料や尾張の戦国武将に関する資料のほか、戦国～安土桃山時代の生活や文化に関連する資料の収集・保管・展示。
所 蔵 資 料 (平成27年3月31日現在)	絵画160点、工芸52点、文書584点、その他30点 合計826点

イ　平成26年度利用状況

	資料特別利用		資料貸出	
件数及び点数	53件	74点	23件	27点

ウ　展覧会開催状況

会　期	展示会名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
４／１～３／31	常設展示	296	34,760	117
４／1～５／18	特集展示「神になった秀吉、清正」	40	(4,621)	116
５／20～７／17	パネル展「秀吉と二人の軍師」	50	(6,935)	139
７／19～８／31	夏休み特集展示「秀吉・清正の合戦」	37	(5,915)	160
９／２～10／13	パネル展「東三河の城」	36	(3,441)	96
10／18～11／24	特別陳列「秀吉からの手紙」	35	3,987	114
12／９～２／15	パネル展「戦国武将と尾張東部・知多の寺社」	53	(4,741)	89
２／17～３／29	特集展示「武将　加藤清正」	34	(3,223)	95
合　計	７展覧会		38,747	

(　)は再掲

４　名古屋市見晴台考古資料館

ア　概　　要

沿　　革	見晴台遺跡は、南区の笠寺公園一帯に広がる弥生時代後期から古墳時代はじめにかけての環濠集落跡を主とした遺跡である。資料館は、この見晴台遺跡に関する資料の収集、保管及び調査研究並びに展示を中心とした教育普及活動を目的として設置された。昭和54年10月11日に開館し、昭和55年１月25日博物館法に基づく登録博物館となる。
構　　造	本館　鉄筋コンクリート造、地上１階、地下１階、一部中２階 西館　軽量鉄骨造平屋建
敷地面積	1,902.33㎡
延床面積	1,529.41㎡
所　在　地	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
休　館　日	毎週月曜日（休日に当たるときはその翌平日）、毎月第４火曜日（休日を除く）、年末年始（12／29～１／３）
開館時間	午前９時15分～午後５時
施設内容	展示室　142.58㎡・映像展示室　136.17㎡
事業概要	見晴台遺跡を学習する場として、遺跡から出土した遺物・模型・パネル・写真等を展示している。また講演会・展示説明会・映画会の開催、教育普及のため、考古学関係の印刷物を刊行している。発掘調査を通して歴史と文化財に対する関心を高めるための、市民参加による遺跡の発掘調査を行っている。

イ　展示活動

展示室では、見晴台遺跡から出土した遺物を中心に、テーマを設定して展示会を開催し、市民の利用に供している。また、ロビーにおいても小規模な展示を実施している。そのほか、図書館などで市内遺跡を紹介する出張展示を実施している。

（ア）　平成26年度開館日数・入館者数

展示会別

会　　期	展　示　会　名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
4／1～6／22	常設展「見晴台遺跡となごやの遺跡展」	72	11,697	162
6／25～9／28	見晴台考古資料館開館 35 周年記念特別展「見晴台遺跡と市民発掘展」	82	7,901	96
10／1～11／24	常設展「見晴台遺跡となごやの遺跡展」	47	2,895	62

会　　期	展　示　会　名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
11／27～3／22	企画展「古代・中世の見晴台遺跡展」	93	6,841	74
3／25～3／31	常設展「弥生のムラ・見晴台遺跡展」 常設展「国史跡・志段味古墳群展」 企画展「やきものの美展」	6	917	153
合　　計		300	30,251	101

月　別

月　別	開館日数	入　館　者　数			１日平均	団　　体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人　員
年　月	日	人	人	人	人		人
26　4	27	2,851	2,531	5,382	199	14	1,124
5	26	1,537	2,502	4,039	155	11	849
6	24	1,550	1,422	2,972	124	20	655
7	27	1,691	656	2,347	87	2	82
8	26	2,798	386	3,184	122	0	0
9	24	1,487	187	1,674	70	1	15
10	26	1,486	80	1,566	60	4	69
11	25	1,457	155	1,612	64	5	142
12	24	1,055	178	1,233	51	1	6
27　1	23	1,260	106	1,366	59	5	54
2	23	1,961	206	2,167	94	2	38
3	25	2,487	222	2,709	108	1	32
合　計	300	21,620	8,631	30,251	101	66	3,066

(イ)　ロビー展示

○なごやの古墳・志段味古墳群展

○市民発掘写真展

○なごやの発掘成果2013展

○行く年くる年展

○笠寺公園の風景写真展

○岩手県宮古市と名古屋市の文化財交流展

（ウ）出張展示

○「歴史ある町、南区」展（南図書館）

○なごやの発掘調査の歴史と見晴台（市博物館フリールーム）

ウ　教育普及活動

（ア）市民発掘調査（見晴台遺跡第54次発掘調査）

期　　間　７月24日～８月31日（市民参加の期間）

参加者数　166人（延べ519人）

（イ）みはらしの日（市民参加による見晴台遺跡出土資料の整理作業）

実施回数　９回（７、８、12月を除く第４土曜日）

参加者数　延べ115人

（ウ）映像展示室などでは映画の上映・講演会・展示説明会などを開催した。

行　事　名	回　数	参　加　者　数
	回	人
講　演　会　等	10	370
展　示　説　明　会	4	18
映　画　会	10	254

（エ）見晴台遺跡を理解するための広報、出版活動を行っている。

館報６回、年報、見晴台遺跡ガイドブック（第２版）

（オ）見晴台遺跡の発掘調査の成果を現地で公開している。

現地説明会（市民見学会）参加者数43人

（カ）地域連携事業

南土木事務所と連携し地域住民の参加協力を得て始動した「竪穴式住居をつくろうプロジェクト」を始め、南図書館における「歴史ある町、南区」展と講演会「南区の古代・中世を探る」、桜田中学校美術展、南区民まつりへの出展等、地域連携の取り組みを行った。（計７回、参加者数延べ392人）

エ　見晴台遺跡の発掘調査活動

遺　跡　名	所　在　地	調査期間	面積（㎡）	主な調査成果
見晴台遺跡（第 54 次）	南区見晴町	７月～８月	115	弥生時代の環濠

５　名古屋市美術館

ア　概　　要

沿　　革		昭和58年１月　美術館調査委員会より「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申 ７月　美術館建設委員会を設置 63年４月　開館 平成元年９月　博物館法に基づく登録博物館となる	
構　　造		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地下１階・地上２階建	
敷地面積		10,509.125㎡（白川公園内の美術館管理区域）	
延床面積		7,232.41㎡	
所在地		名古屋市中区栄二丁目17番25号	
休館日		月曜日（祝日の場合はその直後の平日） 年末年始（12／29～１／３）	
開館時間		午前９時30分～午後５時（入場は４時30分まで）、金曜日（祝日の場合は除く。）は午後８時（入場は７時30分）まで	
施設内容	部屋名	面積	内容
	常設展示室１ ２ ３	768 ㎡ 102 175	エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術という４つの柱からなる収蔵作品を、年３回程度展示替えをしながら、系統だててわかりやすく展示する。
	企画展示室１ ２	688 ㎡ 571	時代的に、また地域的に変化と多様性に富む美術の世界を、テーマを定めて幅広く紹介する企画展を開催する。
	図書室	95 ㎡	美術関係の専門書（洋書も含む。）や各種展覧会の図録などの文献があり、自由に閲覧できる。
	講堂	239 ㎡	180人収容可能で、ビデオを始めとする映像機器を備え、美術講演会、美術講座、映画会等を開催する。
事業内容		１　美術品及び美術に関する図書、文献、写真等の資料の収集、保管、展示及び供用 ２　美術に関する専門的な調査研究 ３　美術に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 ４　美術に関する講演会、ミュージアム・コンサート、ビデオ上映会等の開催 ５　常設展示室でボランティアによる所蔵作品のガイド ＜27年度開催(予定)の特別展＞ ○若林奮　飛葉と振動　４/18～５/24 ○画家たちと戦争：彼らはいかにして生きぬいたのか　７/18～９/23 ○英国の夢　ラファエル前派展　10/３～12/13 ○ポジション2016　アートとクラフトの蜜月　１/５～２/21 ○華麗なる変身：日本近代美術の女性像　３/５～４/17	

所　蔵　作　品 (平成27年３月31日現在)	エコール・ド・パリ関係 メキシコ・ルネサンス関係 現代の美術 郷土の美術	513点 511点 589点 4,248点	計5,861点

イ　特別展示

会　　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	１日平均	備　　考
		日	人	人	
４／12～６／８	マインドフルネス！高橋コレクション展　決定版2014	50	25,871	517	中日新聞社と共催
７／５～８／24	挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち	44	13,281	302	中日新聞社と共催
９／６～10／26	現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展　ヤゲオ財団コレクションより	44	10,949	249	中日新聞社、東京国立近代美術館、ヤゲオ財団（台湾）と共催
11／８～12／23	ゴー・ビトゥイーンズ：こどもを通して見る世界展	39	5,292	136	読売新聞社、美術館連絡協議会、中京テレビ放送と共催
１／10～３／22	だまし絵Ⅱ	62	117,383	1,893	中日新聞社、東海テレビ放送と共催
合　　計	５展覧会	239	172,776	723	

ウ　常設展示

会　　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	備　　考
		日	人	
	常設展	251	86,558	特別展入場券による入場者数を含む。
９／６～10／26	特集　没後10年　加山又造版画展	(44)	(5,074)	〃
11／８～12／23	常設企画展　ポジション2014 伊藤正人　水性であること	(39)	(2,416)	〃

（注）　（　）内の常設展日数・入場者数は内数。

エ　平成26年度美術品等利用状況

資　料　貸　出	図　書　閲　覧
15件、82点	5,189人

オ　教育普及事業

内　　容	回　　数	参　加　者　数
	回	人
美術講演会、作品解説会など	35	4,849
コンサート・上映会	11	1,105
夏休みこどもの美術館（ワークショップ含む）	8	233
子どものためのワークシート キッズ・アートウォッチングなど	134	1,328
合　　計	188	7,515

６　名古屋市科学館

ア　概　　要

沿　　革	昭和37年11月　天文館開館 39年11月　理工館開館 平成元年４月　生命館開館 市立名古屋科学館から名古屋市科学館へ名称変更 ２年１月　博物館法に基づく登録博物館となる 23年３月　理工館・天文館改築		
構　　造	理工館・天文館　鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上７階・地下２階建 生命館　鉄骨鉄筋コンクリート造 地上９階・地下２階建		
敷　地　面　積	13,661.95㎡		
延　床　面　積	22,551.32㎡		
所　　在　　地	名古屋市中区栄二丁目17番１号		
休　　館　　日	月曜日（祝日の場合はその直後の平日）第３金曜日（祝日の場合は第４金曜日）・年末年始（12／29～１／３）		
開　館　時　間	午前９時30分～午後５時（入場は４時30分まで）		
施設内容	部　屋　名	面　積	内　　容
	展　示　室 天文館　５階 理工館 ２階～６階 生命館 ２階～５階	計6,515㎡ 702 3,636 2,177	天文・理工・生命などの分野を、各階の展示室ごとにテーマを定め、観覧者が実物・模型・映像などを通して、楽しみながら科学を容易に理解できるよう展示する。
	第１実験室	115㎡	科学に関する実験や工作などの各種講座を開催する。
	第２実験室	120㎡	
	学　習　室	102㎡	

施設内容	情報資料室	97 ㎡	科学系分野の図書と映像（ビデオ、ＤＶＤ）の閲覧、インターネット検索のサービスを提供する。 開架用図書　約7,000冊　ビデオ等　約1,000本
	プラネタリウム （ブラザー　アース Brother　Earth） 内径 35m 定員350人	830 ㎡	投影する話題を月ごとに定め、学芸員の生解説により１日６回投影している。また、幼児向け、小学生向け、夜間投影など特別投影も行う。投影時間は約50分。
	イベントホール	777 ㎡	特別展、企画展、各種展覧会や事業を開催する。
	サイエンスホール （定員320席）	440 ㎡	各種講演会等を開催する。
	サイエンスステージ	173 ㎡	空気、運動、電気、化学反応などの実験をショー形式で開催する。
	天文台	87 ㎡	口径80㎝の反射望遠鏡を設置し、昼間の星をみる会、市民観望会などを開催する。
	星の広場（屋上）	598 ㎡	小型望遠鏡を並べて市民観望会を開催する。

事業概要	１　天文、理工、生命に関する資料及び装置の展示 ２　プラネタリウムによる天体運行等の投影及び天体観測等の指導 ３　天文、理工、生命に関する知識の普及及び指導 ４　科学技術に関する情報の収集及び提供並びに出版 ５　科学技術及び運営企画に関する調査研究 ６　その他、教育委員会が必要と認める事業 ＜27年度開催(予定)の特別展＞ ○「錯覚体験 ふしぎワールド！」　７／18～８／31 ○「生命大躍進」　10／17～12／13 ○「ポケモン研究所（仮称）」　12／23～３／６ ○「恐竜科学捜査班（仮称）」　平成28年３／19～６／12

展示資料（平成27年３月31日現在）					
	宇宙天文	44点	交通機械	22点	その他総合　38点
	物質	27	生命	29	
	数学情報	10	生活	11	
	ｴﾈﾙｷﾞｰ物理	30	環境	25	計　236点

ネーミングライツの導入（ブラザー　アース Brother　Earth）	対象施設：プラネタリウムドーム 権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等 ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社 契約期間：平成23年３月19日から平成28年３月31日

イ　平成26年度月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10
入館者数	112,280	131,580	90,980	118,291	240,107	75,329	86,989
開館日数	25	26	24	26	28	22	26

月	11	12	1	2	3	計
入館者数	136,283	107,093	100,431	76,455	118,185	1,394,003人
開館日数	25	23	23	23	25	296日

ウ　平成26年度各種行事実施状況

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」	3/19～6/8	69	89,780 (4月1日以降)
特別展「ドラゴンボールで科学する！」	7/16～8/31	41	106,746
特別展「館長 庵野秀明　特撮博物館」	11/1～1/12	58	115,054
特別展「夢と感動の宇宙展　『宇宙兄弟』ムッタとヒビトが挑んだ空へ！」	3/14～5/24	59	25,559 (3月31日時点)
企画展「教授を魅了した大地の結晶」	9/13～9/23	8	7,914
深海を掘る～最新の科学掘削プロジェクトの成果	4/6	1	103
南極クラス	6/7	1	256
楽しい鉄道模型	6/22、9/7、1/25、2/8	4	入館者対象
科学技術週間行事			
①記念講演会	4/19	1	①②共通
②学術映像祭入選作品発表	4/19	1	205
第35回古川為三郎サイエンス講演会	1/25	1	249
プラネタリウム特別投影			
①ファミリーアワー （土・日・祝・夏・春休み）	年間	254 (回)	86,308
②字幕付きで見るプラネタリウム	11/15、1/17	2	650
③夜間特別投影	毎月１回	12	3,058
④幼児向け学習投影	5/8～7/17、2/24～3/6	85	25,946
⑤小学校４年生向け学習投影	11/26～2/19、3/10	62	18,309
⑥小学校６年生向け学習投影	9/24～11/20	53	16,468
昼間の星をみる会（日）	4/13～3/21	24	11,131

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
市民観望会(土または日)	4/5～3/28	11	1,997
皆既月食をみる会	10/8	1	3,000
電子工作教室	7/25～7/27	3	76
かがくの実験室	3/28、3/29	2	102
かがくゼミナール	5/6、5/11、5/17、8/23、2/1、3/28	5	146
第17回リフレッシュ理科教室	8/8、8/9	2	170
地球教室	5/24・25、8/23・24、10/25・26、2/21・22	8	108
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験室	7/5	1	22
放射線ウォッチング	7/29、8/1・2	3	65
夏休み親子写真教室	8/30・31	2	123
ワクワク実験隊「鉄の不思議教室」	8/3	1	72
その道の達人派遣事業			
①出前ものづくり工房	5月～2月	26	2,458
②出前サイエンスゼミナール	6月～1月	13	973
③トワイライト事業	5月～3月	7	419
名古屋少年少女発明クラブ			
①ものづくりコース			
⑷ものづくり工房	毎週土曜日、祝日、夏休等の休日(4～3月)	38	3,912
⑹ものづくり教室	第3土曜日(7・8・12月を除く)	10	229
②ロボットコース			
⑷ロボット工房 （会場：科学館及び吹上ホール)	毎週日曜日(8月を除く)	20	468
⑹ロボット教室	第3日曜日(9月、12月除く)	9	74
(C)夏休みロボット教室	8/14・15	2	18
(d)発展型キロボ教室	4月～10月、3月	15	243
ロボカップジュニア大会			
◎ロボカップジュニアなごやオープン	9/27	1	33
◎ロボカップジュニアなごや大会	9/28	1	38

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
◎ロボカップジュニア東海ブロック大会 （会場：愛知工業大学名電高等学校内）	12/13	1	21
③地球コース			
地球工房	毎週土･日曜日･祝日 (4～3月)	92	6,092
第41回「化石を語る」文化講演会	4/29	1	111
第13回ヒメボタルサミット in 愛知	5/18	1	30
第21回生きている地球の記録	7/27	1	201
科学創作コンクール	10/7～10/11	5	入館者対象
第58回日本学生科学賞愛知県展	10/21～10/25	4	入館者対象
青少年のための科学の祭典2014名古屋大会	10/4・5	2	3,280 (6,480) () 内はでんきの科学館含む
高校生による科学の祭典2014	2/1	1	550
スペシャル実演	4～3月	265	8,098
H-ⅡAロケット打上げパブリックビューイング	5/24	1	200
はやぶさ2 H-ⅡAロケット打上げパブリックビューイング	12/3	1	200
鉄道の日イベント	10/12	1	来館者
芸術と科学の杜連携			
エントランスコンサート	4/13、7/26・27、8/9、10/18、11/1・2、11/29、3/22	9	来館者
杜の駅@科学館			参加者
サイエンス&アートフェステバル	10/4・5	2	のべ11,644
環境学習センター・科学館コラボ企画「エコパル名古屋出張ワークショップin　創造のひろば」	5/25、6/22、9/28、10/26、11/23、12/21、1/25、2/22、3/22	9	2,039

7　生涯学習センター、女性会館

（1）生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に利用できる学習、集会、軽スポーツのための総合社会教育施設である。その性格として現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座や市民が企画・運営する「なごやか市民教室」、講演会などの実施により市民の広範な学習要求に応えるとともに、市民が自主的に行う各種グループ活動に対してその求めに応じて、適切な指導、助言を与えるものである。また、市民の各種活動の場として施設の貸与も行っている。事業は以下の７つの柱のもとに行われている。

a　幅広い層の市民のための講座の開設
b　講演会等の開催
c　市民の学習活動等の支援
d　図書・記録・資料等の保管及び展示・活用
e　生涯学習に関する情報の提供
f　生涯学習のための相談
g　各種社会教育活動に対する場の提供

また、平成12年４月には、区におけるまちづくり推進事業との連携を図りながら、より地域に密着した柔軟で幅広い事業を展開することを目指して、地域の総合行政機関である区役所に各区の生涯学習センターを編入した。

平成26年４月１日から中村、熱田及び名東生涯学習センターに指定管理者制度を導入し、３館とも公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会が指定管理者として管理運営している。

ア　生涯学習センター一覧

			千種生涯学習センター	東生涯学習センター	北生涯学習センター	西生涯学習センター
開館年月日			昭和50年４月	昭和56年６月	昭和59年６月	昭和60年７月
沿革			平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入			
構造			鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート４階地下１階建	鉄筋コンクリート３階建
敷地面積			3,766.00㎡	1,932.81㎡	1,960.98㎡	874.48㎡
延床面積			2,905.55㎡	2,399.47㎡	3,958.63㎡	2,391.38㎡
所在地			千種区振甫町３丁目34番地	東区葵一丁目３番21号	北区黒川本通２丁目16番地の３	西区浄心一丁目１番45号
休館日			第２水曜日、第４月曜日、年末年始等		第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	第２水曜日、第４月曜日、年末年始等
開館時間			午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）			
施設内容			集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等			
26年度の主な事業	定期講座数（延回数）	前期 後期	10（ 56） 10（ 51）	10（ 51） 9（ 47）	11（ 59） 9（ 44）	10（ 56） 9（ 46）
		合計	20（107）	19（ 98）	20（103）	19（102）
	定期講座受講者数	前期 後期	194 307	235 211	237 202	270 190
		合計	501	446	439	460
	特色ある事業		・〈なごや学マイスター講座〉茶屋ヶ坂公園のあじさいマイスターになろう ・〈なごや学〉人と自然をつなぐ東山の森 ・〈なごや学〉お茶が薫る文化のまち千種 ・史跡散策事業 ・大学共催講座	・生涯学習まつり2014 ・＜なごや学＞知られざる尾張藩2代藩主「光友」 ・＜なごや学＞東区にある国宝「源氏物語絵巻」の魅力 ・＜なごや学マイスター講座＞東区グルメマイスター養成講座～東区ご当地グルメを広めよう～	・ジュニア手話クラブ「ゆびきり」 ・手作り絵本教室 ・パソコン広場 ・〈なごや学マイスター講座〉北区のご当地グルメを広めよう！ ・〈なごや学〉見てみよう！作ってみよう！北区の伝統工芸 ・愛知学院大学連携講座	・西ふれあいまつり ・＜なごや学マイスター講座＞屋根神さまを訪ねて ・浄心寄席 ・〈なごや学〉西区の伝統文化再発見！ ・親子で楽しむお菓子づくり ・シリーズ歴史講演会 ・親子で楽しむお菓子づくり

中村 生涯学習センター	中 生涯学習センター	昭和 生涯学習センター	瑞穂 生涯学習センター	熱田 生涯学習センター
昭和60年６月	昭和57年６月	昭和55年６月	昭和57年６月	昭和59年６月
平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ２階建
2,683.46㎡	2,061.62㎡	2,548.76㎡	2,942.57㎡	3,797.6㎡
2,560.49㎡	2,372.27㎡	2,311.46㎡	2,397.47㎡	2,394.63㎡
中村区鳥居通３丁目１番地の３	中区橘一丁目７番11号	昭和区石仏町１丁目48番地	瑞穂区惣作町２丁目27番地の３	熱田区熱田西町２番13号
第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２火曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２火曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等
午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等				
9（ 48） 10（ 51）	10（ 51） 9（ 50）	10（ 55） 8（ 48）	10（ 57） 9（ 59）	10（ 52） 10（ 52）
19（ 99）	19（101）	18（103）	19（116）	20（104）
139 209	158 137	203 198	263 252	214 248
348	295	401	515	462
・＜なごや学＞中村区ご当地グルメを作ろう ・＜なごや学マイスター講座＞中村区の産業・歴史・文化の魅力発見！ ・キッズわくわくスクール ・おもちゃ図書館 ・子育て・ほっと・ひろば ・地域生涯学習まつり ・自主グループ春の発表会 ・中村ほっとサロン ・パソコン相談会	・「中区ご当地グルメ」を作って、魅力発信 ・名古屋と堀川の魅力を探る ・韓国、インドネシアの文化に触れてみよう！ ・「中区誌」を紐解く ・名古屋の城下町、碁盤割を学んで、語ろう！ ・多文化共生、できることから始めよう ・なか・ぶんかまつり	・昭和生涯学習センターまつり ・里山ふれあい体験会 ・親子パンづくり教室 ・親子そば打ち道場 ・発見！川名公園 ・親子ふれあいコンサート ・新春コンサート ・子育てわいわいサロン ・自遊らんど ・スポーツ交歓会	・みずほ生涯学習センターまつり ・春のこどもまつり ・おばけやしきをつくろう ・瑞穂のものづくり文化を学ぶ ・【名古屋女子大学・瑞穂区社会福祉協議会との共催】長寿社会のライフスタイルを考える ・親子でさくらスイーツを作ろう	・熱田生涯学習まつり ・親子茶道体験教室 ・如月コンサート ・熱田史跡ガイドの会共催事業 ・〈なごや学マイスター講座〉熱田歴史資料室マイスターになりませんか？ ・〈なごや学〉熱田ブランド　再発見～食を中心として～

中川 生涯学習センター	港 生涯学習センター	南 生涯学習センター	守山 生涯学習センター	緑 生涯学習センター
昭和53年６月	昭和54年６月	昭和58年６月	昭和51年５月	昭和52年５月
平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート２階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建
2,057.92㎡	2,223.41㎡	3,573.74㎡	3,818.87㎡	2,330.08㎡
2,074.24㎡	2,299.90㎡	2,386.26㎡	2,993.29㎡	2,094.71㎡
中川区富川町１丁目２番地の12	港区港陽一丁目10番18号	南区東又兵ヱ町5丁目1番地の10	守山区守山三丁目２番６号	緑区鳴海町字本町54番地
第２水曜日、第４月曜日、年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	第２水曜日、第４月曜日、年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	
午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、和洋裁室（守山生涯学習センターのみ）、体育室等				
11（ 60） 10（ 52）	11（ 60） 9（ 48）	9（ 49） 9（ 50）	10（ 54） 9（ 51）	10（ 49） 10（ 51）
21（112）	20（108）	18（ 99）	19（105）	20（100）
198 158	247 187	181 166	205 231	221 211
356	434	347	436	432
・〈なごや学マイスター講座〉あおなみ線マイスター講座 ・〈なごや学〉中川区の街道を巡る ・〈なごや学〉わがまち「冨田庄（とみたのしょう）」再発見 ・親子かけっこ教室 ・初心者のための確定申告（２日間） ・はっぴースマイルコンサート	・みなとふれあいウォーク ・〈なごや環境大学共育講座〉港区の自然丸ごと体験楽習～川・干潟・森・海の恵みから学ぶ～」自主グループによる家庭の日事業・あそびの広場 ・みんなで楽しく国際交流～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ ・パソコン相談室	・＜トライアルサタデー＞伝統の響き、祭りばやしを奏でよう！ ・中国帰国者日本語教室「みなみ文化日本語教室」 ・おもちゃの無料修理 ・〈なごや学マイスター講座〉南区の歴史を歩いて学ぼう！ ・「みなびィ」ふれあいまつり	・〈なごや環境大学共育講座〉守山の自然、最前線！～守りたい、そして、伝えたい～ ・〈なごや学マイスター講座〉守山区史跡・名所ガイドボランティア養成講座～知って、学んで、伝えて“ええとこ”～ ・史跡散策会「ええとこ守山案内人と巡る『守山城跡』」	・＜なごや学マイスター講座＞ご当地グルメを盛り上げよう～とうたけめしをアレンジしよう～ ・緑区のステキをパチリ！～仲間とともに「みどサポ」になろう！～ ・〈女性セミナー〉発見！ワタシの☆キラリ★～そこはあなたが輝くステージ～

緑生涯学習センター 上汐田教育集会所	名東 生涯学習センター	天白 生涯学習センター
昭和60年５月	昭和55年６月	昭和56年６月
平成12年４月　緑生涯学習センターの分館となり区役所に編入	平成９年 生涯学習センターに名称変更 平成12年 各区役所に編入	
鉄骨造 ２階建	鉄筋コンクリート ２階建	鉄筋コンクリート ２階建
187.78㎡	3,691.52㎡	7,393.70㎡
155.14㎡	2,213.61㎡	2,349.93㎡
緑区鳴海町字上汐田 447番地	名東区社が丘三丁目 802番地	天白区天白町島田 黒石4050番地
月曜日、祝日、 年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、 年末年始等	
午前９時 ～午後９時	午前９時～午後９時 （日曜日、祝日は午前９時～午後５時）	
集会室、和室、 談話室	集会室、和室、視聴覚室、美術室、 料理室、体育室等	
6（ 39） 6（ 37）	10（ 58） 8（ 44）	10（ 52） 10（ 54）
12（ 76）	18（102）	20（106）
59 50	214 204	316 180
114	418	496
・人権週間記念行事 ・社会見学 ・子ども卓球教室 ・健康相談 ・自動車図書館	・ふれあい生涯学習まつり ・名東サロンコンサート ・名東っ子遊びの広場 ・親子スポーツ広場 ・「家庭の日」親子スポーツ教室 ・〈なごや学マイスター講座〉柴田勝家をもっとアピールし隊！～マイスターになって一緒に活動しませんか～ ・〈なごや学〉名東区ぶらり旅～区制40周年名東区の魅力満載～	・天白生涯学習センターまつり ・スポーツ交流会 ・大学との共催事業 ・＜なごや学マイスター講座＞守ろう！伝えよう！荒池緑地の魅力 ・天白テニュア講座 ・天白お楽しみサロン パソコン体験＆相談室

イ　利用状況（平成26年度）

	利用件数				利用者数				左のうち主催事業の参加者数
	集会室等	体育室	館外等	計	集会室等	体育室	館外等	計	
千種生涯学習センター	3,939	1,762	32	5,733	48,999	37,505	2,481	88,985	10,449
東生涯学習センター	5,392	903	17	6,312	64,582	24,777	3,419	92,778	8,358
北生涯学習センター	6,200	893	45	7,138	85,060	28,222	7,234	120,516	9,923
西生涯学習センター	4,362	893	276	5,531	52,899	28,017	4,632	85,548	10,102
中村生涯学習センター	4,448	938	500	5,886	55,559	30,047	4,152	89,758	9,563
中生涯学習センター	4,808	887	19	5,714	60,744	24,935	1,022	86,701	4,211
昭和生涯学習センター	4,021	927	32	4,980	53,506	28,083	3,834	85,423	11,379
瑞穂生涯学習センター	4,204	908	29	5,141	56,831	27,016	5,005	88,852	17,296
熱田生涯学習センター	2,585	897	218	3,700	34,219	27,138	2,043	63,400	5,325
中川生涯学習センター	2,791	822	9	3,622	33,979	13,401	1,021	48,401	4,833
港生涯学習センター	2,361	853	28	3,242	29,960	19,624	3,059	52,643	8,388
南生涯学習センター	4,118	935	30	5,083	53,773	26,048	5,073	84,894	13,596
守山生涯学習センター	5,144	877	27	6,048	65,570	19,221	506	85,297	7,542
緑生涯学習センター	3,533	881	178	4,592	59,978	21,319	2,754	84,051	10,124
名東生涯学習センター	3,307	919	394	4,620	47,531	29,172	4,411	81,114	9,870
天白生涯学習センター	3,427	901	306	4,634	55,307	28,415	6,708	90,430	11,897
上汐田教育集会所	422	-	11	433	2,869	-	338	3,207	1,153
計	65,062	15,196	2,151	82,409	861,366	412,940	57,692	1,331,998	154,009

（２）女性会館

ア　概　　要

沿　　革	女性教育の振興を図ることを目的に、女性教育の専門施設として設置された社会教育施設である。その性格は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として位置づけられ、女性教育のセンター的役割を果たすものとして、大井プール跡地に、昭和53年７月19日婦人会館として開館した。 平成３年５月女性情報センターの開設に伴い、女性会館と改称した。 平成26年４月１日から男女平等参画推進センターが女性会館に移設され、アイ・コニックスグループが指定管理者として、両施設を一体的に管理運営している。
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階・地上４階建
敷地面積	3,380.34㎡
延床面積	5,826.67㎡
所在地	名古屋市中区大井町７番25号
休館日	第３木曜日、年末年始（12月29日～１月３日）
開館時間	午前９時～午後９時（日曜・祝休日は午後５時まで） ただし、図書資料室は午前９時30分～午後８時30分（日曜・祝休日は午後４時30分まで）

施設内容

部屋名	面積（㎡）	定員（人）	部屋名	面積（㎡）	定員（人）
大会議室	97.40	42	第１和室	97.00	18
中会議室	49.80	24	第２和室		15
小会議室	29.88	12	生活科学研修室	87.00	54
大研修室	141.60	150	視聴覚室	144.60	126
第１研修室	70.80	54	文化活動室	117.00	50
第２研修室	70.80	54	多目的室	76.48	30
第３研修室	29.88	12	ホール	350.00	350
第４研修室	32.00	15	託児室	86.96	―
第５研修室	21.39	8	授乳室	13.70	―
第６研修室	33.62	12	ボランティアルーム	29.96	―
第７研修室	70.25	32	図書資料室	163.18	―
第１集会室	51.41	36	録音室	18.52	―
第２集会室	37.99	22			
第３集会室	31.26	12			
第４集会室	94.40	63			

イ　平成26年度事業内容

事業名		内容
学習機会提供事業	講座・講演会等	女性の主体的な学習を支援するため、女性の課題に対応した学習の機会を提供した。「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」を４本柱として講座を開設したほか、講演会などを実施。 15講座　学習者数273人　13講演会・公開講座等2279人
	なごや女性カレッジ	大学等の高等教育機関と連携して、女性の学習機会を提供することにより、女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図るため実施。平成26年度は南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催し、女性会館で実施（託児付）。 学習者数29人
	託児	女性の学習、交流を支援するため、主催講座を中心に託児事業を実施。 講座託児・講演会託児・学習支援託児　85回　学習者数498人 託児室交流会　4回　学習者数38人 託児ボランティア研修会　5回　学習者数115人
グループ活動支援事業		自主的な学習活動・文化活動・ボランティア活動をしているグループを支援するため、研修会、交流会等を開催。日常活動の発表と市民の交流の場として、イーブルなごや・フェスティバル2014を開催。
学習相談事業		女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学び、情報収集できるよう学習相談を行った。相談件数　103件
情報収集提供事業		女性の学習に必要な図書・資料の収集・提供を行った。 図書資料室の運営　貸出利用者数　延べ924人 貸出利用冊数　2075冊

ウ　平成26年度利用状況

区分	大会議室	中会議室	小会議室	大研修室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	第5研修室	第6研修室
利用件数	624	691	671	681	646	582	653	658	672	643
利用者数	13,059	8,050	4,845	21,229	13,975	11,592	4,116	5,396	3,210	4,038

区分	第7研修室	多目的室	文化活動室	第1集会室	第2集会室	第3集会室	第4集会室	ホール	第1和室	第2和室
利用件数	695	714	728	653	658	626	663	315	446	345
利用者数	8,416	7,998	12,438	9,035	6,746	4,217	12,955	42,899	3,110	2,086

区分	生活科学研修室	視聴覚室	託児室	合計
利用件数	432	572	421	13,789
利用者数	5,850	23,705	4,184	233,149

８　スポーツ施設

平成17年４月１日から冷水プールに指定管理者制度を導入。その他のスポーツ施設においては、平成18年４月１日から導入。

（１）名古屋市総合体育館（日本ガイシ スポーツプラザ）

沿　　革	昭和60年４月に着工し、昭和62年３月竣工。開館昭和62年７月19日 平成４年４月、レインボープール（日本ガイシアリーナ）等を増築、開館 平成19年４月にネーミングライツを導入。
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　　造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階・地上３階建
敷地面積	116,708.01㎡
延床面積	48,902.38㎡ 日本ガイシホール　13,399.70㎡　第２競技場　5,816.49㎡ 第３競技場　1,552.86㎡　日本ガイシアリーナ　14,547.11㎡ 50m温水プール　3,560.22㎡　弓道場　1,466.13㎡ 共用棟　3,051.45㎡　宿泊研修棟　1,505.11㎡ ｶﾞｲｼﾌｫｰﾗﾑ棟　4,003.31㎡
所　在　地	名古屋市南区東又兵ヱ町５丁目１番地の16
開館時間	午前９時から午後９時（ただし、選手控室兼軽運動室及び飛込練習室の日曜日及び祝日は午後６時、日本ガイシアリーナ、50m温水プール及び25m温水プールの専用使用時の日曜日及び祝日は午後５時、弓道場の日曜日及び祝日は午後４時30分）また、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プールの個人使用及びトレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）、宿泊研修室は午前０時（１月４日は午前９時）から午後12時（12月28日は午前９時）、駐車場は午前８時45分から午後９時30分
休　館　日	毎月第３月曜日（祝日の場合第４月曜日。ただし、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プール、弓道場及びトレーニング室は、祝日を除く毎週月曜日）、また、競泳プール・飛込プールは10月１日から翌年４月30日、日本ガイシアリーナアイスリンクは４月１日から10月31日、年末年始（12月29日～１月３日）
施設内容	日本ガイシホール　3,646㎡（49.4×84.4m）　観覧席　10,000席 第２競技場　1,638㎡（36×45.5m）　観覧席　480席 第３競技場（格技場－柔道、剣道各4面）826.5㎡　観覧席　200席 日本ガイシアリーナ（温度調節付） ┌競泳プール（夏季）50m　10コース　観覧席　3,500席 ｜飛込プール　25×25m └日本ガイシアリーナアイスリンク（冬季）60×30m 50m温水プール　50m　８コース　観覧席　244席 25m温水プール　25m　６コース（他に幼児用１コース） アーチェリー場　長さ90m×幅30m 弓道場　近的　12人立　遠的　８人立 トレーニング室　468㎡ その他 会議室・飛込練習室・幼児室・スポーツ健康相談室・宿泊研修室・選手控室兼軽運動室・レセプションホール・研修室・和室

〈平成26年度利用状況〉

区別 / 施設名	専用利用		個人利用
	件数	人数	人数
日本ガイシホール	138 (内、貴賓室27)	1,210,921 (内、貴賓室540)	—
第2競技場	1,023	160,831	—
第3競技場	951	66,254	683
アーチェリー場	104	3,474	7,047
会議室（Ⅰ）	189	3,780	—
競泳プール	253	78,335	3,273
飛込プール	86	24,974	2,013
日本ガイシアリーナ アイスリンク	264	31,478	10,305
50m温水プール	1,109	40,627	44,551
25m温水プール	83	2,933	35,934
弓道場	268	59,401	10,786
会議室（Ⅱ）	330	10,781	—
飛込練習室	99	747	—
選手控室兼軽運動室	942	29,542	—
宿泊研修室	160	3,651	—
レセプションホール	212	70,070	—
研修室	1,165	37,490	—
和室	292	6,854	—
トレーニング室	—	—	96,048
計	7,668	1,842,143	210,640

（２）名古屋市体育館

沿　　革	昭和25年開館の金山体育館が前身(昭和39年４月１日に総務局から教育委員会に移管）。市民会館建設のため取りこわし、昭和44年８月１日開館。
指定管理者	シンコースポーツ株式会社
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積	5,386.6㎡
延床面積	4,330㎡
所　在　地	名古屋市熱田区六野二丁目５番３号
開館時間	午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）
休　館　日	毎週月曜日（祝休日は開館）、年末年始（12月29日～１月３日）
施設内容	競技場　1,620㎡（36×45m）　　観覧席　908席
平成26年度 利用状況	競技場　専用　　1188件　　66,713人 会議室　専用　　228件　　3,536人

（３）名古屋市港サッカー場

沿　　革	平成５年３月竣工、平成５年９月開館		
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会		
構　　造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
敷地面積	36,722㎡	所　在　地	港区野跡四丁目11番12号
開場時間	４月から10月は午前９時から午後８時30分、11月から３月は午前９時から午後４時30分		
休　場　日	毎週月曜日（祝休日は開場）、年末年始（12月29日～１月３日）		
施設内容	サッカー場（20,000人収容）、会　議　室		
平成26年度 利用状況	競技場　専用　　151件　　33,588人 会議室　専用　　57件　　2,556人		

（４）瑞穂運動場（パロマ瑞穂スポーツパーク）

瑞穂運動場（パロマ瑞穂スポーツパーク）は、本市の中心部からおよそ7.5㎞離れた東南部に位置し、都市公園として緑豊かな自然に恵まれた総面積24.348haの総合運動公園（瑞穂公園）の中にあり、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場、屋内・屋外プール、トレーニング室、宿泊研修室などの各種スポーツ施設が設置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。また、平成27年4月にネーミングライツ（命名権）を導入した。

＜瑞穂運動場の施設内容＞

施設名	所在地	敷　地	竣工年月	施　設　内　容
パロマ瑞穂スタジアム（陸上競技場）（第一種公認）（IAAFクラス2公認）	瑞穂区山下通５－１	33,386.88㎡	昭和16年２月 平成６年５月（改修）	○トラック １周400ｍ８コース　全天候舗装 3000ｍ障害物競走用トラック ○フィールド 走幅跳、三段跳施設６面 棒高跳施設６カ所 走高跳施設６カ所 槍投施設２面 砲丸投施設３カ所 円盤投、ハンマー投施設２面 ○芝生フィールド 天然芝（ティフトン芝・冬芝（ライグラス類）オーバーシーディング）106ｍ×71ｍ
北陸上競技場（第三種公認）	瑞穂区萩山町３－68－１	19,820.82㎡	昭和25年10月 平成５年５月（改築）	○トラック１周400ｍ８コース全天候舗装 ○フィールド（走高跳、走幅跳、棒高跳、槍投、砲丸投、円盤投、三段跳、ハンマー投） ○芝生フィールド 天然芝（高麗芝）102ｍ×69ｍ
田辺陸上競技場	瑞穂区田辺通３－２	7,541.31㎡	昭和54年３月 平成６年６月（改修）	○ソフトボール等多目的運動広場
レクリエーション広場	瑞穂区萩山町４－１	11,326.71㎡	平成６年５月	○トラック１周300ｍ （６コース可能）
ラグビー場	瑞穂区山下通５－４	26,000㎡	昭和25年10月 平成２年３月（改築）	○フィールド 天然芝（ティフトン芝・冬芝（ライグラス類）オーバーシーディング） 135ｍ×80ｍ
ラグビー練習場	〃	2,400㎡	平成６年５月	砂入人工芝（60ｍ×40ｍ）

収 容 人 員	附　　属　　設　　備　　等	平成26年度利用状況
メインスタンド 9,000人 身　障　者　席 50人 バックスタンド 18,000人	◦大型映像装置 ◦照明塔６基 夜間照明設備　1,500LX （１階）本部室、記録室、放送室、審判員室、役員室、報道関係者室、医務室、更衣室、シャワー室など （２階）会議室、観覧席、身障者用観覧席、練習走路など （３階）貴賓席、売店、観覧席など（スタンド階） 写真判定室、放送室、指令室など	専用　167件 455,125人 会議室　95件 3,340人
メインスタンド 1,500人 身障者席　10人 芝生スタンド 1,500人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦電光掲示板（磁気反転式） ◦本部室、役員室、更衣室など	専用　182件 181,630人 個人　23,651人
		専用　288件 17,600人
芝生スタンド 600人		専用　100件 112,920人
メインスタンド 6,500人 バックスタンド 5,400人 サイドスタンド 3,100人 身障者席　18人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦更衣室、シャワー室、会議室など ◦大型映像装置 サッカー・アメリカンフットボール競技併用 夜間照明設備　500LX	専用　173件 148,180人 会議室　133件 2,770人
		専用　207件 15,230人

施設名	所在地	敷　地	竣工年月	施　設　内　容
野　球　場	瑞穂区豊岡通３－28	26,079.41㎡	昭和32年６月 平成３年３月 （改築）	両翼99.1m中堅122m 舗装材　内外野ロングパイル人工芝
相　撲　場	瑞穂区萩山町３－68－１	延床面積 170.82㎡	昭和49年３月 平成５年５月 （改築）	屋形付土俵　１面
弓　道　場	〃	※	昭和37年３月 平成５年５月 （改築）	近的　10人立　28m
アーチェリー場	〃	※	昭和43年10月 平成５年５月 （改築）	30m　50m　10人立
テニスコート	瑞穂区田辺通４－５	9,035.82㎡	昭和45年１月 (3面増設:54年3月) 平成７年６月 （改築）	硬式・軟式両用コート９面 （砂入人工芝コート）
プール	瑞穂区萩山町３－68－１	※	練　習 昭和40年７月 平成５年５月 （改築） 屋　内 昭和42年６月 平成５年５月 （改築）	○練習プール（冷水）25m×７コース 学童用、幼児用 ○屋内プール（温水） 25m×５コース 25m×１コース（学童用） 10m×５m（幼児用）
トレーニング室	〃	※	昭和42年６月 平成５年５月 （改築）	器具53　種類129点
宿泊研修室	〃	※	平成５年５月	和室10畳×10室　20畳×２室　計定員70人

注　※の合計は、23,003.36㎡

収 容 人 員	附　　属　　設　　備　　等	平成26年度利用状況
内野スタンド 6,000人 外野芝生スタンド 12,600人	観覧席（内野鉄筋コンクリート造２階建外野芝生） 会議室、本部席、記者席、放送室、審判控室、スコアボード、ダッグアウトなど 夜間照明設備　内野1,000LX　外野500LX バッテリー間　1,500LX	専用　445件 192,670人 会議室　22件 1,670人
スタンド　255人	練習場、更衣室	専用　14件 1,392人
	更衣室、師範席 夜間照明設備	専用　125件 3,974人 個人　7,097人
	更衣室 夜間照明設備	専用　79件 3,140人 個人　4,908人
スタンド 1,000人	更衣室 夜間照明設備 300LX	専用　8,529件 83,221人 会議室　60件 615人
		屋外練習プール 専用　0件 0人 個人　18,028人 屋内プール 専用　141件 10,166人 個人　53,557人
		89,232人
	ミーティングルーム 浴室、洗濯室	宿泊研修室　139件 2,879人

（５）スポーツセンター

施設名 / 区分	露　橋 スポーツセンター	枇杷島 スポーツセンター	稲　永 スポーツセンター	天　白 スポーツセンター
開館年月日	昭和57年６月11日	昭和62年４月24日	平成元年７月11日	平成２年７月17日
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	日本空調サービス共同事業体
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート造、公営住宅棟の1・２階部分体育館棟３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造２階建	鉄骨鉄筋コンクリート造４階建
敷地面積	5,170.53㎡	14,213.43㎡	26,000㎡	8,145.37㎡
延床面積	9,672.30㎡	9,783.13㎡	9,792.91㎡	9,793.91㎡
所　在　地	中川区露橋二丁目14-１	西区枇杷島一丁目１－２	港区野跡五丁目１-10	天白区植田三丁目1502
開館時間	午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）			
休　館　日	金曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始
施設内容	競技場　45×36m 観覧席　1,326席 柔道場497㎡（２面） 観覧席　105席 剣道場　497㎡（２面） 観覧席　105席 トレーニング室 249㎡ 屋内プール温水 25m　４コース （他に幼児用１コース）	第１競技場 45×36m 観覧席　1,750席 第２競技場 （格技場）525㎡ 観覧席　104席 トレーニング室 348㎡ 屋内プール温水25m ６コース（他に幼児用１コース） 軽運動室　305㎡ 弓道練習場（近的）６人立	第１競技場 46.5×35.5m 観覧席　3,441席 第２競技場 33.5×23m 観覧席　144席 トレーニング室 427㎡ 軽運動室　353㎡ 弓道練習場（近的）６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,252席 第２競技場 33×15.5m 観覧席　104席 トレーニング室　384㎡ 屋内プール温水 25m　５コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　252㎡ 弓道練習場（近的）６人立
平成26年度利用状況	競技場 専用1,153件 68,388人 柔道場 専用 296件 18,736人 個人　13,285人 剣道場 専用 608件 26,124人 個人　2,464人 トレーニング室 個人　69,070人 屋内プール 専用　101件 2,302人 個人　30,407人 会議室 専用　395件 8,904人	第１競技場 専用1,100件 94,982人 第２競技場 専用642件 34,102人 個人　3,795人 トレーニング室 個人　68,446人 屋内プール 専用 81件　3,944人 個人　47,234人 軽運動室 専用 2,068件 18,021人 弓道練習場 専用 20件　356人 個人　2,796人 会議室 専用 531件 11,179人	第１競技場 専用747件 92,847人 第２競技場 専用867件 32,944人 トレーニング室 個人　68,048人 軽運動室 専用1,530件28,665人 弓道練習場 専用　32件　525人 個人　3,504人 会議室 専用 416件 8,219人	第１競技場 専用 1,386件 66,640人 第２競技場 専用1,213件 36,183人 トレーニング室 個人　91,674人 屋内プール 専用 594件 19,231人 個人　71,940人 軽運動室 専用1,806件 25,239人 弓道練習場 専用　20件　428人 個人　4,621人 会議室 専用1,291件 18,923人

緑 スポーツセンター	北 スポーツセンター	中 村 スポーツセンター	名 東 スポーツセンター
平成４年７月17日	平成４年７月23日	平成６年７月20日	平成９年10月７日
株式会社ＪＰＮ	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
鉄骨鉄筋コンクリート造 地上２階・地下１階	鉄骨鉄筋コンクリート造３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上３階・地下１階	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) ３階建
13,011.75㎡	12,591.93㎡	10,365.44㎡	12,408.06㎡
9,799.44㎡	9,714.79㎡	9,796.58㎡	14,312.88㎡
緑区相原郷一丁目2901	北区成願寺一丁目6-12	中村区中村町字待屋43-1	名東区猪高町大字高針字勢子坊307番地の12
午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）			
月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始
第１競技場　36×45m 観覧席　1,123席 第２競技場　35×15m 観覧席　177席 トレーニング室　402㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　265㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,118席 第２競技場　35×15m 観覧席　100席 トレーニング室　395㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　228㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,268席 第２競技場　33×15m 観覧席　100席 トレーニング室　400㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用 60㎡・幼児用 45㎡） 軽運動室　240㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,196席 第２競技場　34×17.2m 観覧席　102席 トレーニング室　326㎡ 屋内プール温水 25m ６コース (他に学童用1コース・幼児用 50㎡) 軽運動室　264㎡
第１競技場 専用 1,564件　56,623人 第２競技場 専用　851件　28,366人 個人　978人 トレーニング室 個人　87,596人 屋内プール 専用　166件　5,226人 個人　76,531人 軽運動室 専用 1,756件　20,339人 弓道練習場 専用　21件　467人 個人　4,886人 会議室 専用　344件　4,285人	第１競技場 専用 1,307件　58,151人 第２競技場 専用　740件　22,571人 個人　1,247人 トレーニング室 個人　65,256人 屋内プール 専用　147件　5,435人 個人　65,689人 軽運動室 専用 2,023件　12,192人 弓道練習場 専用　32件　624人 個人　2,332人 会議室 専用　269件　5,065人	第１競技場 専用 1,182件　105,837人 第２競技場 専用　647件　31,321人 個人　1,401人 トレーニング室 個人　83,252人 屋内プール 専用　126件　3,784人 個人　75,945人 軽運動室 専用 1,875件　25,496人 弓道練習場 専用　11件　304人 個人　4,400人 会議室 専用　753件　15,423人	第１競技場 専用　1,100件 68,729人 第２競技場 専用　1,265件 35,090人 トレーニング室 個人　68,107人 屋内プール 専用　95件 1,657人 個人　65,363人 軽運動室 専用　1,940件 23,491人 会議室 専用　384件 5,560人

千　種 スポーツセンター	中 スポーツセンター	東 スポーツセンター	昭　和 スポーツセンター	守　山 スポーツセンター
平成10年７月15日	平成13年７月11日	平成14年11月１日	平成14年２月18日	平成22年12月１日
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	ＭＴ共同事業体	愛知スイミング・大成共同事業体	守山エス・アンド・エス株式会社
鉄骨鉄筋コンクリート造４階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上４階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨造 地上５階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上３階建
7,646.47㎡	3,221.72㎡	10,639.47㎡	8,290.69㎡	11,660.81㎡
9,799.13㎡	8,335㎡	10,196.70㎡	8,733.44㎡	10,386.13㎡
千種区星が丘山手121	中区栄一丁目30-10	東区大幸南一丁目 1-10	昭和区吹上二丁目 6-15	守山区竜泉寺二丁目112
午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）				
金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始
第１競技場 36×45m 観覧席　1,136席 第２競技場 32×15.5m 観覧席　104席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　349㎡ 屋内プール温水 25m ６コース （他に学童用1コース・幼児用 35㎡） 軽運動室　246㎡ アーチェリー練習場 （30m）　６人立	第１競技場 31.5×36.5m 観覧席　498席 第２競技場 15×28m 観覧席　72席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　440㎡ 屋内プール温水 25m ４コース （他に学童用１コース・幼児用・ジャグジー） 軽運動室　270㎡	第１競技場 36×45m 観覧席　981席 第２競技場31×15.4m 観覧席94席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　380㎡ 屋内プール温水25m ５ｺｰｽ（他に学童用1ｺｰｽ・歩行用1ｺｰｽ・幼児用50㎡） 軽運動室　215㎡ 弓道練習場(近的) ６人立 スポーツ広場 3×3ﾊﾞｽｹｺｰﾄ1面	第１競技場 36×34m 観覧席　512席 第２競技場 31.8×14.9m 観覧席　103席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　347㎡ 屋内プール温水 25m ５コース （他に学童用１コース・歩行用1コース・幼児用） 軽運動室　229㎡	第１競技場 44.8×34.5m 観覧席　1259席 （内車椅子4席） 第２競技場 30×17m 観覧席　106席 （内車椅子2席） ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　343㎡ 屋内プール温水 25m ５コース （他に学童用１コース・幼児用） 軽運動室　282㎡ 屋外ﾌｯﾄｻﾙｺｰﾄ（民間設置施設）　25×15m
第１競技場 専用　1,329件 91,211人 第２競技場 専用 850件 54,865人 個人　2,606人 トレーニング室 個人　85,543人 屋内プール 専用 224件 9,575人 個人　80,756人 軽運動室 専用　2,027件 20,540人 アーチェリー練習場 専用　42件 958人 個人　2,882人 会議室 専用　790件 9,017人	第１競技場 専用　1,277件 47,204人 第２競技場 専用　1,135件 26,149人 トレーニング室 個人　94,618人 屋内プール 専用 57件 1,069人 個人　54,964人 軽運動室 専用　1,792件 18,454人 軽運動室兼会議室 専用　2,856件 12,392人 会議室 専用　885件 10,463人	第１競技場 専用　1,263件 93,368人 第２競技場 専用　717件 33,946人 個人　4,103人 トレーニング室 個人　101,145人 屋内プール 専用515件15,163人 個人　87,889人 軽運動室 専用2,024件19,705人 会議室 専用　731件 9,454人 弓道練習場 専用 79件 1,451人 個人　7,601人 スポーツ広場 1,146件　3,598人	第１競技場 専用　1,195件 47,636人 第２競技場 専用　1,141件 38,078人 トレーニング室 個人　87,009人 屋内プール 専用　150件 6,541人 個人　77,698人 軽運動室 専用　2,225件 16,012人 会議室 専用　729件 7,865人	第１競技場 専用1,511件53,812人 第２競技場 専用　1,163件 30,090人 トレーニング室 個人　75,576人 屋内プール 専用 207件5,201人 個人　65,812人 軽運動室 専用　2,613件 23,751人 会議室 専用　530件 6,940人 屋外ﾌｯﾄｻﾙｺｰﾄ（民間設置施設） 547件 3,354人

（６）名古屋市名城庭球場

開設年月日	昭和41年４月１日	所　在　地	北区名城一丁目３－３
指定管理者	名古屋ローンテニス倶楽部	敷地面積	17,662㎡
構　　造	アンツーカー		
開場時間	４月から９月は午前６時から午前８時及び午前９時から午後９時、 10月は午前９時から午後９時、 11月から１月は午前９時から午後４時、 ２月及び３月は午前９時から午後５時	休場日	毎月第２月曜日（祝・休日の場合は第３月曜日）及び年末年始（12月29日から１月３日）。 ただし、４月から９月の午前６時から午前８時については毎週月曜日
施設内容	観覧席付コート１面、その他のコート14面（全面夜間照明設備）		
平成26年度 利用状況	専用　15,866件　　87,167人		

（７）名古屋市黒川スポーツトレーニングセンター

開設年月日	平成９年９月11日	所　在　地	北区清水四丁目17－17
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	5,411.85㎡の一部
構　　造	鉄筋コンクリート造地上６階地下２階建ての一部		
開場時間	午前９時から午後９時（日曜日及び祝日は午後６時）また、トレーニング室及び浴室サウナ室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	休場日	毎週月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	トレーニング室、浴室サウナ室、軽運動室		
平成26年度 利用状況	トレーニング室　個人　80,530人 軽運動室　専用　1,451件　23,482人		

（８）名古屋市上社レクリエーションルーム

開設年月日	平成10年６月16日	所　在　地	名東区上社一丁目802番地 上社ターミナルビル３階
指定管理者	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団	敷地面積	948.63 ㎡
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下２階地上８階建（内３階）		
開場時間	午前９時から午後９時（日曜日及び祝日は午後６時）	休場日	毎週月曜日（祝休日の場合は開館）及び年末年始
施設内容	軽運動室（１）、軽運動室（２）、軽運動室兼会議室		
平成26年度 利用状況	軽運動室（１）専用　1,520件　15,061人 軽運動室（２）専用　1,273件　23,586人		軽運動室兼会議室 専用　1,302件　9,485人

（９）名古屋市志段味スポーツランド

施設名／区分	志段味スポーツランド
沿　　革	昭和60年７月20日開所（体育館昭和62年４月18日開館、流水プール等平成２年７月１日増設、平成22年４月１日屋外プール廃止）
指定管理者	株式会社ＪＰＮ
敷地面積	約　98,000㎡
所在地	名古屋市守山区大字下志段味字生下り2287番地の１
休場日	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～１月３日）
施設内容	《体育館》 競技場　1,092㎡（約34×32m） 観覧席　350席 トレーニング室　200㎡ 会議室（兼軽運動室）　80㎡ 《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート14面（全天候型砂入人工芝） 《少年野球場》2面　18,000㎡
平成26年度利用状況	庭球場 専用　8,179件　96,354人 少年野球場 専用　405件　27,496人 競技場 専用　1,416件　48,760人 トレーニング室 個人　44,119人 会議室（兼軽運動室） 専用　914件　11,423人

(10) 名古屋市プール（冷水）

名　称	所在地	開設	指定管理者	施設内容	平成26年度利用状況
港プール	港区当知一丁目1401番地	昭和34年７月 平成３年改築	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	12,503
名城プール	北区名城一丁目２番13号	昭和39年７月 平成７年改築	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ５コース 学童、幼児プール	13,379
中川プール	中川区北江町３丁目１番地	昭和40年７月 平成10年改修	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 幼児プール	4,603
守山プール	守山区村合町197番地	昭和44年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 幼児プール	8,891
熱田プール	熱田区六野二丁目５番２号	昭和45年７月	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 幼児プール	8,780
楠プール	北区若鶴町126番地	昭和57年７月	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	4,019
山田プール	西区五才美町236番地の１	昭和59年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	8,468
富田プール	中川区東かの里町809番地	昭和63年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	5,733

（11）名古屋市プール（温水）

名　称	鳴海プール	香流橋プール	山田西プール
沿　革	昭和47年６月１日開場	昭和54年８月７日開場 （平成10年12月５日改築移転）	昭和61年11月11日開場
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	株式会社ＪＰＮ	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄筋コンクリート造３階建 （プール部分は２階）	鉄筋コンクリート造２階建 一部平家建
敷地面積	2,037.76㎡	4,125㎡（地域センターとの共用部分含む）	5,197.91㎡
延床面積	1,419.38㎡	3,813.40㎡（地域センターとの共用部分含む）	1,887.50㎡
所在地	緑区浦里一丁目66番地	千種区香流橋一丁目２番35号	西区長先町173番地
開場時間	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）
休場日	祝日を除く金曜日、 年末年始（12/29～１/３）	祝日を除く月曜日、 年末年始（12/29～１/３）	
施設内容	屋内温水プール ・練習用25m　６コース ・幼児用25m　１コース	屋内温水プール ・練習用25m　５コース ・歩行用25m　１コース ・学童用、幼児用 ・ジャグジー	屋内温水プール ・練習用25m　５コース （入水用スロープ有） ・学童用、幼児用
平成26年度利用状況	個人利用　42,420人 専用利用　400件 8,554人	個人利用　91,279人 専用利用　456件 16,083人	個人利用　38,059人 専用利用　100件 2,319人

名　称	南　陽　プ　ー　ル	富　田　北　プ　ー　ル
沿　革	昭和60年６月８日開場	平成元年11月18日開場
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　造	鉄筋コンクリート造平屋建	鉄筋コンクリート造２階建 一部平家建
敷地面積	7,008㎡	6,772.42㎡
延床面積	2,762㎡	2,990.58㎡(地域センターとの共用部分を含む)
所在地	港区藤前四丁目701番地	中川区吉津四丁目3201番地
開場時間	午前９時から午後９時(日曜日及び祝日は午後６時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分(日曜日及び祝日は午後６時)	午前９時から午後９時(日曜日及び祝日は午後６時) また、プールは午前10時から午後８時30分(日曜日及び祝日は午後６時)
休場日	祝日を除く金曜日 年末年始（12/29～１/３）	祝日を除く月曜日 年末年始（12/29～１/３）
施設内容	屋内温水プール ・50m　６コース （練習用、学童用、幼児用） トレーニング室　200㎡ 軽運動室　146㎡ 会議室　97㎡	屋内温水プール ・練習用25m　６コース ・学童用、幼児用 体育室　608㎡
平成26年度利用状況	屋内プール 個人利用　42,537人 専用利用　78件 1,710人 トレーニング室 個人利用　34,873人 軽運動室 専用利用　2,025件 9,745人 会議室 専用利用　66件 1,049人	屋内プール 個人利用　68,488人 専用利用　113件 5,333人 体育室 専用利用　1,540件 21,607人

第７章　学　校　開　放

１　学校開放の概況

教育委員会では、市立の小・中・高等学校の施設を、市民のスポーツや学習、レクリエーションの場、若しくは団体活動の場として開放することにより、市民の健康増進、体力向上、情操のかん養、教養の向上等に寄与することを目的として、次の学校開放事業を行っている。

２　学　校　開　放

（１）トワイライトスクール

放課後などに子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むトワイライトスクールを全小学校（トワイライトルームを含む）において実施した。

（対　　象）参加を希望する児童
（活動場所）放課後学級プレイルーム、体育館及び運動場等
（活 動 日）月曜日～土曜日（祝日、年末年始は休み）
（活動日時）授業のある日……授業終了後～午後６時
　　授業のない日……午前９時～午後６時

※トワイライトスクールを基盤に、保護者が就労等により家庭にいない児童に対してより生活に配慮した事業を併せて実施するトワイライトルームを24校で実施した。（平成25年４月１日事業開始）

平成26年度 トワイライトスクール参加状況

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
内山	288	2,910	平成18年5月19日
春岡	289	7,757	平成10年9月4日
千種	289	8,976	平成15年5月19日
高見	289	8,764	平成12年6月12日
大和	290	3,695	平成19年5月24日
田代	289	13,195	平成14年6月5日
上野	290	11,167	平成11年7月16日
東山	288	16,709	平成12年5月19日
自由ケ丘	290	8,429	平成20年6月27日
千石	293	4,791	平成21年3月9日
星ヶ丘	288	4,892	平成18年5月11日
宮根	289	6,406	平成16年5月31日
千代田橋	287	8,156	平成17年6月13日
見付	293	9,092	平成13年5月31日
旭丘	288	8,033	平成14年10月17日
筒井	287	6,553	平成12年5月8日
東桜	285	5,676	平成19年6月4日
矢田	290	12,296	平成11年11月1日
山吹	288	9,262	平成14年6月3日
東白壁	288	5,263	平成16年5月27日
葵	286	5,395	平成18年5月25日
明倫	289	6,088	平成17年6月30日
飯田	290	8,602	平成16年5月11日
大杉	290	5,090	平成20年5月27日
清水	289	10,198	平成12年6月1日
杉村	289	5,114	平成19年5月31日
名北	289	10,082	平成14年6月3日
城北	286	5,803	平成13年6月18日
六郷	288	6,026	平成19年5月28日
楠	290	13,210	平成19年6月21日
光城	289	5,433	平成14年5月13日
東志賀	285	4,439	平成19年6月21日
味鋺	286	5,399	平成18年6月1日
西味鋺	293	7,756	平成17年6月9日
楠西	290	9,356	平成15年6月19日
如意	289	9,525	平成10年9月3日
川中	289	6,832	平成18年6月1日
六郷北	293	5,311	平成18年5月11日
辻	286	11,142	平成13年5月19日
榎	288	4,404	平成15年6月5日
幅下	282	5,624	平成14年5月20日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
栄生	290	5,197	平成19年5月31日
上名古屋	288	10,128	平成17年6月16日
城西	286	6,651	平成13年6月1日
児玉	290	10,386	平成9年10月9日
枇杷島	287	6,032	平成18年5月29日
南押切	287	3,261	平成19年6月7日
江西	284	6,143	平成19年5月31日
那古野	289	3,861	平成20年6月4日
庄内	290	13,057	平成12年5月13日
稲生	289	13,075	平成13年6月16日
山田	293	16,375	平成18年6月1日
平田	289	12,001	平成11年9月20日
比良	289	7,117	平成17年2月3日
大野木	287	9,755	平成19年5月24日
浮野	293	7,129	平成14年6月3日
比良西	293	8,418	平成12年5月29日
中小田井	289	12,109	平成20年6月10日
中村	289	3,033	平成18年5月25日
米野	284	5,810	平成19年5月17日
日比津	292	8,973	平成19年4月23日
柳	286	8,890	平成12年5月29日
稲葉地	289	12,501	平成11年7月14日
日吉	290	7,579	平成16年5月20日
豊臣	290	6,401	平成14年5月16日
千成	289	7,639	平成15年5月19日
諏訪	290	9,398	平成10年9月3日
稲西	289	5,582	平成18年5月22日
笹島	288	5,769	平成22年4月12日
名城	288	4,448	平成20年11月28日
栄	289	4,857	平成11年7月2日
新栄	290	3,317	平成20年10月7日
松原	288	7,336	平成12年5月25日
橘	287	5,655	平成18年5月25日
平和	289	5,838	平成14年6月6日
老松	289	4,709	平成17年5月26日
正木	288	11,712	平成19年6月18日
千早	289	3,002	平成15年5月29日
御園	289	2,621	平成20年6月20日
鶴舞	288	4,395	平成10年7月13日
吹上	289	5,086	平成17年6月6日
村雲	288	7,703	平成18年6月8日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
御器所	290	7,258	平成11年10月7日
八事	288	6,112	平成20年6月13日
白金	289	3,312	平成13年5月14日
川原	290	7,725	平成18年6月5日
滝川	288	11,310	平成19年5月31日
伊勝	286	4,020	平成14年5月27日
御劔	289	6,126	平成16年5月13日
堀田	290	5,802	平成13年6月21日
汐路	290	9,072	平成12年5月13日
高田	290	7,678	平成14年5月30日
瑞穂	289	5,234	平成18年5月22日
井戸田	288	6,600	平成15年5月26日
穂波	289	10,759	平成10年9月3日
豊岡	289	6,884	平成18年6月12日
陽明	289	7,539	平成13年5月24日
中根	289	11,077	平成18年5月18日
旗屋	288	10,524	平成11年7月13日
千年	290	8,859	平成17年5月30日
白鳥	288	8,145	平成15年6月16日
野立	287	6,934	平成20年6月17日
大宝	288	8,825	平成18年6月1日
広見	290	4,663	平成19年9月20日
露橋	290	10,487	平成16年6月10日
愛知	290	5,571	平成13年5月28日
八熊	290	4,725	平成15年6月9日
昭和橋	290	11,834	平成11年7月15日
常磐	288	13,486	平成18年5月29日
八幡	289	15,538	平成15年6月19日
荒子	289	14,577	平成14年6月6日
正色	287	7,226	平成19年5月21日
篠原	287	11,390	平成18年6月19日
戸田	290	14,423	平成14年5月23日
豊治	285	11,979	平成19年5月17日
千音寺	293	12,585	平成18年6月12日
長須賀	288	9,642	平成20年5月30日
万場	290	9,926	平成16年5月24日
野田	288	12,936	平成15年6月2日
明正	289	8,087	平成19年5月17日
中島	289	8,362	平成12年5月22日
玉川	289	10,736	平成19年5月21日
西中島	279	9,645	平成19年5月21日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
五反田	286	21,907	平成13年5月17日
春田	288	9,294	平成12年6月26日
赤星	290	10,521	平成20年5月23日
西前田	287	10,414	平成17年6月24日
東築地	290	11,326	平成15年6月13日
中川	288	6,325	平成19年5月10日
大手	293	12,962	平成17年4月21日
港西	286	14,808	平成13年5月31日
小碓	287	16,645	平成15年5月26日
西築地	288	6,416	平成19年6月21日
高木	287	8,233	平成19年6月18日
港楽	288	10,563	平成18年5月29日
成章	293	8,791	平成18年5月25日
明徳	286	8,210	平成9年10月28日
東海	283	6,785	平成16年5月24日
野跡	288	9,539	平成17年5月19日
当知	289	7,923	平成19年6月14日
正保	285	6,991	平成12年5月8日
神宮寺	289	5,923	平成11年9月3日
西福田	286	7,513	平成14年5月15日
福田	284	13,311	平成16年6月17日
福春	288	8,510	平成18年4月1日
豊田	289	13,317	平成13年6月7日
明治	289	8,425	平成15年5月26日
呼続	289	6,915	平成16年6月3日
白水	290	4,833	平成12年5月30日
桜	290	6,454	平成17年5月23日
道徳	288	8,422	平成13年6月9日
大生	290	4,914	平成15年5月19日
大磯	288	7,143	平成14年6月3日
千鳥	289	3,783	平成18年5月18日
菊住	290	7,621	平成11年7月14日
宝	290	7,054	平成21年1月20日
柴田	289	5,598	平成19年6月14日
伝馬	285	7,061	平成14年5月16日
星崎	289	8,180	平成19年7月2日
春日野	290	7,803	平成18年6月8日
笠東	289	6,488	平成18年6月8日
宝南	289	7,171	平成21年1月16日
大森	289	10,010	平成16年5月10日
小幡	290	13,352	平成12年6月26日

区分 / 学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
守山	288	9,796	平成12年6月15日
廿軒家	290	18,091	平成15年5月22日
鳥羽見	290	8,577	平成20年6月27日
瀬古	293	14,831	平成18年6月29日
志段味東	290	12,500	平成14年10月7日
志段味西	292	13,774	平成20年6月6日
白沢	286	13,989	平成14年6月20日
本地丘	289	6,487	平成17年5月19日
苗代	288	6,376	平成25年4月12日
二城	290	10,148	平成20年6月3日
森孝東	286	3,736	平成21年1月30日
森孝西	289	6,166	平成11年9月2日
西城	290	8,562	平成19年6月1日
大森北	288	9,802	平成13年5月21日
小幡北	289	7,778	平成10年7月15日
吉根	289	19,987	平成19年6月21日
下志段味	289	20,605	平成24年4月9日
鳴海	289	15,504	平成12年5月15日
平子	287	10,358	平成15年5月22日
鳴海東部	287	14,265	平成18年5月31日
東丘	288	12,313	平成19年6月21日
鳴子	288	9,427	平成19年5月28日
大高	290	11,859	平成14年5月20日
緑	287	7,474	平成19年6月18日
片平	287	7,760	平成15年5月29日
戸笠	289	9,069	平成13年5月31日
太子	286	7,563	平成18年5月11日
旭出	290	10,062	平成14年5月27日
浦里	290	6,600	平成11年7月15日
黒石	289	5,314	平成19年5月24日
神の倉	288	8,395	平成24年3月12日
長根台	289	5,612	平成16年6月10日
桶狭間	289	15,149	平成18年6月8日
相原	288	9,226	平成13年5月14日
桃山	288	12,240	平成17年5月26日
大高北	293	13,053	平成20年5月30日
大高南	288	11,386	平成24年6月28日
徳重	291	14,154	平成20年10月31日
滝ノ水	289	12,587	平成17年6月9日
大清水	288	14,666	平成20年6月27日
常安	289	9,504	平成10年7月13日

区分 / 学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
熊の前	288	13,147	平成20年6月20日
猪高	290	9,048	平成14年6月17日
藤が丘	288	9,844	平成16年5月28日
香流	287	10,260	平成20年5月16日
猪子石	290	10,111	平成18年5月25日
高針	287	8,569	平成15年5月19日
西山	289	17,514	平成11年10月1日
名東	289	5,484	平成20年6月3日
蓬莱	290	10,247	平成19年5月28日
本郷	289	5,900	平成12年4月10日
貴船	289	9,741	平成20年7月4日
上社	289	7,899	平成14年5月20日
豊が丘	289	6,815	平成19年6月4日
引山	289	8,080	平成12年6月15日
極楽	290	9,027	平成10年9月2日
平和が丘	290	5,795	平成13年5月24日
前山	290	10,353	平成13年5月17日
北一社	292	5,737	平成19年6月4日
牧の原	286	7,839	平成18年5月15日
野並	287	9,610	平成12年4月27日
高坂	284	1,818	平成25年4月12日
八事東	289	10,065	平成16年4月26日
表山	288	11,174	平成18年5月25日
平針	288	11,774	平成15年5月15日
平針南	290	6,019	平成24年6月18日
植田	288	10,574	平成21年11月2日
しまだ	293	8,254	平成24年6月21日
山根	288	9,207	平成17年6月9日
相生	287	4,043	平成14年6月3日
大坪	287	12,612	平成15年6月5日
原	290	11,227	平成19年6月12日
植田南	290	11,475	平成21年11月26日
平針北	289	7,271	平成13年6月18日
植田北	289	10,310	平成18年5月29日

平成26年度 トワイライトルーム参加状況

区分／学校名	活動日数	参加児童数	トワイライトルーム事業開始日
富士見台	293	19,700	平成26年4月1日
砂田橋	293	9,175	平成25年4月1日
金城	293	15,812	平成25年4月1日
宮前	293	6,939	平成26年4月1日
牧野	293	6,098	平成25年4月1日
岩塚	293	10,474	平成26年4月1日
八社	293	12,332	平成25年4月1日
ほのか	293	12,166	平成26年4月1日
大須	293	5,245	平成25年4月1日
松栄	293	18,801	平成26年4月1日
広路	293	7,995	平成25年4月1日
弥富	293	14,262	平成25年4月1日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	トワイライトルーム事業開始日
高蔵	293	10,297	平成25年4月1日
船方	293	18,449	平成25年4月1日
南陽	293	9,499	平成25年4月1日
稲永	293	13,551	平成26年4月1日
笠寺	293	10,823	平成25年4月1日
天子田	293	14,790	平成25年4月1日
有松	293	13,778	平成25年4月1日
南陵	293	10,626	平成25年4月1日
小坂	293	11,556	平成26年4月1日
梅森坂	293	11,071	平成26年4月1日
天白	291	13,263	平成26年4月1日
植田東	293	12,499	平成26年4月1日

ア　生涯学習開放

地域の身近な施設である学校を、生涯学習や生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として有効に活用するため、施設の開放を小学校27校において実施した。

（開放施設等）

開放施設	開　放　日	開　放　時　間
体育館 特別活動室 視聴覚室 多目的室 音楽室 研修会議室	平　日（月曜日を除く。）	午後６時から午後９時まで
	土曜日、日曜日、休日 （月曜日を除く。）	午前９時から午後５時まで
運動場	土曜日、日曜日、休日 （月曜日を除く。）	午前９時から午後５時まで
図書室	週３日の範囲内で学校の実情により適宜定める日	午前９時から午後９時までの間で概ね３時間
プール	夏季休業期間中の概ね20日間	午前９時から午後５時までの間で概ね３時間

（注）　開放施設は学校ごとに異なる

（休　館　日）月曜日、12月23日から１月６日まで

（平成 26 年度利用者数）

区分 / 学校名	体育館	特別活動室等	運動場	図書室	音楽室	研修会議室	プール	合　計
	人	人	人	人	人	人	人	人
高　見	－	－	－	－	－	－	1,567	1,567
見　付	7,767	1,696	－	261	－	－	－	9,724
旭　丘	5,819	－	10,766	3,444	－	－	1,101	21,130
矢　田	5,874	－	－	－	－	854	－	6,728
山　吹	5,415	1,332	5,868	683	380	－	－	13,678
比良西	2,484	－	3,612	－	－	－	－	6,096
諏　訪	5,785	171	6,671	483	－	－	－	13,110
松　原	4,978	－	6,265	690	173	1,953	－	14,059
吹　上	－	－	－	－	－	－	283	283
滝　川	5,377	1,785	8,402	－	－	－	－	15,564
穂　波	1,515	557	887	1,544	316	－	－	4,819
八　熊	5,919	1,224	1,849	332	271	－	521	10,116
春　田	1,341	－	1,685	－	－	335	－	3,361
明　徳	2,359	0	1,334	106	－	－	－	3,799
東　海	3,060	－	3,124	－	－	158	－	6,342
神宮寺	2,547	848	1,869	441	－	－	－	5,705
明　治	4,259	345	6,265	2,130	－	－	901	13,900
道　徳	5,316	2,425	2,480	458	－	－	1,004	11,683
伝　馬	6,358	958	2,851	508	127	－	－	10,802
守　山	3,693	－	2,863	－	－	50	－	6,606
森孝西	4,075	347	1,388	382	436	－	－	6,628
相　原	5,192	－	5,524	－	－	496	－	11,212
常　安	8,438	4,550	4,906	850	2,886	－	1,772	23,402
本　郷	5,364	211	835	－	－	441	－	6,851
極　楽	6,047	1792	3,702	785	－	－	－	12,326
表　山	4,251	772	2,687	420	98	－	－	8,228
相　生	5,021	－	1,670	－	－	271	－	6,962

（注）特別活動室等は、特別活動室、視聴覚室及び多目的室

（２）小学校施設の一般開放

小学校の特別教室（会議用）、体育館及び運動場を午後６時から午後９時まで（ただし、休業日は午前９時から午後９時まで）、その小学校の通学区域内の住民をもって組織する各種団体の連合組織で教育委員会が適当と認めるものが使用する場合に、一年を単位として目的外使用の許可をしている。

＜小学校施設一般開放実施校＞　（平成27年５月１日現在）

区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
一般開放実施校	内山 千種 千石 高見 上野根 宮代 田東山	東桜	清水 金城 東志賀 光城 如意 楠西田 飯村 杉杉 大北 名北 城郷 六前 宮中 川辻 六郷 西北 味鋺	栄生 城西 江西 南押切	豊臣 日吉 ほのか	橘	御器所 川原 白金 伊勝 村雲	高田 井戸田 陽明 瑞穂 中根
計	8	1	17	4	3	1	5	5

区	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
一般開放実施校	野立 大宝 千年	昭和橋 玉川	大手 稲永 南陽 西福田 福田 福港楽 小雀 成章 福春	豊田 菊住 笠東 星崎 春日野 大生宝 大磯 宝南	丘 地東 孝城 本見 森古 二羽 鳥瀬 小幡 苗代 白沢 小幡北 大森北 天子田	鳴海 神の倉 東丘 戸笠 熊の前	平和が丘 引山 牧の原	山根 八事東 大坪	
計	3	2	9	9	11	5	3	3	89

（３）学習開放

市立名東高等学校の図書室及び集会室を、学校教育に支障のない範囲で、市民の学習その他公共活動の場として開放している。（昭和59年８月11日開設）

ア　開放時間及び休室日

区　分	開放時間	休室日
平　日	午後５時30分～午後８時30分	月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日も休室）、12月24日～１月６日 図書室については、上記に加え図書の整理のため金曜日
土曜日	午後２時00分～午後８時30分	
日曜日	午前９時30分～午後５時00分	

平成26年度利用状況等

開放室	利用者数	貸出冊数等
図書室 （利用定員：90人、蔵書数：約45,000冊）	3,548人	353冊 （学校教育に支障のない範囲で県内に在住、在勤、在学する者に対し３冊/２週間以内で室外へ貸出す）
集会室 （収容人員：60人）	1,206人	

（４）スポーツ開放

＜地域スポーツセンター＞

スポーツやレクリエーション活動の場を提供するため、市内の中学校の体育館・運動場・格技場を学校教育に支障のない範囲で開放し、「地域スポーツの拠点」として親しまれている。

各センターには、専任の管理員を配置し、管理や利用者の調整にあたっている。

（昭和50年３月15日大曽根中、御田中、高針中、名南中で開放開始）

（開放時間）平日・土曜日――午後６時～午後９時

日　曜　日――午前９時～午前11時、午前11時～午後１時

又は午後１時～午後３時、午後３時～午後５時

（利用種目）バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、レクリエーションインディアカ、軟式野球、ソフトボール、テニス、サッカーなど

〈平成26年度　地域スポーツセンター利用状況〉

施設名称＼区分		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
千種区	振甫	15	65	232		220	0
	千種	9	44	228		16	0
	千種台	11	98	207		59	0
	今池	16	54	231		0	0
	若水	8	81	226		0	0
	城山	19	189	231		0	32
	東星	9	27	104		17	0
	区計	87	558	1,459	0	312	32
東区	矢田	12	52	250		166	0
	桜丘	12	53	279		137	0
	あずま	8	105	262		6	0
	冨士	13	86	222		0	0
	区計	45	296	1,013	0	309	0
北区	大曽根	19	75	247		139	130
	北	14	95	254		156	0
	志賀	9	50	217	75	19	0
	北陵	11	109	231	228	1	0
	若葉	5	39	230	237	9	0
	八王子	5	104	227		3	0
	楠	7	82	228		0	0
	区計	70	554	1,634	540	327	130
西区	名塚	10	82	181		156	0
	平田	4	45	250		9	0
	山田	5	26	176		197	0
	山田東	2	74	231		0	0
	浄心	4	21	181		0	0
	天神山	6	63	224	128	0	0
	菊井	8	56	198		5	0
	区計	39	367	1,441	128	367	0
中村区	御田	17	4	223		128	0
	笈瀬	9	65	260	283	28	0
	豊国	2	56	209		0	0
	豊正	26	81	241		160	0
	日比津	9	75	228		33	0
	黄金	11	74	269		26	0
	笹島	34	99	240		0	38
	区計	108	454	1,670	283	375	38
中区	伊勢山	31	38	201		220	28
	白山	37	157	260		150	0
	丸の内	16	104	212		35	0
	前津	12	37	147		0	0
	区計	96	336	820	0	405	28

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
1,296	1,334	2,630		3,092	0	3,092	5,722
1,217	1,054	2,271		231	0	231	2,502
1,694	3,045	4,739		1,053	0	1,053	5,792
3,268	1,377	4,645		0	0	0	4,645
1,460	1,599	3,059		0	0	0	3,059
2,019	5,527	7,546		0	311	311	7,857
1,856	461	2,317		0	0	0	2,317
12,810	14,397	27,207	0	4,376	311	4,687	31,894
1,031	857	1,888		1,235	0	1,235	3,123
1,728	1,698	3,426		1,132	0	1,132	4,558
1,571	2,245	3,816		11	0	11	3,827
987	1,639	2,626		0	0	0	2,626
5,317	6,439	11,756	0	2,378	0	2,378	14,134
1,161	1,545	2,706		431	318	749	3,455
1,048	1,874	2,922		1,996	0	1,996	4,918
1,362	1,092	2,454	509	101	0	101	3,064
1,172	2,296	3,468	1,812	80	0	80	5,360
888	1,887	2,775	1,329	161	0	161	4,265
1,003	1,889	2,892		0	0	0	2,892
579	1,498	2,077		0	0	0	2,077
7,213	12,081	19,294	3,650	2,769	318	3,087	26,031
717	2,606	3,323		3,113	0	3,113	6,436
756	1,393	2,149		160	0	160	2,309
1,415	2,389	3,804		1,057	0	1,057	4,861
953	1,444	2,397		0	0	0	2,397
611	1,484	2,095		0	0	0	2,095
810	1,887	2,697	129	0	0	0	2,826
1,026	820	1,846		0	0	0	1,846
6,288	12,023	18,311	129	4,330	0	4,330	22,770
2,148	1,090	3,238		2,924	0	2,924	6,162
1,842	1,803	3,645	2,994	533	0	533	7,172
673	1,253	1,926		0	0	0	1,926
1,966	1,795	3,761		711	0	711	4,472
877	1,625	2,502		617	0	617	3,119
2,685	2,554	5,239		638	0	638	5,877
1,967	413	2,380		0	0	0	2,380
12,158	10,533	22,691	2,994	5,423	0	5,423	31,108
1,199	865	2,064		4,699	287	4,986	7,050
3,022	4,640	7,662		2,581	0	2,581	10,243
992	1,429	2,421		47	0	47	2,468
454	664	1,118		0	0	0	1,118
5,667	7,598	13,265	0	7,327	287	7,614	20,879

施設名称＼区分		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
昭和区	北山	32	34	263		203	0
	駒方	19	64	219		180	0
	川名	12	178	222		15	0
	円上	11	32	241		21	0
	桜山	7	31	230		0	0
	区計	81	339	1,175	0	419	0
瑞穂区	萩山	23	40	224		223	0
	瑞穂ケ丘	30	70	223		128	0
	津賀田	9	89	258		0	0
	田光	8	72	274		37	0
	汐路	14	44	249	208	35	0
	区計	84	315	1,228	208	423	0
熱田区	宮	13	41	201		22	0
	日比野分	11	79	187		132	0
	日比野	4	83	230		0	0
	沢上	9	72	265		178	0
	区計	37	275	883	0	332	0
中川区	長良	33	129	185		211	0
	助光	8	319	269		15	0
	昭和橋	6	33	253		0	0
	富田	2	349	230		124	0
	供米田	5	178	226		13	0
	山王	7	95	202		0	0
	一色	7	93	257		4	0
	高杉	4	30	217	218	0	0
	一柳	3	73	231		0	0
	八幡	5	58	262		0	0
	はとり	4	146	221		0	0
	区計	84	1,503	2,553	218	367	0
港区	宝神	4	34	182		4	0
	南陽	8	0	227		135	0
	当知	32	79	245		209	0
	東港	7	38	214	214	0	0
	港明	7	64	230		0	0
	港南	5	66	221		0	0
	港北	6	77	249		4	0
	南陽東	2	71	229		5	0
	区計	71	429	1,797	214	357	0
南区	名南	23	20	212	206	164	0
	明豊	3	113	228		0	0
	桜田	9	49	226		124	0
	大江	6	58	244		0	0
	南光	7	98	270		0	0
	本城	13	50	257		7	0
	新郊	2	79	222		0	0
	区計	63	467	1,659	206	295	0

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
2,161	1,137	3,298		3,998	0	3,998	7,296
2,721	1,131	3,852		1,899	0	1,899	5,751
2,054	1,952	4,006		128	0	128	4,134
2,064	787	2,851		665	0	665	3,516
1,648	1,606	3,254		0	0	0	3,254
10,648	6,613	17,261	0	6,690	0	6,690	23,951
1,130	1,181	2,311		7,641	0	7,641	9,952
2,024	1,421	3,445		2,995	0	2,995	6,440
1,762	2,706	4,468		0	0	0	4,468
2,644	2,064	4,708		1,320	0	1,320	6,028
2,474	2,233	4,707	2,627	868	0	868	8,202
10,034	9,605	19,639	2,627	12,824	0	12,824	35,090
1,757	828	2,585		542	0	542	3,127
737	1,132	1,869		191	0	191	2,060
600	2,689	3,289		0	0	0	3,289
1,726	1,666	3,392		59	0	59	3,451
4,820	6,315	11,135	0	792	0	792	11,927
1,374	1,780	3,154		4,371	0	4,371	7,525
2,571	2,865	5,436		90	0	90	5,526
1,532	1,455	2,987		0	0	0	2,987
1,875	2,984	4,859		1,494	0	1,494	6,353
1,076	2,166	3,242		375	0	375	3,617
560	1,134	1,694		0	0	0	1,694
1,532	2,534	4,066		25	0	25	4,091
1,737	451	2,188	2,650	0	0	0	4,838
1,186	1,727	2,913		0	0	0	2,913
683	2,641	3,324		0	0	0	3,324
1,035	972	2,007		0	0	0	2,007
15,161	20,709	35,870	2,650	6,355	0	6,355	44,875
733	1,000	1,733		0	0	0	1,733
2,691	1,202	3,893		1,736	0	1,736	5,629
2,652	1,299	3,951		3,485	0	3,485	7,436
1,874	597	2,471	1,156	0	0	0	3,627
1,237	2,108	3,345		0	0	0	3,345
1,718	1,829	3,547		0	0	0	3,547
3,205	1,733	4,938		0	0	0	4,938
840	1,854	2,694		0	0	0	2,694
14,950	11,622	26,572	1,156	5,221	0	5,221	32,949
3,619	329	3,948	1,215	1,190	0	1,190	6,353
1,146	1,558	2,704		0	0	0	2,704
724	2,252	2,976		2,838	0	2,838	5,814
727	1,894	2,621		0	0	0	2,621
2,040	2,202	4,242		0	0	0	4,242
883	2,351	3,234		24	0	24	3,258
555	1,546	2,101		0	0	0	2,101
9,694	12,132	21,826	1,215	4,052	0	4,052	27,093

施設名称＼区分		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
守山区	守山北	12	23	226		36	0
	守山西	14	56	228		200	0
	森孝	15	71	229		0	0
	大森	3	40	240	281	0	0
	守山	11	229	234	124	0	0
	志段味	3	53	192		142	0
	守山東	10	139	215	163	0	0
	区計	68	611	1,564	568	378	0
緑区	扇台	10	55	217		2	0
	大高	15	52	181		205	0
	鳴子台	5	70	228	278	2	0
	有松	7	38	226		209	0
	東陵	1	32	227		0	0
	千鳥丘	7	60	253		39	49
	滝ノ水	7	54	204		203	0
	神沢	2	85	231		0	0
	鳴海	5	84	231		0	0
	左京山	5	119	192		0	0
	鎌倉台	13	104	249		31	0
	神の倉	12	612	193	184	6	0
	区計	89	1,365	2,632	462	697	49
名東区	高針台	4	101	182		98	0
	猪子石	11	69	230		181	0
	藤森	9	47	229		0	0
	猪高	4	56	226		0	0
	牧の池	11	83	233	208	39	0
	上社	5	163	225		0	0
	香流	4	50	174		0	0
	神丘	2	144	230		0	0
	区計	50	713	1,729	208	318	0
天白区	天白	14	200	218		184	0
	南天白	10	42	235		10	0
	植田	6	150	231	180	0	0
	平針	8	103	244		0	0
	久方	6	75	213	285	1	0
	御幸山	8	73	182		0	0
	原	7	138	208		132	0
	区計	59	781	1,531	465	327	0
合計		1,131	9,363	24,788	3,500	6,008	277

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
2,031	364	2,395		715	0	715	3,110
1,742	882	2,624		5,759	0	5,759	8,383
2,400	928	3,328		0	0	0	3,328
150	1,613	1,763	2,589	0	0	0	4,352
1,496	2,251	3,747	227	0	0	0	3,974
614	617	1,231		0	0	0	1,231
1,082	1,786	2,868	2,979	0	0	0	5,847
9,515	8,441	17,956	5,795	6,474	0	6,474	30,225
1,524	1,435	2,959		0	0	0	2,959
757	963	1,720		4,694	0	4,694	6,414
655	1,899	2,554	6,070	0	0	0	8,624
948	1,546	2,494		5,616	0	5,616	8,110
662	1,774	2,436		0	0	0	2,436
1,854	2,045	3,899		622	0	622	4,521
1,650	3,397	5,047		9,632	0	9,632	14,679
703	2,759	3,462		0	0	0	3,462
1,214	1,300	2,514		0	0	0	2,514
1,523	2,315	3,838		0	0	0	3,838
956	2,478	3,434		691	0	691	4,125
6,674	3,759	10,433	2,369	0	0	0	12,802
19,120	25,670	44,790	8,439	21,255	0	21,255	74,484
946	1,457	2,403		2,129	0	2,129	4,532
1,037	1,908	2,945		5,695	0	5,695	8,640
1,555	1,072	2,627		0	0	0	2,627
1,428	1,817	3,245		0	0	0	3,245
2,080	2,229	4,309	2,079	206	0	206	6,594
750	3,310	4,060		0	0	0	4,060
1,685	1,012	2,697		0	0	0	2,697
1,606	3,584	5,190		0	0	0	5,190
11,087	16,389	27,476	2,079	8,030	0	8,030	37,585
886	1,914	2,800		7,993	0	7,993	10,793
1,745	1,488	3,233		68	0	68	3,301
576	2,632	3,208	2,817	0	0	0	6,025
1,053	2,514	3,567		0	0	0	3,567
670	1,165	1,835	2,726	0	0	0	4,561
2,045	1,636	3,681		0	0	0	3,681
980	2,658	3,638		925	0	925	4,563
7,955	14,007	21,962	5,543	8,986	0	8,986	36,491
162,437	194,574	357,011	36,277	107,282	916	108,198	501,486

第７部　人　権　教　育

第１章　人権教育の推進体制

１　基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人ひとりが人権問題に関心を持ち、自らの課題として人権尊重についての理解と認識を深め、主体的に考えて行動することが重要である。また一人ひとりが、人権の意義やその尊重と共存の重要性について､理性と感性の両面から理解を深めるとともに､権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「新なごや人権施策推進プラン」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

（１）人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課（室）及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課（室）及び公所による対応を基本とする。

（２）学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人間尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

（３）社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第２章　学　校　教　育

１　人権教育の研究推進

（１）小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

（２）人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

平成26年度主な研究テーマ

○　相手を思いやり、楽しく学校生活を送ることができる児童の育成
○　「笑顔で学び　笑顔で生きる」生徒の育成
○　互いの思いを伝え合い、ともに生きようとする児童の育成
○　一人一人のよさを認め合い、互いを大切にできる児童の育成
○　互いの人権を大切にする心と態度の育成
○　自尊感情を育む人権総合学習カリキュラムの創造
○　互いのよさを認め合い、ともに生きようとする児童の育成
○　自分も他の人も共に大切にできる生徒の育成
○　自他の存在を認め合い共に生きる態度を育てる人権教育
○　みんな笑顔で共に生きる教育活動
○　命の尊さや生きることの意味を考える教育活動

２　人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

平成26年度事業実績

研　修　会　名	対　　象	月　日
校（園）長研修会	新任校（園）長	4.25
校（園）長研修会	経験年数２年目の校（園）長	
教頭研修会	新任教頭	5.30
教頭研修会	経験年数２年目の教頭	
学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数２年目の教務主任	8. 6
学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任	7.31
幼稚園新規採用教員研修会	新規採用幼稚園教諭	7.28
初任者研修会	新規採用教諭	
高等学校初任者研修会	新規採用高等学校教諭	
新規採用養護教員研修会	新規採用養護教諭	
高等学校新規採用養護教員研修会	新規採用高等学校養護教諭	
新規採用栄養教員研修会	新規採用栄養教諭	
新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員	6.24
幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の幼稚園教諭	7.25
教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の教諭	7.24
高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の高等学校教諭	5.13
養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の養護教諭	7.24
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の高等学校養護教諭	5.13
栄養教員・学校栄養職員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の栄養教諭・学校栄養職員	7.22
幼稚園教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の幼稚園教諭	7.22
教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の教諭	8.22
高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校教諭	
養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の養護教諭	8. 4
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校養護教諭	
学校運営推進講座（Ⅱ）	経験年数13年目以上の教諭	8. 6
教育研究員	教育研究員	4.25
人権教育研修会	研究実践校の新任・転任の校長・教頭・本務教諭・養護教諭・栄養教諭	4. 9
人権教育担当教員研修会	人権教育担当教諭	11.18

３　資 料 の 整 備

教職員の人権問題に対する認識を深め、同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的な意欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第３章　社　会　教　育

１　文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実･教養の向上･相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

区　　分	開　設　回　数	延　参　加　者　数
	回	人
教　養　講　座	190	1,912
子ども向け事業（親子対象事業を含む）	39	846
家庭教育講座	21	488

２　市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人ひとりが同和問題をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

（１）市民大学公開講演会の開催

ア　テ ー マ　　子どもの笑顔があふれるまちに
イ　期　　日　　12月8日
ウ　参加者数　　215人
エ　会　　場　　イーブルなごやホール

（２）社会教育施設等における人権問題学習

学級講座等の受講者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題学習や冊子「同和問題と人権」、「人権教育の手引き～みんなで学ぶ人権ワーク集～実践編」等による啓発を行った。

事　業　名	実　施　回　数	延　参　加　者　数
	回	人
人権問題講座等	105	1,218
人権問題特別講演会	4	48

※生涯学習センター、女性会館、青少年交流プラザ

（３）グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア　期　　日　　９月16・17日
イ　会　　場　　イーブルなごや
ウ　内　　容　　講演、ビデオ鑑賞、グループ討議
エ　研 修 生　　社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ113人

（４）市民啓発のための資料の作成・整備

市民の同和問題をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。

付　　録

1　事務参考資料

出版物等一覧（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
教育要覧	企画経理課	9	110	Ａ４	253	事務局各課室、公所、関係機関
名古屋市公共施設白書 資料編　施設カルテ[学校]	学校整備課	3	1,000	Ａ４	413	各局区室、公所
名古屋の特別支援教育	指導室	6	6,400	Ａ５	8	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
特別支援教育資料	指導室	7	1,000	Ａ４	28	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
なごやの学校	指導室	3	900	Ａ４	100	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	1	300	Ａ４	50	高等学校
まもろうたいせつないのち	指導室	3	47,000	Ａ４	4	学校（園）
なごやっ子防災ノート　小学1～3年生用	指導室	5	21,000	Ａ５	22	学校
なごやっ子防災ノート　小学4～6年生用	指導室	5	19,900	Ａ５	22	学校
なごやっ子防災ノート　中学生用	指導室	5	18,100	Ａ５	22	学校
いじめ防止教育プログラム	指導室	3	3,000	Ａ４	91	学校
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	15,000	Ａ４	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	7	40,500	Ａ４	8	小学校１・４年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	21,500	Ａ４	2	中学校
中学校スクールランチ ―楽しくおいしくバランスよく―	学校保健課	9	24,400	Ａ４	4	小学校
パンフレット「親学」	生涯学習課	6	292,000	Ａ４	10	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
幼児期家庭教育支援事業「幼稚園の子どもたち」	生涯学習課	7・10・2	各37,000	Ａ４	4	市内全市立・国立・私立幼稚園の保護者
生涯学習なごや	生涯学習課	毎月	各5,000	Ａ４	16	市民
超高齢社会における学習機会提供のあり方	生涯学習課	3	100	Ａ４	32	関係機関
楽しく充実した運動部活動リーフレット	スポーツ振興課	3	60,000	Ａ４	2	学校・保護者
これだけは知っておきたい～安全な運動部活動～	スポーツ振興課	3	500	Ａ４	20	学校
名古屋市文化財調査報告90「埋蔵文化財調査報告書73市内4遺跡のH25 年度発掘調査報告（千音寺遺跡第6次・7次、高蔵遺跡第59次、玉ノ井遺跡第11次、桜本町遺跡第5次）」	文化財保護室	3	450	Ａ４	75	関係機関
国史跡　志段味古墳群ガイドブック	文化財保護室	10	10,000	A5	14	関係機関
おうさまとおはかとはにわたち	文化財保護室	1	1,500	A5	13	関係機関
尾張の大型古墳群　国史跡志段味古墳群の実像	文化財保護室	1	1,000	A4	102	関係機関
名古屋の山車行事	文化財保護室	3	1,100	A4	100	関係機関
館報みはらし№290～295	見晴台考古資料館	隔月	各1,200	Ａ４	4	関係機関、市民
見晴台考古資料館年報31	見晴台考古資料館	3	500	Ａ４	16	関係機関
見晴台遺跡ガイドブック（第２版）	見晴台考古資料館	3	1,500	Ａ４	16	関係機関、市民
名古屋市立図書館年報平成26年版	鶴舞中央図書館	7	120	Ａ４	63	関係図書館
こんなほん　あんなほん2014＜小学生向き＞	鶴舞中央図書館	7	7,500	Ｂ６	32	市民
こんなほん　あんなほん2014＜ティーンズ（中高生）向き＞	鶴舞中央図書館	7	5,200	Ｂ６	16	市民
絵本で子育て　あぶあぶ編（3か月児健診用）	鶴舞中央図書館	5	19,400	Ａ５	16	市民
絵本で子育て　よちよち編（1歳6か月児検診用）	鶴舞中央図書館	5	18,300	Ａ５	16	市民

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
絵本で子育て　すくすく編（3歳児健診用）	鶴舞中央図書館	5	18,400	Ａ５	16	市民
選定児童図書目録 平成25年版	鶴舞中央図書館	5	1,100	Ａ４	22	学校、関係機関
なごやっ子読書ノート（１・２年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,300	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書ノート（３・４年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,300	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書ノート（５・６年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,300	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書カード（中学生向き）	鶴舞中央図書館	6	26,000	Ａ３	1	学校
名古屋市博物館だより No.209～No.212	博物館	4・7・10・1	各3,800	Ａ４	8	関係機関、関係博物館、市民
名古屋市博物館研究紀要 第38巻	博物館	3	900	Ａ４	56	関係機関、関係博物館、市民
猿猴庵の本　第21回配本 「張州勝藍開帳集」	博物館	3	1,500	Ａ４	138	関係機関、関係博物館、市民
蓬左　No.89～No.90	蓬左文庫	10・3	4,000	Ａ４	8	関係機関、学校、市民
名古屋市美術館ニュースアートペーパー No.96～No.98	美術館	8・12・3	各5,000	Ａ２ 2つ折り	4	市民
「びじゅつ びっくり たまてばこ」案内スケジュール	美術館	3	36,000	Ａ４	2	市民
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	Ａ４ 4つ折り	8	市民
アサラスコープ No.406～No.409	科学館	7	25,000	Ａ４	8	学校、公所、同種施設、市民
		9	20,000		4	
		10	180,000		4	
		3	25,000		8	
名古屋市科学館要覧（平成26年度）	科学館	8	450	Ａ４	76	同種施設、関係機関
科学館紀要　No.41	科学館	3	350	Ａ４	61	同種施設、関係機関
事業案内	教育センター	3	800	Ａ４	47	学校(園)、公所

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
教育センターNAGOYA No.66～No.68	教育センター	4	12,000	Ａ４	16	学校（園）、公所
		10	各 11,500		8	
		2			16	
教育研究員研究要録	教育センター	2	610	ＣＤ	500	学校（園）、教育研究所
「ハートフレンドなごや」リーフレット	教育センター	3	10,000	Ａ４ 3つ折り		学校（園）、公所
名古屋教育史Ⅲ	教育センター	3	5,000	Ａ５	647	事務局各課室、公所、関係機関、学校（園）
なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ2014」	子ども青少年局 青少年家庭課	7	162,000	Ａ４	24	学校、関係機関

２　教　育　年　表

（平成26年4月～平成27年3月）

▲印は、名古屋市の教育に関係のあるものを示す。

月日	事　　項
4. 1	▲市内11ブロックの中学校11校に、なごや子ども応援委員会を設置 ▲南区笠寺に子ども適応相談センターサテライトスクールを開設
4	文部科学省、平成27年度から使用する小学校教科書等の検定結果を発表。社会科では竹島、尖閣諸島を日本固有の領土と初めて全教科書で明記
22	文部科学省、平成26年度の「全国学力・学習状況調査」を全国一斉に実施。学校別成績の公開が可能に
30	文部科学省、学校保健安全法施行規則の改正により学校の健康診断のうち座高測定と寄生虫卵検査を平成28年度から廃止
5. 4	総務省統計局、15歳未満の子どもの人口は1,633万人で33年連続減少との調査結果を発表
7	文部科学・厚生労働両省まとめ。平成26年４月１日現在、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」は1,359施設に
22	全国高校体育連盟、運動部活動における「体罰根絶全国共通ルール」を制定。体罰を行った指導者は１年間の出場停止とする
6. 2	文部科学省、公立小中学校施設の耐震化率は92.5%との調査結果を発表
13	教育委員長と教育長を一体化した新「教育長」の設置、教育行政への首長権限の強化等、教育委員会制度の見直しを図る改正地方教育行政法が成立
21	ユネスコ、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録を決定
7.12	国際数学オリンピックで日本代表高校生６人中４人が金メダル獲得
25	文部科学省、平成26年度は全国の公立小中高校の16.3%に当たる5,573校が土曜授業を実施との調査結果を発表 文部科学省、公立学校の学校施設整備指針を改正し、災害時の避難所運営等を盛り込む
8. 4	文部科学省、平成25年度「学校教員統計調査」（中間報告）を公表。教員平均年齢が統計開始以降初めて小中高校ともに若返る
9. 3	第２次安倍改造内閣が発足し、文部科学大臣は下村博文氏が留任
17	▲「名古屋市いじめ防止基本方針」を策定 政府の教育再生実行会議、「教育革新」「全員参加型社会・地域創生」「教育財源の確保」をテーマとして分科会を設置

10. 7	▲蓬左文庫旧書庫（現エントランスホール）、国の登録有形文化財（建造物）に登録 青色発光ダイオード（ＬＥＤ）を開発した赤崎勇名城大学教授、天野浩名古屋大学教授、中村修二米カリフォルニア大学教授の３人がノーベル物理学賞に決定
11. 12	「持続可能な開発のための教育」（ＥＳＤ）に関するユネスコ世界会議、平成27年以降のＥＳＤ推進方策を示した「あいち・なごや宣言」を採択
24	文部科学省、フリースクールへの支援策を検討するため、初の全国フォーラムを開催
26	ユネスコ、「和紙　日本の手すき和紙技術」の無形文化遺産登録を決定
29	文部科学省、平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果公表。運動が「得意」「やや得意」と答える児童の割合は過去最高
12. 3	小惑星探査機「はやぶさ２」、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げ
10	東京大学先端科学技術センターと日本財団、突出した才能を持ちながら学校教育に馴染めない小中学生を支援する「異才発掘プロジェクト」開始
24	第３次安倍内閣が発足し、文部科学大臣は下村博文氏が留任
1. 13	政府の社会保障制度改革推進本部、待機児童解消を目指す「子ども・子育て支援新制度」を予定通り平成27年度から開始することを決定
27	文部科学省、「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を59年ぶりに改定。学校統廃合を推進
2. 12	国立教育政策研究所、「小学校学習指導要領実施状況調査」の結果を発表。現行指導要領では旧指導要領に比べて学力、学習意欲が向上
3. 25	▲「名古屋市教育振興基本計画」を策定 文部科学省、小中学校の道徳を「特別な教科」とする学習指導要領の一部改訂を告示。
27	小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から本格実施

3　中学校区一覧

（平成27年４月１日現在）

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今池	内山、千種、千石
	城山	田代、見付
	東星	東山、星ケ丘
	千種台	自由ケ丘、富士見台
	千種	宮根、千代田橋
	振甫	大和、上野
	若水	春岡、高見
東	あずま	筒井、葵
	冨士	東桜、山吹、東白壁
	桜丘	旭丘、明倫
	矢田	矢田、砂田橋
北	若葉	杉村、名北
	志賀	金城、光城、川中
	北陵	辻、東志賀、城北
	大曽根	飯田、宮前、六郷、六郷北
	八王子	大杉、清水
	楠	楠、如意、楠西
	北	味鋺、西味鋺
西	浄心	上名古屋、城西、児玉
	菊井	なごや
	名塚	庄内、稲生
	天神山	榎、栄生
		枇杷島、南押切
	山田	山田、中小田井
	平田	平田、浮野
	山田東	大野木、比良、比良西
中村	豊国	日吉、千成
	笹島	笹島
	笈瀬	ほのか
	御田	柳、岩塚、八社
	豊正	中村、稲葉地、稲西
	黄金	牧野、米野
	日比津	豊臣、日比津、諏訪
中	前津	栄、大須
	丸の内	名城、御園
	伊勢山	松原、橘、平和、正木

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	白山	新栄 老松 千早
昭和	桜山	松栄 御器所
	北山	鶴舞 吹上
	川名	川原 伊勝 滝川
	駒方	広路 八事
	円上	村雲 白金
瑞穂	田光	堀田 穂波
	瑞穂ケ丘	御劔 高田
	萩山	弥富 中根 豊岡
	汐路	汐路 陽明
	津賀田	瑞穂 井戸田
熱田	沢上	高蔵 旗屋
	宮	千年 白鳥
	日比野	船方 野立 大宝
中川	一色	正色 五反田
	長良	愛知 常磐 篠原
	山王	広見 露橋 八熊
	一柳	荒子 野田
	高杉	中島 西中島
	八幡	八幡
	昭和橋	昭和橋 玉川

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	富田	春田 明正
	供米田	戸田 豊治
	助光	長須賀 西前田
	はとり	千音寺 赤星 万場
港	港南	大手 稲永 野跡
	港北	小碓 正保
	当知	明徳 当知
	宝神	港西 高木 神宮寺
	東港	東築地 西築地 港楽
	港明	中川 東海 成章
	南陽	西福田 福田 福春
	南陽東	南陽
南	本城	笠寺 笠東 星崎
	新郊	呼続 大磯
	桜田	桜 春日野 菊住
	大江	豊田 道徳
	明豊	明治 伝馬
	名南	白水 柴田 千鳥

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	南光	大生宝 宝南
守山	守山	守山西城 廿軒家
	守山北	小幡北白沢
	守山東	小幡苗代
	大森	大森大森北 天子田
	森孝	森孝西本地丘 森孝東
	守山西	二城鳥羽見 瀬古
	志段味	志段味東下志段味
	吉根	志段味西吉根
緑	鳴海	鳴海相原
	左京山	緑平子
	滝ノ水	旭出滝ノ水 小坂
	扇台	鳴海東部徳重 常安
	鎌倉台	大清水
	千鳥丘	片平浦里
	東陵	東丘太子
	鳴子台	鳴子長根台
	神沢	戸笠黒石 桃山
	有松	有松桶狭間 南陵

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	大高	大高大高南 大高北
	神の倉	神の倉熊の前
名東	猪高	猪高猪子石 北一社
	上社	上社
	藤森	本郷藤が丘 豊が丘
	猪子石	蓬来平和が丘
	香流	香流引山
	神丘	西山名東
	高針台	高針極楽 貴船
	牧の池	前山梅森坂 牧の原
天白	天白	天白山根
	植田	植田植田北 植田南植田東
	南天白	野並
	平針	平針平針南 原平針北
	久方	高坂相生 しまだ
	御幸山	八事東表山 大坪

教　育　要　覧

平　成　27　年　版

発　　行　　名古屋市教育委員会

編　　集　　名古屋市教育委員会事務局
総務部企画経理課

発行年月　　平　成　２　７　年　９　月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。